



XM7100 および XM7200 Series

ユーザーガイド

2016 年 8 月

www.lexmark.com

機種番号:

7463

機種:

496、696、896

内容

安全情報.....	7
表記規則.....	7
プリンタの詳細.....	9
プリンタに関する情報を見つける.....	9
プリンタの設置場所を選択する.....	10
プリンタ構成.....	12
スキャナの基本機能の理解.....	13
自動原稿フィーダー(ADF)と原稿台ガラスの使用.....	14
プリンタコントロールパネルの理解.....	15
プリンタコントロールパネルを使用する.....	15
スリープボタンとインジケータランプの色を理解する.....	15
ホーム画面を理解する.....	16
タッチスクリーンのボタンを使用する.....	18
ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する.....	19
プリンタの IP アドレスを確認する.....	19
コンピュータの IP アドレスを検索する.....	19
内蔵 Web サーバーにアクセスする.....	19
ホーム画面を理解する.....	20
各種アプリケーションを理解する.....	20
ホーム画面のアプリケーションを認証する.....	21
遠隔操作パネルの設定.....	24
構成をエクスポート/インポートする.....	25
追加のプリンタ設定.....	26
内部オプションを取り付ける.....	26
ハードウェアオプションを取り付ける.....	45
ケーブルを接続する.....	48
プリンタソフトウェアをセットアップする.....	50
ネットワーク.....	51
プリンタ設定を確認する.....	55

用紙と特殊用紙をセットする	57
用紙サイズとタイプを設定する	57
ユニバーサル用紙設定を構成する	57
550 枚トレイに用紙をセットする	57
2100 枚トレイに用紙をセットする	66
多目的フィーダーに用紙をセットする	73
トレイのリンクおよびリンクを解除する	79
用紙および特殊用紙ガイド	82
特殊用紙を使用する	82
用紙ガイドライン	84
サポートされている用紙サイズ、タイプ、および重量	87
印刷	92
ドキュメントを印刷する	92
モバイルデバイスから印刷する	93
フラッシュドライブから印刷する	94
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持されたジョブを印刷する	96
情報ページを印刷する	97
印刷ジョブをキャンセルする	98
コピー	99
コピーを作成する	99
写真をコピーする	100
特殊用紙にコピー	100
プリンタコントロールパネルを使用してコピーショートカットを作成する	101
コピー設定のカスタマイズ	102
コピー情報	107
コピージョブをキャンセルする	108
コピーオプションの理解	109
E メールで送信する	112
プリンタを設定して E メールを送信する	112
E メールショートカットを作成する	113
ドキュメントを送信する	114
E メール設定のカスタマイズ	115
E メールをキャンセルする	116

E メールオプション.....	116
Fax.....	119
プリンタを設定して Fax を送信する.....	119
Fax を送信する.....	133
ショートカットを作成する.....	136
FAX 設定のカスタマイズ.....	136
送信 FAX のキャンセル.....	138
FAX の保留、転送.....	138
FAX オプション.....	139
スキャン.....	142
ネットワークへのスキャンを使用する.....	142
FTP アドレスにスキャンする.....	142
コンピュータまたはフラッシュドライブにスキャンする.....	144
スキャンオプション.....	146
プリンタメニューを理解する.....	149
メニューリスト.....	149
用紙メニュー.....	150
レポートメニュー.....	162
ネットワーク/ポートメニュー.....	164
セキュリティメニュー.....	176
設定メニュー.....	183
コストの削減と環境の保護.....	232
用紙とトナーの節約.....	232
省電力.....	233
リサイクル.....	235
プリンタを保護する.....	237
揮発性に関する記述.....	237
揮発性メモリを消去する.....	237
不揮発性メモリを消去する.....	238
プリンタハードディスクメモリを消去する.....	238
プリンタハードディスクの暗号化を設定する.....	239
プリンタセキュリティ情報を見つける.....	240

プリンタのメンテナンス.....	241
プリンタ部品の清掃.....	241
部品と消耗品の状況を確認する.....	245
消耗品を注文する.....	246
消耗品の保管.....	248
消耗品を交換する.....	249
プリンタを移動する.....	257
プリンタを管理する.....	259
ネットワーク構築および管理に関する詳細情報の入手.....	259
仮想ディスプレイを確認する.....	259
E メールアラートをセットアップする.....	259
レポートを表示する.....	259
内蔵 Web サーバーから消耗品の通知を設定する.....	260
初期状態のデフォルト設定を復元する.....	261
紙詰まりを取り除く.....	262
紙づまりを防止する.....	262
紙詰まりの場所を確認する.....	266
前面カバーの紙詰まり.....	267
背面ドアの紙詰まり.....	270
標準排紙トレイの紙詰まり.....	274
両面印刷ユニット内の紙づまり.....	275
トレイの紙詰まり.....	276
多目的フィーダーの紙詰まり.....	277
メールボックス内の紙詰まり.....	278
ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり.....	280
ステープルフィニッシャーの紙詰まり.....	282
フィニッシャー内のホチキス詰まり.....	283
問題に対処する.....	286
プリンタメッセージを理解する.....	286
プリンタの問題を解決する.....	307
プリンタの問題を解決する.....	313
コピーの問題を解決する.....	339
Fax の問題を解決する.....	342

スキャナの問題を解決する.....	348
ホーム画面のアプリケーションの問題を解決する.....	353
EWS(内蔵 Web サーバー) が開かない.....	353
カスタマサポートに問い合わせる.....	355
通知.....	356
製品情報.....	356
版通知.....	356
電力消費量.....	360
索引.....	364

安全情報

表記規則

メモ: メモは、役立つ情報を示します。

注意: 注意は、製品本体またはソフトウェアに障害を与える可能性のある場合を示します。

警告: 警告は、人体に損傷を与える可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。

以下の警告文があります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 損傷の危険性を示します。

 **注意—感電危険:** 感電の危険性を示します。

 **注意—表面高温:** 接触した場合、火傷を起こす危険性を示します。

 **注意—転倒危険:** 押しつぶしの危険性を示します。

 **注意—挟み込み危険:** 動作している部品の間には挟まれる危険があることを示します。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品の近くにあって簡単にアクセスでき、正しく接地され、定格を守ったコンセントに電源コードを接続してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品をご使用の際は、延長コードや、複数コンセントの電源タップ、多口の延長プラグ、UPS 機器に接続しないでください。このようなタイプのアクセサリは、レーザープリンタを接続すると簡単に電力容量を超過してしまい、火災、機器の故障、プリンタの性能低下などの原因になる可能性があります。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品はレーザーを使用しています。『ユーザーズガイド』に記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

 **注意—傷害の恐れあり:** この製品に使用されているリチウム電池は、交換を前提としていません。リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。リチウム電池の再充電、分解、焼却は行わないでください。使用済みのリチウム電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

子どもが立ち入る可能性のある場所では、この装置を使用しないでください。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量は 18 kg (40 lb) を超えています。安全に持ち上げるには、訓練を受けた人が 2 人以上必要です。

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- 電源スイッチでプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- プリンタを移動する前に、プリンタからコードやケーブル類をすべて外してください。

- オプションのトレイが取り付けられている場合、プリンタからトレイを取り外します。オプションのトレイを取り外すには、トレイの右側面のラッチをトレイの正面に向けてカチッと音がするまでスライドさせます。
- 持ち上げるには、プリンタの両側面にある持ち手を使用します。
- また、プリンタを下ろすときは指がプリンタの下に挟まれないように注意してください。
- プリンタをセットアップする前に、プリンタの周囲に隙間が十分あることを確認します。

 **注意—傷害の恐れあり:** To avoid the risk of fire or electrical shock, use only the power cord provided with this product or the manufacturer's authorized replacement.

この製品を公衆交換電話網へ接続する場合、この製品に付属する通信 (RJ-11) ケーブルまたは 26 AWG 以上の代替品のみを使用してください。

 **注意—感電危険:** プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。プリンタに他のデバイスを接続している場合はそれらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、イーサネットおよび電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

 **注意—傷害の恐れあり:** 電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

取扱説明書に記載以外の事項については、サービス担当者にお尋ねください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷雨時には、本製品のセットアップや、電源コード、FAX、電話など、電気的な接続を行わないでください。

 **注意—転倒危険:** 床面に設置する場合は、安定性を確保するための器具が別途必要になります。複数の給紙オプションを使用している場合は、プリンタのスタンドまたはベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、FAX が可能な多機能プリンタ (MFP) を購入した場合、追加の備品が必要になる場合があります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 機器が不安定になる危険性を低減するために、トレイは個別にセットします。他のトレイはすべて、必要になるまで閉じておきます。

この手引きを大切に保管してください。

プリンタの詳細

プリンタに関する情報を見つける

検索する場所	入手先
初期セットアップ手順： - プリンタに接続する - プリンタソフトウェアをインストールする	セットアップマニュアルーセットアップマニュアルはプリンタに同梱されています。また、 http://support.lexmark.com を参照してください。
プリンタを使用するためのその他の設定および手順： - 用紙および特殊用紙を選択して保存する - 用紙をセットする - プリンタ設定を構成する - ドキュメントおよび写真を表示して印刷する - プリンタソフトウェアをセットアップして使用する - ネットワーク上でプリンタを構成する - プリンタの手入れとメンテナンスを実施する - 問題に対処して解決する	『ユーザーガイド』および『クイックリファレンスガイド』、『ドキュメント』CD に格納されています。 メモ： これらのガイドは、他の言語でも利用できます。
プリンタのユーザ補助機能のセットアップと設定に関する情報	『Lexmark ユーザ補助機能ガイド』— このガイドについては、 http://support.lexmark.com を参照してください。
プリンタソフトウェアの使用に関するヘルプ	Windows または Mac ヘルプ— プリンタソフトウェアプログラムまたはアプリケーションを開き、[ヘルプ]をクリックします。  をクリックすると、状況に対応した情報が表示されます。 メモ： - ヘルプシステムはプリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 - プリンタソフトウェアは、オペレーティングシステムに応じて、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップにあります。
最新の補足情報、更新、およびお客様サポート： - マニュアル - ドライバダウンロード - ライブチャットサポート - E メールサポート - 電話サポート	Lexmark のサポート用 Web サイト — http://support.lexmark.com メモ： 国または地域を選択してから、製品を選択し、該当するサポートサイトを表示します。お住まいの国または地域を担当するサポートの電話番号および業務時間については、サポート Web サイトまたはプリンタに同梱されている書面の保証書でご確認ください。お客様サポートにお問い合わせの際には、迅速に対応できるように、販売店の領収書およびプリンタの背面に記載されている次の情報を書き留め、手元に用意しておいてください。 - プリンタのタイプ番号 - シリアル番号 - 購入日 - 購入した店舗

検索する場所	入手先
保証情報	保証情報は国または地域によって異なります。 • 米国 – プリンタに同梱されている「限定保証宣言」または http://support.lexmark.com を参照してください。 • その他の国および地域 – プリンタに同梱されている書面の保証書をご覧ください。

プリンタの設置場所を選択する

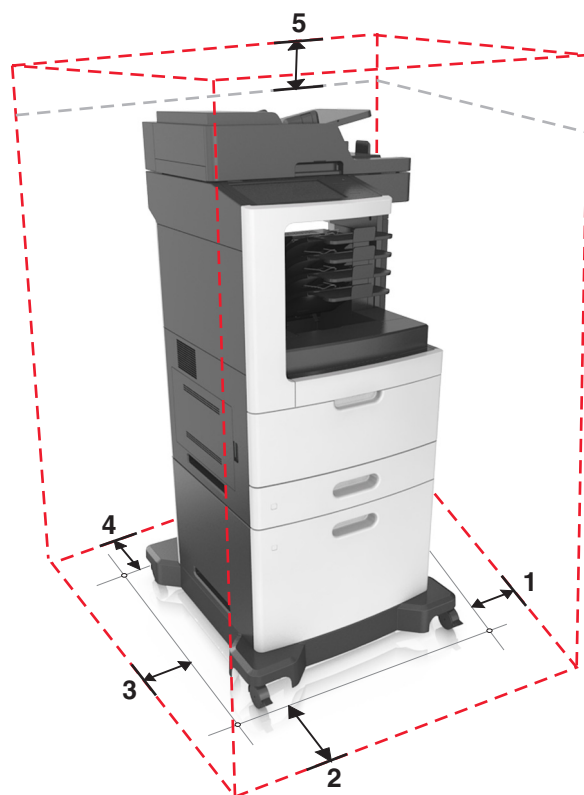
 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

プリンタの設置場所を選ぶときは、トレイ、カバー、ドアを開くための十分なスペースがあることを確認します。オプションを取り付ける予定がある場合は、そのスペースも考慮します。以下の点が重要です。

- 正しく接地され、簡単にアクセスできるコンセントの近くにプリンタを設置します。
- 室内の空気の流れが最新版の ASHRAE 62 基準または CEN Technical Committee 156 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にします。
 - ホチキスや紙クリップを近くに置かないようにします。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにします。
 - 直射日光、極度の湿気を避けます。
- 推奨温度を守り、温度変化を避けます。

周辺温度	15.6 ~ 32.2°C (60 ~ 90°F)
保管温度	1 ~ 35°C (34 ~ 95°F)

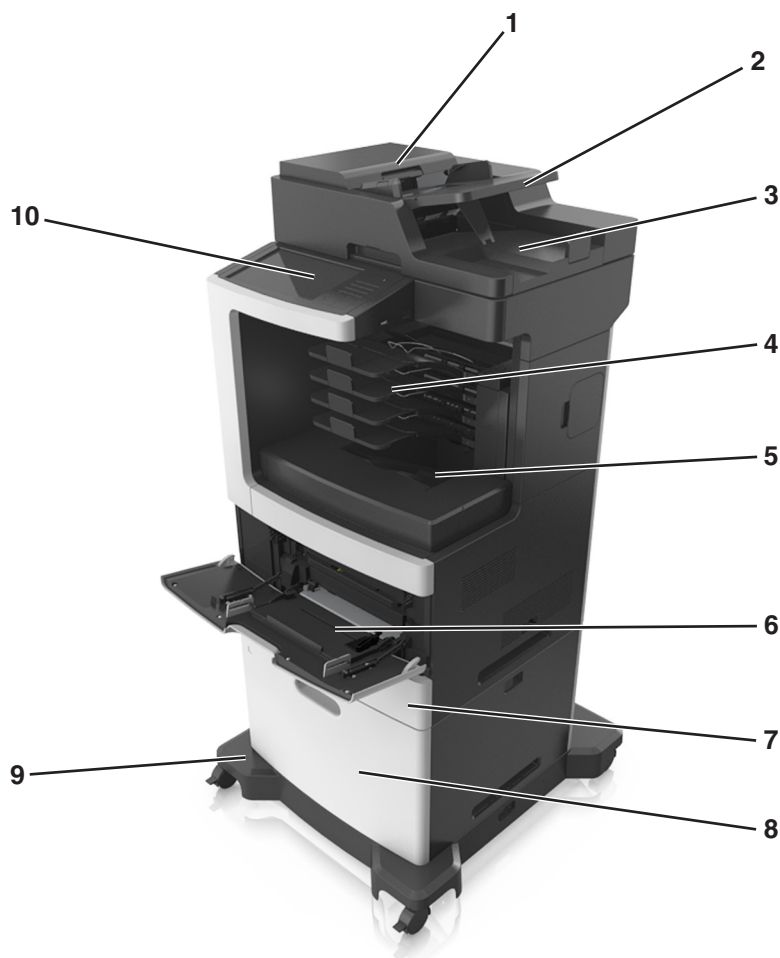
- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。



1	右側	150 mm(6 インチ)
2	正面	394 mm(15.5 インチ)
3	左側	150 mm(6 インチ)
4	背面	150 mm(6 インチ)
5	上部	150 mm(6 インチ)

プリンタ構成

基本モデル



1	自動原稿フィーダー(ADF)
2	ADF トレイ
3	ADF 排紙トレイ
4	4 排紙トレイメールボックス
5	標準排紙トレイ
6	多目的フィーダー
7	標準 550 枚トレイ
8	2100 枚トレイ
9	キャスターベース
10	プリンタコントロールパネル

構成されたモデル

注意—転倒危険: 本製品を床に設置する場合は、安定させるために追加の備品が必要です。複数の入力オプションを使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、および FAX 機能を持つプリンタ複合機(MFP)を購入した場合は、追加の備品が必要になることがあります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。



	ハードウェアオプション	代替ハードウェアオプション
1	ステープルフィニッシャー	4 排紙トレイメールボックス - オフセットスタッカー - ステープル、ホールパンチフィニッシャー
2	550 枚トレイ	2100 枚トレイ
3	キャスターベース	なし
4	2100 枚トレイ	550 枚トレイ
5	4 排紙トレイメールボックス	- ステープルフィニッシャー - ステープル、ホールパンチフィニッシャー - オフセットスタッカー

オプションのトレイを使用する場合:

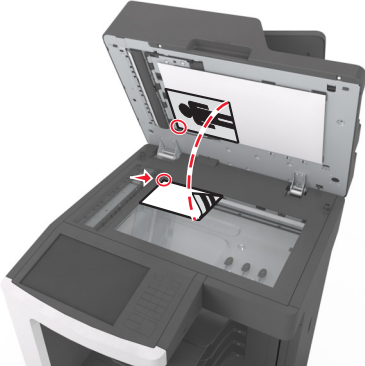
- 2100 枚トレイで構成されている場合は、必ずキャスターベースを使用してください。
- 2100 枚トレイは必ず構成の下部でなければなりません。
- 2100 枚トレイが取り付けられている場合は、オプションの 550 枚トレイを使用できません。
- 最大 3 台のオプショントレイを構成できます。
- プリンタには 1 度に 1 台のフィニッシャーのみを取り付けることができます。

スキャナの基本機能の理解

- そのままコピー(クイックコピー)する、またはプリンタの設定を変更して、特定のコピージョブを実行する。
- プリンタコントロールパネルを使用して Fax を送信する
- 同時に複数の FAX 送信先に FAX を送信する。

- 原稿をスキャンして、お使いのコンピュータ、E メールアドレス、フラッシュドライブ、FTP サーバーなどに送信する。
- 原稿をスキャンして、別のプリンタに送信する (PDF 形式で FTP 経由)。

自動原稿フィーダー(ADF) と原稿台ガラスの使用

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台ガラス
 両面印刷ページを含む複数ページ文書では、ADFトレイを使用します。	 1 ページの文書、本のページ、小さいもの (葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの (雑誌の切り抜きなど) には原稿台ガラスを使用します。

ADF または原稿台を使用してスキャンできます。

ADF を使用する

ADF を使用方法

- 短辺を上にして原稿を ADF トレイにセットします。
- ADF トレイには、最大 150 枚の普通紙をセットできます。
- スキャンサイズ 76.2 x 127 mm (3 x 5 インチ) 幅 ~ 216 x 635 mm (8.5 x 25 インチ)
- スキャンメディア重量 52 ~ 120 g/m² (14-32 ポンド)。
- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙 (雑誌の切り抜きなど) は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。

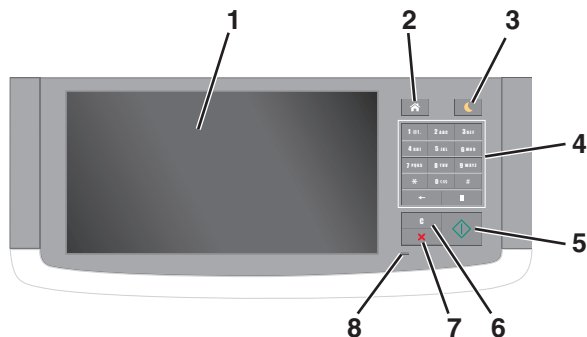
原稿台ガラスを使用

原稿台ガラスを使用する方法

- スキャンする面を下にして原稿を原稿台ガラスの左上隅 (緑色の矢印) にセットします。
- スキャンまたはコピーする文書の最大サイズ 216 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ)。
- コピーできる書籍の厚さは、25.3 mm (1 インチ) までです。

プリンタコントロールパネルの理解

プリンタコントロールパネルを使用する



項目		目的
1	表示	- プリンタの状況とメッセージを表示します。 - プリンタを設定して操作します。
2	[ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。
3	[スリープ]ボタン	スリープモードまたは休止モードを有効にします。 次の操作を実行すると、プリンタがスリープモードから復帰します。 - 画面をタッチするか、いずれかのハードボタンを押す - ドアまたはカバーを開く - コンピュータから印刷ジョブを送信する - 主電源スイッチを使用して電源オンリセット (POR) を実行する - デバイスをプリンタの USB ポートに接続する
4	キーパッド	数字、文字、記号を入力します。
5	[スタート]ボタン	選択されているモードに応じて、ジョブを開始します。
6	[すべてクリア/リセット]ボタン	コピー、Fax、スキャンなどの機能のデフォルト設定をリセットします。
7	[停止]または[キャンセル]ボタン	すべてのプリンタの動作を停止します。
8	インジケータランプ	プリンタの状態を確認します。

スリープボタンとインジケータランプの色を理解する

プリンタコントロールパネルの[スリープ]ボタンとインジケータランプの色は、特定のプリンタの状態または状況を示します。

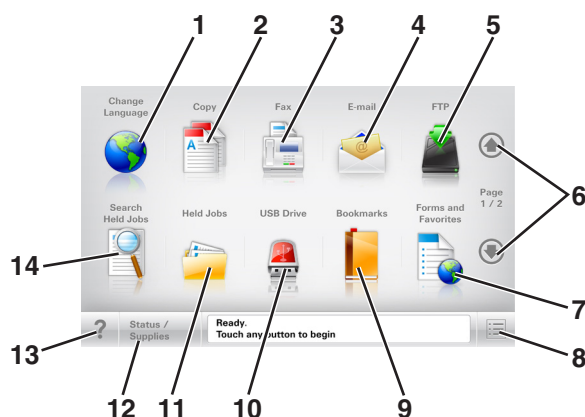
インジケータランプ	プリンタの状況
オフ	プリンタはオフかハイバネートモードです。
緑色で点滅	プリンタはウォーミングアップ中、データの処理中、印刷中のいずれかです。
緑色で点灯	プリンタはオンですが、アイドル状態です。
赤色で点滅	プリンタへのユーザー操作が必要です。

スリープボタンランプ	プリンタの状況
オフ	プリンタはオフか[準備完了]状態です。
黄色で点灯	プリンタはスリープモードです。
黄色で点滅	プリンタはハイバネートモードに入っているか、ハイバネートモードから復帰しています。
0.1 秒間黄色で点滅した後、低速のパルスパターンで 1.9 秒間完全にオフになる	プリンタはハイバネートモードです。

ホーム画面を理解する

プリンタの電源を入れると、ホーム画面という基本画面が表示されます。ホーム画面のボタンとアイコンをタッチすると、コピー、Fax、スキャンなどのアクションを開始したり、メニュー画面を開いたり、メッセージに応答したりできます。

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。



タッチ	目的
1	言語を変更 [言語を変更]ポップアップウィンドウが開きます。このウィンドウでは、プリンタのメイン言語を変更できます。
2	コピー コピーメニューを表示し、コピーを作成します。
3	Fax Fax メニューを表示し、Fax を送信します。
4	E メール E メールメニューを表示し、E メールを送信します。
5	FTP ファイル転送プロトコル (FTP) メニューを表示し、原稿を直接 FTP サーバーにスキャンします。
6	矢印 上下にスクロールします。
7	用紙とお気に入り 頻繁に使用するオンラインフォームをすばやく検索して印刷します。
8	メニューアイコン プリンタのメニューを表示します。 メモ: メニューは、プリンタが準備完了状態の場合にのみ使用できます。
9	ブックマーク ツリー表示のフォルダやファイルリンクで、一連のブックマーク (URL) の作成、整理、および保存を行います。 メモ: ツリー表示でサポートしているのは、他のアプリケーションではなく、この機能で作成したブックマークに限定されます。

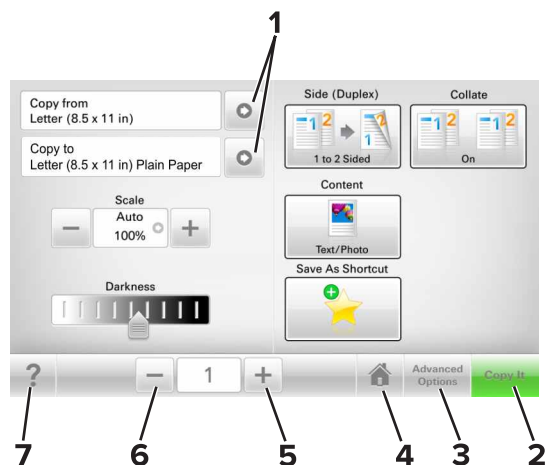
タッチ	目的
10 USB ドライブ	フラッシュドライブ上の写真やドキュメントの表示、選択、印刷、スキャン、E メール送信といった操作を行います。 メモ: このボタンが表示されるのは、メモ리카ードやフラッシュドライブがプリンタに接続されている状態で、ホーム画面に戻った場合に限定されます。
11 保持されたジョブ	現在保持されているジョブがすべて表示されます。
12 状況/消耗品	- 処理を続行するのに操作が必要な場合に、警告またはエラーメッセージが表示されます。 - メッセージの詳細と、そのメッセージを消去する方法を確認するには、メッセージ画面にアクセスします。
13 ヒント	タッチスクリーンで、状況に応じたヘルプのダイアログを開きます。
14 保持されたジョブ検索	以下のいずれかの項目を検索します。 - 保持されたジョブまたはコンフィデンシャル印刷ジョブのユーザー名 - コンフィデンシャル印刷ジョブを除く、保持されたジョブのジョブ名 - プロフィール名 - ブックマークフォルダまたは印刷ジョブ名 - サポートされているファイルタイプの USB フォルダまたは印刷ジョブ名

機能

機能	説明
メニュートレイルライン 例: <u>[メニュー]</u> > [設定] > <u>[コピー設定]</u> > [コピー部数]	メニュートレイルラインは、各メニュー画面の上部に配置されています。この機能は、現在のメニューに至るまでに選択したメニューのパスを表示します。 下線付きのいずれかの単語をタッチすると、そのメニューに移動します。 [コピー部数]は現在の画面であるので、下線付きで表示されていません。[コピー部数]の設定を保存する前に、[コピー部数]画面で下線付きの単語をタッチした場合、選択内容は保存されず、標準設定にはなりません。
注意メッセージ通知 	機能と関連がある注意メッセージの場合、このアイコンが表示され、赤色のインジケータランプが点滅します。
警告 	エラー状況が発生した場合、このアイコンが表示されます。
状況メッセージバー	[準備完了]や[取り込み中]など、現在のプリンタの状況を示します。 [トナーの残量が少ない]または[トナーカートリッジの残量が少ない]など、プリンタの状態を示します。 - プリンタで処理を続行するのに必要な操作についてのメッセージが表示されます。
プリンタの IP アドレス 例: 123.123.123.123	ネットワークプリンタの IP アドレスはホーム画面の左上端にあり、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。物理的にプリンタの近くにいないときに、内蔵 Web サーバーにアクセスし、プリンタ設定の表示やリモート構成を行う場合には、IP アドレスを使用できます。

タッチスクリーンのボタンを使用する

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面、アイコン、およびボタンが異なって表示される場合があります。



	タッチ	目的
1	矢印	オプションのリストを表示します。
2	コピー	コピーを印刷します。
3	詳細オプション	コピーオプションを選択します。
4	ホーム	ホーム画面に移動します。
5	加算	さらに大きい値を選択します。
6	減算	さらに小さい値を選択します。
7	ヒント	タッチスクリーンで、状況に応じたヘルプのダイアログを開きます。

その他のタッチスクリーンのボタン

タッチ	目的
承諾 	設定を保存します。
キャンセル 	- 操作や選択をキャンセルします。 - 画面を終了して、変更内容を保存せずに、元の画面に戻ります。
リセット 	画面の値をリセットします。

ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する

メモ:

- ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブなアプリケーションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。
- 追加のソリューションおよびアプリケーションをご購入いただける場合もあります。詳細については、www.lexmark.com をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

プリンタの IP アドレスを確認する

メモ: お使いのプリンタがネットワークまたはプリントサーバに接続していることを確認します。

プリンタの IP アドレスは、以下の部分で確認できます。

- プリンタのホーム画面の左上端
- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクション
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP]セクションを確認

メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

コンピュータの IP アドレスを検索する

Windows の場合

- [ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスで、「cmd」と入力してコマンドプロンプトを開きます。
- 「ipconfig」と入力して IP アドレスを探します。

Macintosh の場合

- アップルメニューの[システム環境設定]から、[ネットワーク]を選択します。
- お使いの接続の種類を選択し、[詳細] > [TCP/IP]の順にクリックします。
- IP アドレスを探します。

内蔵 Web サーバーにアクセスする

内蔵 Web サーバーはプリンタの Web ページであり、物理的にプリンタの近くにいないときに、プリンタ設定の表示やリモート構成ができます。

- プリンタの IP アドレスを以下の部分で確認します。
 - プリンタコントロールパネルのホーム画面
 - [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクション
 - ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP]セクションを確認

メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

3 Enter キーを押します。

メモ: プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

ホーム画面を理解する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 次の手順を 1 つ以上実行します。

- 基本プリンタ機能のアイコンを表示または非表示にします。
 - a [設定] > [一般設定] > [ホーム画面のカスタマイズ]をクリックします。
 - b チェックボックスを選択し、ホーム画面に表示するアイコンを指定します。

メモ: アイコンの横のチェックボックスをオフにした場合は、アイコンがホーム画面に表示されません。

- c [送信]をクリックします。
- アプリケーションのアイコンをカスタマイズします。詳細については、[「ホーム画面のアプリケーションに関する情報を見つける」](#)、21 ページまたはアプリケーション付属のマニュアルを参照してください。

各種アプリケーションを理解する

使用	目的
カードコピー	カードの両面をスキャンして、1 ページに印刷します。詳細については、 「カードコピーをセットアップする」 、22 ページを参照してください。
FAX	原稿をスキャンして、FAX 番号に送信します。詳細については、 「Fax」 、119 ページを参照してください。
用紙とお気に入り	直接プリンタのホーム画面から、頻繁に使用するオンラインフォームをすばやく検索して印刷できます。詳細については、 「用紙とお気に入りをセットアップする」 、21 ページを参照してください。
マルチ 送信	原稿をスキャンし、複数の場所に転送します。詳細については、 「マルチ送信をセットアップする」 、23 ページを参照してください。
個人ショートカット	プリンタのホーム画面に直接ショートカットを作成します。詳細については、 「マイショートカットを使用する」 、22 ページを参照してください。
E メールヘスキャン	原稿をスキャンして、E メールアドレスに送信します。詳細については、 「E メールで送信する」 、112 ページを参照してください。
コンピュータヘスキャン	原稿をスキャンし、ホストコンピュータ上の定義済みフォルダに保存します。詳細については、 「パソコンへの保存を設定する」 、146 ページを参照してください。
FTP ヘスキャン	原稿を直接ファイル転送プロトコル(FTP)サーバーにスキャンします。詳細については、 「FTP アドレスにスキャンする」 、143 ページを参照してください。
ネットワークへのスキャン	原稿をスキャンして、共有ネットワークフォルダに転送します。詳細については、 「ネットワークへのスキャンをセットアップする」 、24 ページを参照してください。

ホーム画面のアプリケーションを認証する

ホーム画面のアプリケーションに関する情報を見つける

プリンタにはホーム画面のアプリケーションがプリインストールされています。これらのアプリケーションを使用する前に、まず、内蔵 Web サーバーを使用して、これらのアプリケーションを認証してセットアップする必要があります。内蔵 Web サーバーへのアクセスの詳細については、「[内蔵 Web サーバーにアクセスする](#)」、19 ページ を参照してください。

ホーム画面のアプリケーションの設定と使用の詳細を確認するには、次の手順を実行します。

- 1 <http://support.lexmark.com> に移動します。
- 2 [ソフトウェアソリューション]をクリックし、次のいずれかを実行します。
 - ネットワークへのスキャン ネットワークへのスキャン アプリケーションの詳細を確認できます。
 - その他のアプリケーション その他のアプリケーションの詳細を確認できます。
- 3 [マニュアル]タブをクリックし、ホーム画面のアプリケーションのマニュアルを選択します。

用紙とお気に入りセットアップする

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

使用	目的
	頻繁に使用されるオンライン用紙を直接プリンタのホーム画面からすばやく検索して印刷できるため、作業プロセスが合理化されます。 メモ: ブックマークの保存先であるネットワークフォルダ、FTP サイト、および Web サイトへのアクセス権をプリンタに付与しておく必要があります。ブックマークを保存したコンピュータから共有、セキュリティ、およびファイアウォールの設定を使用して、少なくとも読み取りアクセス権をプリンタに付与します。ヘルプについては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- 2 [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [用紙とお気に入り]をクリックします。
- 3 [追加]をクリックして、設定をカスタマイズします。

メモ:

 - 設定の説明については、各フィールドの横にマウスカーソルを置くと、ヘルプが表示されます。
 - ブックマークの場所の設定が正しいことを確認するには、ブックマークがあるホストコンピュータの IP アドレスを正しく入力します。ホストコンピュータの IP アドレスの取得の詳細については、「[コンピュータの IP アドレスを検索する](#)」、19 ページ を参照してください。
 - ブックマークがあるフォルダへのアクセス権がプリンタに割り当てられていることを確認します。
- 4 [適用]をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で **用紙とお気に入り** をタッチして、フォームカテゴリ内でフォームを選択するか、フォームの番号、名前、説明に基づいてフォームを検索します。

カードコピーをセットアップする

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

使用	目的
	保険証、身分証明書、およびその他の財布サイズのカードをすばやく簡単にコピーします。 1 ページにカードの両面をスキャンして印刷し、用紙を節約し、より便利な方法でカードの情報を表示できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [カードコピー] をクリックします。

3 必要に応じて、既定のスキャンオプションを変更します。

- [デフォルトのトレイ]—スキャン画像を印刷する際に使用する標準のトレイを選択します。
- [デフォルトの部数]—アプリケーションが使用されるときに、自動的に印刷する部数を指定します。
- [デフォルトのコントラスト設定]—スキャンされたカードのコピーが印刷されるときに、コントラストのレベルを増減するための設定を指定します。コントラストを自動調整する場合は、[内容に合わせて最適化]を選択します。
- [デフォルトの拡大縮小設定]—印刷時のスキャンされたカードのサイズを設定します。既定の設定は 100% (フルサイズ) です。
- [解像度設定]—スキャンされたカードの品質を調整します。

メモ:

- カードをスキャンするときには、必ずスキャン解像度が 200 dpi (カラー) または 400 dpi (モノクロ) 以下にしてください。
- 複数のカードをスキャンするときには、必ずスキャン解像度が 150 dpi (カラー) または 300 dpi (モノクロ) 以下にしてください。

- [枠の印刷]—チェックボックスをオンにすると、スキャン画像の周囲の枠線を印刷します。

4 [適用] をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で [カードコピー] をタッチして、指示に従ってください。

マイショートカットを使用する

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

使用	目的
	最大 25 の頻繁に使用するコピー、Fax、または E メールジョブ用に、プリンタの[ホーム]画面でショートカットを作成します。

アプリケーションを使用するには[マイショートカット]をタッチして、プリンタのディスプレイに表示される指示に従ってください。

マルチ送信をセットアップする

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

使用	目的
	文書をスキャンし、スキャンされた文書を複数の宛先に送信します。 メモ: プリンタハードディスクに十分な領域があることを確認してください。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。プリンタの IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- 2 [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [マルチ送信] をクリックします。

- 3 [プロファイル] セクションから、[追加] をクリックし、設定をカスタマイズします。

メモ:

- 設定の説明については、各フィールドの横にマウスカーソルを置くと、ヘルプが表示されます。
- [FTP] または [共有フォルダ] を宛先として選択する場合は、宛先の場所設定が正しいことを確認してください。指定された送信先が存在するホストコンピュータの IP アドレスを正しく入力します。ホストコンピュータの IP アドレスの取得の詳細については、「[コンピュータの IP アドレスを検索する](#)」、19 ページ を参照してください。

- 4 [適用] をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で [マルチ送信] をタッチして、プリンタのディスプレイに表示される指示に従ってください。

ネットワークへのスキャンをセットアップする

メモ: 新しいバージョンの『ユーザーガイド』には、このアプリケーションの『管理者ガイド』への直接リンクが含まれている場合があります。この『ユーザーガイド』の最新版を確認するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

使用	目的
	ハードコピーの原稿をスキャンして、共有のネットワークフォルダに転送できます。最大 30 個の一意のフォルダを転送先として定義できます。 メモ: - 転送先への書き込みアクセス権をプリンタに付与しておく必要があります。転送先を指定したコンピュータから共有、セキュリティ、およびファイアウォールの設定を使用して、少なくとも書き込みアクセス権をプリンタに付与します。ヘルプについては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。 [ネットワークへのスキャン]アイコンが表示されるのは、1 つ以上の転送先が定義されている場合に限定されます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 次のいずれかを実行します。

- [ネットワークへのスキャンをセットアップ]をクリック > [ここをクリック](#)。
- [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [ネットワークへのスキャン]をクリックします。

3 転送先を指定して、設定をカスタマイズします。

メモ:

- 設定の説明については、各フィールドの横にマウスカーソルを置くと、ヘルプが表示されます。
- 宛先の場所の設定が正しいことを確認するには、宛先があるホストコンピュータの IP アドレスを正しく入力します。ホストコンピュータの IP アドレスの取得の詳細については、[「コンピュータの IP アドレスを検索する」](#)、[19 ページ](#) を参照してください。
- 指定された宛先のフォルダへのアクセス権がプリンタに割り当てられていることを確認します。

4 [適用]をクリックします。

アプリケーションを使用するには、プリンタのホーム画面で **ネットワークへのスキャン**をタッチして、プリンタのディスプレイに表示される指示に従ってください。

遠隔操作パネルの設定

このアプリケーションでは、物理的にネットワークプリンタの近くにいない場合でも、プリンタコントロールパネルを操作できます。コンピュータから、プリンタの状況確認、保留印刷ジョブのリリース、ブックマーク作成などの、印刷関連タスクを実行できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 [設定] > [リモート操作パネル設定]をクリックします。

3 [有効化]チェックボックスを選択し、設定をカスタマイズします。

4 [送信]をクリックします。

アプリケーションを使用するには、[遠隔操作パネル] > [VNC アプレットを起動]をクリックします。

構成をエクスポート/インポートする

構成設定をテキストファイルにエクスポートして、そのテキストファイルをインポートすることで、設定を別のプリンタに適用できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

2 1 つのアプリケーションで設定をエクスポートまたはインポートするには、次の手順を実行します。

a [設定] > [アプリ] > [アプリ管理]の順にクリックします。

b [インストール済みアプリケーション]のリストから、構成するアプリケーションの名前をクリックします。

c [設定]をクリックし、次のいずれかを実行します。

- 構成をファイルにエクスポートするには、[エクスポート]をクリックしてから、コンピュータ画面の指示に従い、設定ファイルを保存します。

メモ:

- 設定ファイルを保存するときには、一意のファイル名を入力するか、デフォルトの名前を使用します。
- 「JVM メモリ不足」エラーが発生した場合は、設定ファイルが保存されるまで、エクスポートの手順を繰り返します。
- ファイルから設定をインポートするには、[インポート]をクリックしてから、以前に構成されたプリンタからエクスポートした保存済み設定ファイルを参照します。

メモ:

- 設定ファイルをインポートする前に、最初にプレビューするか、直接読み込むかを選択できます。
- タイムアウトが発生し、ブランクの画面が表示される場合は、Web ブラウザを更新し、[適用]をクリックします。

3 複数のアプリケーションで設定をエクスポートまたはインポートするには、次の手順を実行します。

a [設定] > [読み込み/書き出し]の順にクリックします。

b 次のいずれかを実行します。

- 設定ファイルをエクスポートするには、[Embedded Solutions 設定ファイルの書き出し]をクリックしてから、コンピュータ画面の指示に従い、設定ファイルを保存します。
- 設定ファイルをインポートするには、次の手順を実行します。
 - [Embedded Solutions 設定ファイルの読み込み] > [ファイルの選択]をクリックしてから、以前に構成されたプリンタからエクスポートした保存済み構成ファイルを参照します。
 - [送信]をクリックします。

追加のプリンタ設定

内部オプションを取り付ける

 **注意—感電危険:** プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

使用可能な内蔵オプション

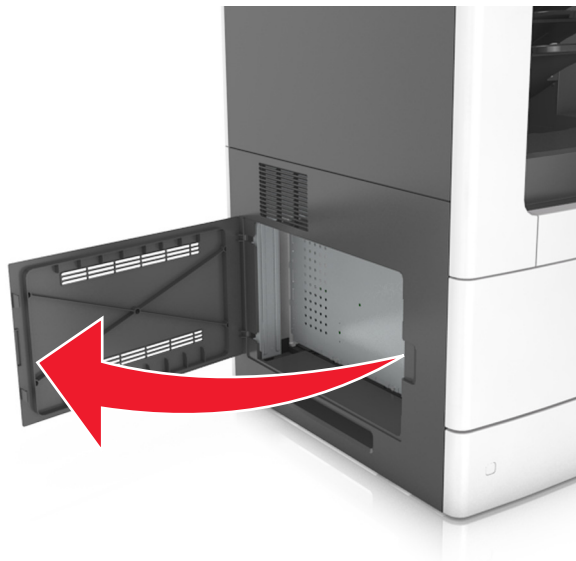
- メモリカード
 - DDR3 DIMM
 - フラッシュメモリ
 - フォント
 - ファームウェアカード
 - フォームバーコード
 - 規定
 - IPDS
 - PrintCryption
- Lexmark™ 内部ソリューションポート (ISP)
 - パラレル 1284-B インターフェイス
 - MarkNet™ N8350 802.11 b/g/n ワイヤレスプリンタサーバー
 - MarkNet N8130 10/100 ファイバーインターフェイス
 - RS-232-C シリアルインターフェイス

コントローラボードにアクセスする

メモ: この作業には、マイナスドライバが必要です。

⚠ 注意—感電危険: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

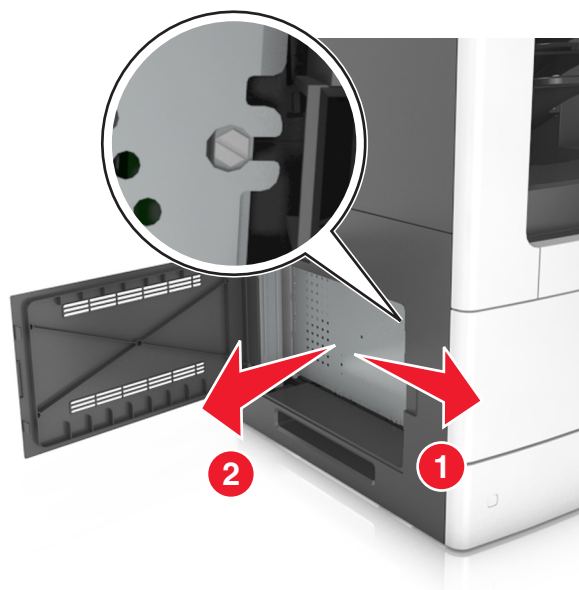
1 コントローラボードのアクセスカバーを開きます。



2 ネジ回しを使用して、コントローラボードシールドのネジを緩めます。

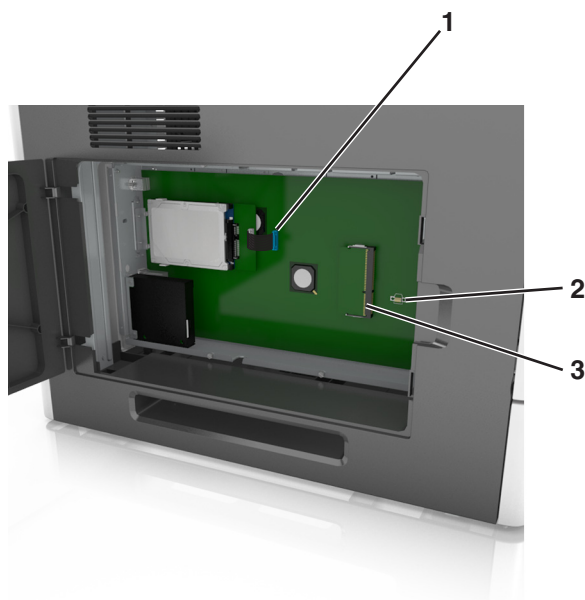


3 シールドを取り外します。



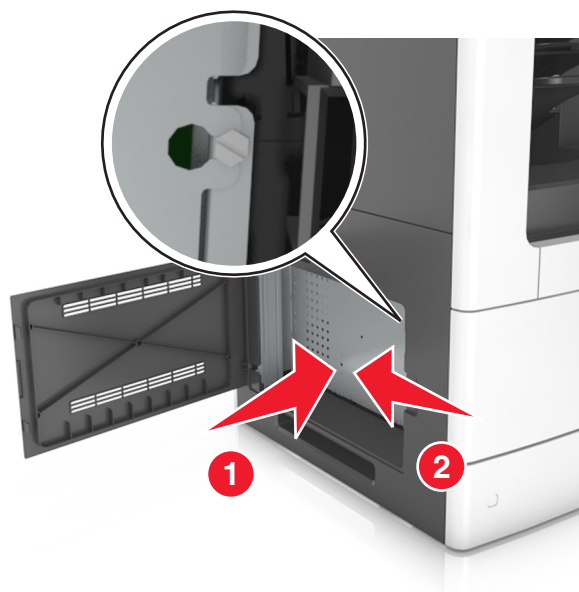
4 次の図を使用して、該当するコネクタを見つけます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



1	Lexmark 内蔵ソリューションポートまたはプリンタハードディスクコネクタ
2	オプションカードコネクタ
3	メモ리카ードコネクタ

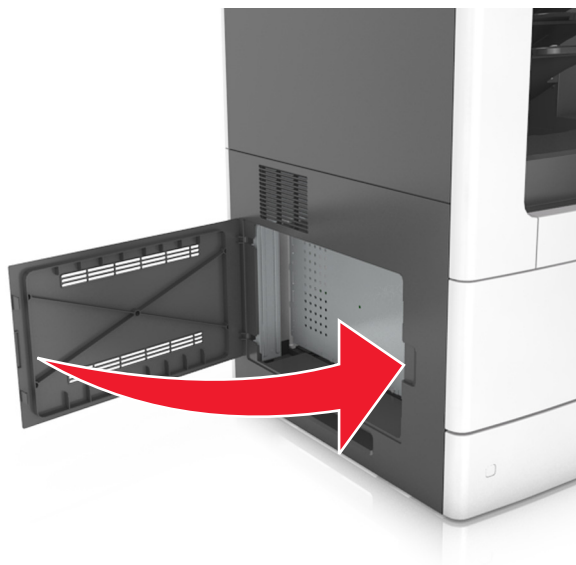
5 シールドを再取り付けし、ネジを穴に合わせます。



6 シールドのネジを締めます。



7 アクセスカバーを閉じます。



メモ리카ードを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分を触ります。

オプションのメモ리카ードを個別に購入し、コントローラボードに接続できます。

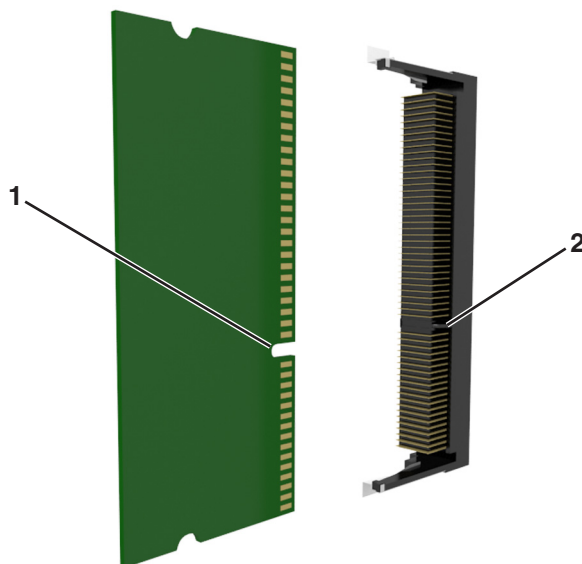
1 コントローラボードにアクセスします。

詳細については、[「コントローラボードにアクセスする」](#)、26 ページ を参照してください。

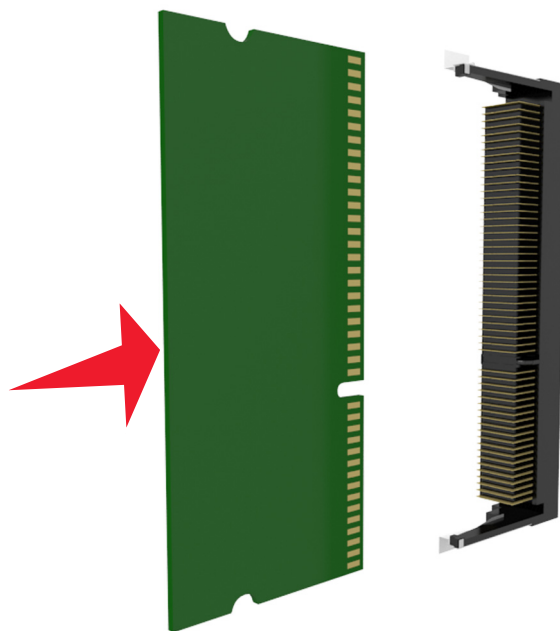
2 メモ리카ードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。損傷の原因となる可能性があります。

- 3 メモリカードの切り欠き部分 (1) をコネクタの突起 (2) に合わせます。



- 4 メモリカードをコネクタに真っすぐ押し入れ、所定の場所でカチッと音がするまで、コントローラボード壁の方に押しします。



- 5 コントローラボードシールドを再接続し、コントローラボードのアクセスカバーを再接続します。

オプションカードを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。プリンタに他のデバイスを接続している場合はそれらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電子部品は静電気によって破損する恐れがあります。コントローラボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面に触れてください。

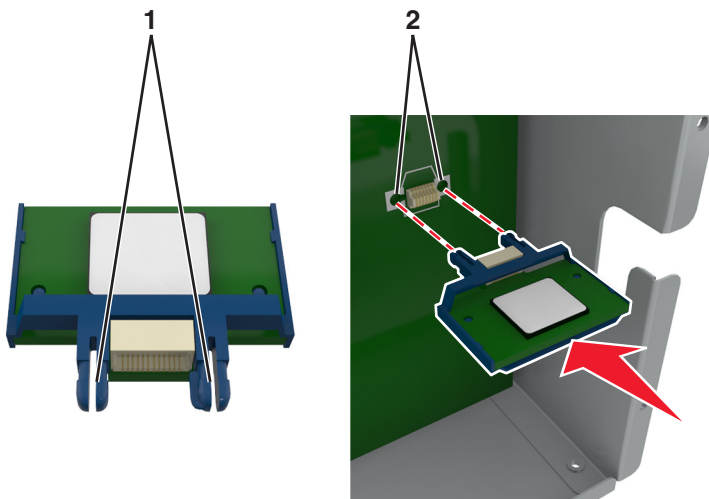
1 コントローラボードにアクセスします。

(⇒ [「コントローラボードにアクセスする」](#)、26 ページ)

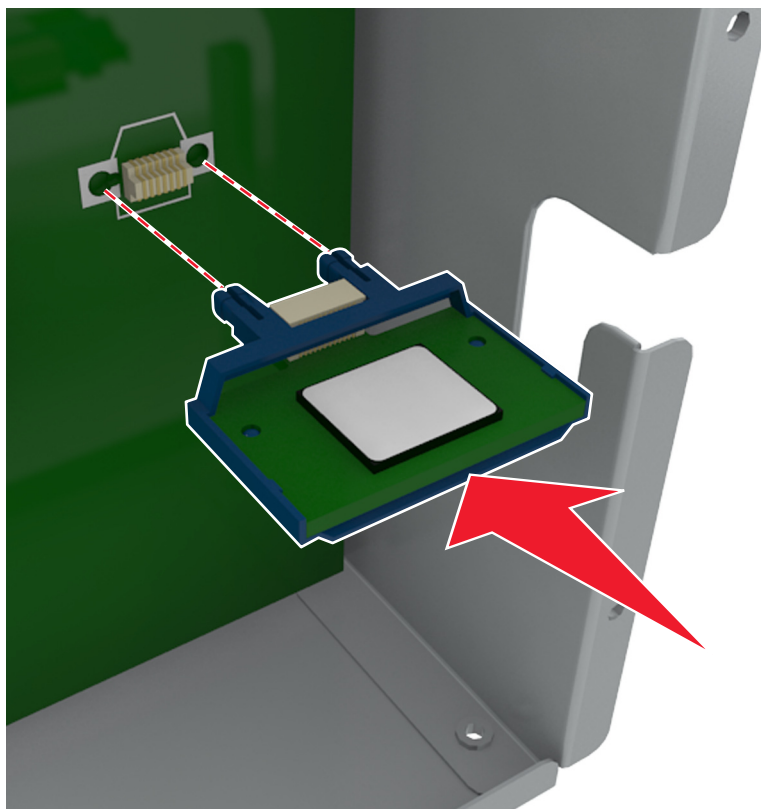
2 オプションカードを梱包から取り出します。

警告—破損の恐れあり: カードの端にある接点には触れないでください。

3 カードの側面を持ち、カードのプラスチックピン(1)をコントローラボードの穴(2)に合わせます。



4 図に示すようにして、カードをしっかり押し込みます。



警告—破損の恐れあり: カードを正しく挿入しないと、カードやコントローラボードを破損する恐れがあります。

メモ: カードのコネクタ全体がコントローラボードに触れ、水平になっている必要があります。

5 コントローラボードのアクセスドアを閉じます。

メモ: プリンタソフトウェアとハードウェアオプションをインストールした場合、印刷ジョブでできるようにするためにプリンタドライバのオプションを手動で追加しなければならない場合があります。(⇒ [「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)、50 ページ)

内蔵ソリューションポートを取り付ける

コントローラボードは 1 つのオプションの Lexmark 内蔵ソリューションポート (ISP) をサポートしています。

メモ: この作業には、マイナスドライバが必要です。

⚠ 注意—感電危険: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

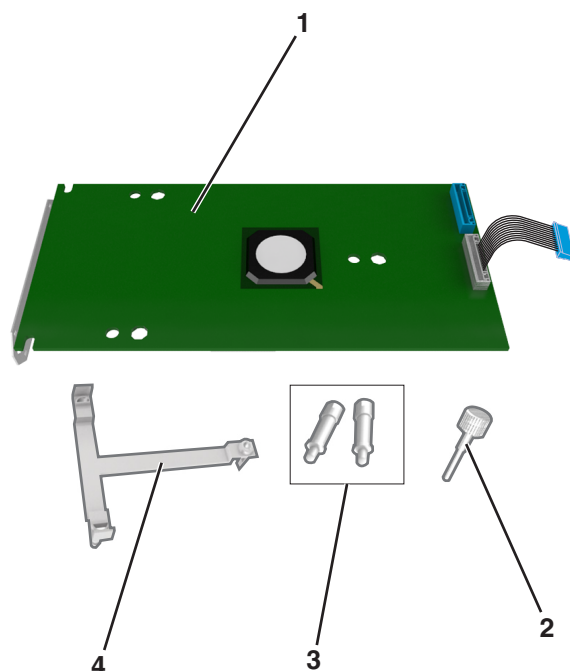
1 コントローラボードにアクセスします。

詳細については、[「コントローラボードにアクセスする」](#)、26 ページ を参照してください。

2 プリンタハードディスクが取り付けられている場合、最初にプリンタハードディスクを取り外します。

詳細については、[「プリンタハードディスクを取り外す」](#)、42 ページ を参照してください。

3 ISP キットを開梱します。



1	ISP ソリューション
2	プラスチック製のブラケットを ISP に取り付けるためのネジ
3	ISP 取り付けブラケットをコントローラボードシールドに取り付けるためのネジ

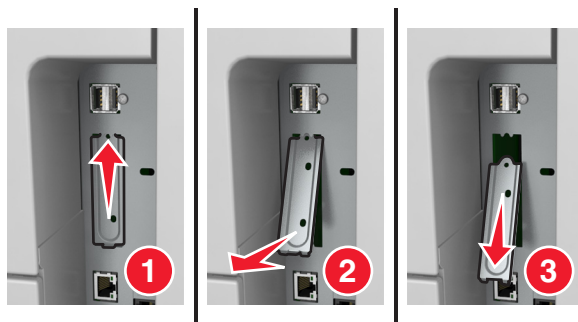
4	プラスチックブラケット
---	-------------

4 金属のカバーを ISP 開口部から取り外します。

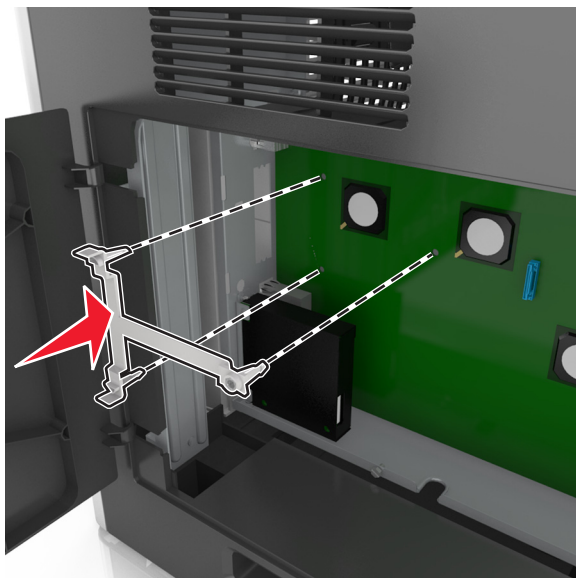
a ネジを緩めます。



b 金属のカバーを持ち上げ、完全に引き出します。

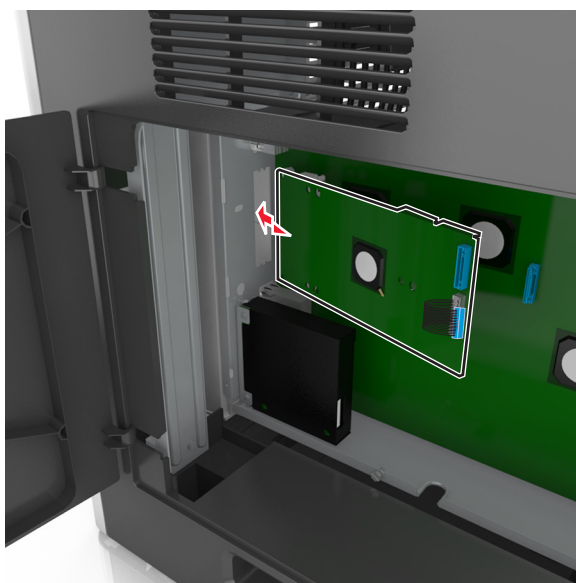


- 5 プラスチックブラケットの棒をコントローラボードケース上の穴に合わせ、所定の位置でカチッと音がするまで、コントローラボードケース上のプラスチックブラケットを押します。



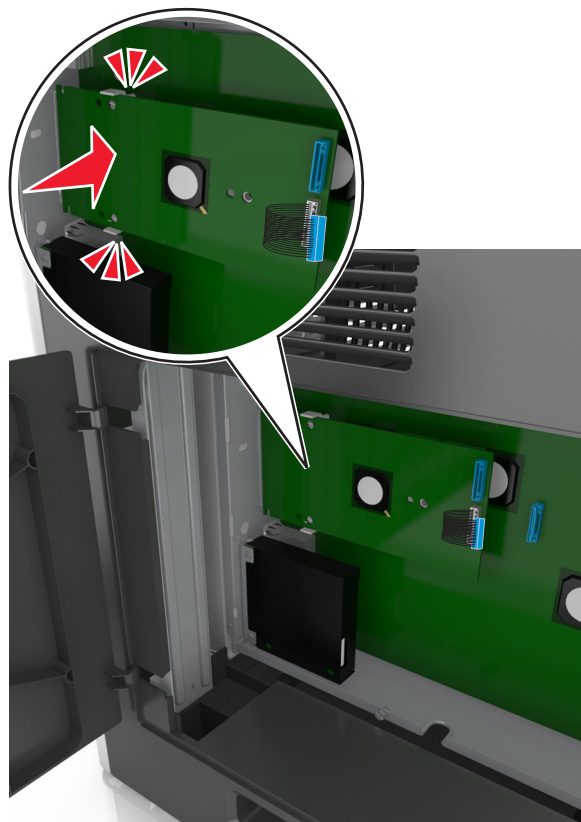
メモ: プラスチックブラケットのラッチが完全にかかり、プラスチックブラケットがケース上にしっかりと固定されていることを確認します。

- 6 プラスチックブラケットに ISP を取り付けます。

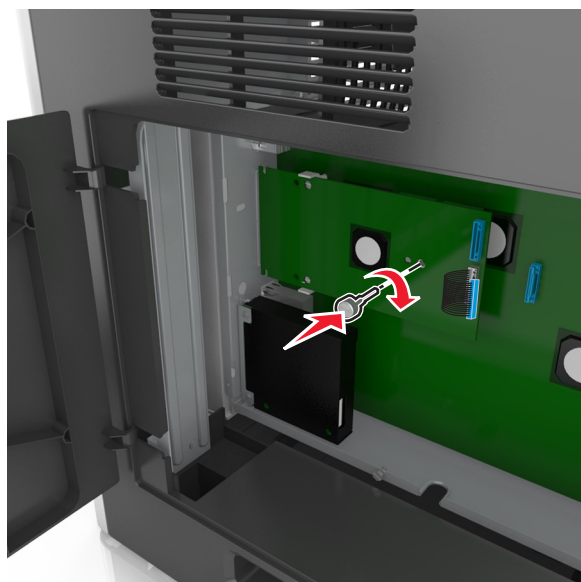


メモ: プラスチックブラケット上で角度を付けて ISP を持ち、上に突き出ているコネクタがケースの ISP 開口部経由で通過するようにします。

7 ISP がプラスチックブラケットのガイドの間に収まるまで、ISP をプラスチックブラケットの方向に下げます。

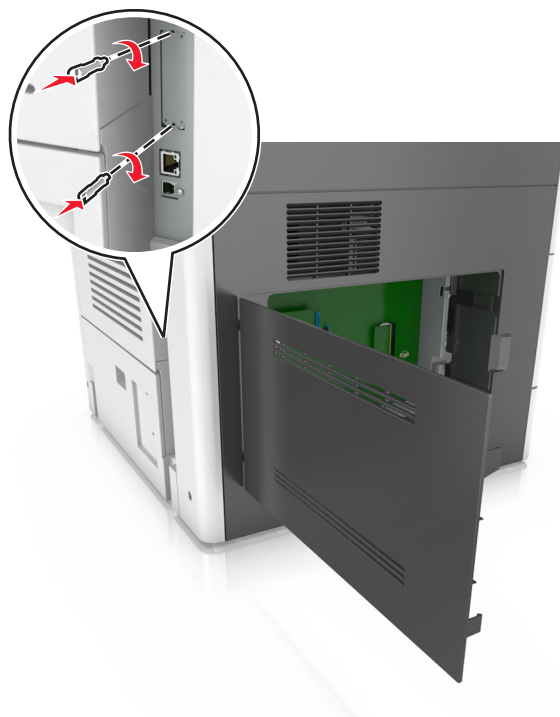


8 付属の蝶ネジを使用して、プラスチックブラケットを ISP に取り付けます。



メモ: ネジを時計方向に回し、ISP を固定します。十分に固定する必要がありますが、締めすぎないでください。

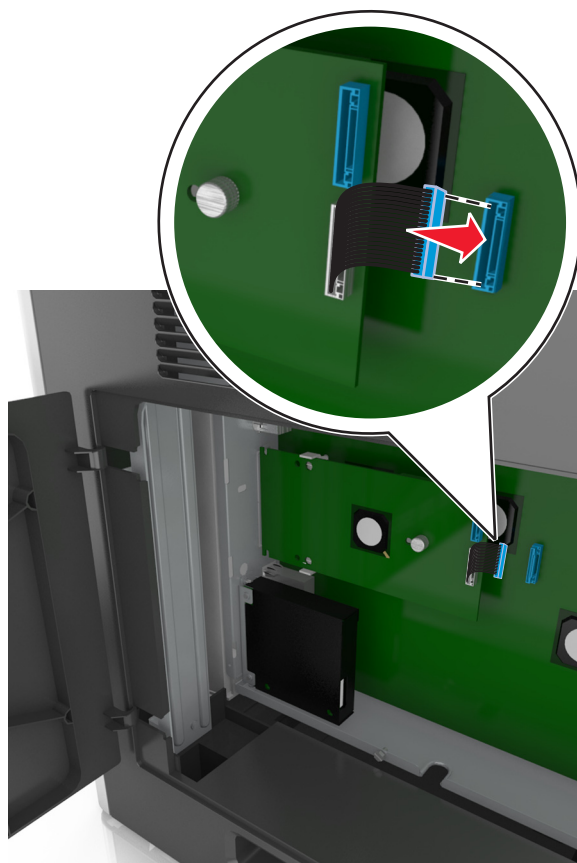
9 2本の付属のネジを取り付け、ISP 取り付けブラケットをコントローラボードシールドに取り付けます。



10 ISP に取り付けられている蝶ネジを締めます。

警告—破損の恐れあり: ネジを締めすぎないでください。

11 ISP ソリューションのインターフェイスケーブルをコントローラボードのソケットに差し込みます。



メモ: プラグとレセプタクルは色分けされています。

プリンタハードディスクを取り付ける

メモ: この作業には、マイナスドライバが必要です。

⚠ 注意—感電危険: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

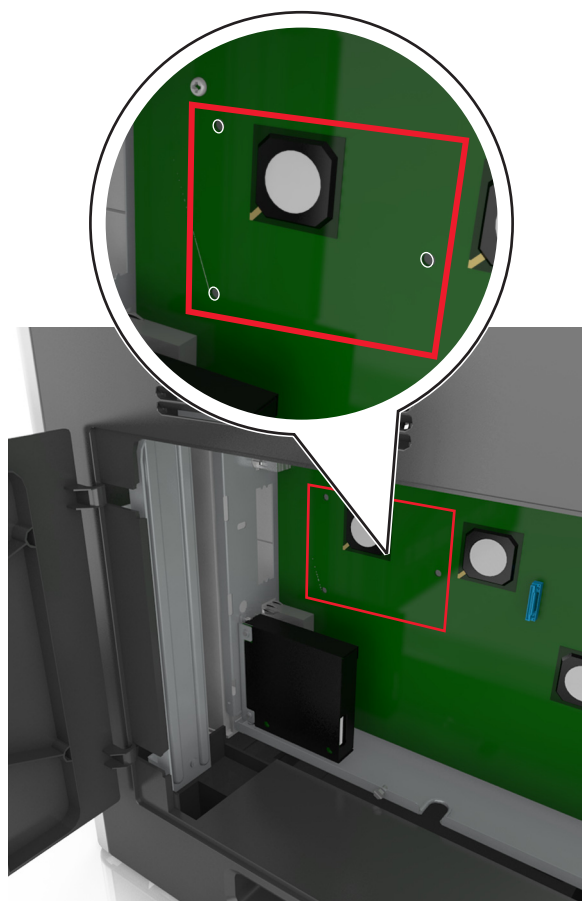
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

1 コントローラボードにアクセスします。

詳細については、「[コントローラボードにアクセスする](#)」、26 ページ を参照してください。

2 プリンタハードディスクを開梱します。

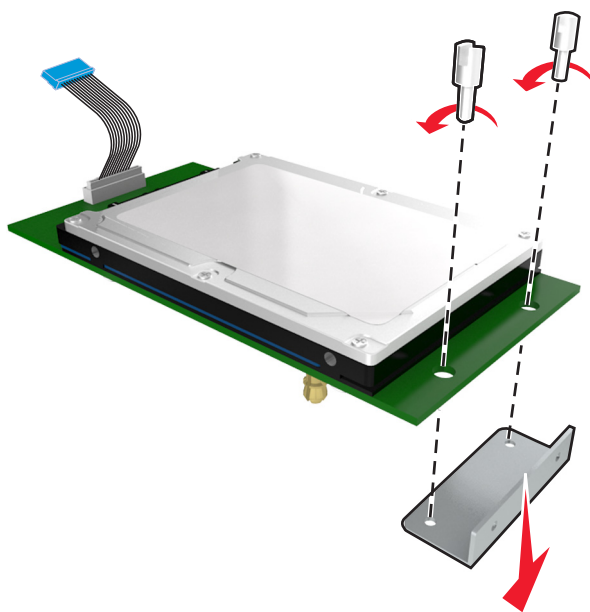
3 コントローラボードケースで該当するコネクタを見つけます。



メモ: オプション ISP が取り付けられている場合は、プリンタハードディスクを ISP に取り付ける必要があります。

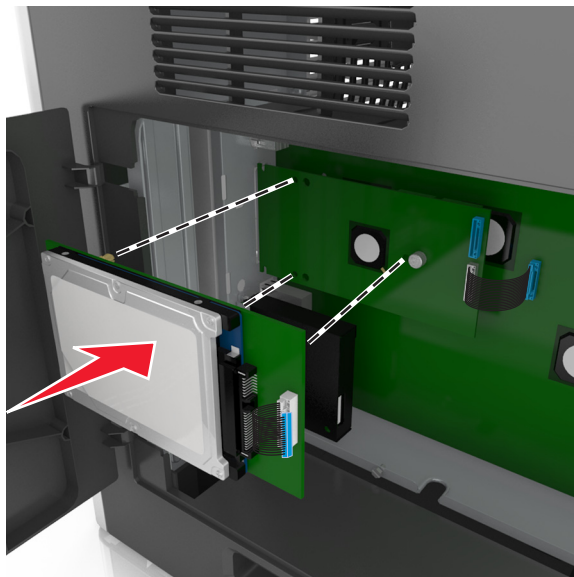
ISP のプリンタハードディスクを取り付けるには、次の手順に従います。

a ブラケットを取り付けているプリンタハードディスクのネジを外し、ブラケットを外します。



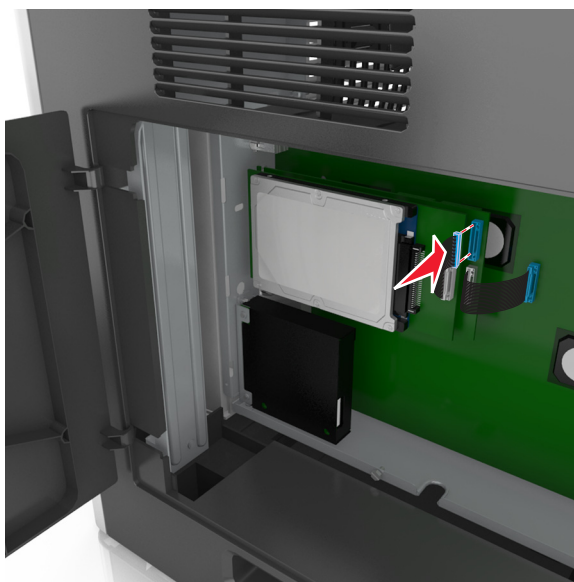
- b** プリンタハードディスクの絶縁体を ISP の穴に合わせ、絶縁体がはまるまで、プリンタハードディスクを下に押しします。

取り付けに関する警告: 印刷回路板アセンブリの端のみを持ちます。プリンタハードディスクの中央に触れたり、押したりしないでください。損傷の原因となる可能性があります。



- c** プリンタハードディスクのインターフェースケーブルを ISP ボードのソケットに差し込みます。

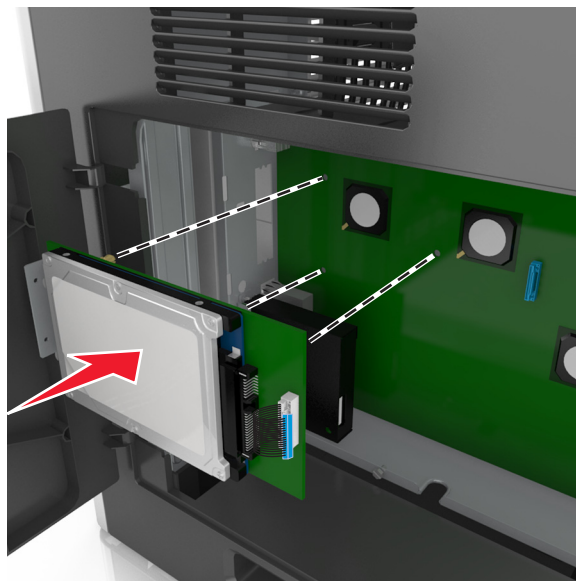
メモ: プラグとレセプタクルは色分けされています。



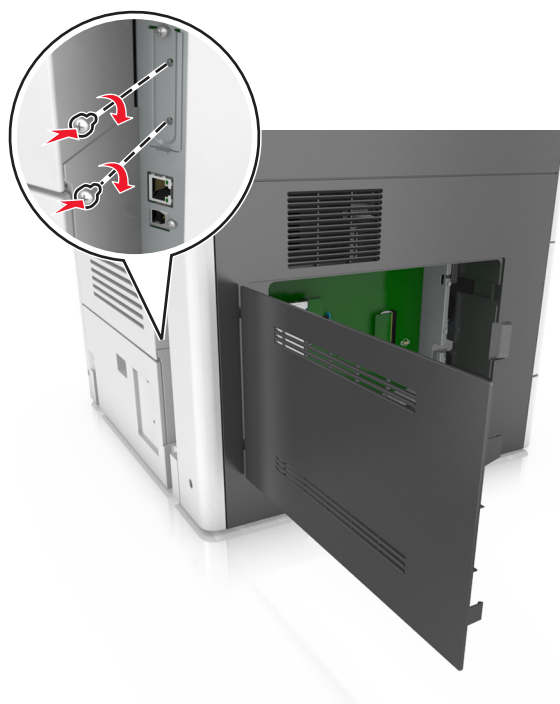
プリンタハードディスクをコントローラボードページに取り付けるには、次の手順に従います。

- a** プリンタハードディスクの絶縁体をコントローラボードページの穴に合わせ、絶縁体がはまるまで、プリンタハードディスクを下に押しします。

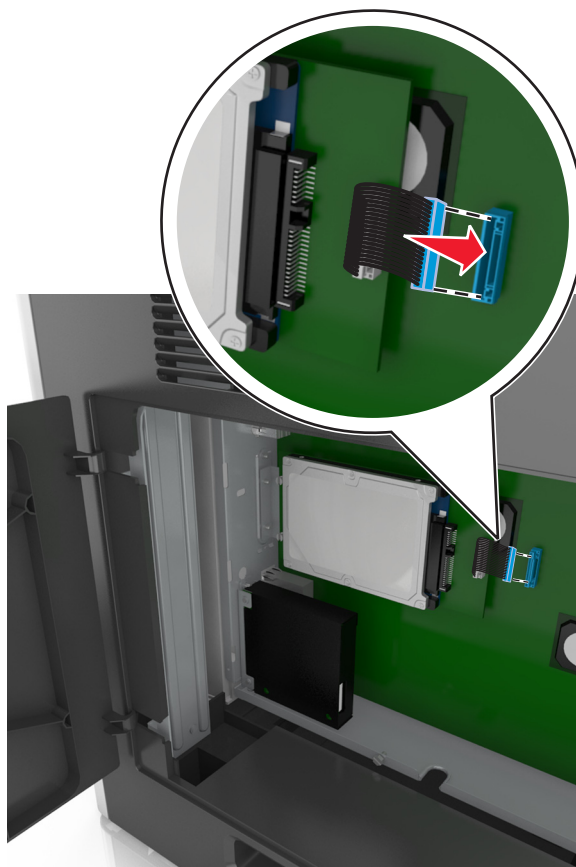
取り付けに関する警告: 印刷回路板アセンブリの端のみを持ちます。プリンタハードディスクの中央に触れたり、押したりしないでください。損傷の原因となる可能性があります。



b 2つの同梱のネジを使用し、ブラケットを取り付けているプリンタハードディスクを取り付けます。



c プリンタハードディスクインターフェースケーブルのプラグを、コントローラボードのレセプタクルに挿入します。
メモ: プラグとレセプタクルは色分けされています。



プリンタハードディスクを取り外す

メモ: この作業には、マイナスドライバーが必要です。

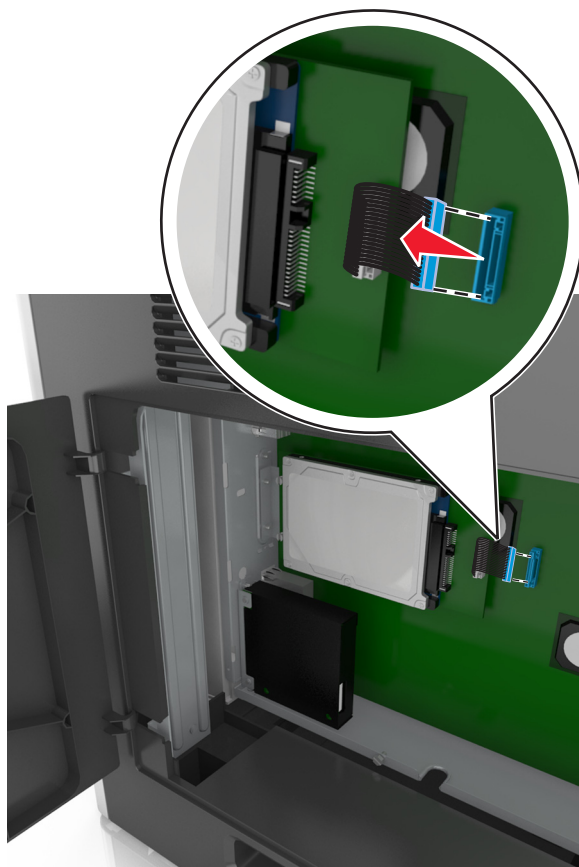
⚠ 注意—感電危険: プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。

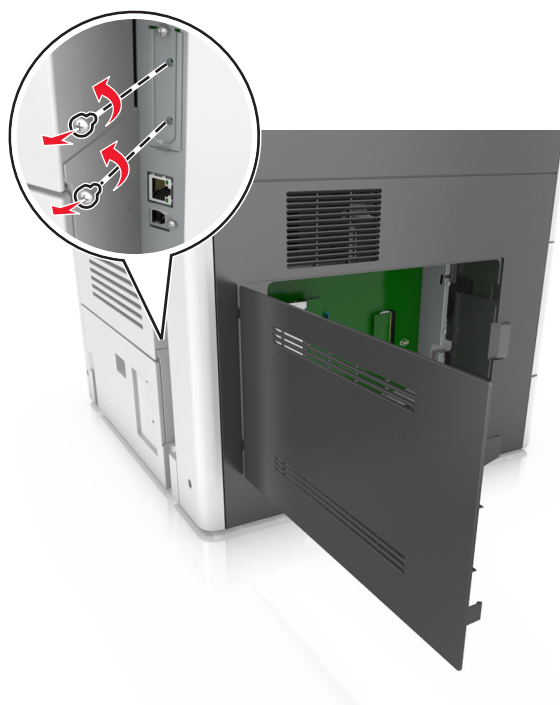
- 1 コントローラボードにアクセスします。

詳細については、[「コントローラボードにアクセスする」](#)、26 ページ を参照してください。

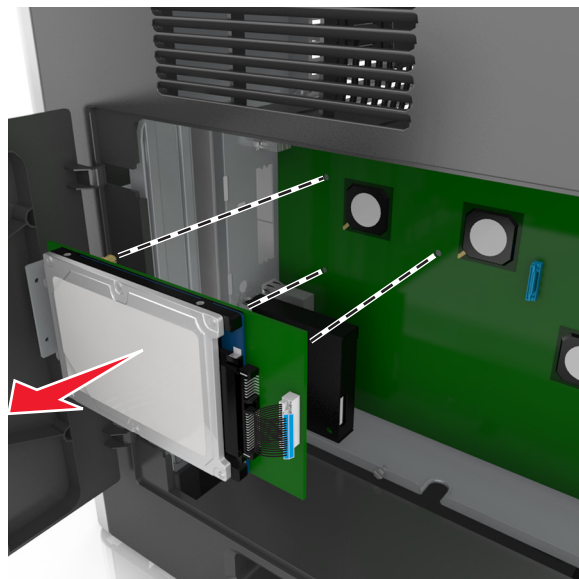
- 2 プリンタハードディスクインターフェイスケーブルをコントローラボードのレセプタクルから抜き、ケーブルをプリンタハードディスクに接続したままにします。ケーブルを抜くには、ケーブルを引っ張る前に、インターフェイスケーブルのプラグのパドルをつまみ、ラッチを外します。



3 プリンタハードディスクを固定するネジを外します。



4 プリンタハードディスクを取り外します。



5 プリンタハードディスクを取り外します。

ハードウェアオプションを取り付ける

取り付け順序

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

 **注意—転倒危険:** 本製品を床に設置する場合は、安定させるために追加の備品が必要です。複数の入力オプションを使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、および FAX 機能を持つプリンタ複合機 (MFP) を購入した場合は、追加の備品が必要になることがあります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

 **注意—感電危険:** プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

次の順序で、プリンタと購入したオプションを取り付けます。

- キャスターベース
- オプションの 2100 または 550 枚トレイ
- プリンタ

キャスターベースまたはフィニッシャーの詳細については、オプションに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。

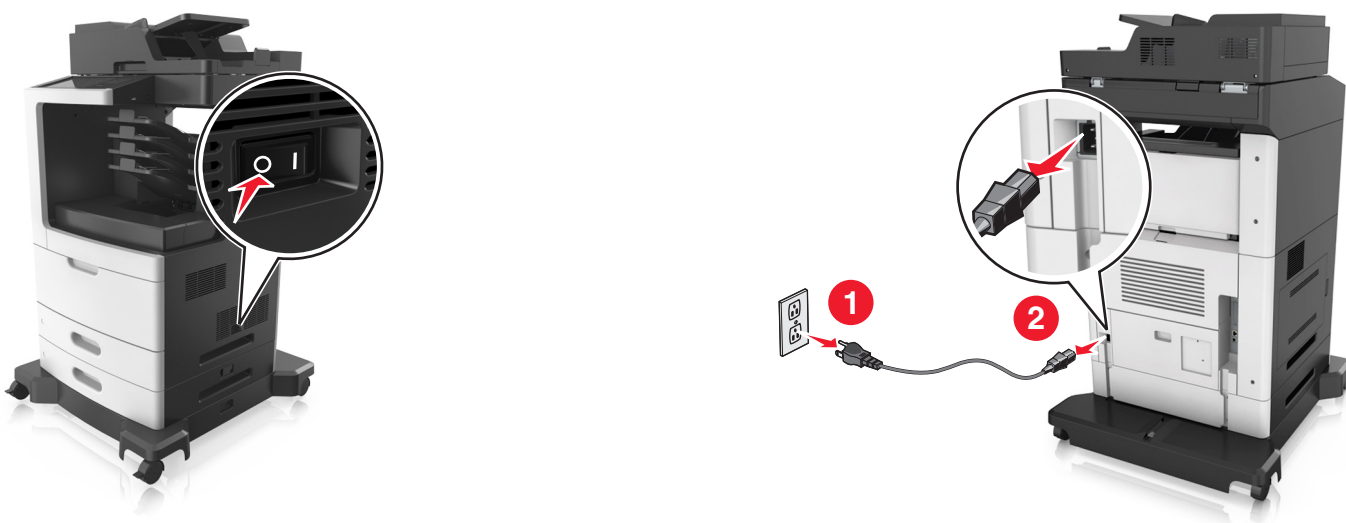
オプショントレイを取り付ける

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

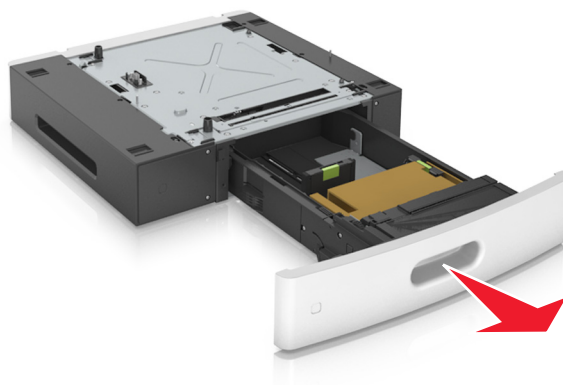
 **注意—感電危険:** プリンタの設定後、コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前に、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

 **注意—転倒危険:** 本製品を床に設置する場合は、安定させるために追加の備品が必要です。複数の入力オプションを使用している場合は、プリンタスタンドまたはプリンタベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、および FAX 機能を持つプリンタ複合機 (MFP) を購入した場合は、追加の備品が必要になることがあります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

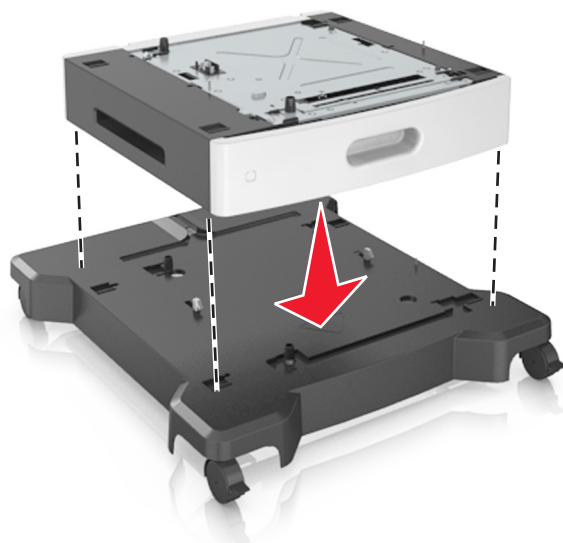
- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。



- 2 オプショントレイを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。
- 3 トレイをベースから完全に引き出します。



- 4 トレイ内部の梱包材を取り除きます。
 - 5 トレイをベースに挿入します。
 - 6 トレイをプリンタの近くに置きます。
 - 7 オプションのトレイをキャスターベースに合わせます。
- メモ: 必ず、キャスターベースの車輪をロックし、プリンタを固定します。



8 プリンタをトレイに合わせ、ゆっくりとプリンタを下げます。

メモ: オプショントレイを積み重ねると、まとめてロックされます。



9 電源コードをプリンタと正しく接地されたコンセントに接続し、プリンタの電源を入れます。



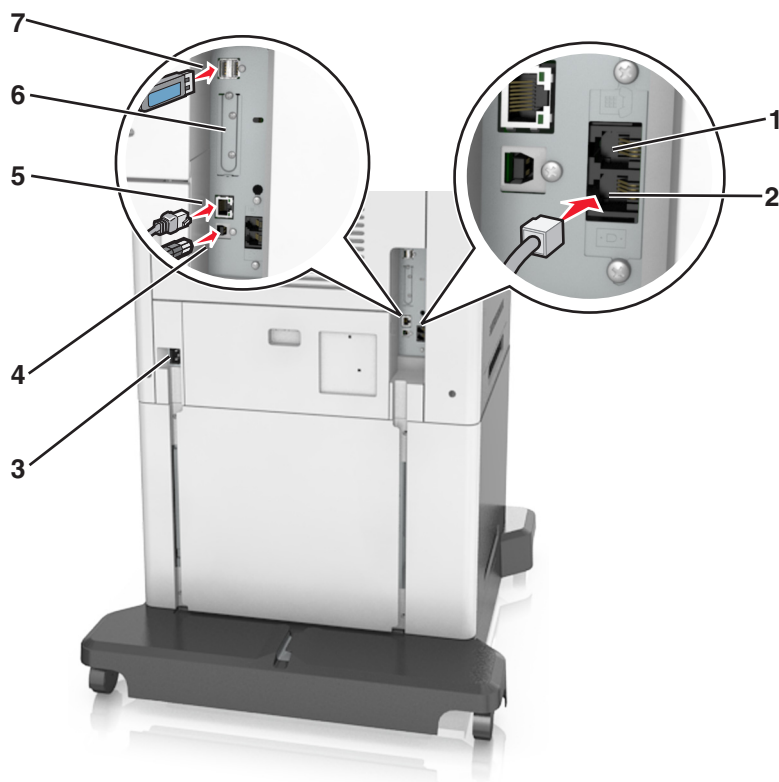
メモ: プリンタソフトウェアとオプショントレイがインストールされたとき、プリンタドライバのオプションを手動で追加し、印刷ジョブで使用できるようにしなければならない場合があります。詳細については、[「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)、50 ページ を参照してください。

オプショントレイを取り外すには、所定の位置でカチッと音がするまで、プリンタの右側のラッチをプリンタの正面に向かってスライドします。次に、積み重ねられたトレイと上から下へ一度に取り外します。

ケーブルを接続する

-  **注意—感電危険:** プリンタの外部を清掃する際には、雷雨時には、本機のセットアップ、電源コード、FAX 機能などの電氣的接続、電話などとのケーブル接続を行わないでください。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電のリスクを回避するため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのお客様は、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

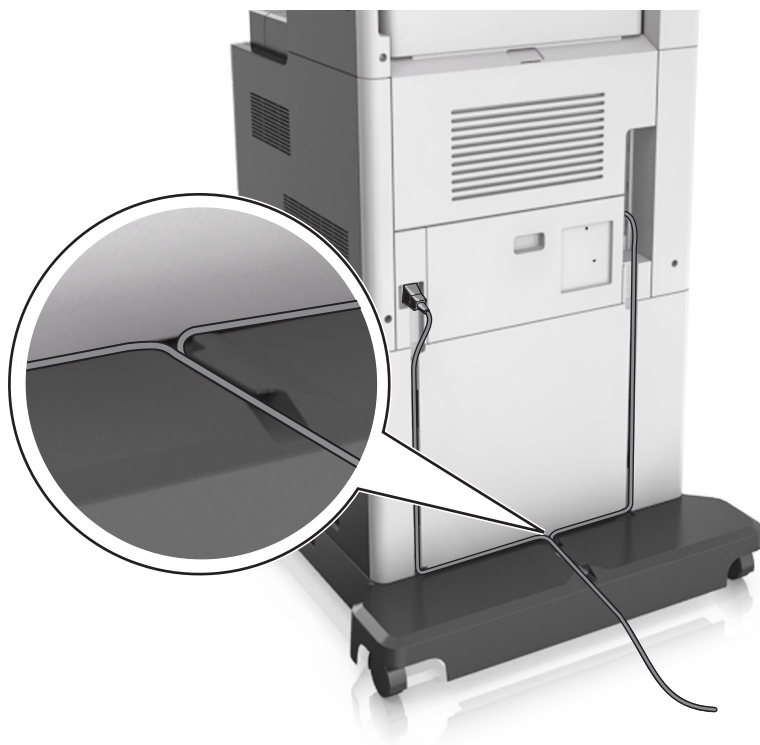
警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、印刷を実行している間は、USB ケーブル、ワイヤレスネットワークアダプタ、または以下のエリアのプリンタに触れないでください。



	項目	目的
1	EXT ポート	追加デバイス(電話または留守番電話)をプリンタおよび電話回線に接続します。プリンタ用の専用 Fax 回線がなく、この接続方法が国または地域でサポートされている場合には、このポートを使用します。 メモ: ポートにアクセスするには、アダプタプラグを取り外します。
2	LINE ポート	標準壁ジャック (RJ-11)、DSL フィルタ、または VoIP アダプタ、または Fax を送受信するために電話回線にアクセスできるその他のアダプタ経由で、プリンタをアクティブな電話回線に接続します。
3	電源コードソケット	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。
4	USB プリンタポート	プリンタをコンピュータに接続します。
5	イーサネットポート	プリンタをイーサネットネットワークに接続します。
6	内蔵ソリューションポート (ISP) またはプリンタのハードディスクロット メモ: プリンタがワイヤレス接続をサポートしている場合、ワイヤレスアンテナをここに接続します。	ISP またはプリンタハードディスクを接続します。
7	USB ポート	互換性のあるオプションを接続します。

ケーブルの整理

イーサネットケーブルと電源コードを接続し、プリンタ背面のチャンネルでケーブルがほぼ格納されるようにします。



プリンタソフトウェアをセットアップする

プリンタソフトウェアをインストールする

- 1 ソフトウェアインストーラパッケージのコピーを取得します。
- 2 インストーラを実行して、コンピュータ画面の手順に従います。
- 3 Macintosh ユーザーの場合は、プリンタを追加します。

メモ: [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションからプリンタの IP アドレスを取得します。

プリントドライバの使用可能なオプションを追加する

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 更新するプリンタを選択して、次の手順を実行します。
 - Windows 7 以降の場合は、[プリンタのプロパティ]を選択します。
 - それ以前のバージョンの場合は、[プロパティ]を選択します。

3 [設定]タブに移動して、[今すぐ更新 - プリンタに照会]を選択します。

4 変更を適用します。

Macintosh の場合

1 アップルメニューの[システム環境設定]からお使いのプリンタに移動して、[オプションとサプライ]を選択します。

2 ハードウェアオプションの一覧に移動して、設置済みのオプションを追加します。

3 変更を適用します。

ネットワーク

メモ:

- プリンタをワイヤレスネットワーク上にセットアップする前に、MarkNet N8350 ワイヤレスネットワークアダプタを購入してください。ワイヤレスネットワークアダプタのインストールについては、アダプタに同梱されているセットアップシートを参照してください。
- SSID (Service Set Identifier) は、ワイヤレスネットワークに割り当てられた名前です。WEP (Wired Equivalent Privacy)、WPA (Wi-Fi Protected Access)、および WPA2 は、ネットワーク上で使用されるセキュリティの種類です。

プリンタをイーサネットネットワーク上にセットアップする準備をする

イーサネットネットワーク接続用にプリンタを設定するには、開始前に以下の情報をまとめておいてください。

メモ: コンピュータとプリンタの IP アドレスが自動で割り当てられる場合は、プリンタのインストールを続けてください。

- プリンタがネットワークで使用する有効で固有の IP アドレス
- ネットワークゲートウェイ
- ネットワークマスク
- プリンタのニックネーム (任意)

メモ: プリンタのニックネームを使うと、ネットワーク上でお使いのプリンタを特定するのが簡単になります。プリンタのニックネームには、既定のものを選択することも、覚えやすい名前を指定することもできます。

プリンタをネットワークへ接続するためのイーサネットケーブルと、実際にネットワークへ接続することができる利用可能なポートが必要です。損傷したケーブルにより発生する問題を防ぐために、なるべく新しいネットワークケーブルを使用してください。

ワイヤレスネットワークでプリンタを設定する準備をする

メモ:

- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールされ、正しく動作していることを確認します。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。
- アクセスポイント (ワイヤレスルーター) がオンで、正しく動作していることを確認します。

ワイヤレスネットワークでプリンタを設定する前に、次の情報があることを確認します。

- **SSID**—SSID は、ネットワーク名とも呼ばれます。
- **ワイヤレスモード (ネットワークモード)**—インフラモードまたはアドホックモードのどちらかです。

- **チャンネル(アドホックネットワークの場合)**—インフラネットワークの標準設定では、チャンネルは自動に設定されます。

一部のアドホックネットワークでも、自動に設定する必要があります。どちらのチャンネルを選択すればよいのか分からない場合は、システムサポート担当者に問い合わせてください。

- **セキュリティ方式**—セキュリティ方式として、以下の 4 つの基本オプションが用意されています。

- WEP キー

ネットワークで複数の WEP キーを使用している場合、用意されているスペースに 4 つまで入力できます。既定の WEP 送信キーを選択して、現在ネットワークで使用しているキーを選択します。

- WPA または WPA2 事前共有キーまたはパスフレーズ

WPA では、暗号化によるセキュリティの層が追加されています。暗号化の種類としては、AES または TKIP を選択できます。ルーターとプリンタで、同じ種類の暗号化を設定する必要があります。暗号化の種類が異なる場合、プリンタはネットワークと通信できなくなります。

- 802.1X-RADIUS

802.1X ネットワークにプリンタを接続する場合、以下の情報が必要になることがあります。

- 認証の種類
- 内部認証の種類
- 802.1X ユーザー名とパスワード
- 証明書

- セキュリティなし

ワイヤレスネットワークでセキュリティを全く使用していない場合、セキュリティ情報も存在しません。

メモ: セキュリティ保護のないワイヤレスネットワークを使用することは推奨しません。

メモ:

- コンピュータの接続先であるネットワークの SSID が不明な場合は、コンピュータネットワークアダプタのワイヤレスユーティリティを起動して、ネットワーク名を確認します。ネットワークの SSID やセキュリティ情報を確認できない場合は、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照するか、システムサポート担当者に問い合わせてください。
- ワイヤレスネットワークの WPA/WPA2 事前共有キーまたはパスフレーズを確認するには、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照するか、アクセスポイントと関連付けられている内蔵 WEB サーバー(EWS)を参照するか、システムサポート担当者に問い合わせてください。

ワイヤレスセットアップウィザードを使用してプリンタを接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールされ、正しく動作していること。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。
- イーサネットケーブルがプリンタから切断されていること。
- [アクティブ NIC]を[自動]に設定します。[自動]に設定するには、次の手順を実行します。



> [ネットワーク/ポート] > [アクティブ NIC] > [自動] > [送信]

メモ: プリンタの電源を切り、5 秒間以上待機してから、プリンタの電源を入れます。

- 1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

 > [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク 設定 [x]] > [ワイヤレス] > [ワイヤレス接続設定]

- 2 ワイヤレス接続設定を選択します。

使用	目的
ネットワークを検索	使用可能なワイヤレス接続を表示します。 メモ: このメニュー項目には、すべての保護されているか、保護されていないブロードキャスト SSID が表示されます。
ネットワーク名を入力	手動で SSID を入力します。 メモ: 正しい SSID を入力していることを確認します。
Wi-Fi Protected Setup	Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用して、プリンタをワイヤレスネットワークに接続します。

- 3 プリンタディスプレイの指示に従います。

Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使用して、プリンタをワイヤレスネットワークに接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- アクセスポイント(ワイヤレスルーター)が Wi-Fi Protected Setup (WPS) 認証済みまたは WPS 対応であること。詳細については、アクセスポイントに同梱されているマニュアルを参照してください。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールおよび接続され、正しく動作していること。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。

プッシュボタン構成方法を使用する

- 1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

 > [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク[x]] > [ネットワーク設定[x]] > [ワイヤレス] > [ワイヤレス接続設定] > [WPS (Wi-Fi Protected Setup)] > [プッシュボタン方式を開始]

- 2 プリンタディスプレイの指示に従います。

個人 ID 番号方式(PIN) を使用する

- 1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

 > [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク[x]] > [ネットワーク設定[x]] > [ワイヤレス] > [ワイヤレス接続設定] > [WPS (Wi-Fi Protected Setup)] > [暗証番号方式を開始]

- 2 8 桁の WPS PIN をコピーします。

- 3 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力します。

メモ:

- IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 4 WPS 設定にアクセスします。詳細については、アクセスポイントに同梱されているマニュアルを参照してください。
- 5 8 桁の PIN を入力し、設定を保存します。

内蔵 Web サーバーを使用して、プリンタをワイヤレスネットワークに接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- プリンタが一時的にイーサネットネットワークに接続されていること。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタにインストールされ、正しく動作していること。詳細については、ワイヤレスネットワークアダプタに同梱されている手順シートを参照してください。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタコントロールパネルでプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス]の順にクリックします。

- 3 設定を修正し、アクセスポイント(ワイヤレスルーター)の設定に合わせます。

メモ: 必ず正しい SSID、セキュリティ方式、事前共有キーまたはパスフレーズ、ネットワークモード、およびチャンネルを入力します。

- 4 [送信]をクリックします。

- 5 プリンタの電源を切り、イーサネットケーブルを切断します。次に、5 秒以上待機し、プリンタの電源を入れます。

- 6 プリンタがネットワークに接続しているかどうかを確認するために、ネットワーク設定ページを印刷します。次に、[ネットワークカード [x]] セクションで、状況が[接続済み]かどうかを確認します。

内蔵ソリューションポートを取り付けた後でポート設定を変更する

メモ:

- 静的な IP アドレスがプリンタに割り当てられている場合は、設定を変更しないでください。
- IP アドレスの代わりにネットワーク名を使用するようにコンピュータが設定されている場合は、設定を変更しないでください。
- 以前はイーサネット接続用に設定されていたプリンタにワイヤレス内蔵ソリューションポート(ISP)を追加する場合は、プリンタをイーサネットネットワークから切り離します。

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 新しい ISP を追加したプリンタのショートカットメニューから、プリンタのプロパティを開きます。
- 3 リストからポートを設定します。
- 4 IP アドレスを更新します。
- 5 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの「システム環境設定」から、プリンタの一覧に移動して、「+ > IP」の順に選択します。
- 2 アドレスフィールドに IP アドレスを入力します。
- 3 変更を適用します。

シリアル印刷を設定する (Windows のみ)

- 1 プリンタでパラメータを設定します。
 - a コントロールパネルから、ポート設定のメニューを選択します。
 - b シリアルポート設定のメニューを選択し、必要に応じて、設定を調整します。
 - c 変更を適用します。
- 2 コンピュータでプリンタフォルダを開き、プリンタを選択します。
- 3 [プリンタプロパティ]を開き、リストから[COM ポート]を選びます。
- 4 [デバイスマネージャ]で COM ポートのパラメータを設定します。

メモ:

- シリアル印刷では印刷速度が遅くなります。
- プリンタのシリアルポートにシリアルケーブルが接続されていることを確認します。

プリンタ設定を確認する

すべてのハードウェアおよびソフトウェアオプションが実装され、プリンタの電源を入れたら、次を印刷してプリンタが正しく設定されていることを確認します。

- **メニュー設定ページ**—このページを使用して、すべてのプリンタオプションが正しく実装されていることを確認します。設置済みオプションの一覧が、ページ下部の方に表示されます。設置したオプションが一覧にない場合は、正しく設置されていません。オプションを取り外し、再度設置してください。
- **ネットワーク設定ページ**—プリンタにイーサネットまたはワイヤレス機能があり、ネットワークに接続している場合は、ネットワーク設定ページを印刷して、ネットワーク接続を確認します。このページには、ネットワーク印刷構成を支援する重要な情報もあります。

メニュー設定ページを印刷する

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [レポート] > [メニュー設定ページ]

ネットワーク設定ページを印刷する

プリンタがネットワークに接続されている場合、ネットワーク接続を確認するためにネットワーク設定ページを印刷します。このページには、ネットワーク印刷の設定に役立つ重要情報も記載されています。

- 1 ホーム画面から、次の順に選択します。



> [レポート] > [ネットワーク設定ページ]

- 2 ネットワーク設定ページの最初のセクションで、プリンタの状態が「**接続**」になっていることを確認します。

状態が「**未接続**」の場合は、LAN ドロップがアクティブでないか、ネットワークケーブルが正しく動作していない可能性があります。解決方法をシステムサポート担当者に問い合わせ、もう一度ネットワーク設定ページを印刷してください。

用紙と特殊用紙をセットする

用紙と特殊用紙の選択および取り扱いは、ドキュメント印刷の信頼性に影響する場合があります。詳細については、[「紙づまりを防止する」](#)、[262 ページ](#)および[「用紙の保管」](#)、[87 ページ](#)を参照してください。

用紙サイズとタイプを設定する

ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [用紙メニュー] > [用紙サイズ/タイプ] > トレイ を選択 > 用紙のサイズまたはタイプを選択 > 

ユニバーサル用紙設定を構成する

ユニバーサル用紙サイズはユーザー定義設定であり、プリンタメニューで事前設定されていない用紙サイズに印刷できます。

メモ:

- サポートされる最小のユニバーサルサイズは、片面印刷の場合 70 x 127 mm (2.76 x 5 インチ)、両面印刷の場合 105 x 148 mm (4.13 x 5.83 インチ)です。
- サポートされる最大のユニバーサルサイズは、片面印刷と両面印刷で 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)です。
- 幅 210 mm (8.3 インチ) 未満の用紙を印刷するときには、最高の印刷パフォーマンスを保証するために、一定期間の後、印刷速度が低下する場合があります。

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [用紙メニュー] > [ユニバーサル設定] > [測定単位] > 単位を選択

2 [縦長の横の長さ]または[縦長の縦の長さ]をタッチします。

3 幅と高さを選択し、[送信] をタッチします。

550 枚トレイに用紙をセットする

 **注意—傷害の恐れあり:** 本機が不安定にならないように、用紙トレイや用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

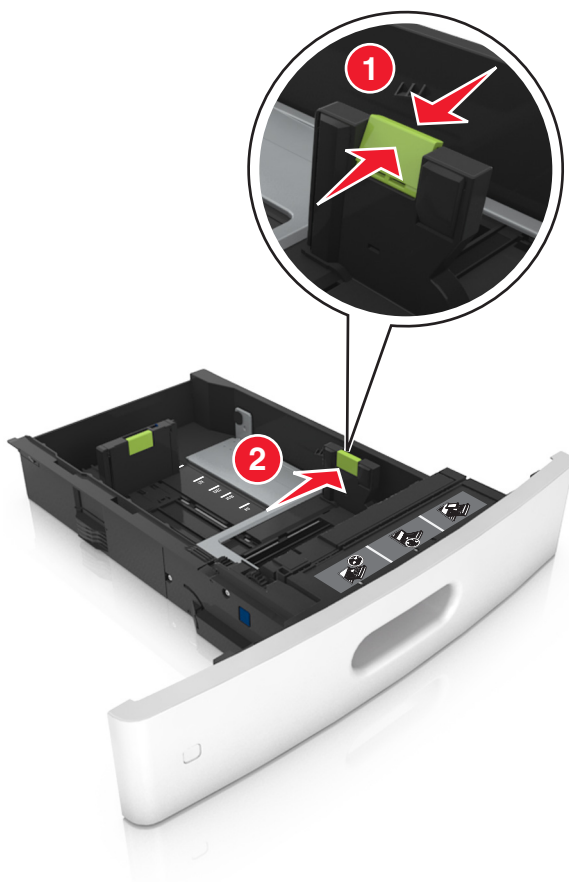
1 トレイを引き出します。

メモ:

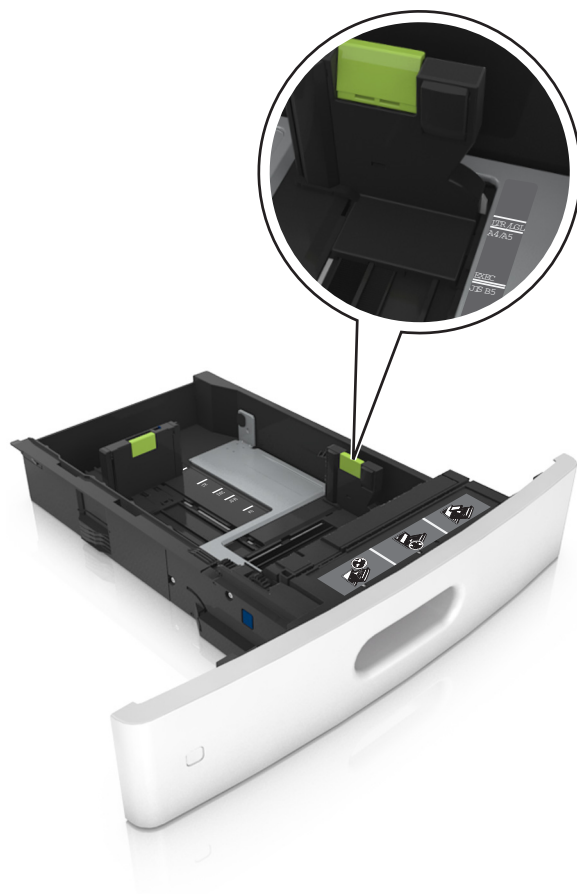
- フォリオ、リーガル、または Oficio サイズの用紙をセットするときに、トレイを少し持ち上げ、完全に引き出します。
- ジョブの印刷中または[取り込み中] がディスプレイに表示されている間は、トレイを取り外さないでください。紙づまりの原因となる可能性があります。



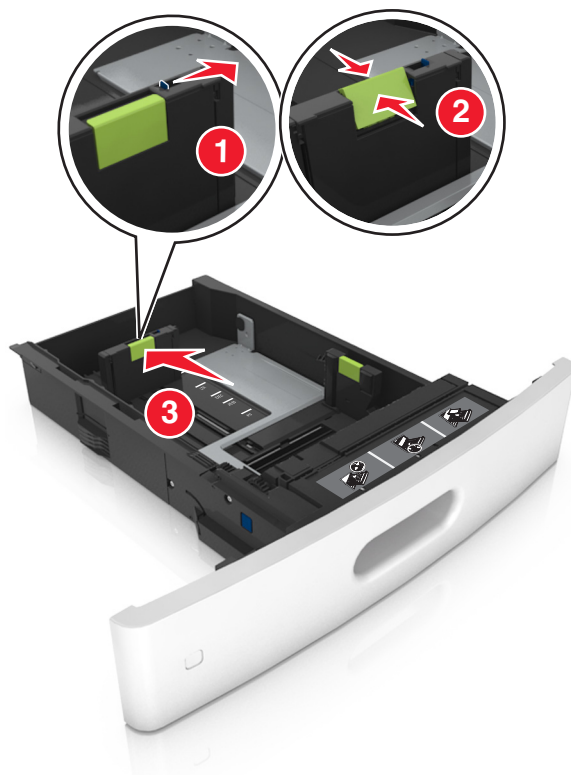
- 2 幅ガイドを握り、セットしている用紙のサイズに合った正しい位置までスライドし、所定の位置でカチッと音がするまで、コントローラボードの壁まで押し込みます。



メモ: トレイの下部にある用紙サイズインジケータを使用して、ガイドの位置を決定します。

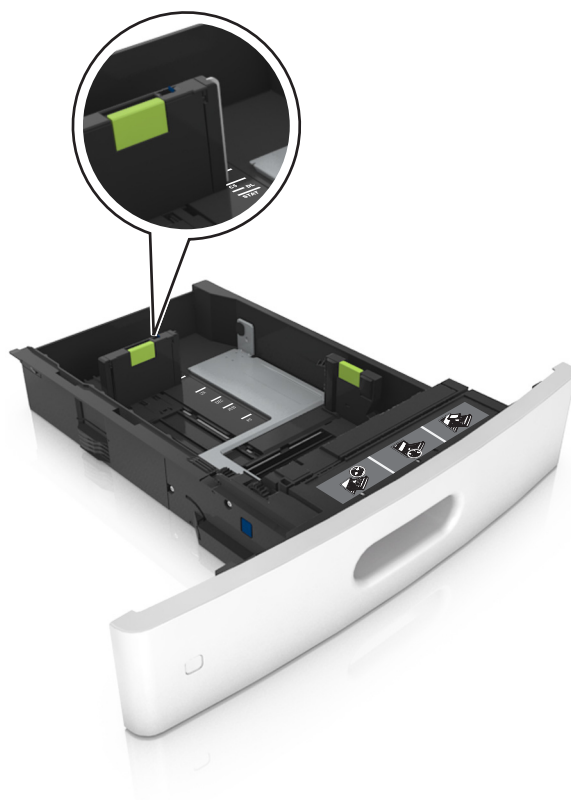


- 3 長さガイドのロックを解除してから、ガイドを握り、セットしている用紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。

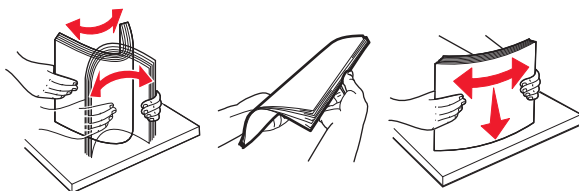


メモ:

- すべての用紙サイズの長さガイドをロックします。
- トレイの下部にある用紙サイズインジケータを使用して、ガイドの位置を決定します。



4 用紙を前後に曲げてほぐし、さばきます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。

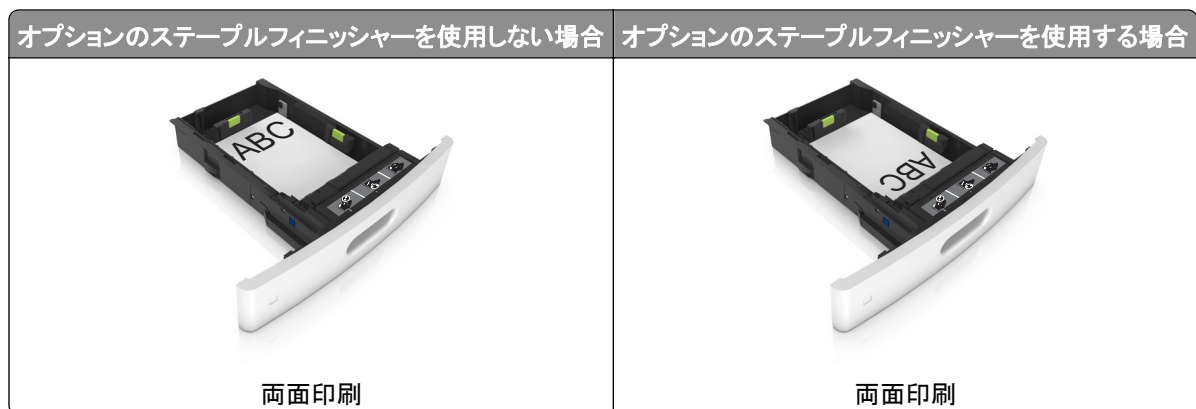


5 印刷面を下にして、用紙の束をセットします。

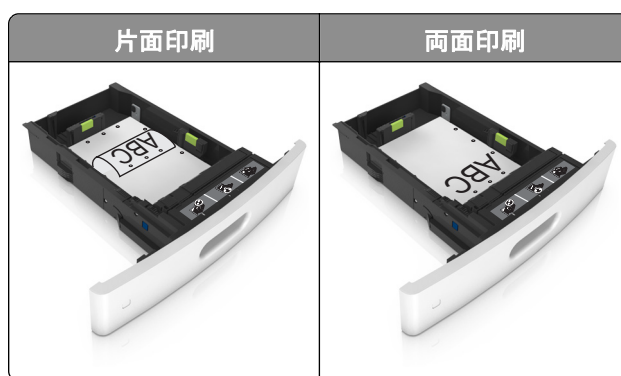
メモ: 用紙または封筒が正しくセットされていることを確認します。

- オプションのステープルフィニッシャーが取り付けられているかどうかによって、異なる方法でレターヘッド紙をセットします。

オプションのステープルフィニッシャーを使用しない場合	オプションのステープルフィニッシャーを使用する場合
 片面印刷	 片面印刷

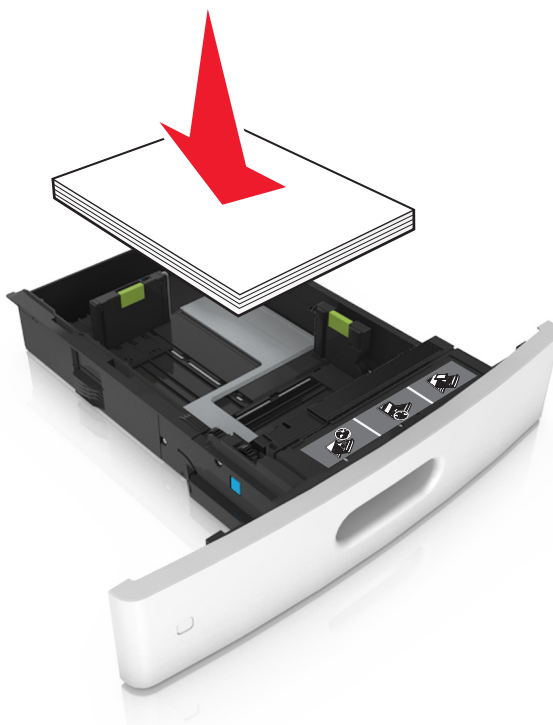


- ステープルフィニッシャーとともに使用するための穴あき用紙をセットしている場合は、用紙の長辺の穴がトレイの右側にあることを確認する。

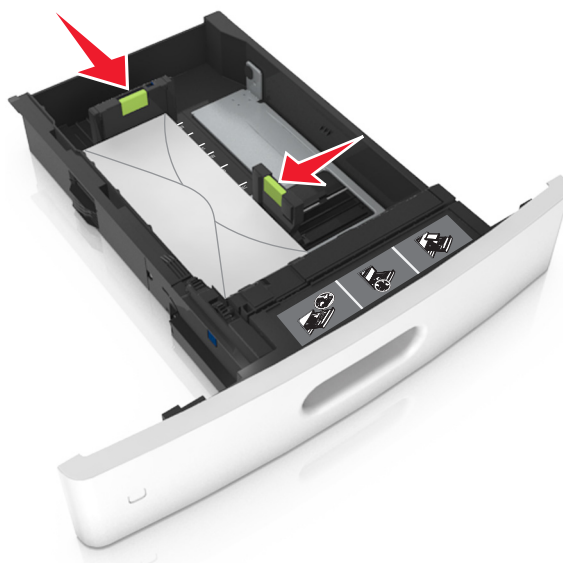


メモ: 用紙の長辺の穴がトレイの左側にある場合、紙詰まりが発生する可能性があります。

- 用紙をトレイにスライドしないでください。図のように用紙をセットします。



- 封筒をセットしている場合は、フラップ側が上向きになり、封筒がトレイの左側に配置されていることを確認します。

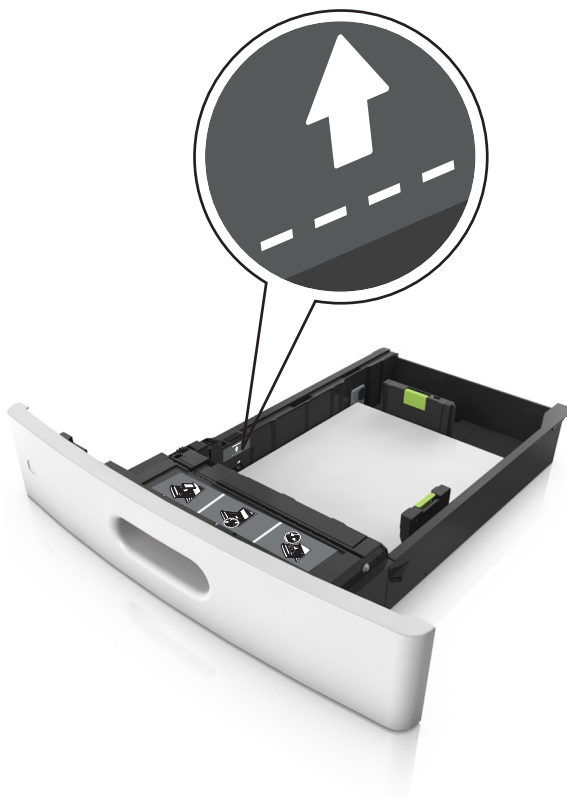


- 用紙の高さが、指定されている高さの上限を示す実線を超えないようにします。



警告—破損の恐れあり: トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因になる場合があります。

- 厚紙、ラベル紙、またはその他のタイプの特殊用紙を使用しているときには、用紙の高さが、代替用紙の高さの上限を示す点線を超えないようにします。



- 6 カスタムサイズまたはユニバーサルサイズの場合、用紙ガイドを調整し、紙の束の側面に軽く触れるようにして、長さガイドをロックします。

7 トレイを挿入します。



8 プリンタコントロールパネルから、[用紙]メニューで用紙サイズとタイプを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。

メモ: 正しい用紙サイズとタイプをセットし、紙詰まりや印刷品質の問題が発生しないようにしてください。

2100 枚トレイに用紙をセットする

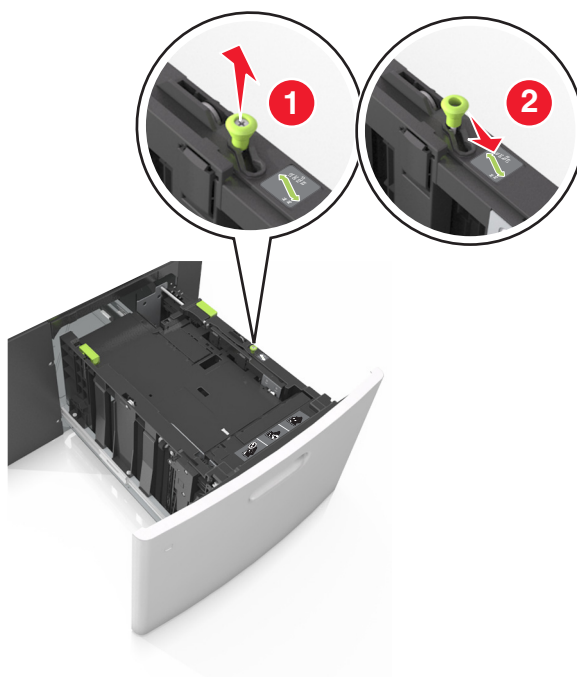
⚠ 注意—傷害の恐れあり: 本機が不安定にならないように、用紙カセットや用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

1 トレイを引き出します。

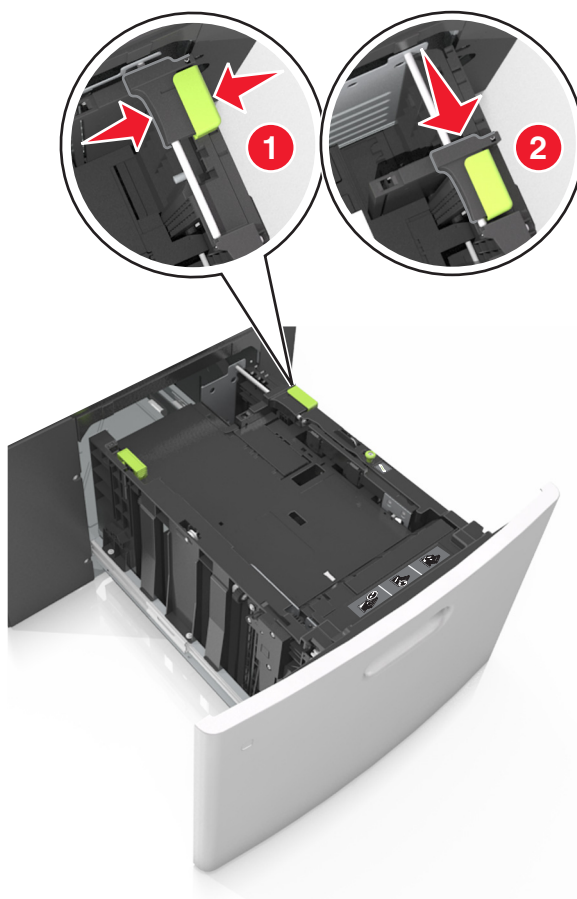
2 幅ガイドと長さガイドを調整します。

A5 サイズの用紙をセットする

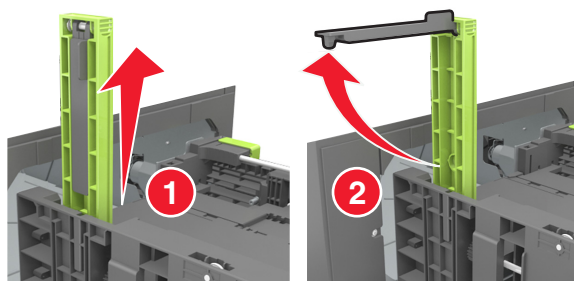
a 幅ガイドを引き上げ、A5 の位置までスライドします。



b 長さガイドのタブをつまみ、所定の位置でカチッと音がするまで、A5 用紙の位置までスライドします。

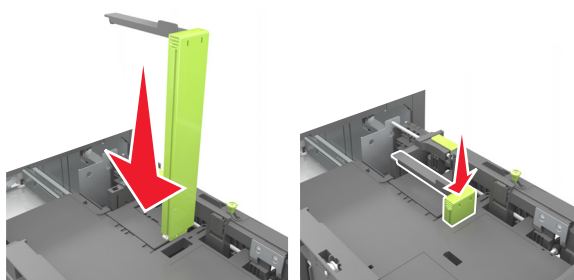


- c A5 長さガイドをホルダーから取り外します。



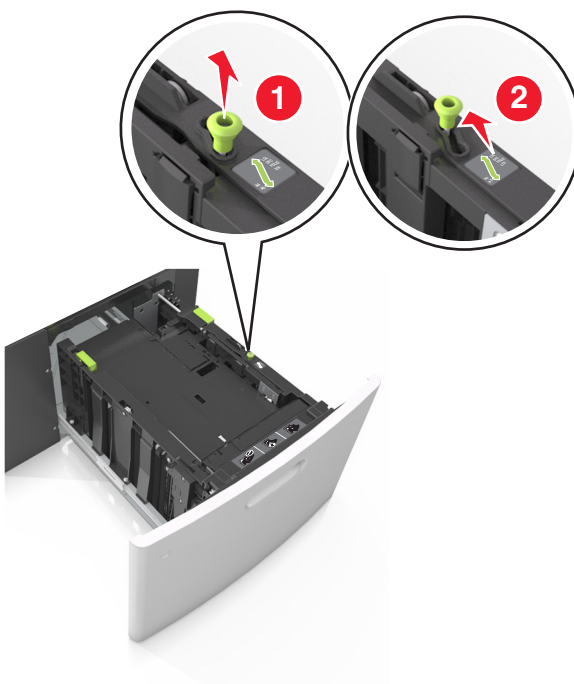
- d A5 長さガイドを指定されたスロットに挿入します。

メモ: A5 長さガイドを所定の位置で カチッと音がするまで押し込みます。

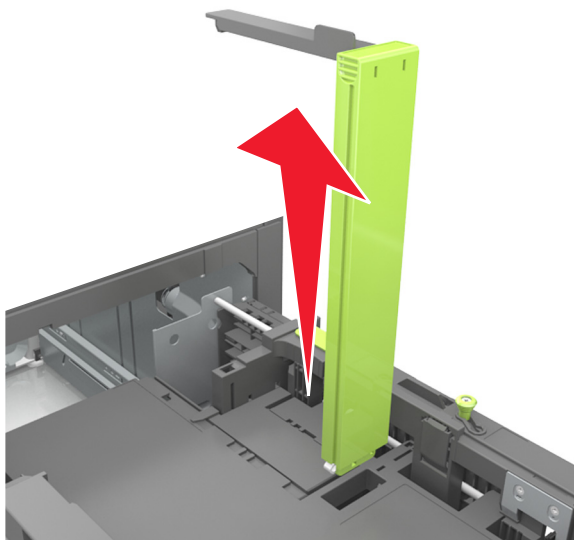


A4、レター、リーガル、Oficio、およびフォリオサイズの下紙をセットする

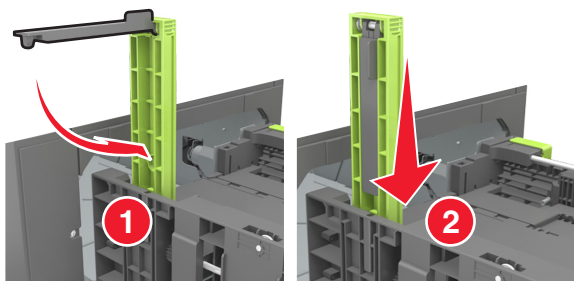
- a 幅ガイドを引き上げ、セットしている下紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。



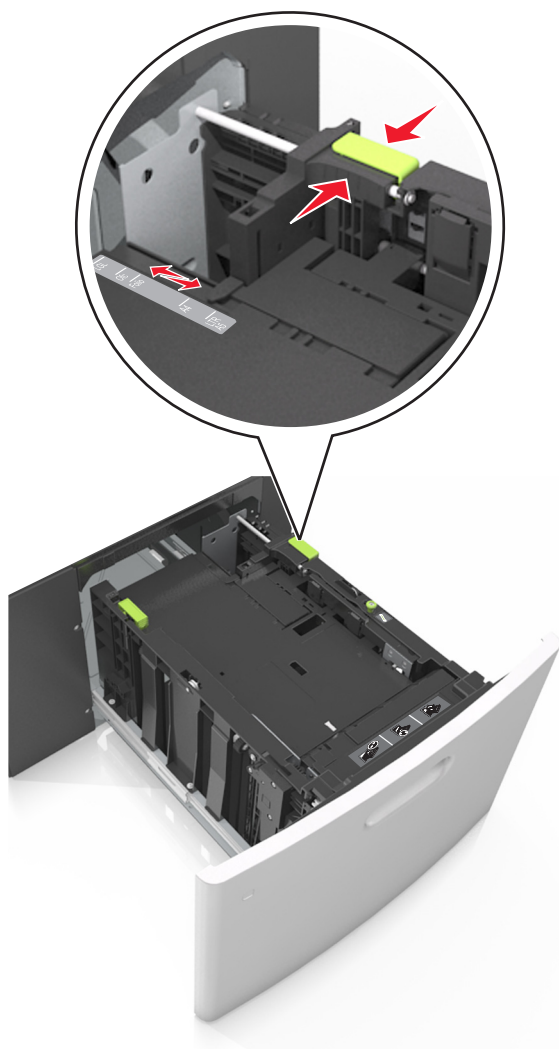
- b** A5 の長さガイドが取り付けられている場合は、取り外します。A5 の長さガイドが取り付けられていない場合は、手順 d に進みます。



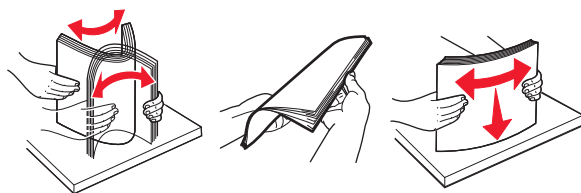
- c** A5 長さガイドをホルダーに入れます。



- d 長さガイドを握り、所定の位置でカチッと音がするまで、セットしている用紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。



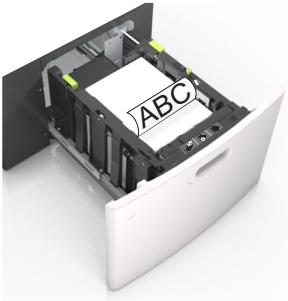
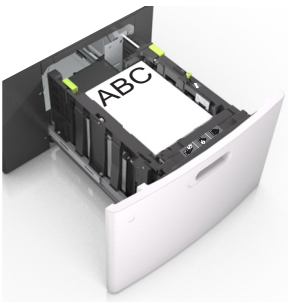
- 3 用紙の束を前後に曲げてほぐし、さばきます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。



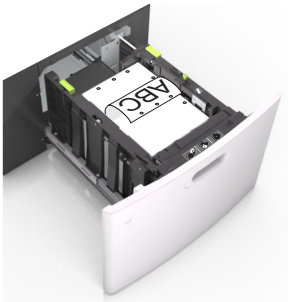
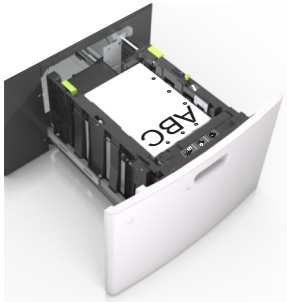
- 4 印刷面を下にして、用紙の束をセットします。

メモ: 用紙が正しくセットされていることを確認します。

- オプションのステープルフィニッシャーが取り付けられているかどうかによって、異なる方法でレターヘッド紙をセットします。

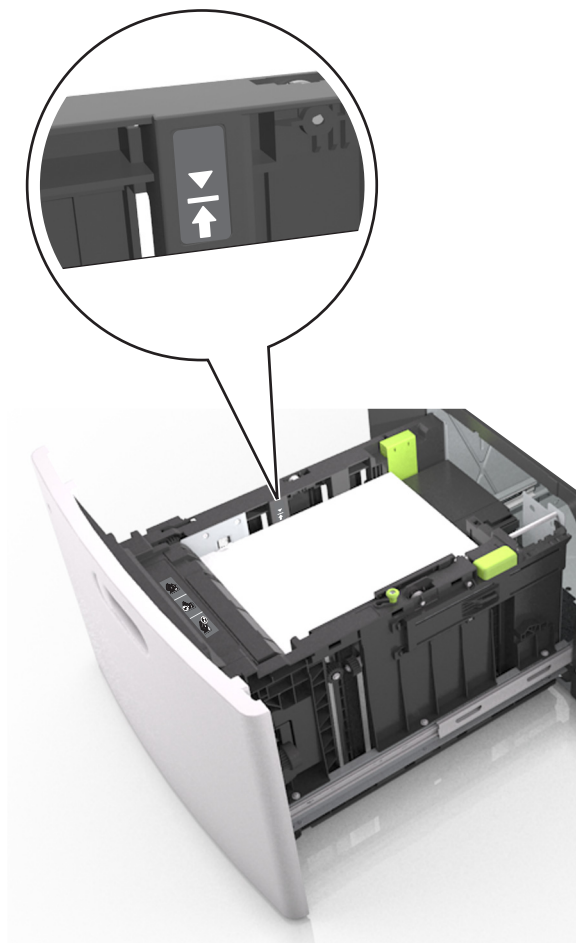
オプションのステープルフィニッシャーを使用しない場合	オプションのステープルフィニッシャーを使用する場合
 片面印刷	 片面印刷
 両面印刷	 両面印刷

- ステープルフィニッシャーとともに使用するための穴あき用紙をセットしている場合は、用紙の長辺の穴がトレイの右側にあることを確認する。

片面印刷	両面印刷
	

メモ: 用紙の長辺の穴がトレイの左側にある場合、紙詰まりが発生する可能性があります。

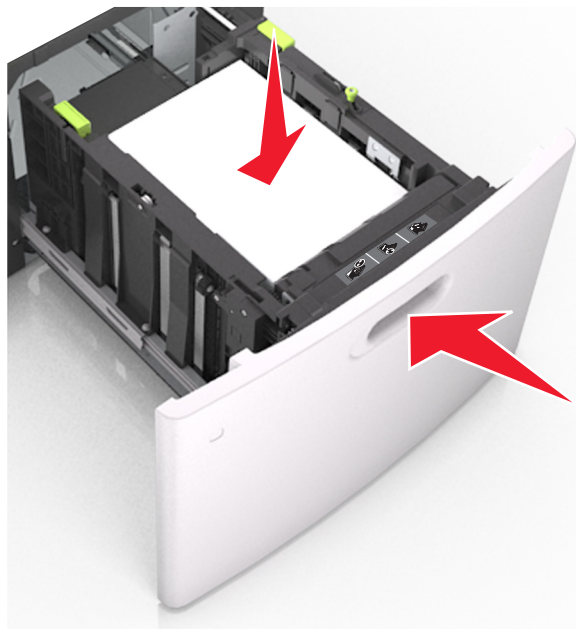
- 用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにする。



警告—破損の恐れあり: トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因になる場合があります。

5 トレイを挿入します。

メモ: トレイの挿入中は、用紙の束を下に押します。



6 プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズとタイプを設定し、セットされた用紙に一致させます。

メモ: 正しい用紙サイズとタイプをセットし、紙詰まりや印刷品質の問題が発生しないようにしてください。

多目的フィーダーに用紙をセットする

1 多目的フィーダーのドアを開きます。

メモ: ジョブが印刷中の間は、多目的フィーダーに用紙をセットしたり、閉じたりしないでください。

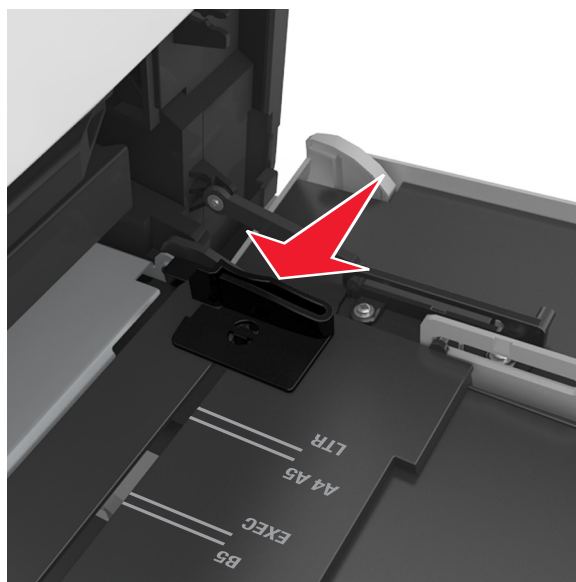


2 ハンドルを使用して、多目的フィーダーの拡張ガイドを引きます。



メモ: 多目的フィーダが最後まで拡張して開くように、ゆっくりと拡張ガイドを引き出します。

3 幅ガイドを、セットしている用紙のサイズに合った正しい位置までスライドします。

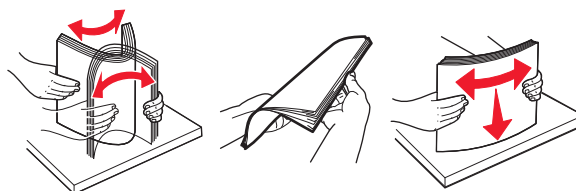


メモ: トレイの下部にある用紙サイズインジケータを使用して、ガイドの位置を決定します。

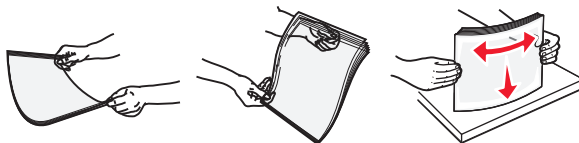


4 セットする用紙または特殊用紙を準備します。

- 用紙を前後に曲げてほぐし、さばきます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端をそろえます。



- OHP フィルムの端を持ち、さばきます。平らな面で端をそろえます。



メモ: 印刷面に触れないようにします。印刷面に傷をつけないように気をつけてください。

- 封筒の束を前後に曲げてほぐします。平らな面で端をそろえます。

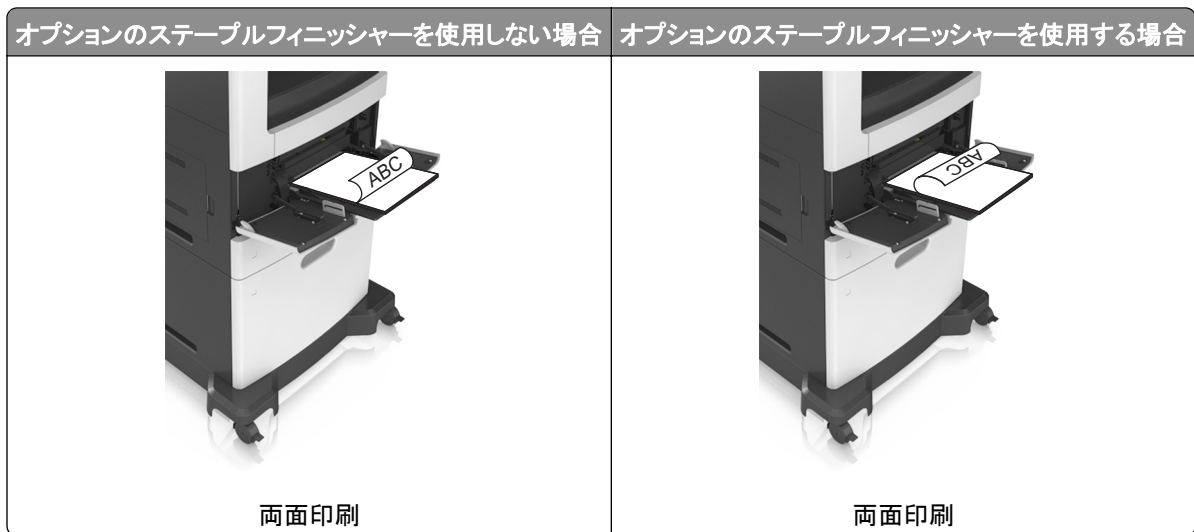


5 用紙または特殊用紙をセットします。

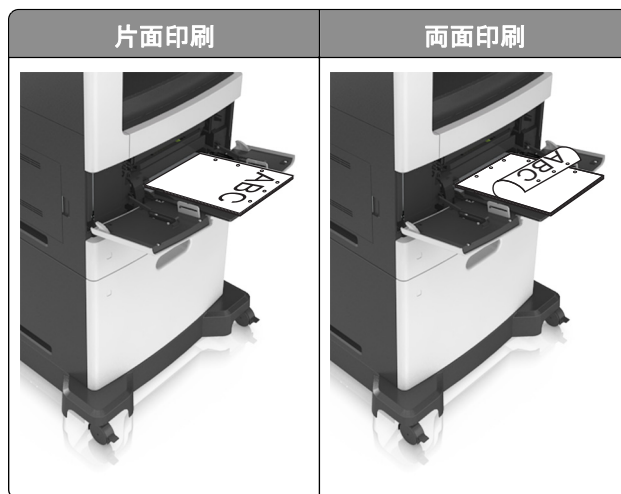
メモ: 用紙の束をゆっくりと多目的フィーダーに入れ、止まるまでスライドさせます。

- 1 度に 1 つのサイズとタイプの用紙または特殊用紙のみをセットしてください。
- 用紙が多目的フィーダーに余裕を持って平らに収まり、曲がったり、しわが寄ったりしていないことを確認してください。
- オプションのステープルフィニッシャーが取り付けられているかどうかによって、異なる方法でレターヘッド紙をセットします。

オプションのステープルフィニッシャーを使用しない場合	オプションのステープルフィニッシャーを使用する場合
 片面印刷	 片面印刷

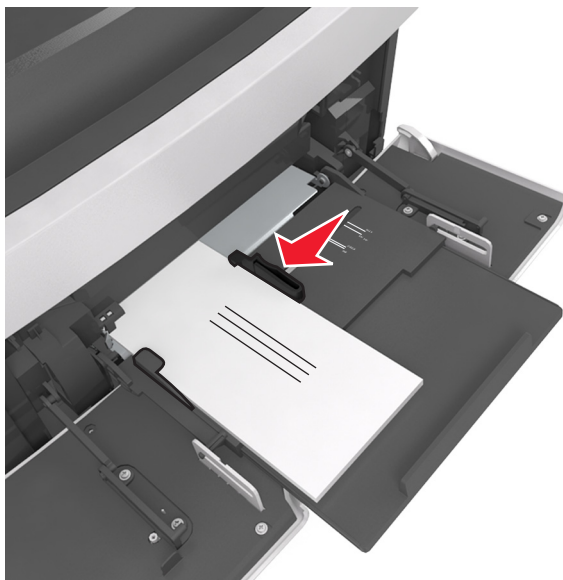


- ステープルフィニッシャーとともに使用するための穴あき用紙をセットしている場合は、用紙の長辺の穴がトレイの右側にあることを確認する。



メモ: 用紙の長辺の穴がトレイの左側にある場合、紙詰まりが発生する可能性があります。

- フラップ面を下にして、多目的フィーダーの左側に封筒をセットします。



警告—破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は絶対に使用しないでください。このような封筒を使用すると、プリンタに深刻な損傷が生じる可能性があります。

- 用紙または特殊用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにしてください。



警告—破損の恐れあり: フィーダーに用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因になる場合があります。

- 6 カスタムサイズまたはユニバーサルサイズの場合、幅ガイドを調整し、紙の束の側面に軽く触れるようにします。
- 7 プリンタコントロールパネルから、[用紙]メニューで用紙サイズとタイプを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。

メモ: 正しい用紙サイズとタイプをセットし、紙詰まりや印刷品質の問題が発生しないようにしてください。

トレイのリンクおよびリンクを解除する

指定された用紙サイズとタイプが同じ場合プリンタはトレイをリンクします。1つのリンクされたトレイが空になると、次のリンクされたトレイから給紙されます。トレイのリンクを防ぐには個別のカスタム用紙タイプ名を割り当てます。

トレイのリンクおよびリンクを解除する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [用紙メニュー]の順にクリックします。

3 リンクしているトレイの用紙サイズとタイプの変更します。

- トレイをリンクするには、トレイの用紙サイズとタイプが必ずその他のトレイと一致しなければなりません。
- トレイのリンクを解除するには、トレイの用紙サイズとタイプがその他のトレイと一致してはいけません。

4 [送信]をクリックします。

メモ: また、プリンタコントロールパネルでも、用紙サイズとトレイの設定を変更できます。詳細については、[「用紙サイズとタイプを設定する」](#)、57 ページ を参照してください。

警告—破損の恐れあり: トレイにセットされた用紙は、プリンタに割り当てられた用紙タイプと一致する必要があります。フューザーの温度は、指定した用紙タイプによって異なります。設定が正しくない場合は、印刷の問題が発生する可能性があります。

用紙タイプのカスタム名を作成する

内蔵 Web サーバーを使用する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [用紙メニュー] > [カスタム名]の順にクリックします。

3 カスタム名を選択し、カスタムタイプ名を入力します。

4 [送信]をクリックします。

5 [カスタム紙種]をクリックし、新しいカスタム用紙タイプ名がカスタム名になっているかどうか確認します。

プリンタコントロールパネルを使用する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [用紙メニュー] > [カスタム名]

2 カスタム名を選択し、カスタムタイプ名を入力します。

3 [送信]をタッチします。

4 [カスタム紙種]をタッチし、新しいカスタムタイプ名がカスタム名になっているかどうかを確認します。

カスタム用紙タイプを割り当てる

内蔵 Web サーバーを使用する

トレイのリンク時またはリンク解除時に、カスタム用紙タイプ名を割り当てます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [用紙メニュー] > [カスタム紙種]の順にクリックします。

- 3 カスタム用紙タイプ名を選択し、用紙タイプを選択します。

メモ: すべてのカスタム名で、用紙は工場出荷時のデフォルト用紙タイプです。

- 4 [送信]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [用紙メニュー] > [カスタム紙種]

- 2 カスタム用紙タイプ名を選択し、用紙タイプを選択します。

メモ: すべてのカスタム名で、用紙は工場出荷時のデフォルト用紙タイプです。

- 3 [送信]をタッチします。

用紙および特殊用紙ガイド

メモ:

- コンピュータまたはコントロールパネルで、用紙のサイズ、タイプ、および重量が適切に設定されていることを確認する。
- 特殊用紙をほぐしてさばき、そろえてからセットする。
- フューザーの損傷を防止するために、低速で印刷する場合があります。
- 厚紙およびラベルの詳細については、Lexmark の Web サイト (<http://support.lexmark.com>) で公開されている『Card Stock & Label Guide』を確認してください。 <http://support.lexmark.com> で入手できます。

特殊用紙を使用する

厚紙を使用する場合のヒント

厚紙は、重みのある 1 層の特殊用紙です。含水率、厚さ、テクスチャなど、さまざまな特性は、印刷品質に大きな影響を与えることがあります。

- プリンタコントロールパネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットされた厚紙と合うように、用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定します。
- 使用する予定の厚紙を大量に購入する前に、その厚紙にサンプルを印刷してください。
- トレイ設定の用紙の粗さおよび重さがトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。
- プレプリント、ミシン目、折り目は、印刷品質に大きな影響を与えることがあり、紙づまりやその他用紙の取り扱いに伴う問題を引き起こす可能性があることに注意してください。
- 厚紙をトレイにセットする前に、厚紙をほぐし、さばき、くっつかないようにします。平らな面で端をそろえます。

封筒を使用する場合のヒント

- プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされた封筒に一致させます。
- 使用する予定の封筒を大量に購入する前に、その封筒にサンプルを印刷してください。
- レーザープリンタ用に特別に設計された封筒を使用してください。
- 最適なパフォーマンスを得るには、90-g/m²(24 ポンド)の用紙製またはコットン含有率が 25% の封筒を使用します。
- 包装が破損していない新品の封筒に限定して使用します。
- 最適なパフォーマンスを発揮し、紙づまりを最小限に抑えるため、以下のような封筒は使用しないでください。
 - カールやねじれが大きい封筒。
 - 封筒同士が貼り付いているものや、何らかの傷がある封筒。
 - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスなどがある封筒。
 - 金属製の留め具、ひも、折れ筋などがある封筒。
 - かみ合わせのデザインがある封筒。
 - 切手が貼付されている封筒。
 - 垂れ蓋に封をしたときや、閉じたときに、接着剤がはみ出る封筒。

- 角が折れ曲がった封筒。
- きめの粗い封筒、しわのある封筒、または簀の目仕上げの封筒。
- 幅ガイドを調整して、封筒の幅に合わせる。
- 封筒をトレイにセットする前に、封筒の束を前後に曲げてほぐし、さばきます。平らな面で端をそろえます。

メモ: 環境の湿度が高く(60% 超)、印刷温度が高温になると、封筒にしわが寄ったり、圧着したりすることがあります。

ラベルを使用する場合のヒント

- プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされたラベルに一致させます。
- 使用する予定のラベルを大量に購入する前に、そのラベルにサンプルを印刷してください。
- ラベルの印刷、特性、および設計の詳細については、Lexmark の Web サイト (<http://support.lexmark.com>) で公開されている『Card Stock & Label Guide』を確認してください。
- レーザープリンタ用に特別に設計されたラベルを使用してください。
- 裏面がつやのある素材でできているラベルは使用しないでください。
- ラベル用紙全体を使用してください。用紙の一部だけを使用すると、印刷時にラベルがはがれ、紙づまりが発生することがあります。用紙の一部だけを使用すると、接着剤でプリンタやカートリッジが汚れて、プリンタやトナーカートリッジの保証対象外となることがあります。
- 接着剤が露出しているラベルは使用しないでください。
- ラベル用紙をトレイにセットする前に、ラベル用紙をほぐし、さばき、くっつかないようにします。平らな面で端をそろえます。

レターヘッド紙を使用する場合のヒント

- レーザープリンタ用に特別に設計されたレターヘッド紙を使用してください。
- 使用する予定のレターヘッド紙を大量に購入する前に、その封筒にサンプルを印刷してください。
- レターヘッド紙をセットする前に、用紙の束をほぐしてさばき、くっつかないようにします。
- レターヘッド紙に印刷する場合、ページの向きが重要な意味を持ちます。

給紙源	印刷	印刷面	用紙の向き
トレイ	片面印刷	下向き	用紙の上端がトレイの正面を向くようにセットします。
トレイ	両面印刷	上向き	用紙の下端が最初にプリンタに入るように用紙をセットします。
多目的フィーダー	片面印刷	上向き	用紙の上端が最初にプリンタに入るように用紙をセットします。
多目的フィーダー	両面印刷	下向き	用紙の下端が最初にプリンタに入るように用紙をセットします。

メモ: 製造元または販売店に問い合わせて、選択したプレプリントレターヘッド紙をレーザープリンタで使用できるかどうか確認してください。

OHP フィルムを使用する場合のヒント

- プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズ、タイプ、粗さ、および重さを設定し、トレイにセットされた OHP フィルムに一致させます。
- 使用する予定の OHP フィルムを大量に購入する前に、その OHP フィルムにテストページを印刷してください。

- レーザープリンタ用に特別に設計された OHP フィルムを使用してください。
- 印刷品質の問題を防ぐために、OHP フィルムに指紋が付かないようにしてください。
- OHP フィルムをセットする前に、用紙の束をほぐしてさばき、くっつかないようにします。
- 大量の OHP フィルムに印刷するときには、OHP フィルムが排紙トレイでくっつかないように、必ず印刷バッチ間隔を 3 分以上にし、バッチの枚数を最大 20 枚にしてください。また、20 枚のバッチごとに、OHP フィルムを排紙トレイから取り出せます。

用紙ガイドライン

用紙特性

以下の用紙特性は、印刷の品質と信頼性に影響します。このような用紙に印刷する前に、次の要因を考慮してください。

重さ

プリンタトレイと多目的フィーダーは、重さが 60～176 g/m² (16～47 ポンド) の縦目の用紙を自動給紙できます。2100 枚トレイは、重さが最大 60～135 g/m² (16～36 ポンド) の縦目の用紙を自動給紙できます。重さが 60 g/m² (16 ポンド) よりも軽い用紙は硬さが足りないため適切に給紙されず、紙詰まりの原因になることがあります。

メモ: 両面印刷は 60～176 g/m² (16～47 ポンド) の用紙に対応しています。

カール

カールは、用紙の先端が丸まろうとする性質を指します。カールの度合いが大きすぎると、給紙時に問題が生じることがあります。高温になっているプリンタ内部を用紙が通過した後に、カールが発生することがあります。用紙を包装から取り出して高温、多湿、低温、または乾燥した状態で保管していると、それがトレイ内であっても、印刷前に用紙がカールして、給紙時に問題が生じることがあります。

平滑度

用紙の平滑度は、印刷品質に直接影響します。用紙のきめが粗すぎる場合は、トナーが適切に定着しません。用紙が滑らかすぎる場合は、給紙時や印刷品質に問題が生じることがあります。必ず 100～300 シェフィールドポイントの用紙を使用してください。150～250 シェフィールドポイントの用紙を使用すると、最高の印刷品質が得られます。

含水率

用紙に含まれる水分の量は、印刷品質とプリンタの給紙機能の両方に影響します。用紙は、使用するときまで、元の包装のまま保管してください。そうすることで、用紙が湿度の変化を受けて劣化する可能性を最小限に抑えることができます。

印刷に使用する 24～48 時間前から、用紙を元の包装のままプリンタと同じ環境に保管して、用紙の状態を調整してください。ただし、用紙を保管または輸送したときの環境がプリンタの設置環境と大きく異なる場合は、この調整の時間を数日伸ばしてください。用紙に厚みがある場合も同様に、調整に時間がかかることがあります。

紙目

紙目は、用紙に含まれる繊維の方向を指します。紙目には、用紙の縦方向に伸びる縦目と、用紙の横方向に伸びる横目があります。

60-176 g/m² (16～47 ポンド) の縦目の用紙が推奨されます。

繊維含有率

最高品質のゼログラフィ用紙は、100% の化学処理済みパルプ木材から作られています。この含有率により、用紙の安定度が高まるとともに、給紙時の問題が減少し、印刷品質が向上します。コットンなどの繊維を含む用紙は、用紙の処理に悪影響を及ぼすことがあります。

用紙を選択する

適切な用紙を使用すると、紙づまりを防ぎ、問題のない印刷を行うことができます。

紙づまりと印刷品質の低下を防ぐには

- 必ず新しく損傷のない用紙を使用する。
- 用紙をセットする前に、用紙の推奨印刷可能面を確認する。通常、この情報は用紙のパッケージに記載されています。
- 手で切った用紙は使用しない。
- 大きさ、種類、重さが異なる用紙を 1 つのトレイにセットしない。これらを混在させると紙づまりが発生します。
- 電子写真印刷用に特に設計されていない限り、コーティングされた用紙を使用しない。

プレプリント用紙とレターヘッド紙を選択する

- 重さが 60～90 g/m² (16～24 ポンド) の縦目用紙を使用する。
- オフセットリトグラフ印刷または写真版印刷処理を使用して印刷されたフォームおよびレターヘッド紙に限定して使用する。
- 表面のきめが粗い用紙やざらつきが大きい用紙は避ける。
- トナーの樹脂に影響されないインクを使用する。酸性インクや油性インクは通常、この要件を満たしています。ラテックスインクは、この要件を満たしていない可能性があります。
- 使用する予定のプレプリント紙およびレターヘッド紙を大量に購入する前に、その用紙にサンプルを印刷してください。これによって、プレプリント紙またはレターヘッド紙のインクが印刷品質に影響するかどうかを判断します。
- 疑わしい場合は、用紙の供給元に問い合わせてください。

再生紙やその他の事務用紙を使用する

環境問題意識を持つ企業として、当社はレーザー（電子写真）プリンタ向けに特別に製造された再生紙の使用をサポートしています。

当社は、世界の市場にあるカットサイズのコピー用再生紙を継続的にテストしています。ただし、どのような再生用紙でもスムーズに給紙されるとは断言できません。この科学的テストは、厳格かつ統制的に実施されています。次のようなさまざまな要素が個別にも全体としても考慮されています。

- 使用後の廃棄物の量（当社は最大 100% の使用後の廃棄物の内容をテストします。）
- 温度および湿度条件（チャンバー試験は世界中の気候をシミュレートしています。）
- 含水率（ビジネス用紙は 4～5% の低い含水率でなければなりません。）
- 耐屈曲性と適切な硬さはプリンタへの最適な給紙を意味します。
- 厚さ（トレイにセットできる用紙の量に影響します）
- 面の粗さ（シェフィールド単位で測定され、印刷の透明度とトナーが用紙に溶ける度合いに影響します）
- 面の摩擦（シートを仕分ける際の容易さを決定します）
- 粒子と形成（用紙の丸まり方に影響し、プリンタ内を移動するときの用紙の動作方法の仕組みにも影響します）
- 明るさと粗さ（外観）

再生紙はかつてないほど改善されていますが、用紙に含まれる再生済み材料の量は異物を制御する度合いに影響します。また、再生紙は環境を配慮した方法で印刷するための良い方法ですが、完全ではありません。多くの場合、着色剤や「糊」などの添加物からインクを取り除き、処理するために必要な電力は、通常用の紙生産よりも炭素排出量を増加させます。ただし、再生紙を使用することで、全体的な資源管理方法を改善できます。

当社は製品のライフサイクル評価に基づいて、用紙の一般的な責任ある使用に取り組んでいます。環境に対するプリンタの影響をより深く理解するために、当社はさまざまなライフサイクル評価を実施し、装置のライフサイクル（設計から廃棄まで）を通して排出される二酸化炭素の主な要因は用紙（最大 80%）であることが判明しました。これは、用紙の製造工程で電力消費が多いためです。

このため、当社は用紙の影響を最低限に抑えるために、お客様やパートナー企業に情報を提供しようとしています。再生紙の使用は 1 つの方法です。過剰な用紙の使用や不必要な用紙の使用をなくすことはもう 1 つの方法です。当社は十分な機能を提供し、お客様が印刷やコピーの無駄を最低限に抑えられるように支援します。さらに、当社は持続可能な森林管理に対して責任ある行動を実施しているサプライヤ企業から用紙を購入することを推奨しています。

当社は特定の用途向けの推奨製品リストを用意していますが、特定のサプライヤ企業を推薦していません。ただし、次の用紙選択ガイドラインでは、印刷の環境への影響を減らすことができます。

- 1 用紙の使用量を最低限に抑えます。
- 2 木質繊維の素性に注意して選択します。森林管理協議会 (FSC) や森林認証プログラム (PEFC) などの認証を取得しているサプライヤ企業から購入します。これらの認証は、用紙メーカーが環境的および社会的に責任のある森林管理と森林再生に取り組んでいる林業者が提供する木質パルプを使用していることを保証します。
- 3 印刷のニーズに合った最適な用紙を選択します。標準の 75 または 80 g/m² 認証済み用紙、軽量用紙、または再生紙です。

使用できない用紙の例

テスト結果では、次の用紙タイプはレーザープリンタの使用においてリスクとなることが示されています。

- ノーカーボン紙とも呼ばれる、カーボン紙なしでコピーの作成に使用される化学処理済みの用紙
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用したプレプリント用紙
- プリンタフューズの温度の影響を受ける可能性のあるプレプリント用紙
- 光学式文字認識 (OCR) フォームなど、±2.3 mm (±0.9 インチ) よりも高い精度でページの印刷位置を正確に位置合わせする必要があるプレプリント用紙場合によっては、ソフトウェアアプリケーションで位置合わせを調整することで、このようなフォームにも正常に印刷できます。
- コーティングされた用紙（消去可能ボンド）、合成紙、感熱紙
- 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、カールした用紙
- EN12281:2002 (欧州試験) に準拠していない再生紙
- 重量が 60 g/m² (16 ポンド) 未満の用紙
- マルチパートフォームまたはマルチパートドキュメント

当社の詳細については、www.lexmark.com をご覧ください。一般的な持続可能性関連情報は、[環境持続可能性リンク](#)を参照してください。

用紙の保管

紙づまりを防いで印刷品質を安定させるため、用紙の保管に関する以下のガイドラインに従ってください。

- 最良の印刷結果を得るため、温度 21°C (70°F)、相対湿度 40% の場所に用紙を保管してください。ほとんどのラベルメーカーは、温度が 18 ~ 24°C (65 ~ 75°F) で、相対湿度が 40 ~ 60% で印刷することを推奨しています。
- 用紙をダンボール箱に入れ、台の上か棚など、床より高い場所で保管してください。
- 梱包された用紙は平らな場所に保管してください。
- 梱包された用紙の上には何も置かないでください。
- プリンタにセットする準備ができたときにのみ、用紙をダンボール箱または包装から取り出します。ダンボール箱と包装は、用紙を清潔で乾燥した平らな状態にしておくのに役立ちます。

サポートされている用紙サイズ、タイプ、および重量

以下の表に、標準およびオプションの給紙源と、サポートされる用紙のサイズ、タイプ、および重さを示します。

メモ: 表に記載されていない用紙サイズの場合は、表のサイズから、最も近い大きい方のサイズを選択します。

プリンタでサポートされる用紙タイプ

メモ: 幅 210 mm (8.3 インチ) 未満の用紙を印刷するときには、最高の印刷パフォーマンスを保証するために、一定期間の後、印刷速度が低下する場合があります。

用紙サイズ ¹	寸法	550 枚トレイ	2100 枚トレイ	多目的フィダー	両面	ADF	原稿台ガラス
A4	210 x 297 mm (8.3 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
A5	148 x 210 mm (5.8 x 8.3 インチ)	✓	✓ ²	✓	✓	✓	✓
A6	105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ)	✓	✗	✓	✓	✓	✓
JIS B5	182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ)	✓	✗	✓	✓	✓	✓
レター	216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
リーガル	216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
エグゼクティブ	184 x 267 mm (7.3 x 10.5 インチ)	✓	✗	✓	✓	✓	✓

¹ プリンタコントロールパネルでデフォルトの優先用紙サイズを設定できない場合は、[用紙サイズ/タイプ]メニューで、トレイの長さガイドの位置に対応する共通用紙サイズを選択できます。用紙サイズがない場合は、[ユニバーサル]を選択するか、トレイサイズ検知をオフにします。詳細については、カスタマサポートまでお問い合わせください。

² 長辺の向きの用紙がサポートされます。

³ [ユニバーサル]は ADF で、幅が 76 mm (3 インチ) ~ 216 mm (8.5 インチ) で、長さが 127 mm (5 インチ) ~ 356 mm (14 インチ) の場合にのみサポートされます。

用紙サイズ ¹	寸法	550 枚トレイ	2100 枚トレイ	多目的フィダー	両面	ADF	原稿台ガラス
Oficio (メキシコ)	216 x 340 mm (8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォリオ	216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ステートメント	140 x 216 mm (5.5 x 8.5 インチ)	✓	✗	✓	✓	✓	✓
ユニバーサル	105 x 148 mm ~ 216 x 356 mm (4.13 x 5.83 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	✓	✗	✓	✓	✓	✓
	70 x 127 mm ~ 216 x 356 mm (2.76 x 5 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	✗	✗	✓	✗	✓ ³	✓
7 3/4 封筒 (Monarch)	98 x 191 mm (3.9 x 7.5 インチ)	✓	✗	✓	✗	✗	✓
9 封筒	98 x 225 mm (3.9 x 8.9 インチ)	✓	✗	✓	✗	✗	✓
10 封筒	105 x 241 mm (4.1 x 9.5 インチ)	✓	✗	✓	✗	✗	✓
DL 封筒	110 x 220 mm (4.3 x 8.7 インチ)	✓	✗	✓	✗	✗	✓
C5 封筒	162 x 229 mm (6.38 x 9.01 インチ)	✓	✗	✓	✗	✗	✓
B5 封筒	176 x 250 mm (6.93 x 9.84 インチ)	✓	✗	✓	✗	✗	✓
その他封筒	98 x 162 mm (3.9 x 6.4 インチ) ~ 176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	✓	✗	✓	✗	✗	✓

¹ プリンタコントロールパネルでデフォルトの優先用紙サイズを設定できない場合は、[用紙サイズ/タイプ]メニューで、トレイの長さガイドの位置に対応する共通用紙サイズを選択できます。用紙サイズがない場合は、[ユニバーサル]を選択するか、トレイサイズ検知をオフにします。詳細については、カスタマサポートまでお問い合わせください。

² 長辺の向きの用紙がサポートされます。

³ [ユニバーサル]は ADF で、幅が 76 mm (3 インチ) ~ 216 mm (8.5 インチ) で、長さが 127 mm (5 インチ) ~ 356 mm (14 インチ) の場合にのみサポートされます。

プリンタでサポートされる用紙タイプと重量

プリンタエンジンは 60 ~ 176 g/m² (16 ~ 47 ポンド) の重量の用紙に対応しています。

メモ: ラベル、OHP フィルム、封筒、および厚紙の印刷速度は常に遅くなります。

用紙タイプ	550 枚トレイ	2100 枚トレイ	多目的フィーダー	両面	ADF	原稿台ガラス
用紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓
厚紙	✓	X	✓	✓	X	✓
普通紙の封筒	✓	X	✓	X	X	✓
粗い封筒	✓	X	✓	X	X	✓
用紙ラベル	✓	X	✓	X	✓	✓
医薬品ラベル	✓	X	✓	✓	✓	✓
OHP フィルム*	✓	X	✓	X	✓	✓

* OHP フィルムがくっつかないように、最大 20 枚のバッチで印刷してください。詳細については、「[OHP フィルムを使用する場合のヒント](#)」、83 ページを参照してください。

出力オプションでサポートされる用紙サイズ、タイプ、および重量

サポートされている用紙サイズ

用紙サイズ	4 排紙トレイメールボックス	オフセットスタッカー	ステープルフィニッシャー	ステープル、穴パンチフィニッシャー
A6	✓	X	X	X
A5	✓	✓	✓ ¹	✓ ^{1, 3}
JIS B5	✓	✓	✓ ²	✓ ²
エグゼクティブ	✓	✓	✓ ²	✓ ²
レター	✓	✓	✓	✓
A4	✓	✓	✓	✓
リーガル	✓	✓	✓	✓ ³
フォリオ	✓	✓	✓	✓
Oficio	✓	✓	✓	✓
ステートメント	✓	✓	✓ ²	✓ ²
ユニバーサル	✓	✓	✓ ⁴	✓ ^{3, 4}

¹ 長辺から先にセットされている場合は、フィニッシャーが用紙をホチキスで留めます。

² フィニッシャーは用紙を積み重ねますが、ホチキス留めまたは穴パンチは行いません。

³ フィニッシャーは用紙を積み重ね、ホチキスで留めますが、穴パンチは行いません。

⁴ 幅が 210 mm(8.27 インチ)～217 mm(8.54 インチ)、長さ 210 mm(8.27 インチ)～356 mm(14 インチ)の場合、フィニッシャーは用紙をホチキスで留めます。

サポートされている用紙タイプと重量

用紙タイプ	用紙の重量	4 排紙トレイメー ルボックス	オフセットスタッ カー	ステープルフィニ ッシャー	ステープル、穴パ ンチフィニッシャー
普通紙	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓
厚紙	163 g/m ² (90 ポンド インデックス)	X	✓	✓ ¹	✓ ¹
	199 g/m ² (110 ポンド インデックス)	X	X	X	X
OHP フィルム ²	146 g/m ² (39 ポンド ポンド)	X	✓	✓ ¹	✓ ¹
再生紙	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓ ³
用紙ラベル	180 g/m ² (48 ポンド ポンド)	X	✓	X	X
デュアル Web および統合	180 g/m ² (48 ポンド ポンド)	X	✓	X	X
ボンド	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓
封筒	105 g/m ² (28 ポンド ポンド)	X	X	X	X
粗い封筒	105 g/m ² (28 ポンド ポンド)	X	X	X	X
レターヘッド	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓

¹ フィニッシャーは用紙を積み重ねますが、ホチキス留めまたは穴パンチは行いません。

² OHP フィルムがくっつかないように、最大 20 枚のバッチで印刷してください。詳細については、[「OHP フィルムを使用する場合のヒント」](#)、83 ページを参照してください。

³ 用紙タイプを[用紙]または[ラフ/コットン紙]に設定します。

用紙タイプ	用紙の重量	4 排紙トレイメー ルボックス	オフセットスタッ カー	ステープルフィニ ッシャー	ステープル、穴パ ンチフィニッシャー
プレプリント	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓
カラー用紙	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓
軽量用紙	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓
重い用紙	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓
ラフ/コットン紙	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓
カスタム紙種 [x]	90~176 g/m ² (24~47 ポンド ポンド)	X	X	X	X
	60~90 g/m ² (16~24 ポンド ポンド)	✓	✓	✓	✓ ³

¹ フィニッシャーは用紙を積み重ねますが、ホチキス留めまたは穴パンチは行いません。

² OHP フィルムがくっつかないように、最大 20 枚のバッチで印刷してください。詳細については、[「OHP フィルムを使用する場合のヒント」](#)、83 ページ を参照してください。

³ 用紙タイプを[用紙]または[ラフ/コットン紙]に設定します。

印刷

ドキュメントを印刷する

用紙を印刷する

[用紙とお気に入り]を使用すると、よく使用する用紙や定期的に印刷するその他の情報にすばやく簡単にアクセスできます。このアプリケーションを使用する前に、まずプリンタでアプリケーションをセットアップします。詳細については、[「用紙とお気に入りをセットアップする」](#)、21 ページを参照してください。

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[用紙とお気に入り] > 一覧から用紙を選択 > 部数を入力 > その他の設定を調整

- 2 変更を適用します。

コンピュータから印刷する

メモ: ラベル、厚紙、封筒の場合、プリンタで用紙サイズとタイプを設定してから印刷ジョブを送信してください。

- 1 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開きます。
- 2 必要に応じて、設定を調整します。
- 3 次のように印刷ジョブを送信します。

トナーの濃さを調整する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [印刷設定] > [印刷品質メニュー] > [トナーの濃さ]の順にクリックします。
- 3 トナーの濃さを調整し、[送信]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [設定] > [印刷設定] > [印刷品質メニュー] > [トナーの濃さ]

- 2 設定を調整し、[送信]をタッチします。

モバイルデバイスから印刷する

メモ: プリンタと携帯デバイスが同じワイヤレスネットワークを共有していることを確認します。携帯デバイスのワイヤレス設定を構成するための詳細については、携帯デバイスに付属しているドキュメントを参照してください。

Mopria プリントサービスを使用してモバイルデバイスから印刷する

Mopria® プリントサービスは、Android バージョン 4.4 以降が実行されているモバイルデバイス用の、モバイル印刷ソリューションです。このソリューションをお使いになると、好きな Mopria 認定プリンタへ直接印刷できます。

メモ: 印刷の前に、Mopria プリントサービスが有効になっていることを確認してください。

- 1 モバイルデバイスのホーム画面で、対応アプリケーションを起動します。
- 2 [印刷]をタップし、プリンタを選択します。
- 3 次のように印刷ジョブを送信します。

Google クラウド プリントを使用してモバイルデバイスから印刷する

Google Cloud Print™ は、モバイルデバイス上のアプリケーションからお好きな Google クラウド プリント対応のプリンタへ印刷することができる、モバイル印刷サービスです。

- 1 モバイルデバイスのホーム画面で、対応アプリケーションを起動します。
- 2 [印刷]をタップし、プリンタを選択します。
- 3 次のように印刷ジョブを送信します。

Printing from a mobile device using AirPrint

AirPrint is a mobile printing solution that allows you to print directly from Apple devices to an AirPrint-certified printer.

メモ: This application is supported only in some Apple devices.

- 1 From the home screen of your mobile device, launch a compatible application.
- 2 Select an item to print, and then tap the share icon.
- 3 Tap **Print**, and then select the printer.
- 4 Send the print job.

Lexmark モバイル印刷を使用してモバイルデバイスから印刷する

Lexmark モバイル印刷では、サポートされている Lexmark プリンタにドキュメントや画像を直接送信できます。

- 1 ドキュメントを開いてから、ドキュメントを Lexmark モバイル印刷に送信または共有します。

メモ: サードパーティ製アプリケーションの中には、送信機能または共有機能をサポートしていないものもあります。詳細については、アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

- 2 プリンタを選択します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

フラッシュドライブから印刷する

フラッシュドライブから印刷する

メモ:

- 暗号化 PDF ファイルを印刷する際には、プリンタコントロールパネルからファイルのパスワードを入力するように指示されます。
- ユーザーが印刷権限を持っていないファイルは、印刷できません。

1 フラッシュドライブを USB ポートに挿入します。



メモ:

- フラッシュドライブが挿入されると、プリンタのホーム画面にフラッシュドライブアイコンが表示されます。
- 紙づまりなどが発生して、プリンタがユーザーの操作を必要としている場合には、フラッシュドライブを挿入しても、フラッシュドライブは認識されません。
- フラッシュドライブを挿入したときに、プリンタで他の印刷ジョブが処理されていた場合には、プリンタのディスプレイにビジーが表示されます。他の印刷ジョブの処理が終了したら、保留ジョブのリストを確認した上で、フラッシュドライブからドキュメントを印刷します。

警告—破損の恐れあり: メモリデバイスから印刷、読み取り、書き込みなどの処理が行われている間は、図示している部分に接続されている USB ケーブル、ワイヤレスネットワークアダプタ、コネクタ、メモリデバイス、プリンタに触れないでください。データの損失が発生する可能性があります。



- 2 プリンタコントロールパネルから、印刷するドキュメントを選択します。
- 3 矢印をタッチすると、ドキュメントのプレビューが表示されます。
- 4  または  を使用して、印刷する部数を指定し、[印刷]をタッチします。

メモ:

- ドキュメントの印刷が完了するまで、USB ポートからフラッシュドライブを取り外さないでください。
- USB 初期メニュー画面を終了した後もフラッシュドライブをプリンタに挿入したままにしておく場合、ホーム画面の[保持されたジョブ]をタッチすると、フラッシュドライブからファイルを印刷できます。

サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ

メモ:

- High Speed USB フラッシュドライブの場合は、Full Speed 規格をサポートする必要があります。Low Speed USB デバイスはサポートされていません。
- USB フラッシュドライブで、FAT (File Allocation Table) システムをサポートする必要があります。NTFS (New Technology File System) やその他のファイルシステムでフォーマットされているデバイスはサポートされていません。

推奨フラッシュドライブ	ファイルタイプ
- Lexar JumpDrive FireFly (512MB および 1GB) - SanDisk Cruzer Micro (512MB および 1GB) - Sony Micro Vault Classic (512MB および 1GB)	ドキュメント: .pdf .xps 画像: .dcx .gif .jpeg または .jpg .bmp .pcx .tiff または .tif .png .fls

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持されたジョブを印刷する

プリンタに印刷ジョブを保持する

1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。



> [セキュリティ] > [コンフィデンシャル印刷] > 印刷ジョブタイプを選択

使用	目的
無効暗証番号許容回数	無効な暗証番号 (PIN) を入力できる最大回数を制限します。 メモ: この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号 (PIN) に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限	プリンタコントロールパネルから PIN を入力するまで、コンピュータに印刷ジョブを保持します。 メモ: PIN はコンピュータから設定されます。PIN は 1 ~ 9 の数字を使用した 4 桁です。
ジョブ期限切れの繰り返し	印刷ジョブを印刷し、プリンタのメモリに保存します。
ジョブ期限切れの確認	印刷ジョブを 1 部印刷し、残りの部数を保持します。最初の印刷が問題ないかどうかを確認できます。すべての部数が印刷されると、印刷ジョブはプリンタのメモリから自動的に削除されます。
予約印刷ジョブの有効期限	後から印刷するために印刷ジョブを保存します。 メモ: [保持されたジョブ]メニューから削除されるまで、印刷ジョブを保持します。
メモ: - プリンタが他の保持されたジョブを処理するために追加のメモリが必要な場合、コンフィデンシャル印刷ジョブ、確認印刷ジョブ、繰り返し印刷ジョブおよび予約印刷ジョブは削除される場合があります。 - プリンタコントロールパネルから印刷ジョブを開始するまで、プリンタのメモリに印刷ジョブを保存するように、プリンタを設定できます。 - プリンタでユーザーが開始できるすべての印刷ジョブは、保持されたジョブと呼ばれます。	

2 [送信]をタッチします。

保持ジョブを印刷する

- 1 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開きます。
- 2 プリンタを選択し、次の手順を実行します。
 - Windows の場合は、[プロパティ]または[設定]をクリックし、[印刷と保持]をクリックします。
 - Macintosh の場合は、[印刷と保持]を選択します。
- 3 印刷ジョブの種類を選択します。
- 4 必要に応じてユーザー名を割り当てます。
- 5 次のように印刷ジョブを送信します。
- 6 プリンタのホーム画面で、[保持されたジョブ]にタッチします。
- 7 次のように印刷ジョブを送信します。

コンフィデンシャル印刷設定を修正する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
メモ:
 - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。
- 2 [設定] > [セキュリティ] > [コンフィデンシャル印刷設定]をクリックします。
- 3 設定を変更します。
 - 暗証番号入力試行最大回数を設定します。その回数を超えた場合、そのユーザーのすべてのジョブが削除されます。
 - コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期間を設定します。ユーザーが指定された期間内にジョブを印刷しなかった場合、そのユーザーのすべてのジョブが削除されます。
- 4 [送信]をクリックし、変更された設定を保存します。

情報ページを印刷する

フォントサンプルリストを印刷する

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
 > [レポート] > [フォント一覧を印刷]
- 2 [PCL フォント]または[PostScript フォント]をタッチします。

ディレクトリリストを印刷する

ディレクトリリストには、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されたリソースが表示されます。ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [レポート] > [ディレクトリ印刷]

印刷ジョブをキャンセルする

プリンタコントロールパネルから印刷ジョブをキャンセルする

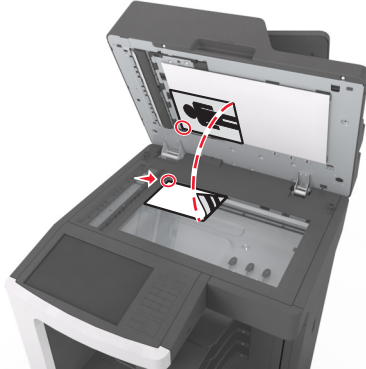
- 1 プリンタコントロールパネルから、[ジョブをキャンセル]をタッチするか、キーボードの  を押します。
- 2 キャンセルする印刷ジョブをタッチし、[選択したジョブを削除]をタッチします。

メモ: キーパッドの  を押し、[再開]を押すと、ホーム画面に戻ります。

コンピュータから印刷ジョブをキャンセルする

- 1 オペレーティングシステムに応じて、次のいずれかの手順に従います。
 - プリンタフォルダを開き、プリンタを選択します。
 - [アップル]メニューの[システム基本設定]から該当プリンタを選びます。
- 2 キャンセルする印刷ジョブを選択します。

コピー

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台ガラス
 複数ページの原稿には ADF を使用します。	 1 ページのものや小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台ガラスを使用します。

コピーを作成する

クイックコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

メモ: 原稿のサイズとコピー用紙のサイズが同じであることを確認してください。サイズを適切に設定していないと、画像がページ内に収まらないことがあります。

- 3 プリンタコントロールパネルから、 をクリックします。

ADF を使用してコピーする

- 1 スキャンする面を上にして原稿を短辺方向から ADF にセットします。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 用紙ガイドを調整します。

- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > コピー設定を指定 > [コピー]

原稿台ガラスを使用してコピーする

- 1 コピーする面を下にして原稿を原稿台ガラスの左上端にセットします。

- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > コピー設定を指定 > [コピー]

複数ページをスキャンする場合は、次の原稿を原稿台の上に置き、[次のページをスキャン]をタッチします。

- 3 [ジョブを仕上げる]をタッチします。

写真をコピーする

- 1 コピーする面を下にして写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。

- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [内容] > [写真] > 

- 3 [内容のソース]メニューから、元の写真に最も一致する適切な設定を選択します。

- 4  > [コピー]をタッチします。

メモ: 複数の写真をコピーする場合は、次の写真を原稿台の上に置き、[次のページをスキャン]をタッチします。

- 5 [ジョブを仕上げる]をタッチします。

特殊用紙にコピー

OHP フィルムにコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > 原稿のサイズを選択 > 

3 次のメニューを選択します。

[コピー先] > OHP フィルムを含むトレイを選択 > [コピー]

OHP フィルムがセットされたトレイがない場合は、次の手順を実行します。

手差しフィーダー >  > OHP フィルムのサイズを選択します。 >  > OHP フィルム > 

4 OHP フィルムを多目的フィーダーにセットしてから、[コピー]をタッチします。

レターヘッド紙にコピーする

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > 原稿のサイズを選択 > 

4 次のメニューを選択します。

[コピー先] > レターヘッド紙がセットされているトレイを選択 > [コピー]

5 レターヘッド紙に対応するトレイがない場合は、次の手順を実行します。

[手差しフィーダー] > レターヘッド紙のサイズを選択 > [レターヘッド紙]

6 スキャンする面を上にしてレターヘッド紙を上端から多目的フィーダーにセットし、[コピー]をタッチします。

プリンタコントロールパネルを使用してコピーショートカットを作成する

1 ホーム画面から[コピー]をタッチします。

2 コピー設定を調整し、[ショートカットとして保存]をタッチします。

メモ: コピーショートカットが作成された後に設定を変更する場合、設定は保存されません。

3 一意のショートカット名を入力し、[終了]をタッチします。

4 ショートカット名が正しいことを確認し、[OK]をタッチします。

ショートカット名が正しくない場合、[キャンセル]をタッチし、情報を再入力します。

メモ:

- ショートカット名は、プリンタのホーム画面のコピーショートカットアイコンに表示されます。
- 同じ設定を使用して別のドキュメントをコピーするときには、ショートカットを使用できます。

コピー設定のカスタマイズ

サイズの異なる用紙をコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > 原稿のサイズを選択 > 

- 4 次のメニューを選択します。

[コピー先] > コピーの新しいサイズを選択 >  > [コピー]

選択したトレイの用紙でコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > 原稿のサイズを選択 > 

- 4 次のメニューを選択します。

[コピー先] > 使用するタイプの用紙がセットされたトレイを選択します。 > 

- 5 [コピー]をタッチします。

サイズの異なる用紙をコピーする

用紙サイズの異なる原稿をコピーするには、ADF を使用します。セットした用紙のサイズと[コピー先] および [コピー元] の設定に応じて、それぞれ異なる用紙サイズで印刷される(例 1)か、単一の用紙サイズに収まるように印刷されます(例 2)。

例 1: 異なる用紙サイズでコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > [大きさ混在] > 

- 4 次のメニューを選択します。

[コピー先] > [自動サイズ調整] >  > [コピー]

用紙サイズは、スキャン処理時にスキャナで識別されます。原稿の用紙サイズに応じて、それぞれ異なる用紙サイズで印刷されます。

例 2: 単一の用紙サイズに収まるようにコピーする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [コピー元] > [大きさ混在] > 

- 4 次のメニューを選択します。

[コピー先] > [レター] >  > [コピー]

用紙サイズは、スキャン処理時にスキャナで識別され、選択した単一の用紙サイズに収まるように調整されます。

用紙の両面にコピーする(両面コピー)

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [印刷面(両面印刷)] > 優先両面印刷方法を選択

メモ: 優先両面印刷方法の場合、最初の数字は原稿の印刷面、2 番目の数字はコピー先の印刷面を表しています。例えば、両面の原稿を両面コピーする場合は、[両面を両面に]を選択します。

4  > [コピー]をタッチします。

コピーを縮小または拡大する

コピーは、原稿のサイズの 25% から 400% にまで縮小または拡大できます。

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から[コピー]をタッチします。

4 ホーム画面で、 または  をタッチし、値を 1% 単位で増減します。

[拡大縮小]を手動で設定してから、[コピー先]または[コピー元]をタッチすると、拡大縮小の値は [自動]に戻ります。

メモ: エ場出荷時は[自動]に設定されています。原稿のスキャン画像が自動的に調整され、コピー出力する用紙のサイズに適合します。

5 [コピー]をタッチします。

コピー品質の調整

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [内容]

4 コピーする内容のタイプに最も合ったボタンをタッチします。

- [文字]—原稿の大半がテキストまたは線画。
- [文字/写真]—原稿にテキスト、図表、および写真が混在。
- [写真]—原稿の大半が写真や画像。
- [グラフィックス]—原稿の大半が、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。

5  をタッチします。

6 コピーする内容のタイプに最も合ったボタンをタッチします。

- [カラーレーザー]—原稿はカラーレーザープリンタで印刷されている。
- [インクジェット]—原稿はインクジェットプリンタで印刷されている。
- [雑誌]—原稿が雑誌。
- [出版物]—原稿は印刷機で印刷されている。
- [モノクロレーザー]—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷されている。
- [写真/フィルム]—原稿がフィルム写真。
- [新聞]—原稿が新聞。
- [その他]—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷されている。

7  > [コピー]をタッチします。

丁合印刷する

ドキュメントを複数部印刷する場合は、それぞれセットとして印刷(丁合印刷)するか、ページごとにまとめて印刷(丁合せずに印刷)するかを選択できます。



1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > 部数を入力 > [丁合印刷] > ページの優先順序を選択 >  > [コピー]

コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [詳細オプション] > [セパレータ紙]

メモ: コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入するには、[丁合印刷]を[1,2,3 - 1,2,3]に設定します。[丁合印刷]が[1,1,1 - 2,2,2]に設定されている場合、セパレータ紙はコピージョブの最後に追加されます。詳細については、[「丁合印刷する」、105 ページ](#)を参照してください。

- 4 次のいずれかを選択します。

- 各部の間
- 各ジョブの間
- 各ページの間
- オフ

- 5  > [コピー]をタッチします。

1 枚の用紙に複数ページをコピーする

用紙を節約する目的で、連続した 2 ページまたは 4 ページのドキュメントを 1 枚の用紙にコピーできます。

メモ:

- 用紙サイズをレター、リーガル、A4、または JIS B5 に設定していることを確認します。
- コピーサイズを 100% に設定してください。

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [詳細オプション] > [用紙の節約] > 目的の出力を選択 >  > [コピー]

メモ: [用紙の節約]が[オフ]の場合、[ページ枠を印刷]オプションは使用できません。

カスタムコピージョブを作成する

カスタムコピージョブまたはジョブ作成は、1 つ以上の原稿のセットを単一のコピージョブに集約する場合に使用します。各セットは、それぞれ異なるジョブパラメータでスキャンできます。コピージョブを送信したときに、[カスタムジョブ] が有効である場合、スキャナでは、指定された設定で最初の原稿のセットがスキャンされ、さらに次のセットが同じ設定または別の設定でスキャンされます。

セットの定義は、スキャンする原稿に応じて異なります。

- 原稿台ガラスを使用して 1 ページの原稿をスキャンした場合は、1 ページで 1 セットが構成されます。
- ADF を使用して複数ページの原稿をスキャンした場合は、ADF トレイにセットされたページが空になるまでスキャンされた全ページで 1 セットが構成されます。
- ADF を使用して 1 ページの原稿をスキャンした場合は、1 ページで 1 セットが構成されます。

例:

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [詳細オプション] > [カスタムジョブ] > [オン] >  > [コピー]

メモ: セットの最後までスキャンが終了したら、スキャン画面が表示されます。

- 4 次の原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置き、[ADF からスキャン] または[原稿台からスキャン]をタッチします。

メモ: 必要に応じて、スキャンジョブ設定を変更します。

- 5 さらに別のドキュメントをスキャンする場合は、前の手順を繰り返します。終了する場合は、[ジョブを終了]をタッチします。

コピー情報

ページにヘッダーまたはフッターを入れる

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF にセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [詳細オプション] > [ヘッダー/フッター] > ヘッダーまたはフッターを挿入する場所を選択 > 目的のヘッダーまたはフッターのタイプを選択

4 選択したヘッダーまたはフッターに応じて必要な情報を入力し、[終了]をタッチします。

5  をタッチし、 を選択します。

各ページにオーバーレイメッセージを印刷する

各ページにオーバーレイメッセージを印刷できます。メッセージの選択肢は、緊急、コンフィデンシャル、コピー、カスタム、ドラフトです。

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[コピー] > [詳細オプション] > [オーバーレイ] > オーバーレイメッセージを選択 > [終了] > [コピー]

コピージョブをキャンセルする

ADF で原稿が処理されている途中でコピージョブをキャンセルする

ADF で原稿の処理が開始されたときに、プリンタコントロールパネルで [ジョブをキャンセル] をタッチします。

原稿台ガラスで原稿をコピーしている途中でコピージョブをキャンセルする

ホーム画面から [ジョブをキャンセル] をタッチします。

ディスプレイ上に [キャンセルしています] が表示されます。ジョブがキャンセルされると、コピー画面が表示されます。

ページの印刷中にコピージョブをキャンセルする

1 プリンタコントロールパネルから、[ジョブをキャンセル] をタッチするか、キーボードの  を押します。

2 キャンセルするジョブをタッチし、[選択したジョブを削除] をタッチします。

メモ: キーパッドの  を押し、[再開] を押すと、ホーム画面に戻ります。

コピーオプションの理解

コピー元

このオプションを使用すると、原稿の用紙サイズを選択できる画面が開きます。

- 原稿と同じ用紙サイズをタッチします。
- 用紙サイズが異なる原稿を同じ幅でコピーするには、[**大きさ混在**]をタッチします。
- 原稿のサイズをプリンタで自動判別するには、[**自動サイズ検知**]をタッチします。

コピー

このオプションを使用すると、コピーを印刷する用紙のサイズとタイプを入力できる画面が開きます。

- セットしている用紙と同じサイズとタイプをタッチします。
- [コピー元]と[コピー先]の設定が異なる場合、[拡大縮小]設定がプリンタで自動的に調整され、サイズの差は調整されます。
- コピーを印刷するサイズとタイプの用紙がどのトレイにもセットされていない場合、[手差しフィーダー]をタッチして、多目的フィーダーに用紙を手動でセットします。
- [コピー先]を[自動サイズ調整]に設定すると、コピーのページはそれぞれ原稿の用紙サイズで印刷されます。同じサイズの用紙がどのトレイにもセットされていない場合、**用紙サイズが見つかりません**というメッセージが表示され、トレイまたは多目的フィーダーに用紙をセットするよう指示されます。

拡大縮小

このオプションを使用すると、コピー画像が 25%～400% の任意の範囲で均等に拡大縮小されます。自動設定も可能です。

- リーガル用紙からレター用紙のように、用紙サイズを変更してコピーするときに、[コピー元]と[コピー先]の用紙サイズを自動的に拡大縮小するよう設定することで、原稿の情報をすべてコピー先のページに収めることができます。
-  またはプリンタコントロールパネルの  をタッチすると、1% 刻みで値が増減します。ボタンを 2 秒以上押したままにすると、値が連続して増減します。

濃さ

このオプションでは、原稿を基準にして、コピーの濃度を調整します。

印刷面(両面印刷)

原稿が両面か片面か、また、両面でコピーするか片面でコピーするかを指定します。

丁合印刷

このオプションでは、コピーを 2 部以上印刷するときに、印刷順序が原稿のページと同じ順序になるようにします。

部数

このオプションを使用すると、印刷する部数を設定できます。

内容

このオプションを使用すると、原稿のタイプとソースを設定できます。

以下の内容タイプから選択します。

- **[グラフィックス]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。
- **[写真]**—原稿の大半は写真や画像。
- **[文字]**—原稿の大半はテキストまたは線画。
- **[文字/写真]**—原稿にはテキスト、図表、および写真が混在。

以下の内容ソースから選択します。

- **[モノクロレーザー]**—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷されている。
- **[カラーレーザー]**—原稿はカラーレーザープリンタで印刷されている。
- **[インクジェット]**—原稿はインクジェットプリンタで印刷されている。
- **[雑誌]**—原稿が雑誌。
- **[新聞]**—原稿が新聞。
- **[その他]**—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷されている。
- **[写真/フィルム]**—原稿がフィルム写真。
- **[出版物]**—原稿が出版物。

ショートカットとして保存

このオプションを使用すると、現在の設定にショートカット名を割り当てて、保存できます。

メモ: このオプションを選択すると、次の使用可能なショートカット番号が自動的に割り当てられます。

詳細オプションの使用

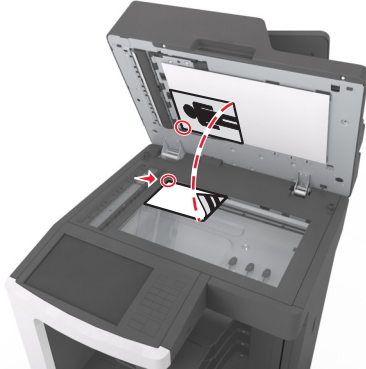
以下の設定から選択します。

- **両面印刷詳細設定**—原稿の向き、原稿の印刷方法（片面印刷または両面印刷）、および原稿の綴じ方を指定します。
- **イメージ詳細設定**—原稿をコピーする前に、[自動中央揃え]、[背景削除]、[カラーバランス]、[カラードロップアウト]、[コントラスト]、[左右反転]、[ネガイメージ]、[端までスキャン]、[シャドウ描写]、および[シャープネス]、設定を変更または調整します。
- **小冊子を作成**—小冊子を作成します。片面印刷または両面印刷を選択できます。
メモ: このオプションは、ハードディスクが実装されている場合にのみ表示されます。
- **送付状ページの設定**—コピーの送付状と小冊子の送付状を設定します。
- **カスタムジョブ**—複数のスキャンジョブを単一のジョブに集約します。
- **フチ消去**—原稿のフチの周り付近にある汚れやマークを消去します。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択して消去することも可能です。
- **ヘッダー/フッター**—日付/時刻、ページ番号、バイト番号、およびカスタムテキストをオンにして、指定したヘッダーまたはフッターの場所に挿入します。

- **余白移動**—スキャンした画像を移動することで、指定した距離分、余白のサイズを増減します。 または  をタッチして、目的の余白を設定します。追加した余白が大きすぎた場合、コピーはトリミングされます。
- **オーバーレイコピー**—内容に透かし(メッセージ)を重ねて作成します。所定のメッセージ(緊急、コンフィデンシャル、コピー、およびドラフト)を選択することも、[カスタムテキストを入力]フィールドにカスタムメッセージを挿入することも可能です。選択したメッセージは、各ページに大きな活字で薄く印刷されます。
- **用紙の節約**—原稿の 2 枚以上のページを同じページにまとめて印刷します。[用紙の節約]は、N-up 印刷とも呼ばれます。N は、枚数(Number)を表します。
- **セパレータ紙**—部、ページ、または印刷ジョブのまとまりごとに空のページを挿入します。コピーを印刷する用紙とは別のタイプや色の用紙をトレイにセットして、そのトレイからセパレータ紙として給紙できます。
- **重送センサー**—ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出し、エラーメッセージを表示します。

メモ: このオプションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。

E メールで送信する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台ガラス
 複数ページの原稿には ADF を使用します。	 1 ページのものや小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台ガラスを使用します。

プリンタを設定して E メールを送信する

E メール機能をセットアップする

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [E メール/FTP 設定] > [E メール設定]の順にクリックします。

- 3 該当する情報を入力し、[送信]をクリックします。

E メール設定を構成する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [E メール/FTP 設定] > [E メール設定]の順にクリックします。

- 3 該当する情報を入力し、[送信]をクリックします。

E メールショートカットを作成する

内蔵 Web サーバーを使用して E メールショートカットを作成する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定]をクリックします。
- 3 [その他の設定] 列で、[ショートカット管理] > [E メールショートカットの設定]をクリックします。
- 4 宛先の一意の名前を入力して、E メールアドレスを入力します。複数のアドレスを入力する場合、各アドレスをコンマ(,)で区切ります。
- 5 [追加]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用して E メールショートカットを作成する

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[E メール] > [受信者] > E メールアドレスを入力
宛先のグループを作成するには、[次のアドレス]をクリックして、次の宛先の E メールアドレスを入力します。
- 2 [件名]をタッチし、Eメールの件名を入力してから、[完了]をタッチします。
- 3 [メッセージ]をタッチし、メッセージを入力してから、[完了]をタッチします。
- 4 Eメールの設定を調整します。

メモ: E メールショートカットが作成された後に設定を変更する場合、設定は保存されません。

- 5  をタッチします。
- 6 一意のショートカット名を入力し、[完了]をタッチします。
- 7 ショートカット名が正しいことを確認し、[OK]をタッチします。
ショートカット名が正しくない場合、[キャンセル]をタッチし、再入力します。

メモ:

- ショートカット名は、プリンタのホーム画面の E メールショートカットアイコンに表示されます。
- 同じ設定を使用して別のドキュメントを E メールで送信するときには、ショートカットを使用できます。

ドキュメントを送信する

さまざまな方法でプリンタを使用し、1人以上の受信者にスキャン文書をEメール送信できます。Eメールアドレスの入力、ショートカット番号の使用、アドレス帳の使用が可能です。プリンタのホーム画面から、複数送信やマイショートカットアプリケーションを使用することもできます。詳細については、「[ホーム画面のアプリケーションを認証する](#)」、[21 ページ](#)を参照してください。

プリンタコントロールパネルを使用して E メールを送信する

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

メモ: 原稿のサイズとコピー用紙のサイズが同じであることを確認してください。サイズを適切に設定していないと、画像がページ内に収まらないことがあります。

- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール] > [受信者]

- 4 E メールアドレスを入力するか、キーパッドの# を押し、ショートカット番号を入力します。

メモ:

- 追加の受信者を入力するには、[次のアドレス]をタッチして、追加するアドレスまたはショートカット番号を入力します。
- アドレス帳を使用して、E メールアドレスを入力することも可能です。

- 5 次に、[終了] > [送信]をタッチします。

ショートカット番号を使用して E メールを送信する

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- 3 # を押し、キーパッドでショートカット番号を入力して、 をタッチします。

メモ: 受信者を追加入力するには、[次のアドレス]をタッチし、追加するアドレスまたはショートカット番号を入力します。

- 4 [送信]をタッチします。

アドレス帳を使用して E メールを送信する

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール] > [受信者] >  > 受信者の名前を入力 > [検索]

- 4 受信者の名前を入力します。

メモ: 受信者を追加入力するには、[次のアドレス]をタッチし、追加するアドレスまたはショートカット番号を入力するか、アドレス帳を検索します。

- 5 [終了]をタッチします。

E メール設定のカスタマイズ

Eメールの件名と本文を追加する

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール] > [受信者] > E メールアドレスを入力 > [終了]

- 4 次に、[件名]をタッチし、Eメールの件名を入力してから、[終了]をタッチします。

- 5 次に、[メッセージ]をタッチし、メッセージを入力してから、[終了]。

出力ファイルタイプを変更する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[E メール] > [受信者] > E メールアドレスを入力 > [終了] > [送信形式]

3 送信するファイルタイプを選択します。

メモ: [セキュア PDF]を選択した場合、パスワードを 2 回入力するよう指示されます。

4 > [送信]をタッチします。

E メールをキャンセルする

- ADF を使用している場合は、スキャン中というメッセージが表示されているときに、[ジョブをキャンセル]をタッチします。
- 原稿台ガラスを使用している場合は、スキャン中または次のページをスキャン/ジョブを終了というメッセージが表示されているときに、[ジョブをキャンセル]をタッチします。

E メールオプション

受信者

このオプションを使用すると、Eメールの受信者を入力できます。複数の E メールアドレスを入力できます。

件名

このオプションを使用すると、Eメールの件名を入力できます。

本文

このオプションを使用すると、スキャンした添付ファイルとともに送信される Eメールの本文を入力できます。

ファイル名

このオプションでは、添付ファイル名をカスタマイズできます。

原稿サイズ

このオプションを使用すると、Eメール送信する原稿の用紙サイズを設定できます。[原稿サイズ]を[大きさ混在]に設定すると、用紙サイズが異なる原稿(リーガルサイズおよびレターサイズのページ)をスキャンできます。

解像度

このオプションを使用すると、Eメールの出力品質を調整できます。画像解像度を大きくすると、Eメールサイズが大きくなるとともに、原稿のスキャンに必要な時間が長くなります。画像の解像度を低くすると、ファイルサイズが小さくなります。

内容

このオプションを使用すると、原稿のタイプとソースを設定できます。

以下の内容タイプから選択します。

- **[グラフィックス]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。
- **[写真]**—原稿の大半は写真や画像。
- **[文字]**—原稿の大半はテキストまたは線画。
- **[文字/写真]**—原稿にテキスト、図表、および写真が混在。

以下の内容ソースから選択します。

- **[モノクロレーザー]**—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷。
- **[カラーレーザー]**—原稿はカラーレーザープリンタで印刷。
- **[インクジェット]**—原稿はインクジェットプリンタで印刷。
- **[雑誌]**—原稿は雑誌。
- **[新聞]**—原稿は新聞。
- **[その他]**—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷。
- **[写真/フィルム]**—原稿はフィルム写真。
- **[出版物]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。

ショートカットとして保存

このオプションを使用すると、現在の設定にショートカット名を割り当てて、ショートカットとして保存できます。

メモ: このオプションを選択すると、次の使用可能なショートカット番号が自動的に割り当てられます。

濃さ

このオプションでは、原稿を基準にして、スキャン文書の濃度を調整します。

送信形式

このオプションを使用すると、スキャン画像の出力形式を設定できます。

次のいずれかを選択します。

- **[PDF]**—複数ページを含む単一ファイルを作成する場合に使用します。ファイルをセキュリティ保護および圧縮して送信できます。
- **[TIFF]**—複数ファイルまたは単一ファイルを作成する場合に使用します。内蔵 Web サーバー(EWS)の[設定]メニューで [複数ページ TIFF] をオンにした場合、ファイルごとに 1 ページという形式で TIFF ファイルが保存されます。通常、ファイルサイズは同等の JPEG ファイルよりも大きくなります。
- **[JPEG]**—原稿の 1 ページごとに個別のファイルを作成して添付する場合に使用します。
- **[XPS]**—複数ページを含む単一 XPS ファイルを作成する場合に使用します。
- **RTF**—編集可能な形式でファイルを作成する場合に使用します。
- **TXT**—書式のない ASCII テキスト ファイルを作成する場合に使用します。

メモ: RTF オプションまたは TXT オプションを使用するには、AccuRead™ OCR ソリューションを購入してインストールしてください。

ページ設定

このオプションを使用すると、次を設定できます。

- **[印刷面(両面印刷)]**—原稿が片面印刷(ページの片面に印刷)または両面印刷(ページの両面に印刷)のどちらであるかを指定します。E メールに含めるスキャンの対象も指定します。
- **[用紙の向き]**—原稿の向きを指定して、[印刷面(両面印刷)]と[綴じ]を用紙の向きに合わせて変更します。
- **[綴じ]**—原稿の綴じ方(長辺綴じまたは短辺綴じ)を指定します。

スキャンプレビュー

このオプションでは、E メールに添付する前に、画像の最初のページを表示します。最初のページがスキャンされると、スキャンが停止して、プレビュー画像が表示されます。

メモ: このオプションが表示されるのは、動作するプリンタハードディスクが取り付けられている場合に限定されます。

詳細オプションの使用

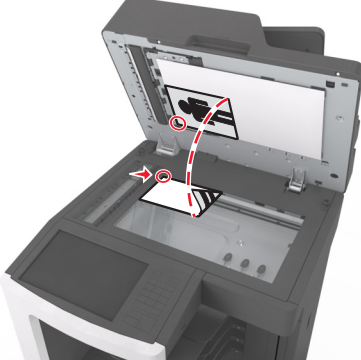
以下の設定から選択します。

- **イメージ詳細設定**—E メールを送信する前に、[背景削除]、[カラーバランス]、[カラードロップアウト]、[コントラスト]、[JPEG 品質]、[左右反転]、[ネガ]、[端までスキャン]、[シャドウ細部]、[シャープネス]、および [色温度] 設定を調整します。
- **カスタムジョブ**—複数のスキャンジョブを単一のジョブに集約します。
- **フチ消去**—原稿のフチの周り付近にある汚れやマークを消去します。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択して消去することも可能です。[フチ消去] では、選択した領域内のすべての情報が消去され、そのスキャン部分には何も残りません。
- **送信ログ**—送信ログまたは送信エラーログを印刷します。
- **重送センサー**—ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出し、エラーメッセージを表示します。

メモ: プリンタ機種によりこのオプションが無いものもあります。

Fax

メモ: 一部のプリンタモデルでのみサポートされている FAX 機能オプションがあります。

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台ガラス
 複数ページの原稿には ADF を使用します。	 1 ページのものや小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台ガラスを使用します。

プリンタを設定して Fax を送信する

FAX の初期設定

多くの国や地域では、送信 FAX の各ページ上部あるいは下部の余白、または送信原稿の 1 枚目に、送信元(メッセージを送信する会社やその他団体、または個人名)および送信元番号(送信 FAX 機、会社、その他団体、または個人の電話番号)の情報の記載が求められます。詳細については、[「通信端末機器の規制に関する通知」](#)、362 ページを参照してください。

FAX の設定情報の入力には、プリンタのコントロールパネルを使用する、もしくはブラウザを使用して内蔵 WEB サーバー(EWS)にアクセスし、設定メニューを入力します。

メモ: TCP/IP 環境をお持ちでない場合、プリンタのコントロールパネルを使用して FAX の設定情報を入力する必要があります。

プリンタのコントロールパネルによる FAX 設定

初めてプリンタの電源を入れると、一連のスタートアップ画面が表示されます。プリンタに FAX 機能がある場合、[Fax 名]および[Fax 番号]画面が表示されます。

- 1 [Fax 名]画面が表示されたら、次の手順を実行します。
 - a すべての送信 Fax に印刷される名前を入力します。
 - b Fax 名を入力し、[送信]をタッチします。
- 2 [Fax 番号]画面が表示されたら、Fax 番号を入力し、[送信]をタッチします。

内蔵 WEB サーバー(EWS)による FAX 設定

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定]の順にクリックします。

3 [FAX 名]フィールドが表示後、送信する全ての FAX に印字する送信元を入力します。

4 [FAX 番号]フィールドに、プリンタの FAX 番号を入力します。

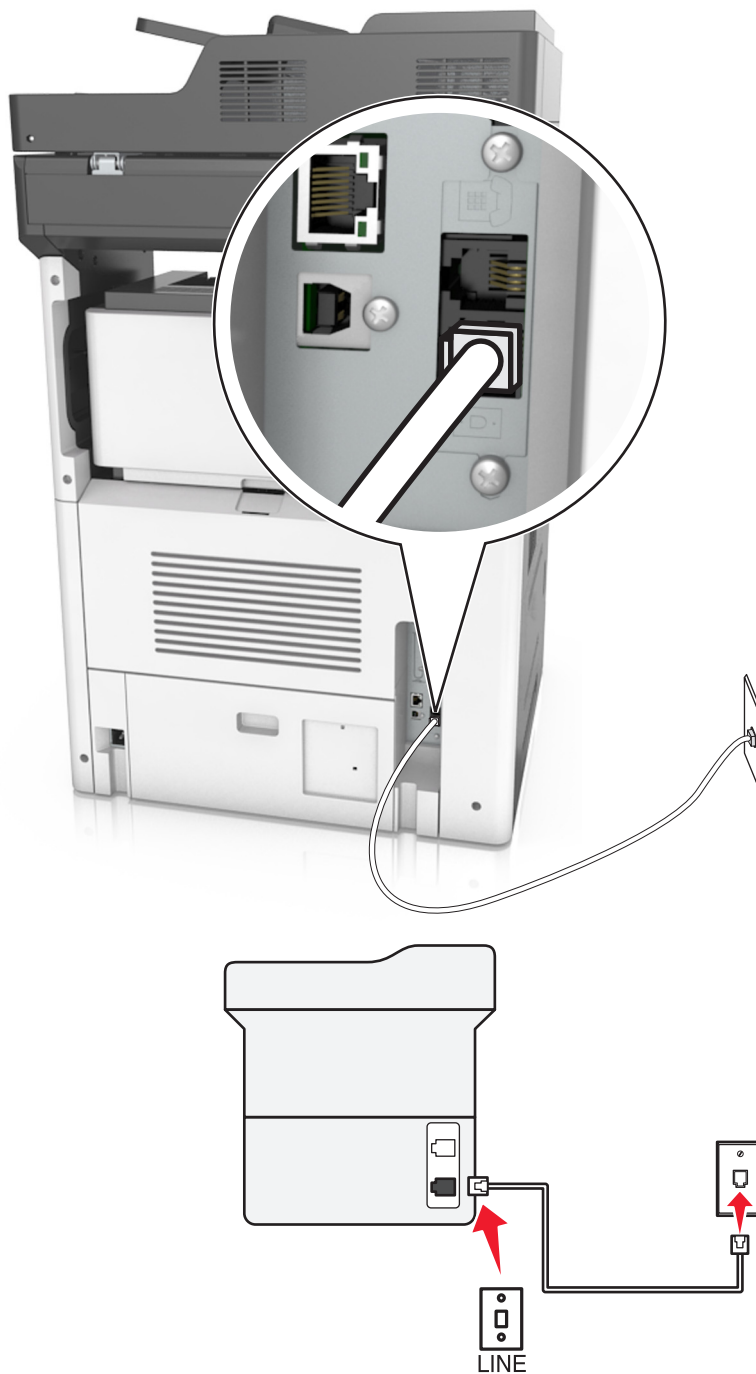
5 [送信]をクリックします。

FAX 接続の選択

標準電話回線を使用して FAX を設定する

 **注意—感電危険:** 雷雨時には、感電の危険を避けるため、本機のセットアップ、電源コードなどの電氣的接続、FAX 機能、電話などとのケーブル接続を行わないでください。

 **注意—感電危険:** 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

セットアップ 1: プリンタが専用 FAX 回線に接続されている場合

- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。

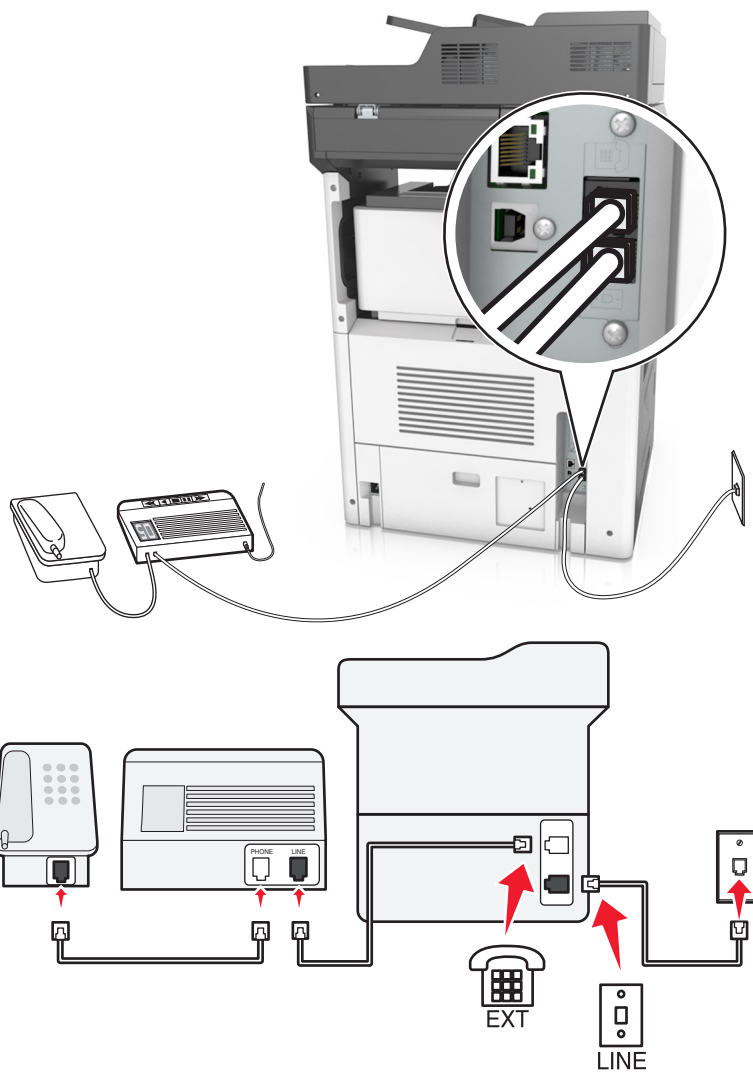
メモ:

- FAX を自動(自動受信オン)または手動(自動受信オフ)で受信するようにプリンタを設定できます。
- FAX を自動的に受信する場合は、応答するまでの呼び出し回数を任意に設定してください。

セットアップ 2: プリンタが留守番電話機と回線を共有している場合

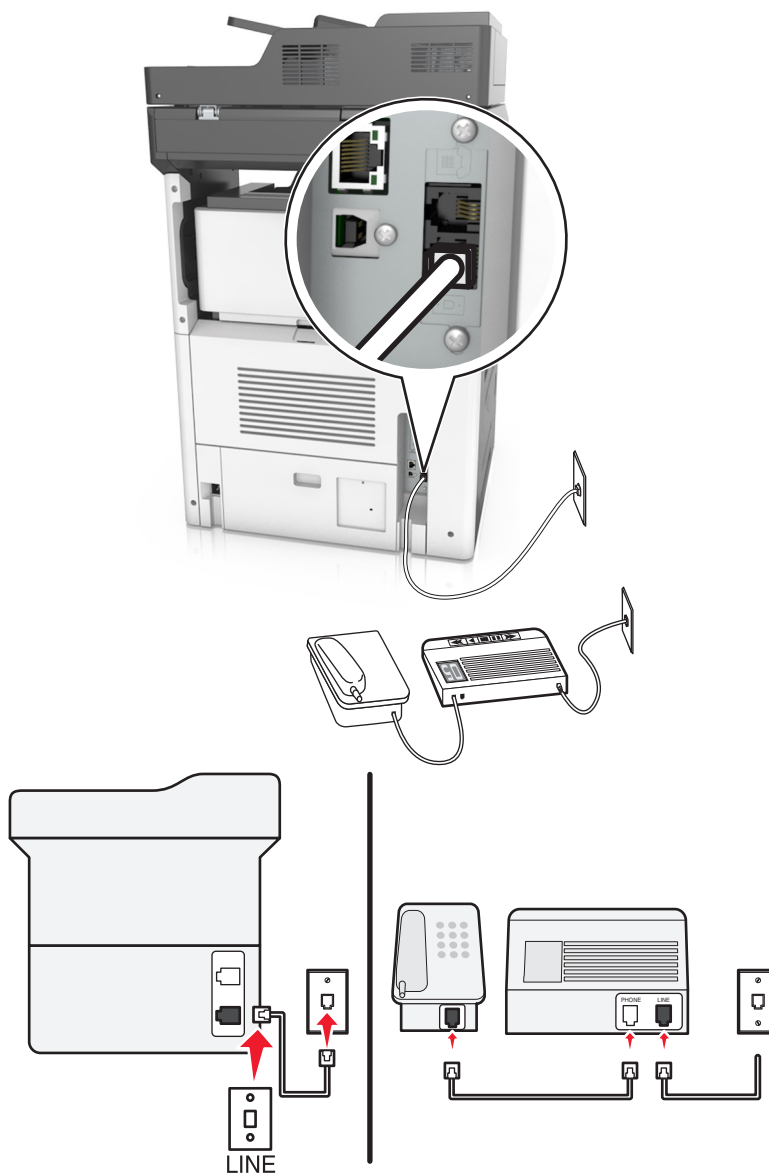
メモ: 電話会社提供の FAX 専用着信音サービスを利用している場合は、プリンタに正しい着信音を設定していることを確認します。間違った着信音を設定すると、FAX を自動受信するように設定していたとしてもプリンタは FAX を受信しません。

同じ電話コンセントに接続されている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。
- 3 留守番電話をプリンタの電話ポートに接続します。

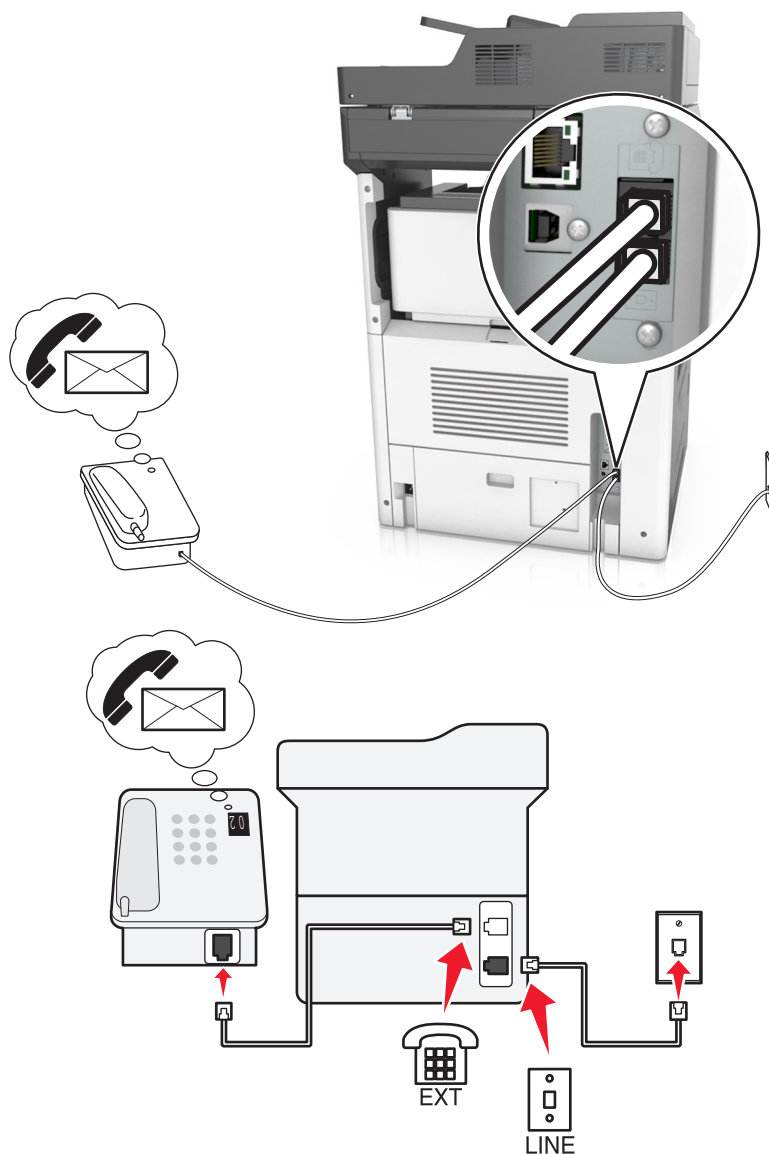
別々の電話コンセントに接続されている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。

メモ:

- お使いの電話回線で 1 つの電話番号しか持っていない場合は、FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
- 留守番電話が応答してから着信音が 2 回鳴った後でプリンタが応答するように、プリンタを設定します。たとえば、留守番電話が着信音 4 回で応答する場合は、プリンタの[呼び出し回数]設定を 6 回に設定します。

セットアップ 3: プリンタがボイスメールサービスに加入している電話と電話回線を共有している場合

- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。
- 3 電話機をプリンタの電話ポートに接続します。

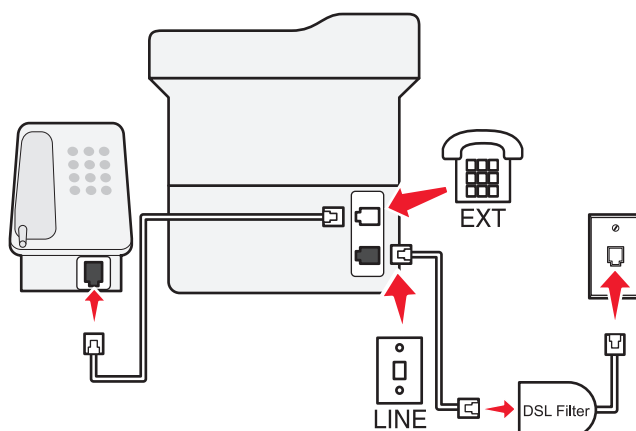
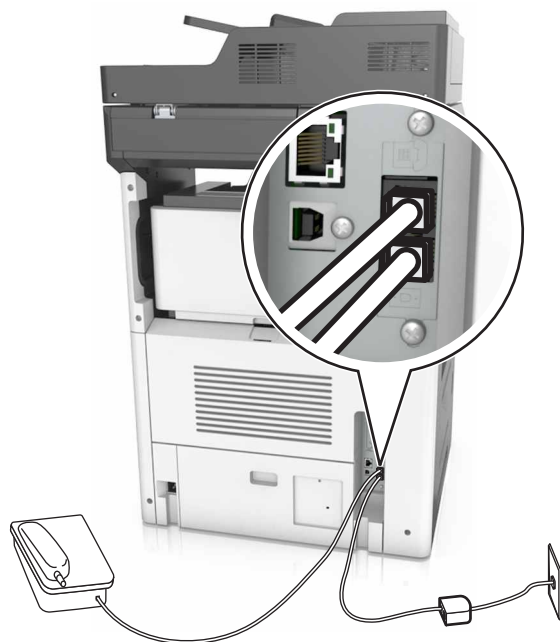
メモ:

- これは、FAX よりもボイスメールを頻繁に使用する場合、専用着信音サービスに加入している場合に最適な設定です。
- 受話器を取り上げたときに FAX トーンが聞こえたら、電話機で「*9*」または手動受信コードを押します。
- プリンタが FAX を自動的に受信するように設定することもできますが、FAX 着信が予期されるときはボイスメールサービスをオフにします。

デジタル加入者回線を使用して FAX を設定する

 **注意—感電危険：**雷雨時には、感電の危険を避けるため、本機のセットアップ、電源コードなどの電氣的接続、FAX 機能、電話などとのケーブル接続を行わないでください。

 **注意—感電危険：**雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。



デジタル加入者回線(DSL)では、通常の電話回線が2つのチャンネル、音声チャンネルとインターネットチャンネルに分けられます。電話とFAXの信号は音声チャンネルで送受信され、インターネットの信号は別のチャンネルで送受信されます。

DSL フィルタを取り付けて2つのチャンネルの干渉を最小限にして接続品質を確保します。

メモ：DSL フィルタについては、ご契約のDSL プロバイダにお問い合わせください。

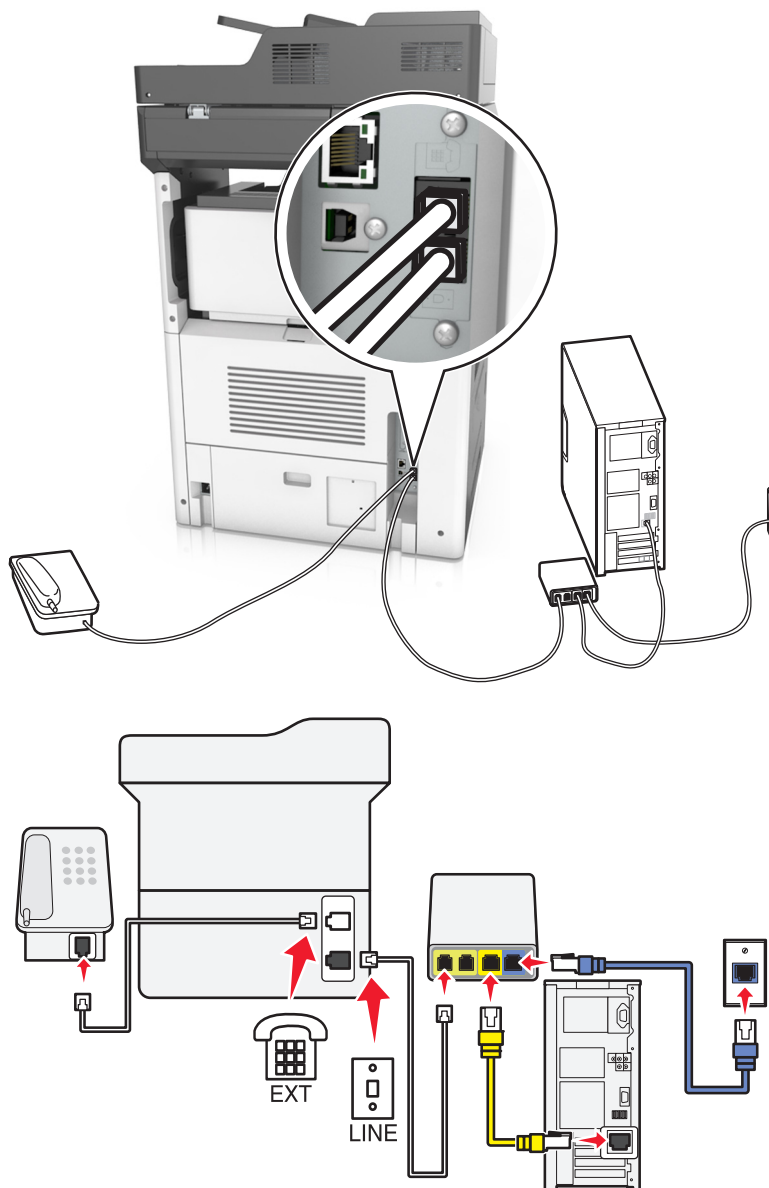
- 1 壁の電話の差し込み口にDSL フィルタのLINE ポートを接続します。
- 2 電話ケーブルの一方の端をプリンタのLINE ポートに接続します。もう一方の端を、DSL フィルタの電話ポートに接続します。

- 3 プリンタに電話を接続するには、取り付けられているアダプタプラグをプリンタの電話ポートから取り外し、電話を接続してください。

VoIP 電話サービスを使用して FAX を設定する

⚠ 注意—感電危険：雷雨時には、感電の危険を避けるため、本機のセットアップ、電源コードなどの電氣的接続、FAX 機能、電話などとのケーブル接続を行わないでください。

⚠ 注意—感電危険：雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を、VoIP アダプタの[電話回線 1]または[電話ポート]というラベルの付いたポートに接続します。

メモ: [電話回線 2]または[FAX ポート]とラベルの付いたポートは常に有効とは限りません。2 番目の電話ポートを有効にするには、追加料金を VoIP プロバイダに支払う必要がある場合があります。

3 電話機をプリンタの電話ポートに接続します。

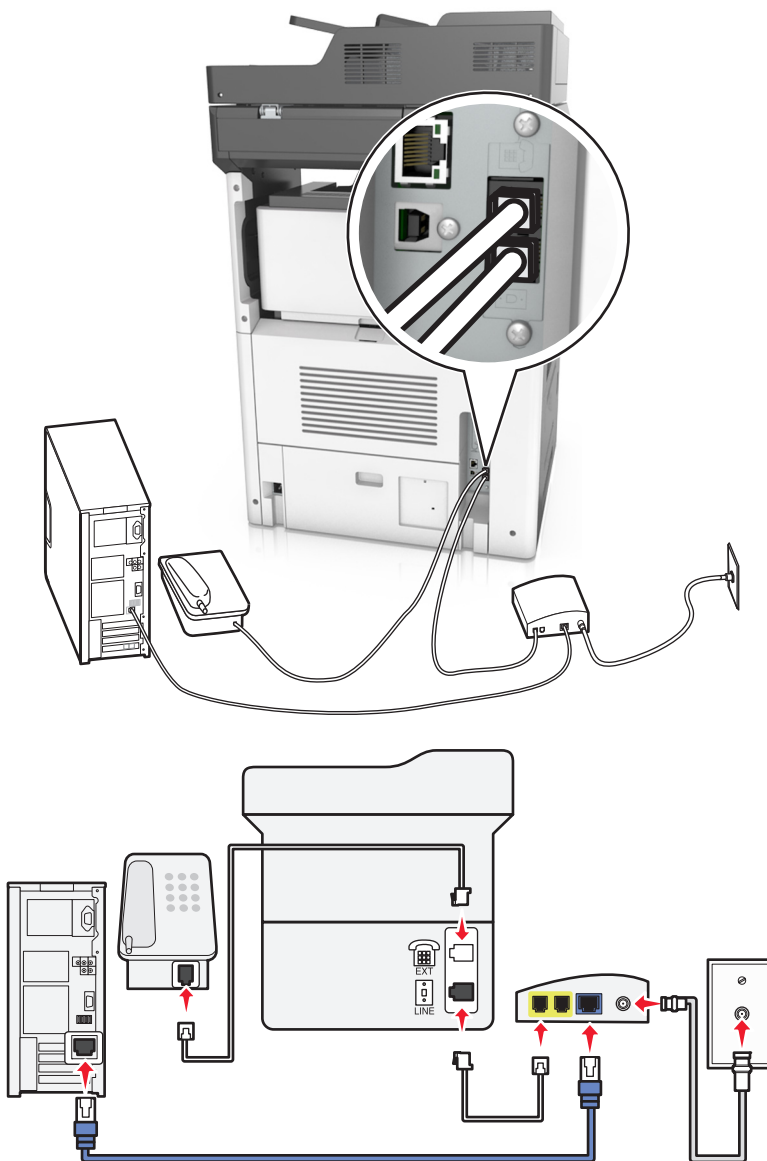
メモ:

- VoIP アダプタの電話ポートが機能していることを確認するには、ポートにアナログ電話機を接続してダイヤルトーンを聞いてください。
- お使いのデバイスに 2 つの電話ポートが必要な場合でも、追加料金の支払いを避けたい場合は、電話分配器を使用してください。電話分配器を[電話回線 1]または[電話ポート]というラベルの付いたポートに接続し、プリンタおよび電話機を分配器に接続します。
- 分配器を確認するには、アナログ電話機を分配器に接続し、ダイヤルトーンを聞きます。

ケーブルモデム接続を使用して FAX を設定する

 **注意—感電危険:** 雷雨時には、感電の危険を避けるため、本機のセットアップ、電源コードなどの電氣的接続、FAX 機能、電話などとのケーブル接続を行わないでください。

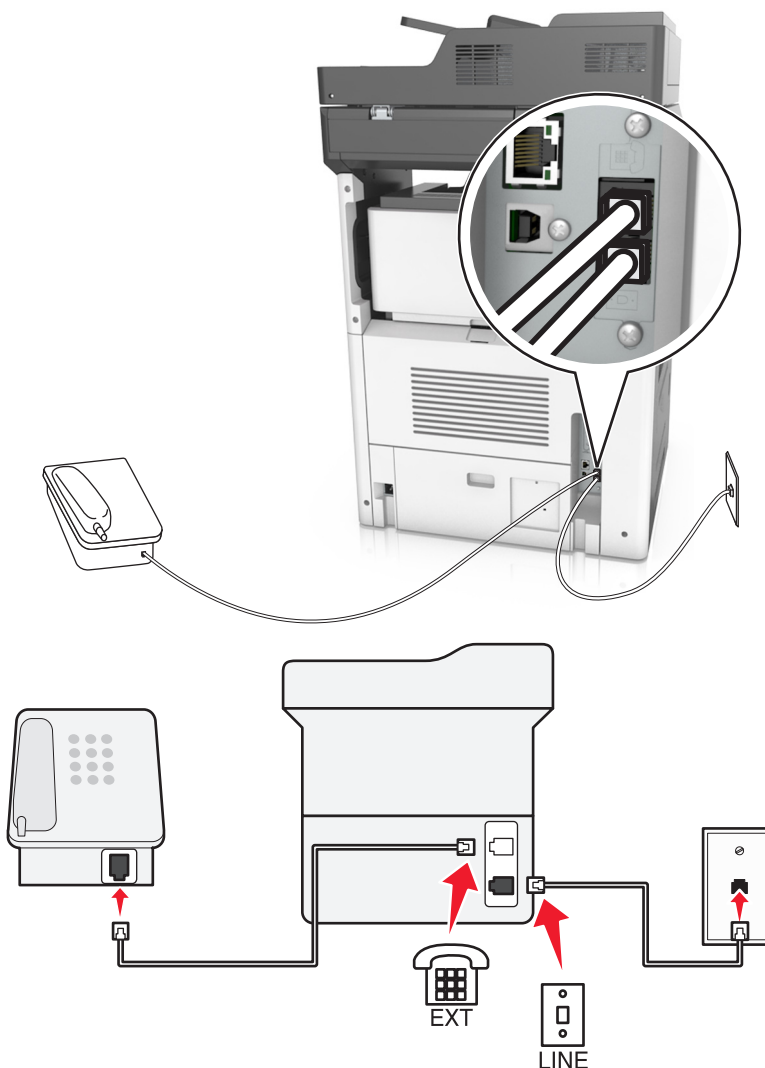
 **注意—感電危険:** 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

セットアップ 1: プリンタがケーブルモデムに直接接続されている場合

- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を、ケーブルモデムの[電話回線 1]または[電話ポート]というラベルの付いたポートに接続します。
- 3 アナログ電話をプリンタの電話ポートに接続します。

メモ: ケーブルモデムの電話ポートが機能していることを確認するには、アナログ電話機を接続し、ダイヤルトーンを聞きます。

セットアップ 2: プリンタが壁の電話コンセントに接続され、ケーブルモデムがファシリティの別の場所に取り付けられている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。
- 3 アナログ電話をプリンタの電話ポートに接続します。

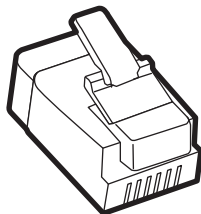
異なる電話のモジュージャックとプラグを使用する国または地域で FAX を設定する

⚠ 注意—感電危険: 雷雨時には、感電の危険を避けるため、本機のセットアップ、電源コードなどの電氣的接続、FAX 機能、電話などとのケーブル接続を行わないでください。

⚠ 注意—感電危険: 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

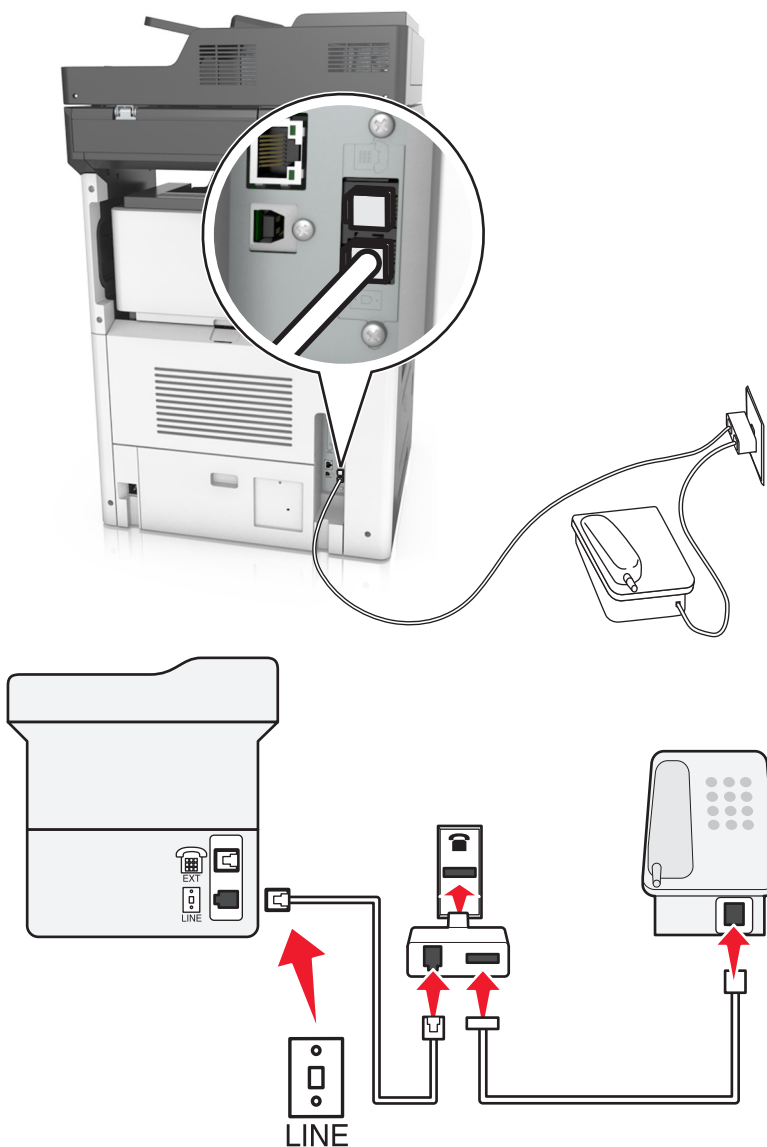
ほとんどの国または地域で標準として採用されているモジュージャックは、RJ11 です。ファシリティ内のモジュージャックまたは機器がこのタイプの接続に互換性がない場合は、電話アダプタを使用します。お住まいの国または地域のアダプタがプリンタに含まれておらず、別途購入する必要がある場合があります。

プリンタの電話ポートにアダプタプラグが取り付けられている場合があります。シリアルまたはカスケード式電話システムに接続している場合、プリンタの電話ポートからアダプタプラグを取り外さないでください。



部品名	部品番号
Lexmark アダプタプラグ	40X8519

プリンタを RJ11 以外のモジュージャックに接続する



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を RJ11 アダプタに接続し、アダプタをモジュージャックに接続します。

- 3 RJ11 以外のコネクタを使用した別のデバイスを同じモジュージャックに接続する場合は、直接電話アダプタに接続します。

プリンタをモジュージャックに接続する(ドイツ)

ドイツのモジュージャックには 2 種類のポートがあります。N ポートは FAX 機、モデム、留守番電話用のポートで、F ポートは電話用のポートです。プリンタは N ポートに接続します。

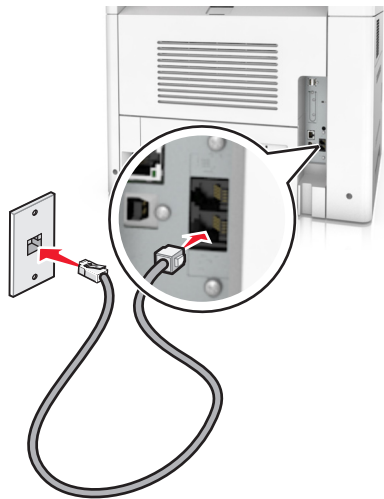


- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を RJ11 アダプタに接続し、アダプタを N ポートに接続します。
- 3 電話や留守番電話などを同じ壁のモジュージャックに接続する場合、図のように接続してください。

着信識別サービスへの接続

着信識別サービスは、ご契約の電話会社を介してご利用頂ける場合があります。本サービスによって1つの電話回線で複数の電話番号を保有することができ、それぞれ異なる着信音をご使用頂けます。こちらは FAX と電話とを区別する際に役立つと思われます。着信識別サービスにご加入の場合は、以下のステップに従い機器を接続してください。

- 1 プリンタ付属の電話ケーブルの一端をプリンタの LINE ポート  に接続します。
- 2 電話ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログ電話回線のコンセントに接続します。



- 3 着信識別設定を変更し、ご希望されるプリンタ用の着信に設定します。

メモ: 工場出荷時の着信識別設定はオンとなっております。こちらによりプリンタは 1 つ、2 つ、及び 3 つの着信パターンで応答します。

- a ホーム画面から、次のメニューを選択します。

 > [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定] > [受信の設定]

- b 変更したい着信パターン設定を選択し、[送信]をタッチします。

送信 FAX/番号の設定

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定]の順にクリックします。
- 3 [FAX 名]フィールドが表示後、送信する全ての FAX に印字する送信元を入力します。
- 4 [FAX 番号]フィールドに、プリンタの FAX 番号を入力します。
- 5 [送信]をクリックします。

日付および時刻の設定

送信する全ての FAX に日付および時刻を印字されるよう設定することができます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [セキュリティ] > [日付/時刻を設定]の順にクリックします。
- 3 [日付と時間手動設定]フィールドに、現在の日付と日時を入力します。
- 4 [送信]をクリックします。

メモ: ネットワークタイムのご使用をお勧めします。

夏時間を使用するようにプリンタを設定する

プリンタは自動的に夏時間に合わせるように設定できます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [セキュリティ] > [日付/時刻を設定]の順にクリックします。
- 3 [DST を自動的に順守]チェックボックスをオンにし、DST 開始/終了日付を[カスタム時間帯の設定]セクションに入力します。
- 4 [送信]をクリックします。

Fax を送信する

プリンタを使用して、さまざまな方法で 1 つ以上の宛先に Fax を送信できます。E メールアドレスの入力、ショートカット番号の使用、アドレス帳の使用が可能です。プリンタのホーム画面から、複数送信やマイショートカットアプリケーションを使用することもできます。詳細については、[「ホーム画面のアプリケーションを認証する」](#)、21 ページを参照してください。

プリンタコントロールパネルを使用して FAX を送信する

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。

- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から[FAX]をタッチします。

4 FAX 番号またはショートカットを入力します。

メモ: 受信者を追加するには、[次の番号] をタッチして受信者の電話番号またはショートカット番号を入力するか、アドレス帳を検索します。

5 [FAX]をタッチします。

コンピュータを使用して FAX を送信する

Windows の場合

1 FAX するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

2 プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。

3 [FAX] > [FAX を有効にする]をクリックして、送信先 FAX 番号を 1 件以上入力します。

4 必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。

5 変更を適用して、FAX ジョブを送信します。

メモ:

- FAX オプションは、PostScript®ドライバまたはユニバーサル FAX ドライバがインストールされている場合のみ使用できます。詳細については、<http://support.lexmark.com> で入手できます。
- FAX オプションを PostScript ドライバで使用するには、[構成]タブで設定して有効にします。

Macintosh の場合

1 ドキュメントを開いた状態で、[ファイル] > [プリント]の順に選択します。

2 プリンタを選択します。

3 送信先 FAX 番号を入力し、必要に応じて、他の FAX 設定を変更します。

4 次のように FAX ジョブを送信します。

ショートカット番号を使用して FAX を送信する

FAX ショートカットは、電話機や FAX 機のスピードダイヤル番号のようなものです。ショートカット番号(1 ~ 999)には、1 件以上の受信者を含めることができます。

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- 3 プリンタコントロールパネルから # を押し、キーボードを使用してショートカット番号を入力します。
- 4 [FAX] をタッチします。

アドレス帳を使用して FAX を送信する

アドレス帳では、ブックマークおよびネットワークディレクトリサーバーを検索できます。アドレス帳機能を有効にする方法については、システムサポート担当者にお問い合わせください。

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[FAX] >  > 受信者の名前を入力 > [検索]

メモ: 一度に検索できる名前は 1 件のみです。

- 4 受信者の名前をタッチし、[FAX] をタッチします。

FAX を予定時刻に送信する

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[FAX] > FAX 番号を入力 > [オプション] > [後で送信]

メモ: FAX モードが FAX サーバに設定されている場合、[後で送信] ボタンは表示されません。送信待機中の FAX が FAX キューに一覧表示されます。

- 4 FAX を送信する時刻を指定し、 をタッチします。
- 5 [FAX] をタッチします。

メモ: ドキュメントがスキャンされ、予定時刻に FAX で送信されます。

ショートカットを作成する

内蔵 Web サーバーを使用して FAX 宛先ショートカットを作成する

1 件の FAX 番号または FAX 番号のグループにショートカット番号を割り当てます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [ショートカット管理] > [FAX ショートカット設定]の順にクリックします。

メモ: パスワードが要求される場合があります。ID とパスワードがわからない場合は、システムサポート担当者までお問い合わせください。

- 3 ショートカット名を入力してから、FAX 番号を入力します。

メモ:

- 複数の番号が含まれるショートカットを作成するには、グループの FAX 番号を入力します。
- グループ内の各 FAX 番号はセミコロン(;)で区切ります。

- 4 ショートカット番号を割り当てます。

メモ: 入力した番号が既に使用中の場合は、別の番号を選択するように指示されます。

- 5 [追加]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用して FAX 宛先ショートカットを作成する

- 1 ホーム画面から、[FAX]をタッチし、FAX 番号を入力します。

メモ: FAX 番号のグループを作成するには、[次の番号]をタッチして、次の FAX 番号を入力します。

- 2  をタッチします。

- 3 一意のショートカット名を入力し、[完了]をタッチします。

- 4 ショートカット名と番号が正しいことを確認し、[OK]をタッチします。

メモ: ショートカット名または番号が正しくない場合、[キャンセル]をタッチし、再入力します。

FAX 設定のカスタマイズ

FAX の解像度変更

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[Fax] > Fax 番号を入力 > [オプション]

4 [解像度] エリアから、矢印にタッチして目的の解像度を選択します。

メモ: 標準(最も速い)からウルトラファイン(最も遅い、最高の品質)の中から、解像度を選択します。

5 [Fax] をタッチします。

FAX の濃さ調整

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[Fax] > Fax 番号を入力 > [オプション]

4 Fax の濃さを調整し、[Fax] をタッチします。

FAX ログの閲覧

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [レポート] をクリックします。

3 [FAX ジョブログ] または [FAX 通信ログ] をクリックします。

迷惑 FAX のブロック

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定] > [無記名の FAX をブロック]の順にクリックします。

メモ:

- このオプションにより、番号非通知の受信 FAX や FAX 名のない受信 FAX を全てブロックします。
- [FAX 除外リスト]フィールドに、ブロックする特定の FAX 送信者の電話番号や Fax 名を入力してください。

送信 FAX のキャンセル

オリジナル原稿がまだスキャン中に FAX をキャンセルする

- ADF を使用している場合は、スキャン中というメッセージが表示されているときに、プリンタコントロールパネルで[ジョブをキャンセル]をタッチします。
- 原稿台ガラスを使用している場合は、スキャン中または次のページをスキャン/ジョブを終了というメッセージが表示されているときに、プリンタコントロールパネルで[ジョブをキャンセル]をタッチします。

原稿がメモリにスキャンされた後で Fax をキャンセルする

1 ホーム画面で[ジョブをキャンセル]をタッチします。

[ジョブをキャンセル]画面が表示されます。

2 キャンセルするジョブをタッチします。

画面には 3 つのジョブだけが表示されます。目的のジョブが表示されるまで下矢印をタッチし、キャンセルするジョブをタッチします。

3 [選択したジョブを削除]をタッチします。

[選択したジョブを削除]画面が表示され、選択したジョブが削除されます。次に[ホーム]画面が表示されます。

FAX の保留、転送

FAX の保留

このオプションにより、受信 FAX を出力するまで印刷保留することができます。保留した FAX は手動、または決められた日付もしくは時刻に出力することができます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 保留]の順にクリックします。

3 [保持 FAX モード]メニューより、以下の中からいずれか 1 つを選択します。

- オフ
- 常にオン
- 手動
- 予約

4 スケジュールを選択した場合、さらに以下のステップに従って進みます。

- a [FAX 保留スケジュール]をクリックします。
- b アクションメニューより、[FAX 保留]を選択します。
- c 時間メニューより、保留した FAX のリリース希望時刻を選択します。
- d 日付メニューより、保留した FAX のリリース希望日を選択します。

5 [追加]をクリックします。

Fax の転送

このオプションにより、受信した FAX を印刷し、指定の FAX 番号、電子メールアドレス、FTP サイト、または LDSS に転送ができます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX 設定]の順にクリックします。

3 [Fax 転送]メニューから、[印刷]、[印刷して転送]、または[転送]を選択します。

4 [転送先]メニューから、[Fax]、[E メール]、[FTP]、[LDSS]、または[eSF]を選択します。

5 ショートカットに転送フィールドに、FAX 転送先のショートカット番号を入力します。

メモ: ショートカット番号は、[転送先]メニューで選択された設定で有効である必要があります。

6 [送信]をクリックします。

FAX オプション

解像度

このオプションを使用すると、Fax の出力品質を調整できます。画像解像度を大きくすると、ファイルサイズが大きくなるとともに、原稿のスキャンに必要な時間が長くなります。画像の解像度を低くすると、ファイルサイズが小さくなります。

次のいずれかを選択します。

- **標準**—ほとんどの文書を Fax 送信するときに使用します。
- **ファイン 200 dpi**—小さい印刷の文書を Fax 送信するときに使用します。

- **スーパーファイン 300 dpi**—詳細な文書を Fax 送信するときに使用します。
- **ウルトラファイン 600 dpi**—画像や写真のある文書を Fax 送信するときに使用します。

濃さ

このオプションでは、原稿を基準にして、Fax の濃度を調整します。

ページ設定

このオプションを使用すると、次を設定できます。

- **[印刷面(両面印刷)]**—原稿が片面印刷(ページの片面に印刷)または両面印刷(ページの両面に印刷)のどちらであるかを指定します。FAX に含めるスキャンの対象も指定します。
- **[用紙の向き]**—原稿の向きを指定して、[印刷面(両面印刷)]と[綴じ]を用紙の向きに合わせて変更します。
- **[綴じ]**—原稿の綴じ方(長辺綴じまたは短辺綴じ)を指定します。

内容

このオプションを使用すると、原稿のタイプとソースを設定できます。

以下の内容タイプから選択します。

- **[グラフィックス]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。
- **[写真]**—原稿の大半は写真や画像。
- **[文字]**—原稿の大半はテキストまたは線画。
- **[文字/写真]**—原稿にテキスト、図表、および写真が混在。

以下の内容ソースから選択します。

- **[モノクロレーザー]**—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷。
- **[カラーレーザー]**—原稿はカラーレーザープリンタで印刷。
- **[インクジェット]**—原稿はインクジェットプリンタで印刷。
- **[雑誌]**—原稿は雑誌。
- **[新聞]**—原稿は新聞。
- **[その他]**—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷。
- **[写真/フィルム]**—原稿はフィルム写真。
- **[出版物]**—原稿は印刷機で印刷。

遅延送信

このオプションにより FAX を時刻、日付を遅らせて送信することができます。

スキャンプレビュー

このオプションでは、FAX に添付する前に、画像の最初のページを表示します。最初のページがスキャンされると、スキャンが停止して、プレビュー画像が表示されます。

メモ: このオプションが表示されるのは、動作するプリンタハードディスクが取り付けられている場合に限定されます。

詳細オプションの使用

以下の設定から選択します。

- **イメージ詳細設定**—Fax を送信する前に、[背景削除]、[カラーバランス]、[カラードロップアウト]、[コントラスト]、[左右反転]、[ネガ]、[端までスキャン]、[シャドウ細部]、[シャープネス]、および [色温度] 設定を調整します。
- **カスタムジョブ**—複数のスキャンジョブを単一のジョブに集約します。
- **フチ消去**—原稿のフチの周り付近にある汚れやマークを消去します。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択して消去することも可能です。[フチ消去] では、選択した領域内のすべての情報が消去され、そのスキャン部分には何も残りません。
- **送信ログ**—送信ログまたは送信エラーログを印刷します。
- **重送センサー**—ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出し、エラーメッセージを表示します。

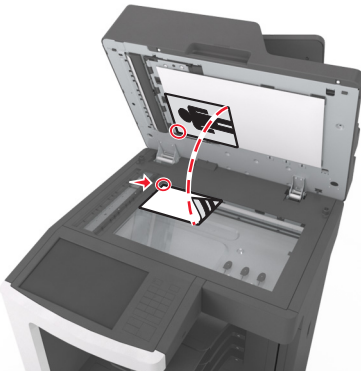
メモ: プリンタ機種によりこのオプションが無いものもあります。

スキャン

ネットワークへのスキャンを使用する

[ネットワークへのスキャン]では、システムサポート担当者が指定したネットワーク上の場所に原稿をスキャンできます。保存場所(共有ネットワークフォルダ)がネットワーク上で作成された後、アプリケーションのセットアップ処理によって、内蔵 Web サーバーを使用して、該当するプリンタ上でアプリケーションのインストールと構成が実行されます。詳細については、「[ネットワークへのスキャンをセットアップする](#)」、24 ページを参照してください。

FTP アドレスにスキャンする

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台ガラス
 複数ページの原稿には ADF を使用します。	 1 ページのものや小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台ガラスを使用します。

スキャナにより、原稿をファイル転送プロトコル(FTP)サーバーへ直接スキャンできます。一度に1つのFTPアドレスしかサーバーへ送信できません。

システムサポート担当者により既にFTP宛先が構成されていれば、宛先の名称がショートカット番号として利用できます。または保持されたジョブアイコンの下にプロファイルとして一覧表示されます。FTP宛先は他のPostScriptプリンタである可能性もあります。例えば、カラー原稿をスキャンしてカラープリンタに送ることができます。

ショートカットを作成する

原稿をFTPサーバーに送るたびに、プリンタのコントロールパネルにFTPのサイトアドレス全体を入力する代わりに、常駐FTP宛先を作成し、ショートカット番号を割り当てることができます。ショートカット番号の作成には、次の2通りの方法があります。内蔵Webサーバー(EWS)を使った方法およびプリンタコントロールパネルを使った方法。

内蔵 Web サーバーを使用して FTP ショートカットを作成する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた4つの数字の組み合わせとして表示されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 次のメニューを選択します。

[設定] > その他の設定エリア > [ショートカットの管理] > [FTP ショートカットセットアップ]

3 必要な情報を入力します。

メモ: パスワードが要求される場合があります。ID とパスワードがわからない場合は、システムサポート担当者までお問い合わせください。

4 ショートカット番号を入力します。

メモ: 入力した番号が既に使用中の場合は、別の番号を選択するように指示されます。

5 [追加]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用して FTP ショートカットを作成する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

FTP > FTP > FTP アドレスを入力 >  > ショートカット名を入力 > [終了]

2 ショートカット名と番号が正しいことを確認し、[OK]をタッチします。

メモ:

- ショートカット名または番号が正しくない場合、[キャンセル]をタッチし、再入力します。
- 入力した番号が既に使用中の場合は、別の番号を選択するように指示されます。

FTP アドレスにスキャンする

さまざまな方法でプリンタを使用し、スキャン文書を FTP アドレスに送信できます。FTP アドレスの入力、ショートカット番号の使用、アドレス帳の使用が可能です。プリンタのホーム画面から、複数送信、ネットワークヘスキャン、またはマイショートカットアプリケーションを使用することもできます。詳細については、[「ホーム画面のアプリケーションを認証する」](#)、[21 ページ](#) を参照してください。

プリンタコントロールパネルを使用して FTP アドレスにスキャンする

1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

3 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

FTP > FTP > FTP アドレスを入力 > [完了] > [送信]

ショートカット番号を使用して FTP アドレスにスキャンする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 プリンタコントロールパネルから、キーボードの # を押し、FTP ショートカット番号を入力します。
- 4  > [送信] をタッチします。

アドレス帳を使用して FTP にスキャンする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 ホーム画面から、次のメニューを選択します。

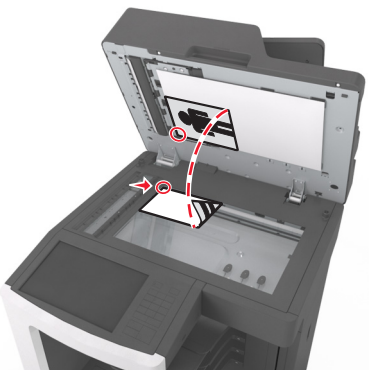
[FTP] > [FTP] >  > 受信者の名前を入力 > [検索]

- 4 受信者の名前を入力します。

メモ: その他の受信者を検索するには、[新しい検索] をタッチし、次の受信者の名前を入力します。

- 5  > [送信] をタッチします。

コンピュータまたはフラッシュドライブにスキャンする

ADF	原稿台ガラス
	

ADF	原稿台ガラス
複数ページの原稿には ADF を使用します。	1 ページの文書、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台ガラスを使用します。

スキャナにより原稿を直接コンピュータやフラッシュドライブへスキャンできます。スキャン中に画像を受信するために、プリンタに直接接続する必要はありません。コンピュータ上でスキャンプロファイルを作成し、このプロファイルをプリンタへダウンロードすることで、ネットワークを介してスキャンした原稿をコンピュータに戻すことができます。

内蔵 Web サーバーを使用してコンピュータにスキャンする

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [プロファイルをスキャン] > [スキャンプロファイルの作成]の順にクリックします。

3 スキャン設定を選択し、[次へ]をクリックします。

4 スキャン画像を保存するコンピュータの場所を選びます。

5 スキャン名、ユーザー名の順に入力します。

メモ: スキャン名はディスプレイの[プロファイルをスキャン]リストに表示されます。

6 [送信]をクリックします。

メモ: [送信]をクリックすると、ショートカット番号が自動的に割り当てられます。原稿をスキャンする準備ができると、このショートカット番号を使用できます。

7 [プロファイルをスキャン]画面の指示を確認します。

- a オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- b 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。

- c 次のいずれかを実行します。

- # を押し、キーボードを使用してショートカット番号を入力します。
- ホーム画面から、次のメニューを選択します。

[保持されたジョブ] > [プロファイル] > リストのショートカットを選択

メモ: スキャナは原稿をスキャンし、指定したディレクトリに送信します。

8 コンピュータからファイルを表示します。

メモ: 出力ファイルは指定した場所に保存されるか、指定したプログラムで開きます。

パソコンへの保存を設定する

メモ:

- この機能は、Windows Vista 以降でのみサポートされています。
- お使いのコンピュータとプリンタが同じネットワークに接続されていることを確認します。

- 1 プリンタのフォルダを開いてお使いのプリンタを選択します。

メモ: お使いのプリンタが表示されていない場合は、プリンタを追加します。

- 2 プリンタのプロパティを開き、必要に応じて設定を調整します。
- 3 操作パネルで、**[パソコンへの保存]**にタッチし、適切なスキャン設定を選択し、**[送信]**を選択します。

フラッシュドライブにスキャンする

- 1 オリジナル原稿を、表を上にして原稿の短い辺から先に ADF トレイに差し込む、もしくは表を下にして原稿台ガラスの上に置きます。

メモ:

- はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。
- 用紙が正しくセットされると、ADF インジケータランプが点灯します。

- 2 原稿を ADF トレイにセットする場合は、用紙ガイドを調整します。
- 3 フラッシュドライブをプリンタ正面の USB ポートに挿入します。

メモ: USB ドライブのホーム画面が表示されます。

- 4 保存先フォルダを選択し、**[USB ドライブにスキャン]**をタッチします。

メモ: 30 秒間何も操作をしないと、ホーム画面に戻ります。

- 5 スキャン設定を調整し、**[スキャン]**をタッチします。

スキャンオプション

FTP

このオプションにより、FTP 宛先の IP アドレスを入力します。

メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

ファイル名

このオプションにより、スキャン画像のファイル名を入力します。

ショートカットとして保存

このオプションを使用すると、現在の設定に番号を割り当てて、ショートカットとして保存できます。

メモ: このオプションを選択すると、次の使用可能なショートカット番号が自動的に割り当てられます。

原稿サイズ

このオプションを使用すると、スキャン送信する原稿の用紙サイズを設定できます。[原稿サイズ]を[大きさ混在]に設定すると、用紙サイズが異なる原稿(リーガルサイズおよびレターサイズのページ)をスキャンできます。

濃さ

このオプションでは、原稿を基準にして、スキャン文書の濃度を調整します。

解像度

このオプションを使用すると、ファイルの出力品質を調整できます。画像解像度を大きくすると、ファイルサイズが大きくなるとともに、原稿のスキャンに必要な時間が長くなります。画像の解像度を低くすると、ファイルサイズが小さくなります。

送信形式

このオプションを使用すると、スキャン画像の出力形式を設定できます。

次のいずれかを選択します。

- **[PDF]**—複数ページを含む単一ファイルを作成する場合に使用します。[PDF]では、ファイルをセキュリティ保護および圧縮して送信できます。
- **[TIFF]**—複数ファイルまたは単一ファイルを作成する場合に使用します。[設定]メニューで[複数ページ TIFF]をオンにした場合、ファイルごとに 1 ページという形式で Tiff ファイルが保存されます。通常、ファイルサイズは同等の JPEG ファイルよりも大きくなります。
- **[JPEG]**—原稿の 1 ページごとに個別のファイルを作成して添付する場合に使用します。
- **[XPS]**—複数ページを含む単一ファイルを作成する場合に使用します。
- **RTF**—編集可能な形式でファイルを作成する場合に使用します。
- **TXT**—書式のない ASCII テキスト ファイルを作成する場合に使用します。

メモ: RTF オプションまたは TXT オプションを使用するには、AccuRead OCR ソリューションを購入してインストールしてください。

内容

このオプションを使用すると、原稿のタイプとソースを設定できます。

以下の内容タイプから選択します。

- **[グラフィックス]**—原稿の大半は、円グラフ、棒グラフ、アニメーションなど、ビジネスタイプの図表。
- **[写真]**—原稿の大半は写真や画像。
- **[文字]**—原稿の大半はテキストまたは線画。
- **[文字/写真]**—原稿にテキスト、図表、および写真が混在。

以下の内容ソースから選択します。

- **[モノクロレーザー]**—原稿はモノクロレーザープリンタで印刷。
- **[カラーレーザー]**—原稿はカラーレーザープリンタで印刷。
- **[インクジェット]**—原稿はインクジェットプリンタで印刷。
- **[雑誌]**—原稿は雑誌。
- **[新聞]**—原稿は新聞。
- **[その他]**—原稿は別のプリンタや詳細不明のプリンタで印刷。
- **[写真/フィルム]**—原稿はフィルム写真。
- **[出版物]**—原稿は印刷機で印刷。

ページ設定

このオプションを使用すると、次を設定できます。

- **[印刷面(両面印刷)]**—原稿が片面印刷(ページの片面に印刷)または両面印刷(ページの両面に印刷)のどちらであるかを指定します。
- **[用紙の向き]**—原稿の向きを指定して、[印刷面(両面印刷)]と[綴じ]を用紙の向きに合わせて変更します。
- **[綴じ]**—原稿の綴じ方(長辺綴じまたは短辺綴じ)を指定します。

スキャンプレビュー

このオプションでは、ファイルに添付する前に、画像の最初のページを表示します。最初のページがスキャンされると、スキャンが停止して、プレビュー画像が表示されます。

メモ: このオプションが表示されるのは、フォーマットされ動作するプリンタハードディスクが取り付けられている場合に限定されます。

詳細オプションの使用

以下の設定から選択します。

- **イメージ詳細設定**—スキャンを送信する前に、[背景削除]、[カラーバランス]、[カラードロップアウト]、[コントラスト]、[JPEG 品質]、[左右反転]、[ネガ]、[端までスキャン]、[シャドウ細部]、[シャープネス]、および [色温度] 設定を調整します。
- **カスタムジョブ**—複数のスキャンジョブを単一のジョブに集約します。
- **フチ消去**—原稿のフチの周り付近にある汚れやマークを消去します。原稿の四辺すべてで領域を均等に消去することも、特定のフチの領域を選択して消去することも可能です。[フチ消去] では、選択した領域内のすべての情報が消去され、そのスキャン部分には何も残りません。
- **送信ログ**—送信ログまたは送信エラーログを印刷します。
- **複数給紙センサー**—ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出し、エラーメッセージを表示します。

メモ: プリンタ機種によりこのオプションが無いものもあります。

プリンタメニューを理解する

メニューリスト

用紙メニュー	レポート	ネットワーク/ポート	セキュリティ
標準設定給紙源	メニュー設定ページ	アクティブ NIC	セキュリティ設定の編集
用紙サイズ/タイプ	デバイス統計	標準ネットワーク ¹	その他のセキュリティ設定
MP を構成する	ステープラーテスト	標準 USB	コンフィデンシャル印刷
代替サイズ	ネットワーク設定ページ	パラレル [x]	一時データファイルの消去
用紙の粗さ	ネットワーク [x] 設定ページ	シリアル [x]	セキュリティ監査ログ
用紙の重量	ショートカット一覧	SMTP セットアップ	日付/時刻を設定
用紙セット方法	FAX ジョブのログ		
カスタム紙種	FAX 通信ログ		
カスタム名	コピーショートカット		
カスタムスキャンサイズ	E メールショートカット		
カスタム排紙トレイ名	FAX ショートカット		
ユニバーサル設定	FTP ショートカット		
排紙トレイ設定	プロファイル一覧		
	フォント一覧を印刷		
	ファイルディレクトリを印刷		
	印刷デモ		
	備品レポート		
設定	ヘルプ	ショートカット管理	オプションカードメニュー ²
一般設定	すべてのガイドを印刷	FAX ショートカット	インストールされている DLE (ダウンロード エミュレータ) のリストが表示されます。
コピー設定	コピーガイド	E メールショートカット	
FAX 設定	E メールガイド	FTP ショートカット	
E メール設定	FAX ガイド	コピーショートカット	
FTP 設定	FTP ガイド	プロファイルショートカット	
フラッシュドライブメニュー	印刷不良ガイド		
OCR 設定メニュー	情報ガイド		
印刷設定	消耗品ガイド		

¹ プリンタ設定に応じて、このメニューは標準ネットワークまたはネットワーク [x] に表示されます。

² このメニューは、DLE がインストールされているときのみ表示されます。

用紙メニュー

標準設定給紙源メニュー

使用	目的
標準設定給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー 手差し用紙 手差し封筒	すべての印刷ジョブのデフォルト用紙を設定します。 メモ: - 工場出荷時は[トレイ 1 (標準トレイ)]に設定されています。 - メニュー設定に表示するには、[用紙メニュー]の[多目的フィーダー設定]にて[トレイ]を設定する必要があります。 2つのトレイにサイズとタイプが同じ用紙がセットされており、セットされている用紙のサイズとタイプが[用紙サイズ]と[用紙タイプ]の設定と一致している場合、これらのトレイが自動的にリンクされます。このとき、これらのトレイのいずれかが空になっても、リンクされているもう片方のトレイを使って印刷ジョブが続行されます。

多目的フィーダ設定メニュー

項目	目的
多目的フィーダ設定 トレイ 手差し 第一候補	多目的フィーダが給紙源として選択される条件を設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[トレイ]です。[トレイ]では、多目的フィーダが自動給紙源として設定されます。 [手差し]では、多目的フィーダは手差し給紙の印刷ジョブ専用設定されます。 [第一候補]では、多目的フィーダが標準の給紙源として設定されます。

用紙サイズ/タイプメニュー

使用	目的
トレイ [x] サイズ A4 A5 A6 JIS-B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio (メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 B5 封筒 その他封筒	各トレイにセットされている用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 2つのトレイにサイズとタイプが同じ用紙がセットされており、セットされている用紙のサイズとタイプが[用紙サイズ]と[用紙タイプ]の設定と一致している場合、これらのトレイが自動的にリンクされます。多目的フィーダーもリンクできます。このとき、これらのトレイのいずれかが空になっても、リンクされているもう片方のトレイを使って印刷ジョブが続行されます。 - A6 用紙サイズは、トレイ 1 と多目的フィーダーでのみサポートされています。
トレイ [x] タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ビニールラベル ボンド レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタムタイプ [x]	各トレイにセットされている用紙タイプを指定します。 メモ: - トレイ 1 のデフォルト設定は普通紙です。カスタムタイプ [x] は、その他のすべてのトレイの出荷時デフォルト設定です。 - ユーザー定義名は、カスタムタイプ [x] の代わりに表示されます。 - このメニューを使用して、自動トレイリンクを設定します。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

使用	目的
多目的フィーダーサイズ A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio (メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 B5 封筒 その他封筒	多目的フィーダーにセットされている用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 [多目的フィーダーサイズ]をメニューに表示するには、[用紙メニュー]の[多目的フィーダー設定]にて[多目的フィーダートレイ]を設定する必要があります。 - 多目的フィーダーは自動的に用紙サイズを検出しません。用紙サイズ値を設定する必要があります。
多目的フィーダータイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ボンド 封筒 粗い封筒 レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタムタイプ [x]	多目的フィーダーにセットされている用紙タイプを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[普通紙]に設定されています。 [多目的フィーダータイプ]をメニューに表示するには、[用紙メニュー]の[設定]にて[多目的フィーダートレイ]を設定する必要があります。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

使用	目的
手差し用紙サイズ A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio (メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル	手差しでセットされた用紙のサイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
手差し用紙タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ボンド レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタムタイプ [x]	手差しでセットした用紙タイプを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[普通紙]に設定されています。 [手差し用紙タイプ]をメニューに表示するには、[用紙メニュー]の[多目的フィーダ設定]にて[手差し用紙タイプ]を設定する必要があります。
手差し封筒サイズ 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 B5 封筒 その他封筒	手差しでセットした封筒サイズを指定します。 メモ: 10 米国向けの工場出荷時設定は封筒になっています。DL グローバル向けの工場出荷時設定は封筒 になっています。
手差し封筒タイプ 封筒 粗い封筒 カスタムタイプ [x]	手差しでセットした封筒タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は封筒に設定されています。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

使用	目的
普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ビニールラベル ボンド 封筒 粗い封筒 レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタム[x]	ADF にセットされる用紙タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通紙]に設定されています。
メモ: 取り付けられたトレイとフィーダーのみがメニューに表示されます。	

代替サイズメニュー

項目	目的
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 一覧のすべて	要求したサイズ of 用紙を使用できない場合に代替で使用する用紙のサイズを指定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[一覧のすべて]です。使用可能な代替がすべて許可されます。 [オフ]に設定した場合は、サイズの代替を使用できません。 - サイズの代替を設定すると、[用紙を変更]を表示せずに印刷ジョブを続けることができます。

用紙表面粗さメニュー

使用	目的
普通紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされる普通紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
厚紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされる厚紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[標準]に設定されています。 - 厚紙がサポートされている場合にのみ表示されます。
OHP フィルムの粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされる OHP フィルムの相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。

使用	目的
再生紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされる再生紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
ラベルの粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされるラベルフィルムの相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
ビニールラベルの粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされるビニールラベルの相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
ボンドの粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされるボンドの相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[粗い]に設定されています。
封筒の粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされる封筒の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
粗い封筒の粗さ 粗い	特定のトレイにセットされる粗い封筒の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[粗い]に設定されています。
レターヘッド紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされるレターヘッド紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
プレプリント紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされるプレプリント紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
カラー紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされるカラー紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
軽量紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされる軽量紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
重量紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされる重量紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。
ラフ/コットン紙の粗さ 粗い	特定のトレイにセットされるラフ/コットン紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[粗い]に設定されています。

使用	目的
カスタム [x] 粗さ 滑らか 標準 粗い	特定のトレイにセットされるカスタム用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。

用紙重さメニュー

使用	目的
普通紙の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされる普通紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
重い厚紙の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされる厚紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
OHP フィルムの重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされる OHP フィルムの相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
再生紙の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされる再生紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
ラベル紙の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされるラベル紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
ビニールラベル紙重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされるビニールラベル紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
ボンド紙の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされるボンド紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
封筒の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされる封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
表面の粗い封筒の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされる粗い封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。

使用	目的
レターヘッド紙の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされるレターヘッド紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
プレプリント紙重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされるプレプリント紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
カラー用紙の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされるカラー用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
軽量紙の重さ 軽量紙	セットされる用紙の重さが軽いことを指定します。
重量紙の重さ 重量紙	セットされる用紙の重さが重いことを指定します。
ラフ/コットン紙の重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされるラフ/コットン紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
カスタム [x] 重さ 軽量紙 普通 重量紙	セットされるカスタム用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[普通]に設定されています。 - カスタムタイプがサポートされている場合にのみ表示されます。

用紙セット方法メニュー

使用	目的
厚紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[厚紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
再生紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[再生紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
ラベル紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[ラベル紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
メモ: - すべての[用紙セット]メニュー項目は、工場出荷時にすべて[オフ]に設定されています。 - オペレーティングシステムによっては、[両面]を選択すると、[印刷プロパティ]または[印刷]ダイアログで片面印刷を選択しない限り、すべての印刷ジョブにおいて両面印刷が標準となります。	

使用	目的
ビニールラベルセット中 両面 オフ	用紙タイプとして[ビニールラベル紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
ボンド紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[ボンド紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
レターヘッド紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[レターヘッド紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
プレプリント紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[プレプリント紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
色付き紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[色付き紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
軽量紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[軽量紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
重量紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[重量紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
ラフ/コットン紙セット中 両面 オフ	用紙タイプとして[ラフ/コットン紙]を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。
カスタム[x]セット中 両面 オフ	用紙タイプとしてカスタム を選択したときに、すべての印刷ジョブで両面印刷を行うかどうかを設定します。 メモ: [カスタム [x] セット中] は、カスタムタイプがサポートされているときのみ表示されます。
メモ: - すべての[用紙セット]メニュー項目は、工場出荷時にすべて[オフ]に設定されています。 - オペレーティングシステムによっては、[両面]を選択すると、[印刷プロパティ]または[印刷]ダイアログで片面印刷を選択しない限り、すべての印刷ジョブにおいて両面印刷が標準となります。	

カスタムタイプメニュー

使用	目的
カスタムタイプ [x] 用紙 厚紙 OHP フィルム ラフ/コットン紙 ラベル ビニールラベル 封筒	工場出荷時に標準で用意されている [カスタムタイプ [x]]、または、内蔵 WEB サーバー(EWS)や MarkVision™ Professional にてユーザーが定義した [カスタム名] に、普通紙や特殊用紙を割り当てます。 メモ: - 工場出荷時は[用紙]に設定されています。 - 指定したカスタム用紙タイプで印刷するには、選択されているトレイまたは多目的フィーダーにてその用紙タイプがサポートされている必要があります。

使用	目的
再生紙 用紙 厚紙 OHP フィルム ラフ/コットン紙 ラベル ビニールラベル 封筒	他のメニューにて[再生紙] が選択されたときに使用する用紙タイプを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[用紙]に設定されています。 - 指定したカスタム用紙タイプで印刷するには、選択されているトレイまたは多目的フィーダーにてその用紙タイプがサポートされている必要があります。

カスタム名メニュー

使用	目的
カスタム名 [x]	用紙タイプのカスタム名を指定します。プリンタメニューの[カスタムタイプ [x]]に表示される名前は、ここで指定した名前に置き換えられます。

カスタムスキャンサイズメニュー

使用	目的
カスタムスキャンサイズ [x] スキャンサイズ名 用紙タイプ ADF 用紙タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ビニールラベル ボンド 封筒 粗い封筒 レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量用紙 重い用紙 ラフ/コットン紙 カスタム紙種 [x] 幅 1-8.5 インチ (25-216 mm) 高さ 1-25 インチ (25-635 mm) 用紙の向き 縦長 横長 2 スキャン/面 オフ オン	カスタムスキャンサイズ名、サイズ、および向きを指定します。プリンタメニューの[カスタムスキャンサイズ [x]]に表示される名前は、ここで指定した名前に置き換えられます。 メモ: • カスタムスキャンサイズ 1 および 2 の工場出荷時設定は[ラフ/コットン紙]です。 • カスタムスキャンサイズ 3、4、5、および 6 の工場出荷時設定は[ADF 用紙タイプ]です。 • 米国向けの工場出荷時設定の幅は 8.5 インチになっています。また、その他の国の工場出荷時設定の幅は 216 mm になっています。 • 米国向けの工場出荷時設定の高さは 14 インチになっています。また、その他の国の工場出荷時設定の高さは 356 mm になっています。 • [用紙の向き]の工場出荷時設定は[縦長]になっています。 • [2 スキャン/面]の工場出荷時設定は[オフ]になっています。

カスタム排紙トレイ名メニュー

使用	目的
標準排紙トレイ	標準排紙トレイのカスタム名を指定します。
排紙トレイ[x]	排紙トレイ [x]のカスタム名を指定します。

ユニバーサル設定メニュー

項目	目的
測定単位 インチ mm	測定単位を指定します。 メモ: • 米国の出荷時標準設定は[インチ]です。 • 米国以外の出荷時標準設定は[mm]です。
縦長の横の長さ 3 ~ 8.5 インチ 76 ~ 216 mm	縦長の横の長さを設定します。 メモ: • この長さが上限を超える場合は、プリンタで使用可能な最大長が使用されます。 • 米国の出荷時標準設定は[8.5 インチ]です。横の長さは 0.01 インチ単位で増減できます。 • 米国以外の出荷時標準設定は[216 mm]です。横の長さは 1 mm 単位で増減できます。
縦長の縦の長さ 3 ~ 14.17 インチ 76 ~ 360 mm	縦長の縦の長さを設定します。 メモ: • この長さが上限を超える場合は、プリンタで使用可能な最大長が使用されます。 • 米国の出荷時標準設定は[14 インチ]です。縦の長さは 0.01 インチ単位で増減できます。 • 米国以外の出荷時標準設定は[360 mm]です。縦の長さは 1 mm 単位で増減できます。
給紙方向 短辺 長辺	用紙のセット方向が決まっていない場合に、給紙方向を指定します。 メモ: • 出荷時標準設定は[短辺]です。 • [長辺]は、トレイでサポートされる最大幅よりも用紙の最大長辺が短い場合のみ表示されます。

トレイ設定メニュー

使用	目的
排紙トレイ 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]	デフォルトの排紙トレイを指定します。 メモ: • 複数の排紙トレイに同じ名前が割り当てられている場合は、メニューに名前が 1 回だけ表示されます。 • 工場出荷時は[標準排紙トレイ]に設定されています。 • 該当するオプションの排紙トレイが取り付けられている場合、[x] は 1 ~ 4 の任意の数字です。

使用	目的
排紙トレイを設定 メールボックス リンク メールオーバーフロー リンクオプション タイプ割り当て	排紙トレイを設定オプションを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[メールボックス]に設定されています。各排紙トレイを個別のメールボックスとして処理します。 - リンクはすべての使用可能な廃止トレイを大きい 1 つの廃止トレイとして設定します。 [メールオーバーフロー]では、各排紙トレイを個別のメールボックスとして設定します。 - リンクオプションは、標準排紙トレイ以外のすべての排紙トレイをリンクします。2 つ以上の排紙トレイが取り付けられている場合にのみ表示されます。 - タイプ割り当てでは各用紙タイプを出力排紙トレイまたはリンクされた排紙トレイセットに割り当てます。 - リンクオプションが設定されていない場合、同じ名前の割り当てられた排紙トレイは自動的にリンクされます。
オーバーフロー排紙トレイ 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]	指定された排紙トレイが満杯のときの代替排紙トレイを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[標準排紙トレイ]に設定されています。 - 複数の排紙トレイに同じ名前が割り当てられている場合は、排紙トレイリストには名前が 1 回だけ表示されます。 - 該当するオプションの排紙トレイが取り付けられている場合、[x] は 1 ～ 4 の任意の数字です。
用紙タイプ/排紙トレイの割り当て 普通紙排紙トレイ 厚紙排紙トレイ OHP フィルム排紙トレイ 再生紙排紙トレイ ラベル排紙トレイ ビニールラベル排紙トレイ ボンド排紙トレイ 封筒排紙トレイ 粗い封筒排紙トレイ レターヘッド紙排紙トレイ プリプリント紙排紙トレイ カラー紙排紙トレイ 軽い用紙排紙トレイ 重い用紙排紙トレイ ラフ/コットン紙排紙トレイ カスタム [x] 排紙トレイ	サポートされる用紙タイプの排紙トレイを選択します。 各タイプで、次のオプションを選択します。 無効 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x] メモ: - 工場出荷時は[無効]に設定されています。 - 該当するオプションの排紙トレイが取り付けられている場合、[x] は 1 ～ 4 の任意の数字です。 - 複数の排紙トレイに同じ名前が割り当てられている場合は、排紙トレイリストには名前が 1 回だけ表示されます。

レポートメニュー

レポートメニュー

使用	目的
メニュー設定ページ	現在のプリンタメニュー設定でレポートを印刷します。このレポートには、プリンタ消耗品の状態に関する情報や、正常にインストールされたハードウェアオプションの一覧も含まれています。

使用	目的
デバイス統計	プリンタの統計情報(消耗品の情報や印刷済みのページ数など)に関するレポートを印刷します。
ステーブラーテスト	ホチキスフィニッシャが適切に動作しているかどうかを確認するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、サポートされているステーブルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
ネットワーク設定ページ	プリンタのネットワーク設定に関する情報を含むレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ(またはプリントサーバーに接続されているプリンタ)でのみ表示されます。
ネットワーク [x] 設定ページ	プリンタのネットワーク設定に関する情報を含むレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目はネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続されたプリンタでネットワークオプションが 2 つ以上インストールされている場合のみ表示されます。
ショートカット一覧	現在設定されているショートカットに関するレポートを印刷します。
FAX ジョブのログ	送信された過去 200 件の FAX に関するレポートを印刷します。 メモ: - このメニュー項目は、[FAX 設定]メニューにて[ジョブログを有効化] が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。 - このメニューは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。
FAX 通信ログ	ダイヤル、受信、着信拒否された過去 100 件の FAX に関するレポートを印刷します。 メモ: - このメニュー項目は、[FAX 設定]メニューにて[ジョブログを有効化] が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。 - このメニューは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。
コピーショートカット	コピーショートカットに関するレポートを印刷します。
E メールショートカット	E メールショートカットに関するレポートを印刷します。
FAX ショートカット	FAX ショートカットに関するレポートを印刷します。
FTP ショートカット	FTP ショートカットに関するレポートを印刷します。
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。
フォント一覧を印刷	現在プリンタで設定されているプリンタ言語で使用可能なすべてのフォントのレポートを印刷します。
ファイルディレクトリを印刷	オプションのフラッシュメモリカードまたはハードディスクに保存されているすべてのリソースの一覧を印刷します。 メモ: [ジョブバッファサイズ]は 100% に設定してください。 - メモリカードまたはハードディスクが取り付けられており、正常に動作していることを確認します。
備品レポート	資産情報(プリンタのシリアル番号やモデル名など)に関するレポートを印刷します。このレポートには、テキストに加えて UPC バーコードも印刷されるため、バーコードを読み取って備品データベースに備品情報を保存することができます。
イベントログサマリ	ログに記載されたイベントの概要を印刷します。

ネットワーク/ポートメニュー

アクティブ NIC メニュー

使用	目的
アクティブ NIC 自動 [利用可能なネットワークカード一覧]	プリンタをネットワークに接続できます。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 - このメニュー項目は、オプションのネットワークアダプタがインストールされている場合にのみ表示されます。

標準ネットワークまたはネットワーク [x] メニュー

メモ: このメニューにはアクティブなポートのみ表示されます。

使用	目的
省電力型イーサネット 有効 無効	プリンタがイーサネットネットワークからデータを受信しない場合、電力消費を節約します。 メモ: 出荷時の標準設定は[有効化]です。
PCL SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 - PCL SmartSwitch が無効な場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定された標準言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 - PS SmartSwitch が無効な場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定された標準言語が使用されます。
NPA モード オフ 自動	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 - 操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。

使用	目的
ネットワークバッファ 自動 3KB ~ [許容最大サイズ]	ネットワーク入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 - 許容最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他のリンクバッファのサイズ、および[リソース保存]が[オン]か[オフ]かによって異なります。 - ネットワークバッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信やシリアル通信、USB バッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 - 操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。
ジョブバッファ中 オフ オン 自動	印刷前に一時的に印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存します。このメニューは、フォーマット済みのディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - 操作パネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
標準ネットワークまたはネットワーク [x] 設定 レポート ネットワークカード TCP/IP IPv6 ワイヤレス AppleTalk	プリンタのネットワーク設定を表示/設定します。 メモ: [ワイヤレス]のメニューは、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されているときのみ表示されます。

レポートメニュー

メニューにアクセスするには、以下のいずれかの順に選択します。

- [ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] > [標準ネットワーク設定] > [レポート]
- [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [レポート]

項目	目的
設定ページを印刷	ネットワークプリンタ設定 (TCP/IP アドレスなど) に関するレポートを印刷します。

ネットワークカードメニュー

メニューにアクセスするには、次のいずれかのメニューを選択します。

- [ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] > [標準ネットワーク設定] > [ネットワークカード]
- [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [ネットワークカード]

使用	目的
カードの状態を表示 接続 切断	ワイヤレスネットワークアダプタの状態を表示します。
カード速度を表示	現在アクティブなワイヤレスネットワークアダプタの速度を表示します。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを表示します。
ジョブタイムアウト 0、10 ～ 225 秒	ネットワークの印刷ジョブがキャンセルされるまでの秒数を設定します。 メモ: - 工場出荷時設定は 90 秒です。 [0] (ゼロ) 秒にすると、タイムアウトが無効になります。
バナーページ オフ オン	プリンタでバナーページを印刷するかどうかを設定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

TCP/IP メニュー

メニューにアクセスするには、次のいずれかのメニューを選択します。

- [ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] > [標準ネットワーク設定] > [TCP/IP]
- [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [TCP/IP]

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ使用できます。

使用	目的
ホスト名を設定	現在の TCP/IP ホスト名を設定します。 メモ: これらの設定は内蔵 Web サーバーからのみ変更することができます。
IP アドレス	現在の TCP/IP アドレスを表示または変更します。 メモ: IP アドレスを手動で設定すると、[DHCP を有効化] および [自動 IP を有効化] が [オフ] になります。またこのとき、BOOTP と RARP をサポートするシステムでは、[BOOTP を有効化] および [RARP を有効化] も [オフ] になります。
ネットマスク	現在の TCP/IP ネットマスクを表示または変更します。
ゲートウェイ	現在の TCP/IP ゲートウェイを表示または変更します。
DHCP を有効化 オン オフ	DHCP アドレスの割り当てとパラメータの設定を指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
RARP を有効化 オン オフ	RARP アドレスの割り当て設定を指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
BOOTP を有効化 オン オフ	BOOTP アドレスの割り当て設定を指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
自動 IP を有効化 はい いいえ	ゼロ構成ネットワーク設定を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
FTP/TFTP を有効化 はい いいえ	内蔵の FTP サーバを有効にします。これにより、FTP を使ってファイルをプリンタに送信することができます。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
HTTP サーバーを有効化 はい いいえ	内蔵 Web サーバーを有効にします。有効にすると、プリンタは Web ブラウザを使用してリモートで監視および管理できます。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
WINS サーバーアドレス	現在の WINS サーバーアドレスを表示または変更します。
DDNS を有効化 はい いいえ	現在の DDNS 設定を表示または変更します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
mDNS を有効化 はい いいえ	現在の mDNS 設定を表示または変更します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
DNS サーバーアドレス	現在の DNS サーバーアドレスを表示または変更します。
バックアップ DNS サーバーアドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを表示または変更します。
バックアップ DNS サーバーアドレス 2	
バックアップ DNS サーバーアドレス 3	
HTTPS を有効化 はい いいえ	現在の HTTPS 設定を表示または変更します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。

IPv6 メニュー

メニューにアクセスするには、次のメニューを選択します。

- [ネットワーク/ポート]メニュー > [標準ネットワーク] > [標準ネットワーク設定] > [Ipv6]
- [ネットワーク/ポート]メニュー > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [Ipv6]

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ使用できます。

使用	目的
IPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの IPv6 を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
自動構成 オン オフ	ネットワークアダプタが、ルーターにより自動設定された IPv6 アドレスを受け入れるか指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
ホスト名を設定	ホスト名を設定します。 メモ: これらの設定は内蔵 Web サーバーからのみ変更することができます。
アドレスを表示	
ルーターアドレスを表示	
DHCPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの DHCPv6 を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

ワイヤレスメニュー

メモ: このメニューは、ワイヤレスネットワークに接続されているプリンタまたはワイヤレスネットワークアダプタが内蔵されているプリンタ機種でのみ表示されます。

メニューを表示するには、次の手順を実行します。

[ネットワーク/ポート] > [ネットワーク [x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [ワイヤレス]

使用	目的
Wi-Fi Protected Setup プッシュボタン方式を開始する PIN 方式を開始する	ワイヤレスネットワークを確立し、ネットワークセキュリティを有効にします。 メモ: [プッシュボタン方式を開始する]では、プリンタとアクセスポイント(ワイヤレスルーター)の両方が指定された時間内に押下されると、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されます。 [PIN 方式を開始する]では、プリンタの PIN がアクセスポイントのワイヤレス設定に入力されると、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されます。
WPS 自動検出を有効化/無効化 有効 無効	WPS のアクセスポイントが使用する接続方法([プッシュボタン方式を開始する]または[PIN 方式を開始する])を自動的に検出します。 メモ: 工場出荷時は[無効]に設定されています。
ネットワークモード BSS タイプ インフラストラクチャ アドホック	ネットワークモードを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[インフラストラクチャ]に設定されています。これにより、プリンタはアクセスポイントを使用して、ネットワークにアクセスできます。 [アドホック]では、プリンタとコンピュータ間で直接ワイヤレス接続が構成されます。
互換性 802.11b/g 802.11b/g/n	ワイヤレスネットワークのワイヤレス規格を指定します。 メモ: 工場出荷時は[802.11b/g/n]に設定されています。
ネットワークを選択	プリンタが使用できるネットワークを選択します。
信号品質を表示	ワイヤレス接続の品質を表示します。
セキュリティモードを表示	ワイヤレスネットワークの暗号化方式を表示します。

AppleTalk メニュー

メニューにアクセスするには、次のいずれかのメニューを選択します。

- [ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] > [標準ネットワークの設定] > [AppleTalk]
- [ネットワーク/ポート] > [ネットワーク[x]] > [ネットワーク [x] 設定] > [AppleTalk]

使用	目的
有効 はい いいえ	AppleTalk サポートを有効または無効にします。 メモ: 工場出荷時は[いいえ]に設定されています。
名前を表示	割り当てられた AppleTalk 名を表示します。 メモ: AppleTalk 名は、内蔵 Web サーバーからのみ変更できます。
アドレスを表示	割り当てられた AppleTalk アドレスを表示します。 メモ: AppleTalk アドレスは、内蔵 Web サーバーからのみ変更できます。
ゾーンを設定 [ネットワークで使用可能なゾーンの一覧]	ネットワークで使用可能な AppleTalk ゾーンの一覧です。 メモ: 工場出荷時はネットワークの標準ゾーンに設定されています。

標準 USB メニュー

使用	目的
PCL SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PS SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PCL SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。[自動]に設定すると、プリンタはデータを確認し、形式を判定してから、適切な方法で処理します。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

使用	目的
USB バッファ 無効 自動 3KB ~ [許容される最大サイズ]	USB 入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 [無効]はジョブバッファリングをオフにします。プリンタのハードディスクのバッファに格納されているすべてのジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 - USB バッファサイズ値は 1 KB 単位で変更できます。 - 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他のリンクバッファのサイズ、および [リソース保存] が [オン] か [オフ] かにによって異なります。 - USB バッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信やシリアル通信、ネットワークバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが自動的に再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
ジョブバッファリング オフ オン 自動	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [オン]を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 - 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。
ENA アドレス YYY.YYY.YYY.YYY	外部プリントサーバーのネットワークアドレス情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。
ENA ネットマスク YYY.YYY.YYY.YYY	外部プリントサーバーのネットマスクを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。
ENA ゲートウェイ YYY.YYY.YYY.YYY	外部プリントサーバーのゲートウェイを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。

パラレル [x] メニュー

メモ: このメニューは、オプションのパラレルカードがインストールされている場合にのみ表示されます。

使用	目的
PCL SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PS SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PCL SmartSwitch] が[オン]に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が[オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
パラレルバッファ 無効 自動 3KB ~ [許容される最大サイズ]	パラレル入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 [無効]はジョブバッファリングをオフにします。プリンタのハードディスクのバッファに格納されているすべての印刷ジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 - パラレルバッファサイズ設定は 1 KB 単位で変更できます。 - 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他のリンクバッファのサイズ、および [リソース保存] が[オン] か [オフ] かにによって異なります。 - パラレルバッファの最大サイズを増やすには、USB 通信やシリアル通信、ネットワークバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
ジョブバッファリング オフ オン 自動	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [オン]を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 - 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

使用	目的
詳細状態 オン オフ	パラレルポート経由の双方向通信を有効にします。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]を選択すると、パラレルポートのネゴシエーションが無効になります。
プロトコル 標準 Fastbytes	パラレルポートのプロトコルを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[Fastbytes]に設定されています。Fastbytes プロトコルは、現在普及しているほとんどのパラレルポートと互換性があります(このプロトコルを選択することを推奨します)。 - パラレルポートの通信に問題がある場合は[標準]が問題の解決を試みます。
初期化要求を許可 オン オフ	コンピュータから送信されたプリンタハードウェア初期化要求を許可するかどうかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - コンピュータは、パラレルポートの Init 信号をアクティブにすることで、プリンタの初期化を要求します。多くのコンピュータは、起動のたびに Init 信号をアクティブにします。
パラレルモード 2 オン オフ	ストローブ信号の立ち上がりエッジまたは立ち下がりエッジでデータをサンプルするかどうかを設定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。 [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。
ENA アドレス YYY.YYY.YYY.YYY	外部プリントサーバーのネットワークアドレス情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。
ENA ネットマスク YYY.YYY.YYY.YYY	外部プリントサーバーのネットマスクを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。
ENA ゲートウェイ YYY.YYY.YYY.YYY	外部プリントサーバーのゲートウェイを設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外部プリントサーバーに接続されているときのみ表示されます。

シリアル [x] メニュー

メモ: このメニューは、オプションのシリアルカードがインストールされている場合にのみ表示されます。

使用	目的
PCL SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PS SmartSwitch] が [オン]に設定されていれば、PostScript エミュレーションが使用されます。また、[PS SmartSwitch] が [オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]に設定した場合、プリンタは受信データをチェックしません。[PCL SmartSwitch] が [オン]に設定されていれば、PCL エミュレーションが使用されます。また、[PCL SmartSwitch] が [オフ]に設定されている場合は、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルの仕様に基づいて双方向通信するための特殊処理を行うようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。[自動]に設定すると、プリンタはデータを確認し、形式を判定してから、適切な方法で処理します。 [オン]に設定されている場合、プリンタは NPA 処理を実行します。データが NPA 形式ではない場合、不良データとして拒否されます。 [オフ]に設定した場合、NPA 処理を実行しません。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
シリアルバッファ 無効 自動 3K ~ [許容される最大サイズ]	シリアル入力バッファのサイズを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。 [無効]はジョブバッファリングをオフにします。ディスクのバッファに格納されているすべてのジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 - シリアルバッファサイズ設定は 1 KB 単位で変更できます。 - 許容される最大サイズは、プリンタのメモリ容量や他のリンクバッファのサイズ、および [リソース保存] が [オン] か [オフ] かにによって異なります。 - シリアルバッファの最大サイズを増やすには、パラレル通信やシリアル通信、ネットワークバッファを無効にするか、それらのバッファサイズを減らします。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。

使用	目的
ジョブバッファリング オフ オン 自動	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。印刷ジョブは、プリンタのハードディスクにバッファされません。 [オン]を選択すると、プリンタのハードディスクに印刷ジョブがバッファされます。 - 他の入力ポートからのデータ処理がビジーのときのみ、印刷ジョブが自動的にバッファされます。 - プリンタコントロールパネルからこの設定を変更した後にメニューを終了すると、プリンタが再起動します。その後、選択した項目がメニューに反映されます。
プロトコル DTR DTR/DSR XON/XOFF XON/XOFF/DTR XONXOFF/DTRDSR	シリアルポートのハードウェアおよびソフトウェアハンドシェイク設定を選択します。 メモ: - 工場出荷時は[DTR]に設定されています。 [DTR/DSR]はハードウェアハンドシェイク設定です。 [XON/XOFF]はソフトウェアハンドシェイク設定です。 [XON/XOFF/DTR]と[XON/XOFF/DTR/DSR]は、ハードウェアハンドシェイク設定とソフトウェアハンドシェイク設定の組み合わせです。
連続 XON 送信 オン オフ	プリンタが印刷可能なことをコンピュータに通知するかどうかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、[シリアルプロトコル]が[XON/XOFF]に設定されているときのみ表示されます。
ボー 1200 2400 4800 9600 19200 38400 57600 115200 138200 172800 230400 345600	シリアルポートのデータ受信速度を指定します。 メモ: - 工場出荷時は 9600 に設定されています。 138200、172800、230400、345600 のボーレートは、[標準シリアル]メニューにのみ表示されます。これらの設定は、[シリアルオプション 1]、[シリアルオプション 2]、[シリアルオプション 3]のメニューには表示されません。
データビット 7 8	各転送フレームのデータビット数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 8 に設定されています。
パリティ 偶数 奇数 なし 無視	シリアル入出力データフレームのパリティを設定します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。

使用	目的
DSR 使用 オン オフ	プリンタが DSR 信号を使用するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - 多くのシリアルケーブルでは、DSR 信号を使ってハンドシェイクを行います。シリアルポートにて DSR を使用すると、コンピュータから送られたデータを、シリアルケーブル内で発生した電氣的ノイズと区別することができます。この電氣的ノイズは、印刷の文字化けを引き起こす恐れがあります。印刷の文字化けを防ぐために、[DSR 使用]を[オン]に設定してください。

SMTP セットアップメニュー

使用	目的
一次 SMTP ゲートウェイ	SMTP サーバーゲートウェイとポート情報を指定します。 メモ: 25 はデフォルト SMTP ゲートウェイポートです。
一次 SMTP ゲートウェイポート	
二次 SMTP ゲートウェイ	
二次 SMTP ゲートウェイポート	
SMTP タイムアウト 5-30	サーバーが E メール送信試行を停止するまでの秒数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 30 秒に設定されています。
返信アドレス	プリンタから送信される Eメールの返信アドレスを指定します(最大 128 文字)。
SSL を使用 無効 交渉 必須	プリンタが SMTP サーバーに接続する際、セキュリティ強化のために SSL を使用するかどうかを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[無効]に設定されています。 [交渉]を選択した場合、SSL を使用するかどうかは SMTP サーバーが決定します。
SMTP サーバー認証 認証なし ログイン/プレーンテキスト CRAM-MD5 Digest-MD5 NTLM Kerberos 5	Eメールへのスキヤンの利用権限を審査するためのユーザー認証タイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は[認証なし]に設定されています。

使用	目的
デバイスから送信される E メール なし デバイスの SMTP 証明書を使用	SMTP サーバーと通信する際に、どの証明書を使用するかを指定します。一部の SMTP サーバーでは、E メールを送信するために認証資格情報が必要です。 メモ: • [デバイスから送信される E メール] および [ユーザーから送信される E メール] の工場出荷時設定は [なし] になっています。 • [デバイスの SMTP 証明書を使用] を選択した場合、デバイスのユーザー ID とパスワードを使用して SMTP サーバーにログインします。
ユーザーから送信される E メール なし デバイスの SMTP 証明書を使用 セッションのユーザー ID とパスワードを使用 セッションの E メールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	
デバイスのユーザー ID	
デバイスのパスワード	
Kerberos 5 レルム	
NTLM ドメイン	

セキュリティメニュー

セキュリティセットアップの編集メニュー

使用	目的
バックアップパスワードの編集 バックアップパスワードの使用 • オフ • オン パスワード	バックアップパスワードを作成します。 メモ: • 工場出荷時は [バックアップパスワードの使用] が [オフ] に設定されています。 • このメニュー項目は、バックアップパスワードが存在するときのみ表示されます。
ビルディングブロックを構成 内部アカウント NTLM 簡易 Kerberos 設定 Kerberos 設定 Active Directory LDAP LDAP+GSSAPI パスワード 暗証番号	内部アカウント、NTLM、簡易 Kerberos 設定、Kerberos 設定、Active Directory、LDAP、パスワード、および PIN の設定を編集します。
セキュリティテンプレートを編集 [利用可能なテンプレート一覧]	セキュリティテンプレートを追加/編集します。

使用	目的
アクセス制御を編集 管理メニュー 機能アクセス 管理 デバイスアプリ デバイスでジョブをキャンセル	プリンタメニュー、ファームウェア更新、保留ジョブなどへのアクセスを制御します。

その他のセキュリティ設定メニュー

使用	目的
ログイン制限 ログイン失敗許容回数 ログイン失敗許容時間 ロックアウト時間 パネルログインのタイムアウト リモートログインのタイムアウト	すべてのユーザーがロックアウトされる前に、プリンタ操作パネルからログイン失敗できる上限回数(または上限時間)を指定します。 メモ: • [ログイン失敗許容回数]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限回数を指定します。1 ~ 10 の試行回数の範囲で設定します。出荷時標準設定での試行回数は[3 回]です。 • [ログイン失敗許容時間]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限時間を指定します。設定範囲は 1 ~ 60 分です。工場出荷時は[5 分]に設定されています。 • [ロックアウト時間]では、ログイン失敗可能な許容回数を超えたときに、ユーザーをロックアウトする時間を指定します。設定範囲は 1 ~ 60 分です。工場出荷時は[5 分]に設定されています。なお、1 を指定すると、ユーザーはロックアウトされません。 • [パネルログインのタイムアウト]では、[ホーム]画面にて操作されない時間がどのくらい続いたときに、ユーザーが自動的にログオフされるかを指定します。設定範囲は 1 ~ 900 秒です。工場出荷時は[30 秒]に設定されています。 • [リモートログインのタイムアウト]では、リモートインターフェイスにて操作されない時間がどのくらい続いたときに、ユーザーが自動的にログオフされるかを指定します。設定範囲は 1 ~ 120 分です。出荷時の標準設定は[10 分]です。
セキュリティリセット設定 効果なし アクセス制御 =[セキュリティなし] 出荷時の標準セキュリティ設定にリセット	セキュリティ設定を調整します。 メモ: • [効果なし]を選択すると、プリンタのセキュリティ設定はリセットされません。 • アクセス制御 =[セキュリティなし]を選択すると、ユーザーが定義したすべてのセキュリティ設定が保留されます。工場出荷時は[セキュリティなし]に設定されています。 • [出荷時の標準セキュリティ設定にリセット]に設定すると、ユーザーが定義したセキュリティ設定が削除され、その他のセキュリティ設定メニューは工場出荷時の標準設定に戻ります。

使用	目的
LDAP 証明書の確認 要求 試行 許可 実行しない	ユーザーに対し、サーバー証明書の要求を許可します。 メモ: - 工場出荷時は[要求]に設定されています。つまり、サーバー証明書が要求されます。間違った証明書が提供された場合（または証明書が提供されなかった場合）、セッションが直ちに終了します。 [試行]を選択すると、サーバー証明書が要求されます。証明書が提供されない場合でも、セッションは通常どおりに処理されます。ただし、間違った証明書が提供された場合は、セッションが直ちに終了します。 [許可]を選択すると、サーバー証明書が要求されます。証明書が提供されない場合でも、セッションは通常どおりに処理されます。また、間違った証明書が提供された場合でも、その証明書は無視されて、セッションは通常どおりに処理されます。 [実行しない]を選択すると、サーバー証明書は要求されません。
最小暗証番号 1 ~ 16	個人識別番号 (PIN) の最小桁数を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[4]です。

コンフィデンシャル印刷メニュー

使用	目的
無効暗証番号許容回数 オフ 2 ~ 10	無効な暗証番号 (PIN) を入力できる最大回数を制限します。 メモ: - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。 - この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号 (PIN) に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限 オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタに保存される期間を制限します。 メモ: - コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタのメモリまたはハードディスクにあるときに有効期限の設定が変更された場合、それらの印刷ジョブの有効期限は新しい設定値に変更されません。 - プリンタの電源がオフになると、プリンタのメモリにあったコンフィデンシャル印刷ジョブはすべて削除されます。
ジョブ期限切れの繰り返し オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	印刷ジョブがプリンタに保存される期間を制限します。
ジョブ期限切れの確認 オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	ベリファイ (確認) が必要な印刷ジョブがプリンタに保存される期間を制限します。
メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。	

使用	目的
予約印刷ジョブの有効期限 オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	後で印刷する予約印刷ジョブがプリンタに保存される期間を制限します。
メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。	

一時データファイルを消去メニュー

[一時データファイルを消去]では、ファイルシステムで現在使用されていないプリンタハードディスクの印刷ジョブデータのみを削除します。ダウンロードしたフォント、マクロ、保留ジョブなどのプリンタハードディスクのすべての恒久データは保持されます。

メモ: このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

使用	目的
消去モード 自動	ディスク消去モードを指定します。
自動消去方法 シングルパス マルチパス	過去の印刷ジョブで使用されたすべてのディスクスペースにマークを付けます。そのスペースが消去されるまでファイルシステムが再利用できません。 メモ: - 工場出荷時は[シングルパス]に設定されています。 - 自動消去を選択した場合のみ、一定時間プリンタをオフにすることなくディスク消去を有効にすることができます。 - 機密性の高いデータは、必ず [マルチパス]を使って消去してください。

セキュリティ監査ログメニュー

使用	目的
ログをエクスポート	権限を持ったユーザーがセキュリティログをエクスポートすることができます。 メモ: - プリンタの操作パネルから監査ログをエクスポートするには、プリンタにフラッシュドライブが装着されている必要があります。 - 内蔵 WEB サーバー (EWS) からログをエクスポートする場合、コンピュータにログをダウンロードします。
ログを削除 はい いいえ	監査ログを削除するかどうかを指定します。

使用	目的
ログを設定 監査を有効化 はい いいえ リモート Syslog 有効化 いいえ はい リモート Syslog サーバー [256 文字の文字列] リモート Syslog ポート 1 ~ 65535 リモート Syslog 方式 通常の UDP スプリットトンネリング リモート Syslog ファシリティ 0 ~ 23 ログ満杯時の動作 最も古いエントリを完全にラップする ログを E メール送信し、全エントリを削除	監査ログの構成方法を指定します。 メモ: • [監査を有効化]によって、イベントがセキュア監査ログに記録されるか、リモート Syslog に記録されるかが決定されます。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [リモート Syslog を有効化]によって、ログがリモートサーバーに送信されるかどうか決定されます。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [リモート Syslog サーバー]によって、リモート Syslog サーバーにログを送信するために使用する値が決定されます。 • [リモート Syslog ポート]によって、ログ記録されたイベントをプリンタからリモートサーバーに送信するポートを特定します。 • [リモート Syslog 方式]によって、ログ記録されたイベントをプリンタからリモートサーバーに送信するプロトコルを特定します。工場出荷時は[標準 UDP]に設定されています。 • [リモート Syslog 機能]は、リモート Syslog サーバーにイベントを送信する際にプリンタが使用する機能値を指定します。出荷時の標準設定は[4]です。 • [ログ満杯時の動作]は、割り当てられたメモリがログで完全に満杯になった場合のプリンタによる解決方法を指定します。工場出荷時の設定は[最も古いエントリを上書き]です。

使用	目的
ログを構成(続き) 管理者の E メールアドレス [256 文字の文字列] エクスポートにデジタル署名 オフ オン ログ記録するイベントの重要度 0 ~ 7 リモート Syslog にログ記録しないイベント いいえ はい ログ消去 E メールアラート いいえ はい E メールログラップアラート いいえ はい E メール % フルアラート いいえ はい % フルアラート レベル 1 ~ 99 E メール ログエクスポートアラート いいえ はい E メール ログ設定変更アラート いいえ はい ログの行終了 LF (\n) CR (\r) CRLF (\r\n)	監査ログの構成方法を指定します。 メモ: • [管理者の E メールアドレス]は、管理者に特定のログイベントが自動的に通知されるかどうかを指定します。この設定には、1 つまたは複数の E メールアドレスを設定できます(コンマで区切る)。 • [エクスポートにデジタル署名]は、エクスポートされたすべてのセキュリティログにプリンタが自動署名するかどうかを指定します。工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • [ログ記録するイベントの重要度]は、各イベントの重要度を記録します。出荷時の標準設定は[4]です。 • [リモート Syslog にログ記録しないイベント]は、[ログ記録するイベントの重大度]の値よりも大きなセキュリティレベルのイベントを、プリンタからリモートサーバーに送信するかどうかを指定します。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [E メールログのクリアアラート]は、プリンタの操作パネルまたは EWS を使ってログを削除した際に、プリンタから管理者に E メールを必ず送信するかどうかを指定します。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [E メールログのラップアラート]は、ログエントリのラップが発生した際に、プリンタから管理者に E メールを送信するかどうかを指定します。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [E メール % フルアラート]は、ログが割り当てられた容量の一定量を超えた際に、プリンタから管理者に E メールを送信するかどうかを指定します。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [% フルアラートレベル]は、ログが占有する容量が、フルアラートレベルの値以上を占有しているかどうかを指定します。出荷時の標準設定は[90]です。 • [E メールログのエクスポートアラート]は、エクスポートされたログが存在する際に、プリンタから管理者に E メールを送信するかどうかを指定します。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [E メールログの設定変更アラート]は、[監査ログを有効化]設定の値を切り替えた際に、プリンタから管理者に E メールを送信するかどうかを指定します。工場出荷時は[いいえ]に設定されています。 • [ログライン終了]は、ファイルの解析または表示が行われるオペレーティングシステムに応じて、ログファイルにおけるライン終了の処理方法を指定します。工場出荷時設定は[LF (\n)]です。

日付と時間を設定メニュー

使用	目的
現在の日時	プリンタの日時を設定します。
日時を手動設定	プリンタの日時を入力します。 メモ: 日時は YYYY-MM-DD HH: MM: SS 形式で設定されます。
時間帯	プリンタのタイムゾーンを選択します。 メモ: 工場出荷時は GMT に設定されています。
DST を自動的に適用 オン オフ	この設定では、[時間帯]で設定したタイムゾーンの夏時間が適用されます。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。この設定では、[時間帯]で設定したタイムゾーンの夏時間が適用されます。

使用	目的
カスタム時間帯の設定 UTC 時差 DST 開始週 DST 開始日 DST 開始月 DST 開始時刻 DST 終了週 DST 終了日 DST 終了月 DST 終了時刻 DST オフセット	時間帯を設定します。
NTP の有効化 オン オフ	ネットワーク上の機器の時計を同期します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
NTP サーバー	NTP サーバーのアドレスを表示します。
認証を有効化 オン オフ	NTP サーバーにアクセスする際の資格情報を設定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

設定メニュー

一般設定メニュー

使用	目的
表示言語 英語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 ポルトガル語 フィンランド語 ロシア語 ポーランド語 ギリシャ語 ハンガリー語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 韓国語 日本語	ディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。 メモ: 機種によっては、一部の言語が使用できない場合があります。一部の言語では、特殊ハードウェアをインストールしなければならない場合があります。
消耗品の推定を表示 推定を表示 推定を表示しない	操作パネル、内蔵 Web サーバー、メニュー設定、およびデバイス統計レポートに消耗品の推定を表示します。 メモ: 工場出荷時は[推定を表示]に設定されています。
エコモード オフ 電力 電力/用紙 用紙	電力や用紙、特殊用紙の使用量を最小にします。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [エコモード]を[電力]または[用紙]に設定すると、プリンタのパフォーマンスに影響が生じる場合がありますが、印刷品質には影響しません。
ADF セットビープ 有効 無効	用紙をセットしたときの ADF のビープ音を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[有効化]に設定されています。
ADF 重送センサー オン オフ	ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
静音モード オフ オン	プリンタの騒音を低減します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
初期設定を実行 はい いいえ	セットアップウィザードを実行します。
キーボード キーボードタイプ 英語 フランス語 カナダフランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 ギリシャ語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 フィンランド語 ポルトガル語 ロシア語 ポーランド語 スイスドイツ語 スイスフランス語 韓国語 ハンガリー語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 日本語 カスタムキー [x]	ディスプレイに表示されるキーボードの言語とカスタムキーボード情報を指定します。
用紙サイズ 米国 メートル法	用紙サイズの測定方法を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[米国]に設定されています。 - 用紙サイズの初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国や地域によって決まります。
PC ポートのスキャン範囲 [ポート範囲]	ポートをブロックしているファイアウォールの後ろにあるプリンタで使用する有効なポート範囲を指定します。 メモ: 工場出荷時は 9751:12000 に設定されています。

使用	目的
表示する情報 左側 右側	ホーム画面の上端に表示する情報を指定します。 以下のオプションから選択します。 - なし - IP アドレス - ホスト名 - 担当者名 - 設置場所 - 日付/時刻 - mDNS/DDNS サービス名 - ゼロ構成名 - カスタムテキスト [x] - モデル名 メモ: • [IP アドレス]の工場出荷時設定は[左側]になっています。 • [日付/時刻]の工場出荷時設定は[右側]になっています。
表示する情報(続き) カスタムテキスト[x]	ホーム画面の上端に表示するテキストをカスタマイズします。
表示する情報(続き) 黒のトナー	黒のトナーに関する表示情報を指定します。 以下のオプションから選択します。 - 表示タイミング - 非表示 - 表示 - 表示メッセージ - 標準 - 代替 - 標準 [文字入力] - 代替 [文字入力] メモ: • [表示タイミング]の工場出荷時設定は[非表示]になっています。 • [表示メッセージ]の工場出荷時設定は[標準]になっています。

使用	目的
表示する情報(続き) 紙詰まり 用紙をセット サービスエラー	特定のメニューに関する表示情報をカスタマイズします。 以下のオプションから選択します。 表示 はい いいえ 表示メッセージ 標準 代替 標準 [文字入力] 代替 [文字入力] メモ: • [表示]の工場出荷時設定は[いいえ]になっています。 • [表示メッセージ]の工場出荷時設定は[標準]になっています。
ホーム画面のカスタマイズ 言語を変更 コピー コピーショートカット Fax FAX ショートカット E メール E メールショートカット FTP FTP ショートカット 保持されたジョブ検索 保持されたジョブ USB ドライブ プロファイルとアプリ ブックマーク ユーザー別ジョブ 用紙とお気に入り カードコピー ネットワークへのスキャン 個人ショートカット マルチ転送	ホーム画面に表示されるアイコンを変更します。 以下のオプションから選択します。 表示 非表示
日付形式 MM-DD-YYYY DD-MM-YYYY YYYY-MM-DD	プリンタの日付形式を指定します。 メモ: MM-DD-YYYY は米国でのになっています。それ以外の国の場合、工場出荷時は[DD-MM-YYYY]に設定されています。
時刻形式 12 時間形式: A.M./P.M. 24 時間形式	プリンタの時刻形式を指定します。 メモ: 12 時間形式: A.M./P.M.工場出荷時の設定です。
画面明るさ 20 ~ 100	ディスプレイの明るさを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[100]です。

使用	目的
1 ページコピー オフ オン	原稿台から一度に 1 ページずつコピーするよう設定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
排紙部の照明 標準/待機モード オフ 中間 明るい	標準排紙トレイのインジケータランプを設定します。 メモ: • [エコモード]が[電力]または[電力/用紙]に設定されている場合、工場出荷時の標準設定は[中間]です。 • [エコモード]が[オフ]または[用紙]に設定されている場合、工場出荷時の標準設定は[明るい]です。
エラーランプ オン オフ	プリンタでエラーが発生したときに、インジケータランプが点灯するかどうかを設定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
タッチスクリーンのタッチ音の設定 ボタンのフィードバック オン オフ ボリューム 1 ~ 10	ボタンの音量とフィードバックを設定します。 メモ: • [ボタンのフィードバック]の工場出荷時設定は[オン]になっています。 • [ボリューム]の工場出荷時設定は 5 になっています。
タッチスクリーンの触感反応 オン オフ	タッチスクリーンの触感反応を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
ブックマークを表示 はい いいえ	[保留中のジョブ]エリアにブックマークを表示するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
背景削除を許可 オン オフ	画像の背景削除ができるかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
カスタムスキャンを許可 オン オフ	複数のジョブをスキャンして 1 つのファイルに保存します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
ADF 紙詰まり時の再開位置 ジョブレベル 用紙レベル	ADF で紙詰まりが発生したとき、スキャンジョブを再度読み込む方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[ジョブレベル]に設定されています。
Web ページ更新頻度 30~300	内蔵 Web サーバー(EWS)が Web ページを更新する間隔を指定します。 メモ: 工場出荷時は[120 秒]に設定されています。
担当者名	プリンタの担当者名を指定します。 メモ: 担当者名は 内蔵 Web サーバー(EWS) に保存されます。
設置場所	プリンタの設置場所を指定します。 メモ: ロケーションは 内蔵 Web サーバー(EWS) に保存されます。

使用	目的
警報 警報制御 カートリッジ警報	ユーザーの操作が必要なときにアラームを鳴らすかどうかを設定します。 以下のオプションから選択します。 オフ シングル 連続 メモ: - 警報制御の工場出荷時は[シングル]に設定されています。 - カートリッジ警報の工場出荷時は[オフ]に設定されています。
時間切れ スタンバイモード 無効 1 ~ 240	プリンタが低電力状態になるまでのアイドル時間を指定します。 メモ: 工場出荷時は 15 分に設定されています。
時間切れ スリープモード 無効 1 ~ 120	プリンタがスリープモードになるまでのアイドル時間を指定します。 メモ: - 工場出荷時は 20 分に設定されています。 [無効]は、[省電力]が[オフ]に設定されている場合にのみ表示されます。
時間切れ ディスプレイがオフの状態で印刷 ディスプレイがオフの状態で印刷を許可 印刷時にディスプレイがオン	ディスプレイがオフでもジョブを印刷します。 メモ: 工場出荷時は[印刷時にディスプレイがオン]に設定されています。
時間切れ ハイバネートタイムアウト 無効 20 分 1 時間 2 時間 3 時間 6 時間 1 日 2 日 3 日 1 週間 2 週間 1 か月	プリンタがハイバネートモードになるまでの時間を指定します。 メモ: 工場出荷時は 3 日に設定されています。
接続時にハイバネートタイムアウト ハイバネート ハイバネートしない	アクティブなイーサネット接続がある場合でも、[ハイバネート]モードに設定します。 メモ: 工場出荷時は[ハイバネート]に設定されています。
時間切れ 画面タイムアウト 15 ~ 300	ディスプレイが自動的に[準備完了]状態になるまでのアイドル時間を指定します。 メモ: 工場出荷時は 30 秒に設定されています。

使用	目的
時間切れ 印刷タイムアウト 無効 1～255	指定した時間アイドル状態が続いた場合に印刷ジョブを終了するようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時設定は 90 秒です。 [印刷タイムアウト]の設定は、PCL を使用しているときのみ有効です。
時間切れ データ待ち時間 無効 15～65535	印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが次のデータを待つ時間を指定します。 メモ: - 出荷時の標準設定は 40 秒です。 [データ待ち時間]の設定は、PostScript エミュレーションを使用しているときのみ有効です。
時間切れ ジョブ保留タイムアウト 5 ～ 255	リソースを利用できないために印刷できないジョブがある場合、そのジョブを保留する前にユーザーの操作を待つ時間を指定します。 メモ: - 工場出荷時は 30 秒に設定されています。 - このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
エラー回復 自動再起動 アイドル時に再起動 常に再起動 再起動しない	エラー発生時にプリンタを再起動するように設定します。 メモ: 出荷時の設定は、[常に再起動]です。
エラー回復 最大自動再起動 1 ～ 20	プリンタが実行できる自動再起動回数を定義します。 メモ: 出荷時の標準設定は[2]です。
印刷回復 自動続行 無効 5 ～ 255	一定時間内に問題が解決されなかった場合に、オフライン状態から自動的に復帰して印刷を再開します。 メモ: 工場出荷時は[無効]に設定されています。
印刷回復 紙づまり回復 オン オフ 自動	紙づまりが発生したページを再印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
印刷回復 紙づまりアシスト オン オフ	詰まった用紙があるかどうか自動的に確認するように設定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
印刷回復 ページ保護 オフ オン	ページの正しい出力を印刷するようにプリンタを設定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
ユーザー補助機能設定 画面タイムアウトの延期 オン オフ	ホーム画面に戻らずに同じ場所に留まり、画面タイムアウトの時間をリセットします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ユーザー補助機能設定 スピーチ速度 非常に遅い 低速 普通 速い より速い 非常に速い 高速 非常に高速 最速	音声ガイダンスの話す速度を調整します。 メモ: 工場出荷時は[普通]に設定されています。
ユーザー補助機能設定 ヘッドホンの音量 1 ~ 10	ヘッドホンの音量を設定します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
Lexmark に送信された情報 消耗品とページ使用率(匿名) オン オフ	匿名のデバイスの使用情報を Lexmark に送信します。 メモ: 標準設定値は初期設定時に選択した内容に応じて異なります。
[スリープ] ボタンを押す 何もしない スリープ ハイバネート	アイドル状態にて[Sleep] ボタンが押されたとき、プリンタがどのように動作するかを設定します。 メモ: 工場出荷時は[スリープ]に設定されています。
[スリープ] ボタンを押し続ける 何もしない スリープ ハイバネート	アイドル状態にて[Sleep] ボタンが押し続けられたとき、プリンタがどのように動作するかを設定します。 メモ: 工場出荷時の設定は、[何もしない]です。
出荷時標準設定 復元しない 復元	プリンタの初期状態のデフォルト設定を復元します。 メモ: 工場出荷時の設定は、[復元しない]です。
構成ファイルのエクスポート エクスポート	設定ファイルをフラッシュドライブにエクスポートします。
圧縮ログファイルをエクスポート エクスポート	圧縮ログファイルをフラッシュドライブにエクスポートします。

コピー設定メニュー

使用	目的
内容タイプ 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[モノクロレーザー]に設定されています。
印刷面(両面印刷) 片面を片面に 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿が両面か片面か、また、両面でコピーするか片面でコピーするかを指定します。 メモ: • 片面を片面に一片面印刷の原をコピーして片面印刷します。 • 片面を両面に一片面印刷の原稿をコピーして両面印刷します。 • 両面を片面に一両面印刷の原稿をコピーして片面印刷します。 • 両面を両面に一両面印刷の原稿をコピーして両面印刷します。コピー出力は原稿と全く同じ構成になります。
用紙の節約 オフ 2 ページ/用紙(縦長) 2 ページ/用紙(横長) 4 ページ/用紙(縦長) 4 ページ/用紙(横長)	2 ページ(または 4 ページ)のドキュメントを 1 ページにコピーします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ページ枠を印刷 オン オフ	ページ枠を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
丁合印刷 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)	複数の部数を印刷するときの印刷ジョブのページを順番にスタックします。 メモ: 工場出荷時は (1,2,3) (1,2,3) に設定されています。
パンチ オフ 2 穴 3 穴 4 穴	印刷またはコピージョブのホールパンチ仕上げのタイプを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ホチキス オフ オン	ステープルフィニッシャーを有効または無効にします。 メモ: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このメニュー項目はステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。

使用	目的
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 複雑な用紙レター 複雑な用紙 A5 複雑な用紙リーガル 複雑な用紙 A4 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ ID カード	原稿の用紙サイズを指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定はレターになっています。 - その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
コピー先の給紙源 トレイ [x] 自動サイズ調整 多目的フィーダ	コピージョブの給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
OHP フィルムセパレータ紙 オン オフ	OHP フィルムの間に紙を挿入します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
セパレータ紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	各ページや各部、各ジョブの間に紙を挿入します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
セパレータ紙給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダ	セパレータ紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
濃さ 1-9	コピージョブの印刷を明るくまたは濃くします。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
排紙トレイ 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]	コピージョブの排紙トレイを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[標準排紙トレイ]に設定されています。 - 排紙トレイ [x]はオプションの排紙トレイがあるときにのみ表示されます。

使用	目的
コピー部数 1～999	コピージョブの部数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 1 に設定されています。
ヘッダー/フッター [位置] オフ 日付/時刻 ページ番号 ユーザーテキスト 印刷対象 全ページ 先頭ページのみ 先頭以外の全ページ ユーザーテキスト	ヘッダー/フッターの情報、およびヘッダー/フッターを印刷するページ上の位置を指定します。 印刷位置は以下のオプションから選択します。 • 上部左 • 上部中央 • 上部右 • 下部左 • 下部中央 • 下部右 メモ: • [位置]の工場出荷時設定は[オフ]になっています。 • [印刷対象]の工場出荷時設定は[全ページ]になっています。
オーバーレイ 部外秘 コピー 下書き 緊急 カスタム オフ	コピージョブの各ページにオーバーレイ印刷する文字を指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
カスタムオーバーレイ	カスタムオーバーレイテキストを指定します。 メモ: 最大 64 文字まで指定できます。
コピー機能を優先する オン オフ	ページやドキュメントの割り込みコピーを許可します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントをコピーして 1 つのコピージョブにまとめます。 メモ: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
ショートカットとして保存可能 オン オフ	カスタムコピー設定をショートカットとして保存できるようにします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
背景削除 -4 ～ 4	コピーにおける背景の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
自動中央揃え オフ オン	印刷内容を自動的にページ中央に配置します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0～255 緑色 標準しきい値 0～255 青色 標準しきい値 0～255	コピーにどの色をドロップアウトさせるか、また、どの程度ドロップアウトさせるかを指定します。 メモ: • [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト 0～5 内容に合わせて最適化	コピーのコントラストを指定します。 メモ: 工場出荷時は[内容に合わせて最適化]に設定されています。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ細部 -4 ～ 4	シャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
ADF 重送センサー オン オフ	ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
端までスキャン オフ オン	原稿の端までスキャンできます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1～5	コピーにおけるシャープネスを調節します。 メモ: 工場出荷時は 3 に設定されています。
サンプルコピー オフ オン	原稿のサンプルコピーを作成します。 メモ: • 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 • このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

FAX 設定メニュー

FAX モード(アナログ FAX 設定)メニュー

アナログ FAX 設定モードでは、電話回線を使って FAX を送信します。

一般 FAX 設定

使用	目的
出荷時標準設定を復元	すべての FAX 設定を工場出荷時の設定に戻します。
FAX 互換性の最適化	他の FAX 機との FAX の互換性を最適化します。
FAX 名	プリンタ内蔵の FAX 名を指定します。
FAX 番号	FAX に割り当てられている番号を指定します。
Fax ID FAX 名 FAX 番号	FAX の識別方法を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[FAX 番号]です。
手差し FAX を有効化 オン オフ	プリンタから手差し FAX 送信のみできるように設定します。手差しで FAX 送信するには、電話回線スプリッターと電話の受話器が必要です。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - FAX 着信への応答、および FAX 番号のダイヤルは、通常の電話で行います。 - この設定に直接移動するには、数字キーで # 0 を押します。
メモリ割当て すべて受信 ほとんど受信 均等 ほぼ送信完了 すべて送信	FAX 送信データと FAX 受信データに対して不揮発性メモリをどのように割り当てるかを設定します。 メモ: 工場出荷時は[均等]に設定されています。
FAX をキャンセル 許可 許可しない	FAX ジョブをキャンセルできるかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[許可]に設定されています。
発信者 ID オフ 一次 代替	使用されている発信者 ID の種類を指定します。
FAX 番号のマスキング オフ 左から 右から	送信 FAX 番号をどちらの桁からマスクするかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - マスクする桁数は[マスキングする桁数]にて指定します。
マスキングする桁数 0~58	送信 FAX 番号をマスクする桁数を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。

使用	目的
FAX 送付状ページ FAX 送付状ページ 標準設定でオフ 標準設定でオン 使用しない 常に使用 [～まで含む]フィールド オン オフ [～から含む]フィールド オン オフ 送信元 [メッセージを含む]フィールド オン オフ メッセージ ロゴを含む オン オフ フッター [x]を含める オン オフ フッター [x]	FAX 送付状を設定します。 メモ: • FAX 送付状のオプションは、工場出荷時にすべて[標準設定でオフ]に設定されています。 • その他のすべてのメニュー項目は、工場出荷時にすべて[オフ]に設定されています。

FAX 送信設定

使用	目的
解像度 標準 精細 200 dpi スーパーファイン 300 dpi ウルトラファイン 600 dpi	品質をドット/インチ(dpi)で指定します。解像度を高くするほど印刷品質が良くなりますが、FAX 送信にかかる時間が長くなります。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。

使用	目的
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ	原稿のサイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は[大きさ混在]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
印刷面 (両面印刷) オフ 長辺 短辺	両面スキャンのために ADF にセットされている原稿の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
内容の種類 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[モノクロレーザー]に設定されています。
濃さ 1~9	出力を薄く (または濃く) します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
ダイヤルプレフィックス	ダイヤルプレフィックス (例: 99) を入力します。数字入力フィールドが表示されます。
ダイヤルプレフィックスルール プレフィックスルール [x]	ダイヤルプレフィックスルールを設定します。
自動リダイヤル 0 ~ 9	指定の番号に FAX 送信を試行する回数を指定します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。

使用	目的
リダイヤル間隔 1～200	リダイヤルの間隔を分で指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は「3」です。
PABX 経由 はい いいえ	交換器のブラインドダイヤル(ダイヤルトーンが発生しないダイヤル)を有効または無効にします。 メモ: 工場出荷時は[いいえ]に設定されています。
ECM を有効化 はい いいえ	FAX のエラー訂正モード(ECM)を有効または無効にします。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
FAX スキャンを有効化 オン オフ	プリンタでスキャンした原稿を FAX します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
FAX 用ドライバ はい いいえ	プリンタドライバによる FAX 送信を許可します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
ショートカットとして保存を許可 オン オフ	FAX 番号をショートカットとしてプリンタに保存できるようにします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
ダイヤルモード トーン パルス	ダイヤル音を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トーン]に設定されています。
速度優先 2400 4800 9600 14400 33600	FAX 送信の速度優先をボーで指定します。 メモ: 工場出荷時は[33600]に設定されています。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントをスキャンして 1 つのファイルにまとめます。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
スキャンプレビュー オン オフ	スキャンのプレビューをディスプレイに表示するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
背景削除 -4 ～ 4	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。
カラーバランス シアン - 赤 マゼンタ - 緑 イエロー - 青	スキャン画像のカラーバランスが等しくなるようにします。

使用	目的
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255 緑色 標準しきい値 0 ~ 255 青色 標準しきい値 0 ~ 255	削除する色と、それぞれのカラードロップアウトしきい値の設定を指定します。 メモ: • [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト 0~5 内容に合わせて最適化	スキャン画像のコントラストを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[自動調整]です。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガイメージ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ描写 -4 ~ 4	シャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。
ADF 重送センサー オン オフ	ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
端までスキャン オフ オン	原稿を用紙の端までスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1 ~ 5	Fax のシャープネスを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は「3」です。
色温度 -4 ~ 4	出力の色温度を指定します。色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。
カラー FAX スキャン有効化 標準設定でオフ 標準設定でオン 使用しない 常に使用	カラー FAX を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[標準設定でオフ]に設定されています。
カラー FAX からモノクロ FAX への自動変換 オン オフ	送信 FAX をすべてモノクロに変換します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

FAX 受信設定

使用	目的
FAX 受信を有効化 オン オフ	プリンタによる FAX 受信を許可します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
発信者番号を有効化 オン オフ	受信 FAX の発信者番号の情報を表示します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
待機中の FAX ジョブ なし トナー トナーと消耗品	指定したリソースが利用できないために待機中の FAX ジョブを、印刷キューから削除します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
呼び出し回数 1～25	FAX 着信に応答するまでの呼び出し回数を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は「3」です。
自動応答 はい いいえ	FAX の受信を自動で行うかどうかを設定します。 メモ: 工場出荷時は[はい]に設定されています。
手動応答コード 0～9	電話番号パッドでコードを手動で入力し、FAX 受信を開始します。 メモ: • 出荷時の標準設定は「9」です。 • このメニュー項目は、プリンタと電話で回線を共有している場合に使用します。
自動縮小 オン オフ	指定した FAX 給紙源にセットされた用紙のサイズに合わせて、受信 FAX 出力のサイズを調節します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
給紙源 自動 トレイ [x] 多目的フィーダー	受信 FAX を印刷する用紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
印刷面(両面印刷) オフ オン	受信 FAX の両面印刷を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
セパレータ紙 オフ 出力前 出力後	受信 FAX 出力にセパレータ紙を挿入します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
区切り紙給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー	区切り紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
排紙トレイ 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]	受信された Fax の排紙トレイを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準排紙トレイ]に設定されています。

使用	目的
FAX のフッター オン オフ	受信 FAX の各ページの下に、送信情報を印刷します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
速度優先 2400 4800 9600 14400 33600	FAX 受信の速度優先をボーで指定します。 メモ: 工場出荷時は[33600]に設定されています。
FAX 転送 印刷する 印刷して転送 転送	受信 FAX を他の受信者に転送します。 メモ: 工場出荷時は[印刷する]に設定されています。
転送先 Fax E メール FTP LDSS eSF	FAX 転送方法を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[Fax]に設定されています。 - このメニュー項目はプリンタの 内蔵 WEB サーバー(EWS) からのみ利用することができます。
ショートカットに転送	受信タイプ (FAX、E メール、FTP、LDSS、eSF) に対応したショートカット番号を入力します。
無記名の FAX をブロック オフ オン	ステーション ID または Fax ID が設定されていない機器から送信された FAX をブロックします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
禁止された FAX 一覧	着信を拒否する FAX 番号の一覧をプリンタに保存します。
FAX 保留 FAX 保留モード オフ 常にオン 手差し スケジュール FAX 保留スケジュール	受信 FAX がリリースされるまで印刷保留することができます。保留した FAX は手動、または決められた日付もしくは時刻に出力することができます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
パンチ オフ オン	印刷物に穴を開けるかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ステーブル オフ 1 ステーブル	印刷物をホチキスで留めるかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
カラー FAX 受信を有効化 オン オフ	カラー Fax を受信し、モノクロで印刷できます。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

FAX ログ設定

使用	目的
送信ログ ログを印刷 ログを印刷しない エラーのみ印刷	FAX を送信後に送信ログを印刷します。 メモ: 工場出荷時は[ログを印刷]に設定されています。
受信エラーログ 印刷しない エラー時に印刷	受信エラーログを印刷します。 メモ: 工場出荷時は[印刷しない]に設定されています。
自動印刷ログ オン オフ	FAX ログを自動印刷します。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 - FAX ジョブを 200 件実行するたびにログが印刷されます。
給紙源を記録 トレイ [x] 多目的フィーダー	ログを印刷する際の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
ログ表示 リモートステーション名 ダイヤルした番号	ログ印刷出力に、ダイヤルした番号(または返信されたステーション名もしくは FAX 名)を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[リモートステーション名]に設定されています。
ジョブログを有効化 オン オフ	FAX ジョブのログへのアクセスを許可します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
通話ログを有効化 オン オフ	FAX 通信ログへのアクセスを許可します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
ログ排出トレイ 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]	印刷した FAX ログの排紙トレイを指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準排紙トレイ]に設定されています。

スピーカー設定

使用	目的
スピーカーモード 常にオフ 接続されるまでオン 常にオン	スピーカーのモードを指定します。 メモ: 工場出荷時は[接続されるまでオン]に設定されています。この設定では、FAX 接続が確立するまでスピーカーから音が出ます。
スピーカー音量 高 残り僅か	スピーカー音量を[高]または[低]に設定します。 メモ: 工場出荷時は[高]に設定されています。
着信音量 オフ オン	着信音量を有効または無効にします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

受信の設定

使用	目的
すべて 1 回のみ受信 2 回のみ受信 3 回のみ受信 1 回または 2 回のみ受信 1 回または 3 回のみ受信 2 回または 3 回のみ受信	着信に応答する呼び出し音のパターンを指定します。 メモ: 工場出荷時は[すべての呼び出し音]に設定されています。

FAX モード(FAX サーバー設定)メニュー

FAX モードでは、FAX ジョブを FAX サーバーに転送します。

使用	目的
送信先形式	特定の FAX 情報を入力します。
返信アドレス	
件名	
メッセージ	
SMTP セットアップ	SMTP の設定情報を指定します。
一次 SMTP ゲートウェイ	SMTP サーバーのポート情報を指定します。
二次 SMTP ゲートウェイ	
イメージ形式 PDF (.pdf) XPS (.xps) TIFF (.tif)	画像形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[PDF (.pdf)]に設定されています。
内容の種類 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	元の原稿がどのように作成されたかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[モノクロレーザー]に設定されています。
FAX 解像度 標準 精細 200 dpi スーパーファイン 300 dpi ウルトラファイン 600 dpi	品質をドット/インチ(dpi)で指定します。 メモ: 工場出荷時は[標準]に設定されています。

使用	目的
濃さ 1~9	出力を薄く(または濃く)します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き 縦長 横長	スキャン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[縦長]に設定されています。
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 複雑な用紙レター 複雑な用紙 A5 複雑な用紙リーガル 複雑な用紙 A4 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ	原稿のサイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は[大きさ混在]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
複数ページ TIFF を使用 オン オフ	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。Fax にスキャンジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
アナログ受信を有効化 オフ オン	アナログ FAX の受信を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

E メール設定メニュー

使用	目的
E メールサーバー設定 件名 メッセージ ファイル名	E メールサーバー情報を指定します。

使用	目的
E メールサーバー設定 自分にコピーを送信 表示しない 標準設定でオン 標準設定でオフ 常にオン	送信者自身に E メールのコピーを送信します。 メモ: 工場出荷時は[表示しない]に設定されています。
E メールサーバー設定 Eメールの最大サイズ 0 ~ 65535 KB	Eメールの最大サイズを指定します。 メモ: 指定した最大サイズを超える E メールは送信されません。
E メールサーバー設定 サイズのエラーメッセージ	Eメールのサイズが設定された上限サイズを超えているとき、メッセージを送信します。
E メールサーバー設定 送信先を制限	ドメイン名(企業のドメイン名など)を指定して、そのドメイン名に対してのみ Eメールの送信を許可します。 メモ: - 指定したドメインに対してのみ Eメールを送信できます。 1つのドメインのみ指定できます。
E メールサーバー設定 Webリンク設定 サーバー ログイン パスワード パス ファイル名 Webリンク	Eメールサーバーの Web リンク設定を定義します。 メモ: * : ? < > の文字はパス名に使えません。
形式 PDF (.pdf) TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps) RTF (.rtf) TXT (.txt)	ファイル形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[PDF (.pdf)]に設定されています。
PDF 設定 PDF バージョン 1.2 ~ 1.7 A-1a A-1b PDF 圧縮 普通 高 Secure PDF オフ オン 検索可能な PDF オフ オン	PDF 設定を構成します。 メモ: - PDF バージョンの工場出荷時設定は[1.5]になっています。 - PDF 圧縮の工場出荷時設定は[標準]になっています。このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクが実装されているときのみ表示されます。 - セキュア PDF と検索可能な PDF の工場出荷時設定は[オフ]になっています。セキュア PDF では、パスワードを 2 回入力するように指示されます。

使用	目的
内容の種類 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[モノクロレーザー]に設定されています。
カラー オフ オン	プリンタがカラーで原稿を取り込んで送信するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンの解像度をドット/インチ (dpi) で指定します。 メモ: 工場出荷時は 150 dpi に設定されています。
濃さ 1~9	出力を薄く(または濃く)します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き 縦長 横長	スキャン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[縦長]に設定されています。

使用	目的
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 複雑な用紙レター 複雑な用紙 A5 複雑な用紙リーガル 複雑な用紙 A4 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ	原稿のサイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定はになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
印刷面 (両面印刷) オフ 長辺 短辺	両面スキャンのために ADF にセットされている原稿の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化 5~90	JPEG 写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[自動調整]です。
テキスト標準設定 5~90	テキストの品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は[75]に設定されています。
文字/写真標準設定 5~90	文字/写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は[75]に設定されています。
写真標準設定 5~90	写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は[50]に設定されています。
E メールによる画像送信方法 添付 Web リンク	画像送信方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[添付]に設定されています。
複数ページ TIFF を使用 オン オフ	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。E メールジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
TIFF 圧縮 LZW JPEG	TIFF ファイルの圧縮に使用する形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[LZW]に設定されています。
送信ログ ログを印刷 ログを印刷しない エラーのみ印刷	E メールを送信後に送信ログを印刷します。 メモ: 工場出荷時は[ログを印刷]に設定されています。
給紙源を記録 トレイ [x] 多目的フィーダー	E メールログを印刷する際の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
ログ排出トレイ 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]	E メールログの排紙トレイを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[標準排紙トレイ]に設定されています。 - 排紙トレイ [x]はオプションの排紙トレイがあるときにのみ表示されます。
E メールビット深度 1 ビット 8 ビット	[カラー] が[オフ]に設定されているとき、1 ビット画像を使用することで文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: 工場出荷時は 8 ビットに設定されています。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントを一度にコピーします。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクが実装されているときのみ表示されます。
スキャンプレビュー オン オフ	スキャンのプレビューをディスプレイに表示するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクが実装されているときのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オン オフ	E メールアドレスをショートカットとして保存できるようにします。 メモ: - 工場出荷時は[オン]に設定されています。 [オフ]を選択すると、Eメールの[送信先]画面に[ショートカットとして保存]ボタンが表示されません。
背景削除 -4 ~ 4	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。
カラーバランス シアン - 赤 マゼンタ - 緑 イエロー - 青	出力のカラーバランスが等しくなるようにします。

使用	目的
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ～ 255 緑色 標準しきい値 0 ～ 255 青色 標準しきい値 0 ～ 255	削除する色と、それぞれのカラードロップアウトしきい値の設定を指定します。 メモ: • [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト 0～5 内容に合わせて最適化	出力のコントラストを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[自動調整]です。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガイメージ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ描写 -4 ～ 4	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。
ADF 重送センサー オン オフ	ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
端までスキャン オフ オン	原稿を用紙の端までスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1 ～ 5	スキャン画像におけるシャープネスを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は「3」です。
色温度 -4 ～ 4	出力の色温度を指定します。色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。
cc: を使用/bcc: オフ オン	[cc:]および[bcc:]フィールドの使用を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

FTP 設定メニュー

使用	目的
形式 PDF (.pdf) TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps) RTF (.rtf) TXT (.txt)	ファイル形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[PDF (.pdf)]に設定されています。
PDF 設定 PDF バージョン 1.2 ~ 1.7 A-1a PDF 圧縮 普通 高 Secure PDF オフ オン 検索可能な PDF オフ オン	PDF 設定を構成します。 メモ: - PDF バージョンの工場出荷時設定は[1.5]になっています。 - PDF 圧縮の工場出荷時設定は[標準]になっています。 - セキュア PDF と検索可能な PDF の工場出荷時設定は[オフ]になっています。セキュア PDF では、パスワードを 2 回入力するように指示されます。
内容の種類 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[モノクロレーザー]に設定されています。
カラー オフ オン	プリンタがカラーで原稿を取り込んで送信するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンの品質をドット/インチ (dpi) で指定します。 メモ: 工場出荷時は 150 dpi に設定されています。

使用	目的
濃さ 1~9	出力を薄く(または濃く)します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き 縦長 横長	スキャン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[縦長]に設定されています。
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 複雑な用紙レター 複雑な用紙 A5 複雑な用紙リーガル 複雑な用紙 A4 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ	原稿のサイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定はになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
印刷面 (両面印刷) オフ 長辺 短辺	両面スキャンのために ADF にセットされている原稿の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化 5~90	JPEG 写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: - 出荷時の標準設定は[自動調整]です。 5 に設定すると、画質は落ちますがファイルサイズも小さくなります。 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。
テキスト標準設定 5~90	文字の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は[75]に設定されています。
文字/写真標準設定 5~90	文字または写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は[75]に設定されています。
写真標準設定 5~90	写真画像の品質 (ファイルサイズと画像品質) を設定します。 メモ: 工場出荷時は[50]に設定されています。

使用	目的
複数ページ TIFF を使用 オン オフ	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。FTP ジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
TIFF 圧縮 LZW JPEG	TIFF ファイルの圧縮に使用する形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[LZW]に設定されています。
送信ログ ログを印刷 ログを印刷しない エラーのみ印刷	送信ログを印刷するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[ログを印刷]に設定されています。
給紙源を記録 トレイ [x] 多目的フィーダー	FTP ログを印刷する際の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
ログ排出トレイ 標準排紙トレイ 排紙トレイ [x]	FTP ログの印刷先を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[標準排紙トレイ]に設定されています。 - 排紙トレイ [x]はオプションの排紙トレイがあるときにのみ表示されます。
FTP ビット深度 1 ビット 8 ビット	[カラー] が[オフ]に設定されているとき、1 ビット画像を使用することで文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: 工場出荷時は 8 ビットに設定されています。
ファイル名	ベースファイル名を入力します。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントを一度にコピーします。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
スキャンプレビュー オン オフ	スキャンのプレビューをディスプレイに表示するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オン オフ	FTP アドレスをショートカットとして保存できるようにします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
背景削除 -4 ~ 4	コピーにおける背景の濃さを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。
カラーバランス シアン - 赤 マゼンタ - 緑 イエロー - 青	スキャン画像のカラーバランスが等しくなるようにします。

使用	目的
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ~ 255 緑色 標準しきい値 0 ~ 255 青色 標準しきい値 0 ~ 255	削除する色と、それぞれのカラードロップアウトしきい値の設定を指定します。 メモ: • [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 • 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。
コントラスト 0~5 内容に合わせて最適化	出力のコントラストを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[自動調整]です。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガイメージ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ描写 -4 ~ 4	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。
ADF 重送センサー オフ オン	ADF で 1 度に複数枚の用紙が給紙されるときに検出します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
端までスキャン オフ オン	原稿を用紙の端までスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1 ~ 5	スキャン画像のシャープネスを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は「3」です。
色温度 -4 ~ 4	出力の色温度を指定します。色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。

フラッシュドライブメニュー

スキャン設定

使用	目的
形式 PDF (.pdf) TIFF (.tif) JPEG (.jpg) XPS (.xps) RTF (.rtf) TXT (.txt)	ファイル形式を指定します。 メモ: 工場出荷時は[PDF (.pdf)]に設定されています。
PDF 設定 PDF バージョン 1.2 ~ 1.7 A-1a A-1b PDF 圧縮 普通 高 Secure PDF オフ オン 検索可能な PDF オフ オン	PDF 設定を構成します。 メモ: - PDF バージョンの工場出荷時設定は[1.5]になっています。 - PDF 圧縮の工場出荷時設定は[標準]になっています。このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクが実装されているときのみ表示されます。 - セキュア PDF と検索可能な PDF の工場出荷時設定は[オフ]になっています。セキュア PDF では、パスワードを 2 回入力するように指示されます。
内容の種類 文字 グラフィックス 文字/写真 写真	原稿の内容を指定します。 メモ: 工場出荷時は[文字/写真]に設定されています。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿が作成された方法を指定します。 メモ: 工場出荷時は[モノクロレーザー]に設定されています。
カラー オン オフ	プリンタがカラーで原稿を取り込んで送信するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。

使用	目的
解像度 75 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンの解像度をドット/インチ (dpi) で指定します。 メモ: 工場出荷時は 150 dpi に設定されています。
濃さ 1~9	出力を薄く(または濃く)します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。
用紙の向き 縦長 横長	スキャン画像の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[縦長]に設定されています。
原稿サイズ レター リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント Oficio (メキシコ) ユニバーサル 自動サイズ検知 大きさ混在 A4 A5 A6 JIS B5 複雑な用紙レター 複雑な用紙 A5 複雑な用紙リーガル 複雑な用紙 A4 カスタムスキャンサイズ [x] ブックオリジナル 名刺 3 x 5 インチ 4 x 6 インチ	原稿のサイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定はになっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
印刷面(両面印刷) オフ 長辺 短辺	両面スキャンのために ADF にセットされている原稿の向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
JPEG 品質 内容に合わせて最適化 5~90	JPEG 写真画像の品質(ファイルサイズと品質)を設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[自動調整]です。
テキスト標準設定 5~90	文字の品質(ファイルサイズと画像品質)を設定します。 メモ: 工場出荷時は[75]に設定されています。

使用	目的
文字/写真標準設定 5～90	文字/写真画像の品質（ファイルサイズと画像品質）を設定します。 メモ: 工場出荷時は[75]に設定されています。
写真標準設定 5～90	写真画像の品質（ファイルサイズと画像品質）を設定します。 メモ: 工場出荷時は[50]に設定されています。
複数ページ TIFF を使用 オン オフ	シングルページ TIFF ファイルとマルチページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。FTP ジョブにて複数のページをスキャンする場合、すべてのページを 1 つの TIFF ファイルにまとめることも、ページごとにファイルを作成して複数の TIFF ファイルにすることもできます。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
スキャンビット深度 1 ビット 8 ビット	[カラー] が [オフ] に設定されているとき、1 ビット画像を使用することで文字/写真モードのファイルサイズを小さくすることができます。 メモ: 工場出荷時は 8 ビットに設定されています。
ファイル名	ベースファイル名を入力します。
カスタムジョブスキャン オン オフ	異なる用紙サイズを含むドキュメントを一度にコピーします。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクが実装されているときのみ表示されます。
スキャンプレビュー オン オフ	スキャンのプレビューをディスプレイに表示するかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクが実装されているときのみ表示されます。
背景削除 -4 ～ 4	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。
カラーバランス シアン - 赤 マゼンタ - 緑 イエロー - 青	出力のカラーバランスが等しくなるようにします。
カラードロップアウト カラードロップアウト なし 赤 緑色 青 赤色 標準しきい値 0 ～ 255 緑色 標準しきい値 0 ～ 255 青色 標準しきい値 0 ～ 255	削除する色と、それぞれのカラードロップアウトしきい値の設定を指定します。 メモ: [カラードロップアウト]の工場出荷時設定は[なし]になっています。 - 各色のしきい値の工場出荷時設定は 128 になっています。

使用	目的
コントラスト 0～5 内容に合わせて最適化	出力のコントラストを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[自動調整]です。
左右反転 オフ オン	原稿を左右反転した画像を作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ネガイメージ オフ オン	原稿のネガイメージを作成します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャドウ描写 -4 ～ 4	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。
端までスキャン オフ オン	原稿を用紙の端までスキャンするかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
シャープネス 1 ～ 5	スキャン画像におけるシャープネスを調節します。 メモ: 出荷時の標準設定は「3」です。
色温度 -4 ～ 4	出力の色温度を指定します。色温度を低くすると、標準より青く出力されます。一方、色温度を高くすると、標準より赤く出力されます。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。

印刷設定

使用	目的
部数 1～999	デフォルト部数を設定します。 メモ: 工場出荷時は[1]に設定されています。
給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー 手差し用紙 手動封筒	すべての印刷ジョブのデフォルト用紙を設定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
丁合印刷 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)	複数の部数を印刷するときの印刷ジョブのページをスタックします。 メモ: 工場出荷時は[(1,2,3) (1,2,3)]に設定されています。
印刷面(両面印刷) 片面 両面	受信印刷ジョブの両面印刷を有効にします。 メモ: 工場出荷時は[片面]に設定されています。
ステープル オフ オン	印刷物をホチキスで留めるかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目はステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。

使用	目的
穴パンチ オフ オン	印刷物に穴を開けるかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、サポートされているステープルフィニッシャー、穴パンチフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
穴パンチモード 2 穴 3 穴 4 穴	印刷物に開ける穴の数を指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は、になっています。米国以外の出荷時の標準設定は 4 穴です。 - このメニュー項目は、サポートされているステープルフィニッシャー、穴パンチフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
両面印刷の綴じ方 長辺 短辺	両面印刷において、印刷の向きに対してページをどのように綴じるかを定義します。 メモ: - 工場出荷時は[長辺]に設定されています。ページの長辺に沿って綴じるように(縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように)配置されます。 [短辺]を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように(縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように)配置されます。
N アップ方向 自動 横長 縦長	複数ドキュメントの向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
用紙の節約 オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページイメージを用紙の片面に印刷します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - ここで選択する値は、用紙の 1 面あたりに印刷されるページイメージの数を表します。
N アップ枠 なし ソリッド(塗りつぶし)	各ページイメージの周りに枠を印刷します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
N アップ配列 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	複数ページの位置を指定します。 メモ: - 工場出荷時は横に設定されています。 - 位置は、ページの画像数および向きが縦長か横長かどうかによって異なります。

使用	目的
セパレータ紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	ブランクセパレータ紙を印刷するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [各部の間]を選択し、[部単位印刷]が[(1,2,3) (1,2,3)]に設定されている場合、各部の間に白紙が挿入されます。[丁合印刷]が[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されている場合は、各ページ番号の束ごとに白紙が挿入されます [各ジョブの間]を選択すると、各ジョブの間に白紙が挿入されます。 [各ページの間]を選択すると、各ページの間に白紙が挿入されます。この設定は、OHP フィルムを使用する場合や、メモ用のページとして白紙を挿入する場合に便利です。
区切り紙給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー	区切り紙の給紙源を指定します。 メモ: 工場出荷時は[トレイ 1]に設定されています。
空白ページ 印刷しない 印刷する	印刷ジョブで空白ページを挿入するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[印刷しない]に設定されています。

OCR 設定メニュー

メモ: このメニューは、AccuRead OCR ソリューションを購入してインストールしている場合のみ表示されます。

使用	目的
自動回転 オン オフ	スキャンした原稿を自動的に回転して、適切な向きに変更します。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
しみ除去 オフ オン	スキャン画像からしみを除去します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
反転検出 オン オフ	黒い背景上の白い文字を認識して、編集可能にします。 メモ: 工場出荷時は[オン]に設定されています。
自動コントラスト補正 オフ オン	コントラストを自動的に調整して、OCR 品質を改善します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
認識済み言語 英語 フランス語 ドイツ語 スペイン語 イタリア語 Portugues デンマーク語 オランダ語 ノルウェー語 スウェーデン語 フィンランド語 ハンガリー語 ポーランド語	OCR が認識できる言語を設定します。 各言語で、次のオプションを選択します。 オフ オン メモ: 言語はデフォルトで有効になっています。認識済み言語リストにない値に設定されている場合は、英語がデフォルトで有効になっています。

印刷設定

セットアップメニュー

使用	目的
プリンタ言語 PCL PS	標準のプリンタ言語を設定します。 メモ: - プリンタ言語の工場出荷時設定は[PS]になっています。 - プリンタで設定した標準言語にかかわらず、ソフトウェアから他の言語の印刷データを送信することができます。
ジョブ待機中 オン オフ	プリンタオプションやカスタム設定で指定したリソースを利用できないために待機中の印刷ジョブを、印刷キューから削除します。これらの印刷ジョブは独立した印刷キューに格納されているため、他の印刷ジョブは通常どおり実行されます。利用できなかったリソースが利用できるようになると、印刷キューに格納されていた待機中のジョブが印刷されます。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、ハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。これにより、プリンタの電源がオフになっても、キューに格納されている印刷ジョブが消えることはありません。
印刷領域 標準 ページに合わせる 用紙全体	論理的/物理的に印刷可能な領域を設定します。 メモ: - 工場出荷時は[標準]に設定されています。[標準]の設定で定義された印刷不可能領域に印刷しようとすると、印刷領域の境界で画像がクリップされます。 [用紙全体]を選択すると、[標準]の設定で定義された印刷不可能領域に画像を移動することができます。[用紙全体]の設定は、PCL 5e インタープリターを使用して印刷するページにのみ適用されます。PCL XL インタープリターまたは PostScript インタープリターを使用して印刷するページには適用されません。

使用	目的
ダウンロード先 RAM フラッシュメモリ ディスク	ダウンロードデータの保存場所を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[RAM]に設定されています。この設定では、ダウンロードデータが RAM に一時保存されます。 - フラッシュメモリまたはハードディスクに保存する場合、ダウンロードデータは恒久的に保存されます。この場合、プリンタの電源がオフになっても、ダウンロードデータはフラッシュメモリやハードディスクに残ります。 - このメニューは、正常に動作するフラッシュドライブまたはフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。
リソース保存 オン オフ	使用可能なメモリ容量より多くのメモリを必要とするジョブを受信したときに、RAM に一時保存されているダウンロードデータ(フォントやマクロなど)をどのように処理するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。[オフ]を選択すると、メモリが必要になるまでダウンロードデータが保持されます。ただし、印刷ジョブを処理するためにダウンロードデータが削除されます。 [オン]を選択すると、言語を変更したりプリンタをリセットしたりしても、ダウンロードデータが保持されます。また、プリンタのメモリが不足すると、メモリフル [38] のメッセージが表示されますが、ダウンロードデータは削除されません。
[全て印刷]の順序 アルファベット順 古い順 新しい順	[全て印刷] が選択されたとき、保留またはコンフィデンシャル印刷ジョブをどの順序で印刷するかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[アルファベット順]に設定されています。なお、プリンタコントロールパネルには常にアルファベット順で印刷ジョブが表示されます。

仕上げメニュー

使用	目的
印刷面(両面印刷) 片面 両面	原稿が両面か片面か、また、両面でコピーするか片面でコピーするかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[片面]に設定されています。 - プリンタソフトウェアから両面印刷を設定できます。 Windows の場合 [ファイル] > [印刷]をクリックしてから、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、[セットアップ]のいずれかをクリックします。 Macintosh の場合 [ファイル] > [印刷]を選択してから、印刷ダイアログとポップアップメニューにて設定を変更します。
両面印刷の綴じ方 長辺 短辺	両面印刷において、ページをどのように綴じるか、また、表面の印刷の向きに対して裏面をどの向きで印刷するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[長辺]に設定されています。ページの長辺に沿って綴じるように(縦長の場合は左端、横長の場合は上端を綴じるように)配置されます。 [短辺]を選択すると、ページの短辺に沿って綴じるように(縦長の場合は上端、横長の場合は左端を綴じるように)配置されます。
部数 1~999	印刷ジョブごとにデフォルト部数を設定します。 メモ: 工場出荷時は 1 に設定されています。

使用	目的
空白ページ 印刷しない 印刷する	印刷ジョブで空白ページを挿入するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[印刷しない]に設定されています。
丁合印刷 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)	複数の部数を印刷するときの印刷ジョブのページをスタックします。 メモ: 工場出荷時は (1,2,3) (1,2,3) に設定されています。
セパレータ紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	ブランクセパレータシートを印刷するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [各部の間]を選択し、[丁合印刷] が[(1,2,3) (1,2,3)]に設定されている場合、各部の間に白紙が挿入されます。[丁合印刷] が[(1,1,1) (2,2,2)]に設定されている場合は、各ページ番号の束ごとに白紙が挿入されます(1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後、など) [各ジョブの間]を選択すると、各ジョブの間に白紙が挿入されます。 [各ページの間]を選択すると、各ページの間に白紙が挿入されます。この設定は、OHP フィルムを使用する場合や、メモ用のページとして白紙を挿入する場合に便利です。
セパレータ紙給紙源 トレイ [x] 多目的フィーダー	セパレータ紙の給紙源を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[トレイ 1(標準トレイ)]に設定されています。 - メニュー設定に表示するには、[用紙]メニューの[多目的フィーダー設定]にて[トレイ]を設定する必要があります。
用紙の節約 オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページイメージを用紙の片面に印刷します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - ここで選択する値は、用紙の 1 面あたりに印刷されるページイメージの数を表します。
N アップ配列 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	[用紙の節約]を使用するときに、複数のページの画像の位置を指定します。 メモ: - 工場出荷時は横に設定されています。 - 位置は、ページの画像数および向きが縦か横かどうかによって異なります。
N アップ方向 自動 横長 縦長	複数ドキュメントの向きを指定します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。縦と横を選択します。
N アップの枠 なし 固定	[用紙の節約]を使用するときに、境界を印刷します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。

使用	目的
ホチキス ジョブ オフ オン	印刷物をホチキスで留めるかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、サポートされているステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
ホチキステストの実行	ステープルフィニッシャーが正しく動作していることを確認するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、サポートされているステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
ホールパンチ オン オフ	バインダーまたはフォルダで用紙を製本するために、印刷物に穴を開けるかどうかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - このメニュー項目は、サポートされているステープルフィニッシャー、ホールパンチフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
ホールパンチモード 2 穴 3 穴 4 穴	バインダーまたはフォルダで用紙を製本するために、印刷物に開ける穴の数を指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は[3 穴]になっています。米国以外の国向けの工場出荷時設定は[4 穴]になっています。 - このメニュー項目は、サポートされているステープルフィニッシャー、ホールパンチフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。
オフセットページ なし 各部の間 各ジョブの間	特定のインスタントのオフセットページ メモ: - 工場出荷時は[なし]に設定されています。 [各部の間]を選択し、[丁合印刷] が(1,2,3) (1,2,3)]に設定されている場合、各部の間にオフセットが挿入されます。[丁合印刷] が[(1,1,1) (2,2,2)]の場合、すべての 1 ページやすべての 2 ページなど、印刷ページセットがオフセットです。 - 印刷する部数に関係なく、[各ジョブの間]は、印刷ジョブ全体で、同じオフセット位置です。 - このメニュー項目は、サポートされているステープルフィニッシャーがある場合にのみ表示されます。

印刷品質メニュー

使用	目的
印刷解像度 300 dpi 600 dpi 1200 dpi 1200 Image Q 2400 Image Q	印刷出力解像度をドット/インチで指定します。 メモ: 工場出荷時は 600 dpi に設定されています。
ピクセルブースト オフ フォント 水平 垂直 双方向	水平、垂直方向の画質改善またはフォントの解像度向上のために印刷時のクラスター内ピクセル数を増やします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
トナーの濃さ 1 ~ 10	出力を薄く(または濃く)します。 メモ: - 工場出荷時は 8 に設定されています。 - 値を小さくすると、トナーを節約することができます。
細かい線を強調 オン オフ	建築図面や地図、電気回路図、フローチャートなどに適した印刷モードを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - 内蔵 Web サーバー(EWS) から [細かい線を強調]を設定するには、Web ブラウザのアドレスフィールドに、ネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。
グレー補正 自動 オフ	画像に適用されるコントラスト強調を自動調整します。 メモ: 工場出荷時は[自動]に設定されています。
明るさ -6 ~ 6	明るくするか暗くして、印刷出力を調節します。出力を明るくすると、トナーを節約できます。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
コントラスト 0~5	印刷物のコントラストを調整します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。

ジョブアカウントメニュー

メモ: このメニュー項目は、正常に動作するフォーマット済みのハードディスクがプリンタに実装されているときのみ表示されます。

使用	目的
ジョブアカウントのログ オフ オン	プリンタが受信した印刷ジョブのログを作成するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
ジョブアカウント情報のユーティリティ	ログファイルを印刷して削除(またはフラッシュドライブにエクスポート)します。
ジョブアカウントのログ回数 毎日 毎週 毎月	ログファイルの作成頻度を指定します。 メモ: 工場出荷時は[毎月]に設定されています。
最後に行うログ操作 なし 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 現在のログを送信 現在のログを送信して削除	ログ頻度しきい値が終了したときに、プリンタがどのように動作するかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
ログがほとんど満杯レベル オフ 1 ~ 99	プリンタがログ操作がほとんど満杯レベルを実行する、ログファイルの最大サイズを指定します。 メモ: 工場出荷時は 5 に設定されています。

使用	目的
ログ操作がほとんど満杯レベル なし 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログを送信 現在のログを送信して削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 すべてのログを削除 現在のログ以外すべて削除	ハードディスクがほぼ満杯になったときのプリンタの動作を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[なし]に設定されています。 - このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ログ操作がほとんど満杯レベル]にて指定します。
ログ操作が満杯 なし 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログを送信して削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 すべてのログを削除 現在のログ以外すべて削除	ディスク使用量が上限 (100 MB) に達したときのプリンタの動作を指定します。 メモ: 工場出荷時は[なし]に設定されています。
ログの送信先 URL	ジョブアカウント情報のログをどこに送信するかを指定します。
E メールログ	ジョブアカウント情報のログを送信する E メールアドレスを指定します。
ログファイルプレフィックス	ログファイル名として使用するプレフィックスを指定します。 メモ: [TCP/IP]メニューで現在設定されているホスト名が、ログファイルの標準のプレフィックスとして使用されます。

ユーティリティメニュー

使用	目的
保持されたジョブを削除 コンフィデンシャル 保留 復元されなかったジョブ すべて	プリンタのハードディスクから、コンフィデンシャルまたは保留のジョブを削除します。 メモ: - 選択した設定は、プリンタに保存されている印刷ジョブにのみ適用されます。ブックマーク、フラッシュドライブに保存されている印刷ジョブ、およびその他の保持されたジョブには適用されません。 [復元されなかったジョブ]を選択すると、プリンタのハードディスクやメモリから復元できなかった印刷ジョブや保持されたジョブをすべて削除します。

使用	目的
フラッシュメモリをフォーマット はい いいえ	フラッシュメモリをフォーマットします。 警告—破損の恐れあり: フラッシュメモリをフォーマット中は、プリンタの電源をオフにしないでください。 メモ: • [はい]を選択すると、フラッシュメモリに保存されているデータがすべて削除されます。 • [いいえ]を選択すると、フォーマットは行われません。 • ここでいうフラッシュメモリとは、プリンタに挿入されたフラッシュメモリカードのことを指します。 • フラッシュメモリオプションカードは、読み取りまたは書き込み保護されてはなりません。 • このメニュー項目は、フラッシュメモリカードが正しく動作しているときにのみ表示されます。
ディスク上のダウンロードしたデータを削除 今すぐ削除 削除しない	プリンタのハードディスクに保存されているダウンロードデータ(保持されたジョブ、バッファされたジョブ、一時退避されたジョブなど)を削除します。 メモ: • [今すぐ削除]を選択すると、ダウンロード物を削除するように設定され、削除完了後に元の画面に戻ります。 • タッチスクリーンプリンタモデルでは、[削除しない]を選択すると、プリンタディスプレイが[ユーティリティ]のメインメニューに戻ります。タッチスクリーンプリンタモデル以外の場合、[削除しない]を選択すると、削除完了後に元の画面に戻ります。
16 進トレースの有効化	印刷ジョブで発生した問題の原因を分離できます。 メモ: • 16 進トレースを有効にすると、プリンタに送信されたデータはすべて 16 進数とキャラクタ文字で印刷されます。また、制御コードは実行されません。 • 16 進トレースを終了するか無効にするには、プリンタの電源をオフにするか、プリンタをリセットします。
印刷比率の推定 オフ オン	ページ当たりのトナー使用率推定値を出力します。この推定値は、各印刷ジョブの最後に追加ページとして別途印刷されます。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

XPS メニュー

項目	目的
エラーページ印刷 オフ オン	XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報を含むページを印刷します。 メモ: 出荷時標準設定は[オフ]です。

PDF メニュー

項目	目的
用紙にあわせて印刷 はい いいえ	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。 メモ: 出荷時標準設定は[いいえ]です。
注釈 印刷しない 印刷する	PDF 内の注釈を印刷します。 メモ: 出荷時標準設定は[印刷しない]です。

PostScript メニュー

使用	目的
PS エラーを印刷 オン オフ	PostScript のエラー情報を含むページを印刷します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
PS スタートアップモード オン オフ	SysStart ファイルを無効にします。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
フォントの優先順位 常駐 フラッシュ/ディスク	フォントの検索順序を指定します。 メモ: - 工場出荷時は[常駐]に設定されています。 - このメニュー項目は、フォーマット済みのフラッシュメモリオプションカード(またはフォーマット済みのハードディスク)がプリンタに実装されており、それらが正常に動作しているときのみ表示されます。 - フラッシュメモリオプションカードまたはハードディスクが、読み取り専用でない(または書き込みプロテクトやパスワードプロテクトされていない)ことを確認してください。 [ジョブバッファサイズ]は 100% に設定しないでください。

PCL メニュー

使用	目的
フォントソース 常駐 ディスク ダウンロード フラッシュメモリ すべて	[フォント名]メニューで使用されるフォントセットを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[常駐]に設定されています。この設定では、RAM にダウンロードされた工場出荷時設定のフォントセットが表示されます。 [フラッシュ]および[ハードディスク]は、その該当オプションに内蔵されているすべてのフォントを表示します。フラッシュメモリオプションでは、フォーマットが適切であることと、読み取り保護、書き込み保護、パスワード保護がかかっていないことを確認してください。 [ダウンロード]では、RAM にダウンロードされたすべてのフォントが表示されます。 [すべて]は、各オプションで利用できるすべてのフォントを表示します。
フォント名 Courier 10	特定のフォントと、そのフォントが保存されている場所を指定します。 メモ: 工場出荷時は Courier 10 に設定されています。
シンボルセット 10U PC-8 12U PC-850	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: 10U PC-8 は米国向けの工場出荷時設定です。12U PC-850 はグローバル向けの工場出荷時設定です。 - シンボルセットは、英数字、句読点、特殊記号のセットです。シンボルセットは、科学的な文章内の数学記号など、異なる言語またはプログラムをサポートします。サポートされたシンボルのみが表示されます。
PCL エミュレーション設定 ポイントサイズ 1.00 ~ 1008.00	調整可能印刷フォントのポイントサイズを変更します。 メモ: - 工場出荷時設定は[12]です。 - ポイントサイズは文字の高さです。1 ポイントは約 1/0.014 インチです。ポイントサイズは 0.25 ポイント単位で増減できます。

使用	目的
PCL エミュレーション設定 ピッチ 0.08-100.00	調整可能フォントのフォントピッチを指定します。 メモ: - 工場出荷時設定は[10]です。 - ピッチはインチ当たりの固定スペース文字 (cpi) を参照します。ピッチは 0.01 cpi 単位で増減できます。 - スケーラブルでない等幅フォントの場合、ピッチは画面に表示されますが、変更できません。
PCL エミュレーション設定 用紙の向き 縦長 横長	ページ上のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[縦長]に設定されています。この設定では、ページの短辺と平行にテキストおよびグラフィックスが印刷されます。 [横長]を選択すると、文字や画像はページの長辺と並行に印刷されます。
PCL エミュレーション設定 1 ページ当たりの行数 1~255	1 ページ当たりの印刷行数を指定します。 メモ: - 米国向けの工場出荷時設定は 60 になっています。その他の国の工場出荷時設定は 64 になっています。 - 行間のスペースは、[1 ページ当たりの行数] や [用紙サイズ]、[用紙の向き] の設定に基づいて、プリンタにより設定されます。[用紙サイズ] と [用紙の向き] を選択してから、[1 ページ当たりの行数] を設定してください。
PCL エミュレーション設定 A4 サイズの幅 198 mm 203 mm	A4 用紙の印刷設定を行います。 メモ: - 工場出荷時は 198 mm に設定されています。 [203 mm] は、10 ピッチの文字を 80 個印刷できるページ幅を設定します。
PCL エミュレーション設定 LF 後に CR を自動実行 オン オフ	ラインフィード (LF) 制御コマンドの後にキャリッジリターン (CR) 制御コマンドを自動実行するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。
PCL エミュレーション設定 CR 後に LF を自動実行 オン オフ	キャリッジリターン (CR) 制御コマンドの後にラインフィード (LF) 制御コマンドを自動実行するかどうかを指定します。 メモ: 工場出荷時は[オフ]に設定されています。

使用	目的
トレイ番号変更 多目的フィーダー割り当て オフ なし 0 ～ 199 トレイ [x] 割り当て オフ なし 0 ～ 199 手差し用紙割り当て オフ なし 0 ～ 199 手動封筒割り当て オフ なし 0 ～ 199	カセットとフィーダーの給紙源割り当てが異なるプリンタソフトウェアまたはプログラムで動作するようにプリンタを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [なし]は用紙フィーダーの選択コマンドを無視します。この選択は、この項目が PCL 5e インタープリタで選択されている場合にのみ表示されます。 0 ～ 199 では、ユーザー定義の設定を割り当てることができます。
トレイ番号変更 出荷時標準設定を表示 MPF デフォルト = 8 T1 デフォルト = 1 T2 デフォルト = 4 T3 デフォルト = 5 T4 デフォルト = 20 T5 デフォルト = 21 Env デフォルト = 6 MPaper デフォルト = 2 MEnv デフォルト = 3	各カセットまたはフィーダーに割り当てられている出荷時標準設定を表示します。
トレイ番号変更 標準設定に戻す はい いいえ	すべてのカセットおよびフィーダーの割り当てを出荷時標準設定に戻します。

HTML メニュー

項目		目的
フォント名 Albertus MT Antique Olive Apple Chancery Arial MT Avant Garde Bodoni Bookman Chicago Clarendon Cooper Black Copperplate Coronet Courier Eurostile Garamond Geneva Gill Sans Goudy Helvetica Hoefler Text Intl CG Times Intl Courier Intl Univers	Joanna MT Letter Gothic Lubalin Graph Marigold MonaLisa Recut Monaco New CenturySbk New York Optima Oxford Palatino StempelGaramond Taffy Times TimesNewRoman Univers Zapf Chancery NewSansMTCS NewSansMTCT New SansMTJA NewSansMTKO	HTML ドキュメントの標準フォントを設定します。 メモ: フォントが指定されていない HTML ドキュメントには、Times フォントを使用します。

項目	目的
フォントサイズ 1 ~ 255 pt	HTML ドキュメントの標準フォントサイズを設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[12 pt]です。 - フォントサイズは、1 ポイント単位で増減できます。
拡大縮小 1-400%	HTML ドキュメントの標準フォントを拡大/縮小します。 メモ: - 出荷時標準設定は[100%]です。 - 拡大/縮小率は、1% 単位で増減できます。
用紙の向き 縦長 横長	HTML ドキュメントのページの用紙の向きを設定します。 メモ: 出荷時標準設定は[縦長]です。
余白 8 ~ 255 mm	HTML ドキュメントのページ余白を設定します。 メモ: - 出荷時標準設定は[19 mm]です。 - 余白は、1 mm 単位で増減できます。

項目	目的
背景 印刷しない 印刷する	HTML ドキュメントの背景を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時標準設定は[印刷する]です。

イメージメニュー

項目	目的
自動調整 オン オフ	最適な用紙サイズ、拡大/縮小率、用紙の向きを選択します。 メモ: 出荷時標準設定は[オン]です。この設定は、一部のイメージの拡大/縮小率および用紙の向きの設定を上書きします。
反転 オン オフ	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。 メモ: - 出荷時標準設定は[オフ]です。 - この設定は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
倍率変更 左上隅の固定 最適なフォント選択 中央の固定 高さ/幅の調整 高さの調整 幅の調整	選択した用紙サイズに合わせてイメージを拡大/縮小します。 メモ: - 出荷時標準設定は[最適なフォント選択]です。 [自動調整]を[オン]に設定すると、[倍率変更]は自動的に[最適に調整]に設定されます。
用紙の向き 縦長 横長 縦長反転 横長反転	イメージの印刷方向を設定します。 メモ: 出荷時標準設定は[縦長]です。

ヘルプメニュー

メニュー項目	説明
すべてのガイドを印刷	すべてのガイドを印刷します。
コピーガイド	コピーの作成および設定の構成に関する情報を提供します。
E メールガイド	Eメールの送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FAX ガイド	FAX の送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FTP ガイド	ドキュメントのスキャンおよび設定の構成に関する情報を提供します。
印刷不良ガイド	印刷品質の不良が繰り返される原因を特定するためのテンプレートを提供し、印刷品質を調整するために使用できる設定を一覧表示します。
情報ガイド	追加情報を見つけるためのヘルプを提供します。
消耗品ガイド	消耗品の注文に関する情報を提供します。

コストの削減と環境の保護

Lexmark は環境の持続可能性に取り組み、環境への影響を減らすように継続的にプリンタを改良しています。環境を考慮して設計し、梱包材を減らしながら、回収およびリサイクルプログラムを実施しています。詳細については、次を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark の Web サイト(www.lexmark.com/environment)
- Lexmark のリサイクルプログラム(www.lexmark.com/recycle)

特定のプリンタ設定またはタスクを選択することで、プリンタの影響をさらに抑えることができる場合があります。本章では、環境への利点を大きくする可能性のある設定およびタスクについて概要を説明します。

用紙とトナーの節約

研究報告が示すように、プリンタの二酸化炭素排出量の 80% は、印刷で使用される用紙に由来しています。再生紙を使用するとともに、以下で推奨している用紙の両面に印刷する方法や 1 枚の用紙に複数ページを印刷する方法を利用することで、二酸化炭素排出量を大幅に削減できます。

プリンタ設定で簡単に用紙や消費電力を節約する方法の詳細については、「[エコモードを使用する](#)」、[233 ページ](#)を参照してください。

再生紙を使用する

環境問題意識を持つ企業として、Lexmark はレーザー/LED プリンタ向けに特別に製造された事務用再生紙の使用をサポートしています。プリンタに適した再生紙の詳細については、「[再生紙やその他の事務用紙を使用する](#)」、[85 ページ](#)を参照してください。

消耗品を節約する

用紙の両面に印刷する

お使いのプリンタ機種が両面印刷に対応している場合、用紙の両面に印刷にするかどうかを選択できます。

メモ:

- 両面印刷は、プリンタドライバの標準設定です。
- サポートされている製品および国を網羅した一覧については、<http://support.lexmark.com> で入手できます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷する

印刷ジョブで複数ページ印刷(N アップ)を選択することで、1 枚の用紙の片面に、複数ページのドキュメントから連続するページを最大で 16 ページ印刷できます。

下書きの段階で誤りがないかチェックする

ドキュメントを複数部印刷またはコピーする前に、以下の手順を実行します。

- プレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるか確認します。
- ドキュメントを 1 部だけ印刷し、内容や形式に誤りがないかどうかを確認します。

紙づまりを防止する

紙づまりを防ぐため、用紙の選択とセットは正しく行います。詳細については、[「紙づまりを防止する」](#)、262 ページを参照してください。

省電力

エコモードを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [一般設定] > [エコモード]をクリック > 設定を選択

使用	目的
オフ	エコモード関連の設定をすべて出荷時の設定にリセットします。この設定では、プリンタの仕様に沿ったパフォーマンスが得られます。
電力	消費電力を減らします。特にプリンタがアイドル状態のときに効果的です。 • プリンタエンジンのモーターは、印刷準備が完了するまで動作しません。1 ページ目が印刷されるまで、少し時間がかかることがあります。 • 動作しない状態が 1 分続くと、プリンタはスリープモードに移行します。
電力/用紙	電力モードと用紙モードに関連する設定をすべて使用します。
普通紙	• 自動両面印刷機能を有効にします。 • ログ印刷機能をオフにします。

- 3 [送信]をクリックします。

プリンタの騒音を低減する

静音モードを有効にして、プリンタの騒音を低減します。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [一般設定] > [静音モード]をクリック > 設定を選択

使用	目的
オン	プリンタの騒音を低減します。 メモ: - 印刷ジョブは低速で処理されます。 - プリンタエンジンのモーターは、ドキュメントの印刷準備が完了するまで動作しません。1 ページ目が印刷されるまで、少し時間がかかります。
オフ	初期状態のデフォルト設定を使用します。 メモ: この設定では、プリンタ仕様のパフォーマンスが優先されます。

3 [送信]をクリックします。

スリープモードを調整する

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [設定] > [一般設定] > [タイムアウト] > [スリープモード]

2 [スリープモード]フィールドで、プリンタがスリープモードに移行するまでのアイドル時間(分)を選択します。

3 変更を適用します。

ハイバネートモードを使用する

ハイバネートモードは、消費電力が著しく低い動作モードです。

メモ:

- 標準設定では、3 日間動作しなければ、プリンタはハイバネートモードに移行します。
- 印刷ジョブを送信する前に、必ずプリンタをハイバネートモードから復帰させてください。ハードリセットまたは[スリープ]ボタンの長押しによって、プリンタがハイバネートモードから復帰します。
- プリンタがハイバネートモードの場合、内蔵 Web サーバーは無効です。

1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。



> [設定] > [一般設定]

2 [スリープボタンを押す]または[スリープボタンを押し続ける]ドロップダウンから、[ハイバネート]を選択して、[送信]をタッチします。

プリンタディスプレイの明るさを調整する

電力を節約したい場合やディスプレイの表示が読みにくい場合は、ディスプレイの明るさの設定を調整できます。

内蔵 Web サーバーを使用する場合

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のようなピリオドで区切られた 4 つの数字の並びで表されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、Web ページを正しく読み込むために、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2 [設定] > [一般設定]をクリックします。

3 [画面の明るさ]フィールドに、設定するディスプレイの明るさ(%)を入力します。

4 [送信]をクリックします。

リサイクル

Lexmark は、リサイクルを目的とする回収プログラムや環境関連の先進的な取り組みを進めています。詳細については、次を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark の Web サイト(www.lexmark.com/environment)
- Lexmark のリサイクルプログラム(www.lexmark.com/recycle)

Lexmark 製品をリサイクルする

リサイクルを目的として Lexmark 製品を返却するには、以下の手順に従ってください

- 1 www.lexmark.com/recycle にアクセスします。
- 2 リサイクル製品の種類を見つけて、お住まいの国または地域をリストから選択します。
- 3 画面の指示に従います。

メモ: Lexmark の回収プログラムの対象に含まれていないプリンタの消耗品やハードウェアは、お客様の最寄りのリサイクルセンターでリサイクルできる場合があります。最寄りのリサイクルセンターに問い合わせ、受け入れ可能な品目を確認してください。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は梱包材を最小限に抑えるよう絶えず努力しています。より少ない梱包材により、Lexmark プリンタは最も効率的で、かつ環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。これらの努力は、温室効果ガスのより少ない排出、省エネルギー、天然資源の節約をもたらします。

Lexmark のダンボール箱は、再生利用する施設がある地域ではすべてリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、再生利用する施設がある地域ではリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark にカートリッジを返却する際には、配達時に梱包されていたダンボール箱を再利用できます。Lexmark はダンボール箱をリサイクルします。

再利用やリサイクルを目的として Lexmark カートリッジを返却する

Lexmark カートリッジ回収プログラムでは、再利用やリサイクルを目的として、お客様が Lexmark に使用済みカートリッジを返却するプロセスを簡素化して無料化することで、年間に数百万個ものカートリッジが廃棄されることなく転用されています。Lexmark に返却された使用済みカートリッジは必ずリサイクル用に再利用されるか、別の製品に転用されます。カートリッジの返却に使用されたダンボール箱もリサイクルされます。

再利用またはリサイクルを目的として Lexmark カートリッジを返却するには、プリンタまたはカートリッジに同梱されている説明書に従い、料金元払いの発送用ラベルを使用してください。また、以下の方法もあります。

- 1 www.lexmark.com/recycle にアクセスします。
- 2 [トナーカートリッジ]セクションから、お住まいの国または地域を選択します。
- 3 画面の指示に従います。

プリンタを保護する

揮発性に関する記述

本機には、デバイスおよびネットワーク設定、ならびにユーザーデータを格納できるさまざまなタイプのメモリが搭載されています。

メモリのタイプ	説明
揮発性メモリ	本機では、単純な印刷・コピージョブ時にユーザーのデータを一時的にバッファに格納する標準的なランダムアクセスメモリ(RAM)を使用しています。
不揮発性メモリ	本機には、2つの形態の不揮発性メモリが使用されています。EEPROM および NAND(フラッシュメモリ)の2つの形態の不揮発性メモリが使用されています。両タイプ共、オペレーティングシステムやデバイスの設定、ネットワーク情報、スキャナやブックマークの設定、内蔵ソリューションの保存に使用されます。
ハードディスクメモリ	一部のデバイスには、ハードディスクドライブが搭載されています。プリンタのハードディスクは、各デバイス固有の機能に対応するように設計されています。これにより、複雑な印刷ジョブでバッファに保存されたユーザーデータ、用紙データ、フォントデータを保持できます。

次の状況では、取り付けられたプリンタメモリの内容を消去してください。

- プリンタの稼働を中止する
- プリンタのハードドライブを交換する
- プリンタを別の部門または場所に移動する
- 外部の業者によりプリンタが修理される
- プリンタが修理のために社外に搬送される
- プリンタが別の会社売却される

ハードドライブの廃棄

メモ: すべてのプリンタにハードディスクが搭載されているわけではありません。

高セキュリティ環境では、プリンタまたはそのハードディスクが社外に搬出された際にプリンタハードディスクに保存されている機密データに不正にアクセスされることがないように、さらなる措置を講じることが必要になります。

- **消磁** – 磁場を使用してハードドライブをフラッシュし、保存されているデータを消去する
- **破砕** – ハードディスクを物理的に圧縮して構成部品を破壊し、読み取りを不可能にする
- **截断** – ハードディスクが小さな金属片になるまで物理的に切断する

メモ: 大部分のデータは電子的に消去できますが、すべてのデータの完全な消去を保証する唯一の方法は、各記憶装置を完全に破壊することです。

揮発性メモリを消去する

プリンタに搭載されている揮発性メモリ(RAM)で情報を保持するには、電源供給が必要です。プリンタの電源を切るだけで、バッファに格納されているデータを消去できます。

不揮発性メモリを消去する

次の手順で、個々の設定、デバイスおよびネットワークの設定、セキュリティ設定、埋め込みソリューションを消去します。

1 プリンタの電源を切ります。

2 プリンタの電源を入れながら、**2** および **6** を長押しします。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。

プリンタで電源投入シーケンスが実行され、[構成設定メニュー]が表示されます。プリンタが完全に起動すると、通常のホーム画面のアイコンの代わりにタッチスクリーンに機能一覧が表示されます。

3 **[すべての設定を消去]**を押します。

この処理の実行中、プリンタは複数回再起動します。

メモ: [すべての設定を消去]を実行すると、デバイスの設定、ソリューション、ジョブ、パスワードをプリンタのメモリから確実に削除できます。

4 **[戻る]** > **[設定メニューを閉じる]**を押します。

プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタハードディスクメモリを消去する

メモ:

- すべてのプリンタにハードディスクが搭載されているわけではありません。
- プリンタメニューで**[一時データファイルを消去]**を設定すると、削除に設定されたファイルを安全に上書きすること、印刷ジョブによって残されたコンフィデンシャル原稿の残りを削除できます。

プリンタコントロールパネルを使用する

1 プリンタの電源を切ります。

2 プリンタの電源を入れながら、**2** および **6** を長押しします。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。

プリンタで電源投入シーケンスが実行され、[構成設定メニュー]が表示されます。プリンタの電源が完全に入ったら、タッチ画面に機能のリストが表示されます。

3 **[ディスクを消去]**をタッチしてから、次のいずれかのオプションを押します。

- **[ディスクを消去(高速)]** – 1 回のパスでディスクをすべてゼロで上書きする
- **[ディスクを消去(セキュア)]** – ディスクをランダムなビットパターンで複数回上書きしてから、検証パスを実行する。セキュアな上書きは、米国国防省の DoD 5220.22-M 規格に準拠しており、ハードディスクからデータを確実に消去することができます。機密性の高い情報は、この方法で消去する必要があります。

4 ディスクの消去を開始するには、**[はい]**を押します。

メモ:

- ディスク消去には、数分から 1 時間以上かかります。
- ディスクの消去には、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

5 **[戻る]** > **[設定メニューを閉じる]**を押します。

プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタハードディスクの暗号化を設定する

ハードディスクの暗号化を有効にすると、プリンタまたはハードディスクの盗難の際に機密データの喪失を防ぐことができます。

メモ: すべてのプリンタにハードディスクが搭載されているわけではありません。

内蔵 Web サーバーを使用する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [セキュリティ] > [ディスク暗号化]を選択します。

メモ: フォーマット済みの正常なプリンタハードディスクが搭載されている場合にのみ、[セキュリティ]メニューに[ディスク暗号化]が表示されます。

- 3 [ディスク暗号化]メニューから、[有効化]を選択します。

メモ:

- ディスク暗号化を有効にすると、プリンタのハードディスクの内容が消去されます。
- ディスク暗号化には、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

- 4 [送信]をクリックします。

プリンタコントロールパネルを使用する

- 1 プリンタの電源を切ります。

- 2 プリンタの電源を入れながら、2 および 6 を長押しします。進行状況バーの画面が表示されたら、ボタンを放します。

プリンタで電源投入シーケンスが実行され、[構成設定メニュー]が表示されます。プリンタが完全に起動すると、タッチスクリーンに機能一覧が表示されます。

- 3 [ディスク暗号化] > [有効化]をタッチします。

メモ: ディスク暗号化を有効にすると、プリンタのハードディスクの内容が消去されます。

- 4 ディスクの消去を開始するには、[はい]を押します。

メモ:

- 暗号化処理中はプリンタの電源を切らないでください。データの損失につながる場合があります。
- ディスク暗号化には、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。
- ディスク消去には、数分から 1 時間以上かかります。ディスクが暗号化されると、プリンタは、[有効化/無効化]画面に戻ります。

- 5 [戻る] > [設定メニューを閉じる]を押します。

プリンタで電源投入時リセットが実行され、通常の動作モードに戻ります。

プリンタセキュリティ情報を見つける

高セキュリティ環境では、追加の手順を実施し、権限のないユーザーがプリンタに保存される機密データにアクセスできないようにしなければならない場合があります。詳細については、[Lexmark セキュリティ Web ページ](#)をご覧ください。

詳細については、次の手順で、『内蔵 Web サーバー – セキュリティ: 管理者ガイド』も参照してください。

- 1 www.lexmark.com に移動して、[サポートおよびダウンロード(Support & Downloads)] > プリンタを選択します。
- 2 [マニュアル(Manuals)] タブをクリックし、[内蔵 Web サーバー – セキュリティ: 管理者ガイド(Embedded Web Server – Security: Administrator's Guide)] を選択します。

プリンタのメンテナンス

警告—破損の恐れあり: 最適なプリンタのパフォーマンスを維持できない場合や、部品や消耗品を交換できない場合は、プリンタの損傷が生じるおそれがあります。

プリンタ部品の清掃

プリンタを清掃する

メモ: この作業は場合によって数か月ごとに実施する必要があります。

警告—破損の恐れあり: 不適切な取り扱いによるプリンタへの損傷は保証の対象外です。

- 1 プリンタの電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いたことを確認します。



注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。

- 2 標準排紙トレイと多目的フィーダーから用紙を取り除きます。
- 3 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、プリンタの周囲のほこり、糸くず、紙片を除去します。
- 4 清潔で糸くずの出ない布を水で湿らせ、プリンタの表面を拭きます。

警告—破損の恐れあり: 家庭用の洗剤や溶剤を使わないでください。プリンタの外装に傷が付くことがあります。

- 5 新しい印刷ジョブを送信する前に、プリンタのすべての部分が乾いていることを確認してください。

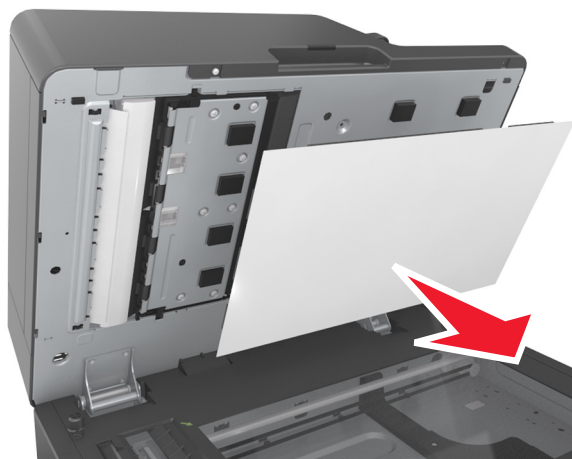
原稿台ガラスを清掃する

コピーまたはスキャンした画像の縞など、印刷品質に問題が生じた場合には、原稿台ガラスを清掃します。

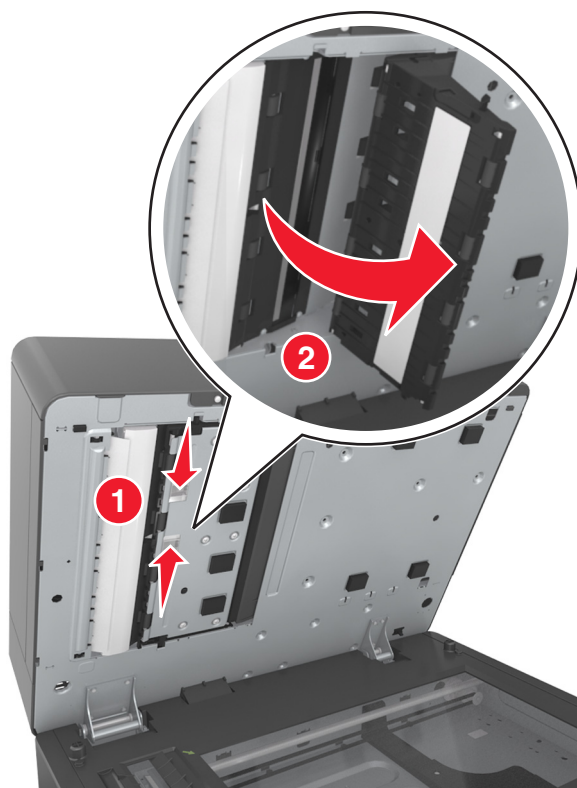
- 1 柔らかい、糸くずの出ない布を水で少し湿らせます。
- 2 スキャナカバーを開きます。



- 3 スキャナカバーの裏側の白い部分を取り外します。



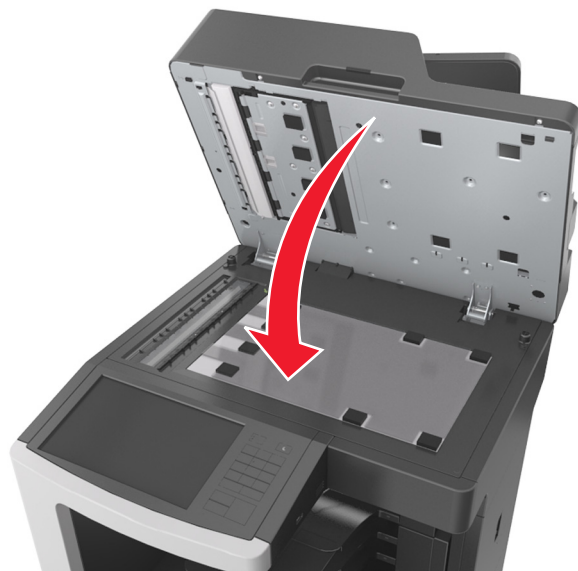
4 下の ADF ドアを開けます。



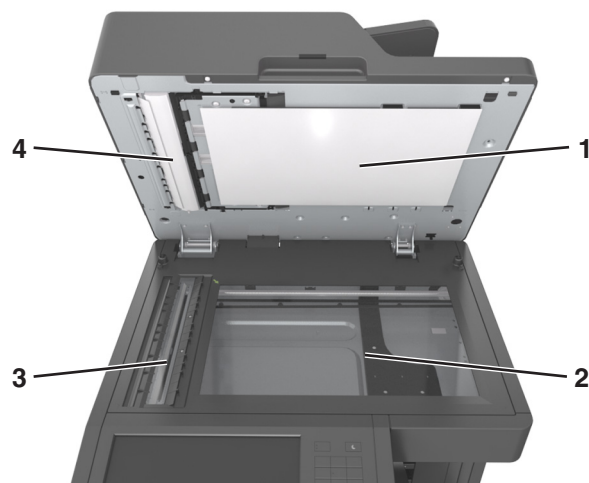
5 ADF ドアの下の ADF 原稿台を清掃します。

6 下の ADF ドアを閉じます。

7 スキャナカバーの白色の下部を原稿台の上に置き、スキャナカバーを閉じます。



8 上に示した部分を清拭し、乾かします。



1	スキャナカバーの裏側の白い部分
2	原稿台ガラス
3	ADF ガラス
4	ADF カバーの裏側の白い部分

9 スキャナカバーを閉じます。

ホールパンチボックスを空にする

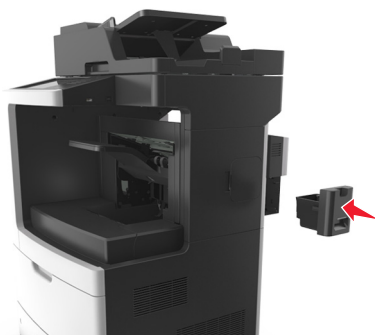
1 ホールパンチボックスを引きます。



2 コンテナを空にします。



3 空のホールパンチボックスが所定の位置でカチッと音がするまで、フィニッシャーに戻します。



部品と消耗品の状況を確認する

交換消耗品が必要な場合またはメンテナンスが必要な場合は、ディスプレイにメッセージが表示されます。

プリンタコントロールパネルから部品と消耗品の状況を確認する

[ホーム]画面から、[状況/消耗品] > [消耗品を表示]をタッチします。

内蔵 Web サーバーから部品と消耗品の状況を確認する

メモ: コンピュータとプリンタが同じネットワークに接続していることを確認します。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [デバイス状況] > [詳細]の順にクリックします。

消耗品を注文する

米国で部品および消耗品を注文するには、お住まいの地域の Lexmark 認定消耗品販売店について、1-800-539-6275 までお電話でお問い合わせください。他の国または地域については、www.lexmark.com をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

メモ: プリンタの消耗品の耐用期間見積もりは、レターまたは A4 サイズの普通紙を想定しています。

Lexmark の純正部品と消耗品を使用する

Lexmark プリンタは純正の Lexmark 消耗品と部品を使用したときに最高の効果を発揮するように設計されています。他社の消耗品または部品を使用すると、プリンタおよびイメージングコンポーネントの性能、信頼性、寿命に影響するおそれがあります。他社の消耗品や部品を使用すると、保証範囲に影響する可能性があります。他社の消耗品や部品を使用したことに起因する損傷には、保証が適用されません。すべての寿命インジケータは、Lexmark 消耗品と部品に対して機能するように設計されていますが、他社の消耗品や部品を使用した場合は予期しない結果が生じる可能性があります。意図された耐用期間後もイメージングコンポーネントを使用し続けると、Lexmark プリンタまたは関連するコンポーネントに損傷を引き起こすおそれがあります。

推定残りページ数

推定残りページ数は、プリンタの最近の印刷履歴に基づいています。正確な数値は大幅に異なる場合があります、実際のドキュメントの内容、印刷品質設定、およびその他のプリンタ設定等多くの要因に依存しています。

実際の印刷消費量が履歴印刷消費量と異なる場合は、推定残りページ数の正確性が低下する可能性があります。推定値に基づいて消耗品を購入または交換する前には、さまざまなレベルの正確性を考慮してください。十分な印刷履歴が得られるまで推定カートリッジ出力はページ毎の印刷比率おおよそ 5 %を基準としています。

トナーカートリッジを注文する

メモ:

- カートリッジの推定印刷ページ数は、1 ページ当たり約 5 パーセントの印刷比率に基づいています。
- 極端に低い印刷比率で長時間印刷すると、実際の印刷数に悪影響を与える可能性があります。

項目	回収プログラムカートリッジ
トナーカートリッジ	24B6020 (XM7155、XM7163、XM7170、XM7263) 24B6826 (XM7270)

メンテナンスキットを注文する

サポートされているフューザータイプを確認するには、フューザーのラベルを調べます。次のいずれかを実行します。

- トナーカートリッジとイメージングユニットを取り外します。フューザーの正面に 2 桁のフューザータイプコード (00 や 01 など) が記載されています。

警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

- プリンタの背面ドアを下に引きます。フューザーの背面に 2 桁のフューザータイプコード (00 や 01 など) が記載されています。

メモ:

- 特定のタイプの用紙を使用するには、メンテナンスキットをより頻繁に交換しなければならない場合があります。
- セパレーターローラー、フューザー、ピックアップローラーアセンブリ、および転送ローラーはすべてメンテナンスキットに含まれ、必要に応じて個別に注文および交換できます。
- メンテナンスキット付属部品の交換の詳細については、各部品に同梱されている手順シートを参照してください。

Lexmark 回収プログラムフューザーメンテナンスキットタイプ

タイプ	部品番号
XM7100 Series 回収プログラムフューザーメンテナンスキットタイプ 00	40X8420
XM7100 Series 回収プログラムフューザーメンテナンスキットタイプ 01	40X8421
XM7100 Series 回収プログラムフューザーメンテナンスキットタイプ 02	40X8422
XM7100 Series 回収プログラムフューザーメンテナンスキットタイプ 03	40X8423
XM7100 Series 回収プログラムフューザーメンテナンスキットタイプ 04	40X8424

Lexmark 標準フューザーメンテナンスキットタイプ

タイプ	部品番号
XM7100 Series 標準フューザーメンテナンスキットタイプ 05	40X8425
XM7100 Series 標準フューザーメンテナンスキットタイプ 06	40X8426
XM7100 Series 標準フューザーメンテナンスキットタイプ 07	40X8427
XM7100 Series 標準フューザーメンテナンスキットタイプ 08	40X8428
XM7100 Series 標準フューザーメンテナンスキットタイプ 09	40X8429

Lexmark ローラーキット

	部品番号
XM7100 Series ローラーキット	40X7706

Lexmark ADF メンテナンスキット

	部品番号
XM7100 Series ADF メンテナンスキット	40X8431

イメージングユニットを注文する

長期間、印刷量がきわめて低い場合、トナーが消耗する前に、イメージングユニットの部品が劣化する可能性があります。

イメージングユニットの交換の詳細については、同梱されている手順シートを参照してください。

部品名	Lexmark 回収プログラム
イメージングユニット	24B6025

ステープルカートリッジを注文する

部品名	部品番号
ステープルカートリッジ	25A0013

消耗品の保管

プリンタの消耗品は、清潔で涼しい場所に保管する必要があります。また、使用するまでは梱包から出さずに正しい面を上にして保管してください。

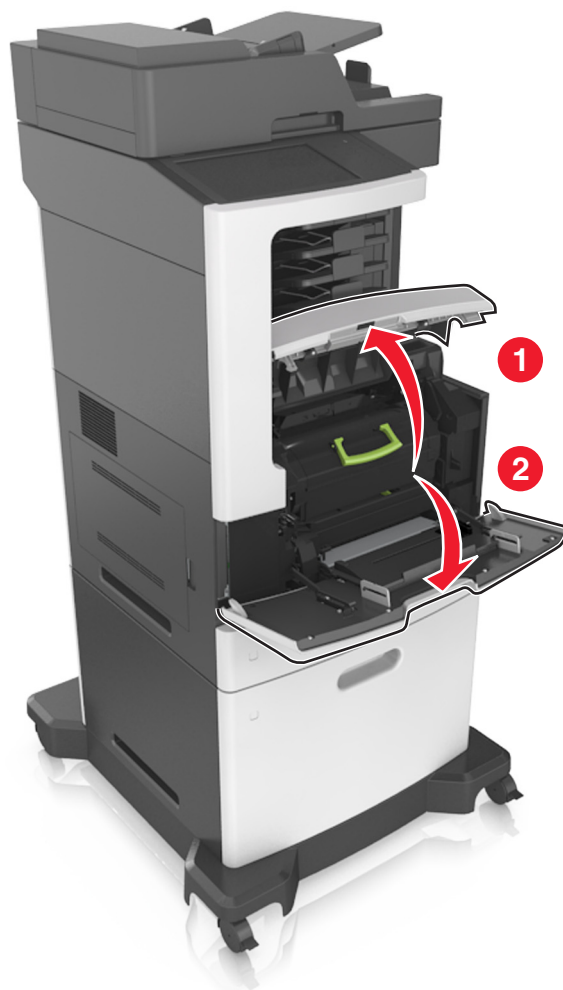
以下の環境は避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- 気温が 35°C (95°F) 以上の場所
- 湿度が 80% 以上の場所
- 潮風の当たる場所
- 有害ガスが当たる場所
- ほこりの多い場所

消耗品を交換する

トナーカートリッジの交換

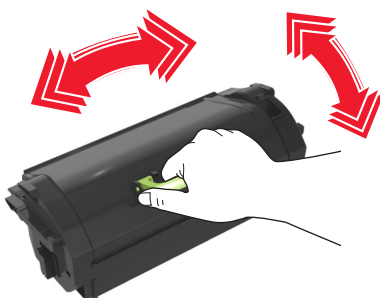
- 1 正面カバーを持ち上げてから、多目的フィーダードアを下に引きます。



- 2 ハンドルを使用して、プリンタからカートリッジを引き出します。

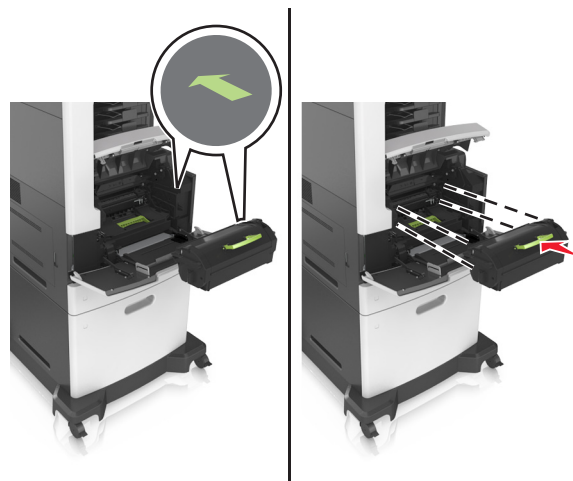


- 3 新しいトナーカートリッジを開梱し、梱包材を取り除き、カートリッジを振ってトナーを再度分散させます。



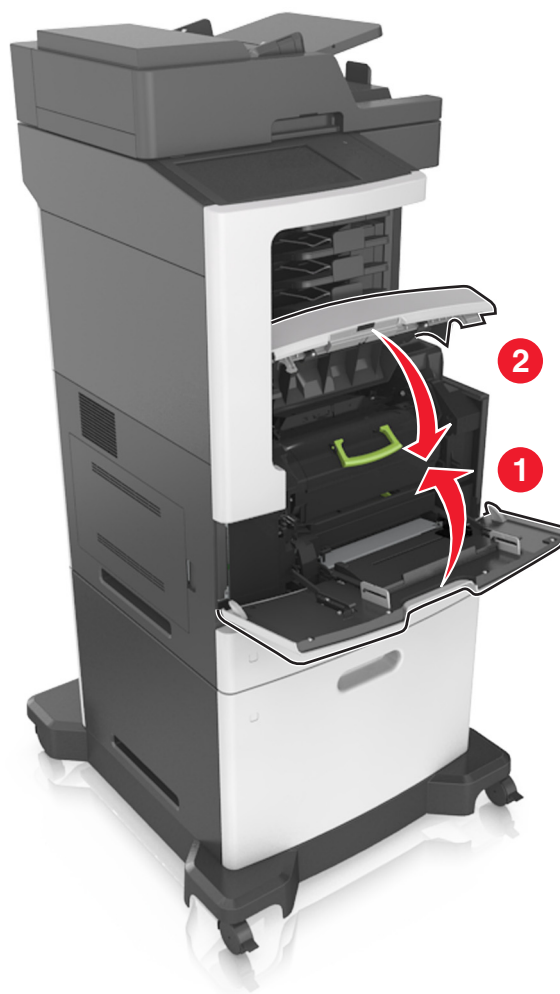
- 4 カートリッジの側面のレールをプリンタ内部の側面のレールにある矢印に合わせ、トナーカートリッジをプリンタに挿入します。

メモ: カートリッジが完全に押し込まれるようにします。



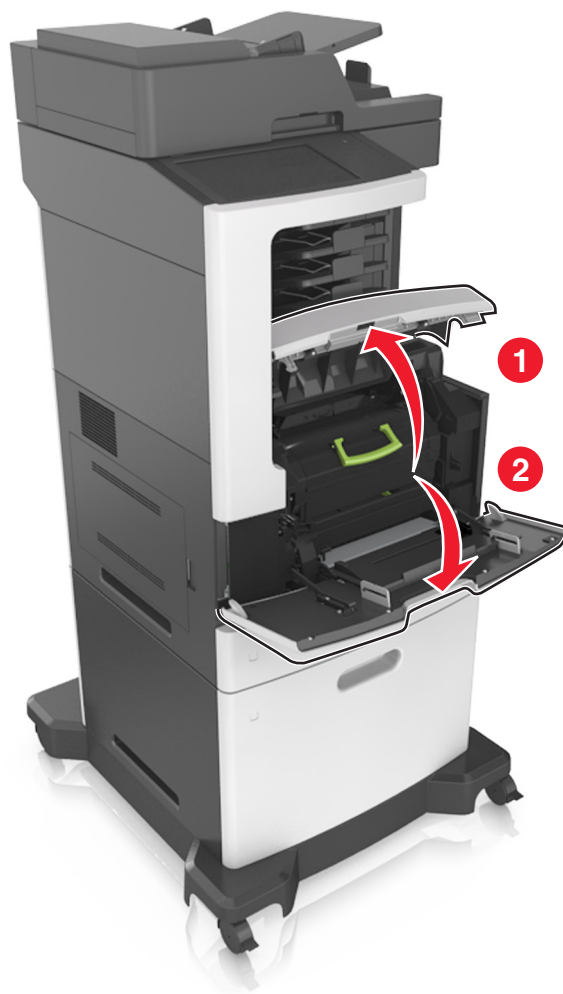
警告—破損の恐れあり: トナーカートリッジを交換するときには、イメージングユニットが長時間直射日光にさらされないようにしてください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

5 多目的フィーダードアと正面カバーを閉じます。



イメージングユニットの交換

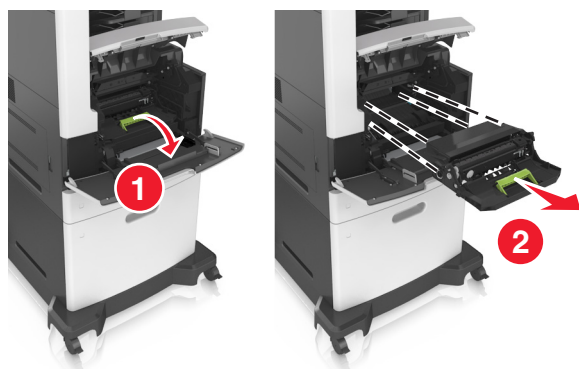
- 1 正面カバーを持ち上げてから、多目的フィーダードアを下に引きます。



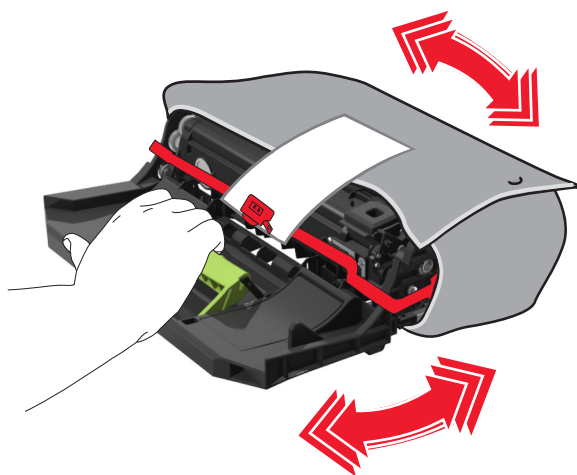
2 ハンドルを使用して、プリンタからトナーカートリッジを引き出します。



3 緑色のハンドルを持ち上げ、イメージングユニットをプリンタから引き出します。



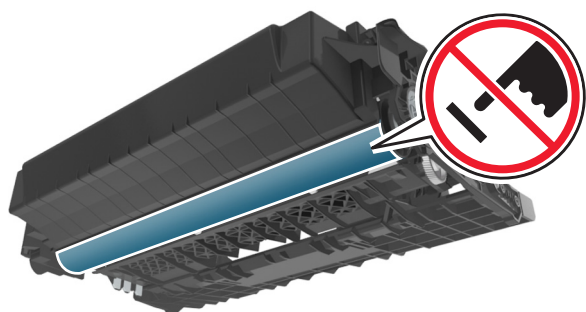
- 4 新しいイメージングユニットを開梱し、振ります。



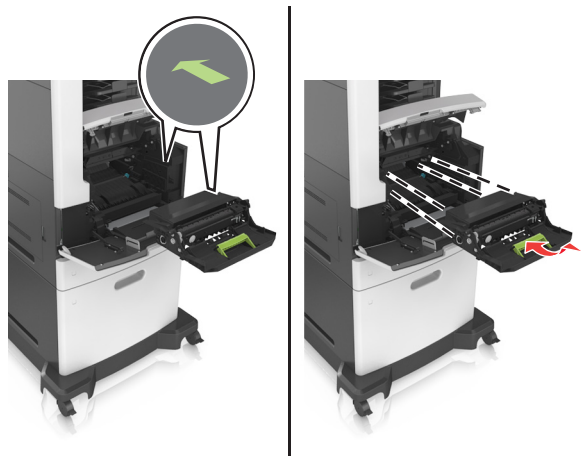
- 5 すべての梱包材をイメージングユニットから取り外します。

警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

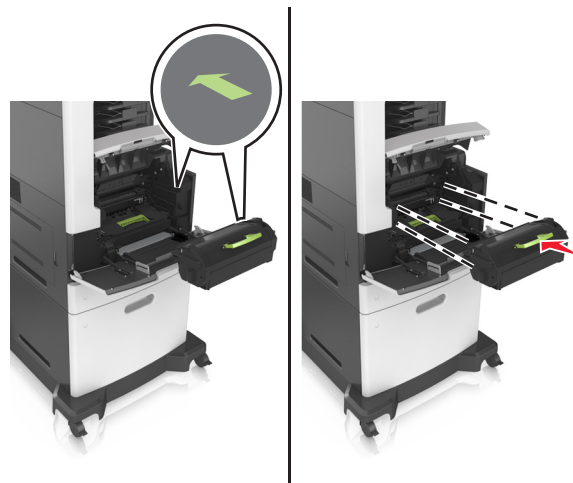
警告—破損の恐れあり: 感光体ドラムには触らないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。



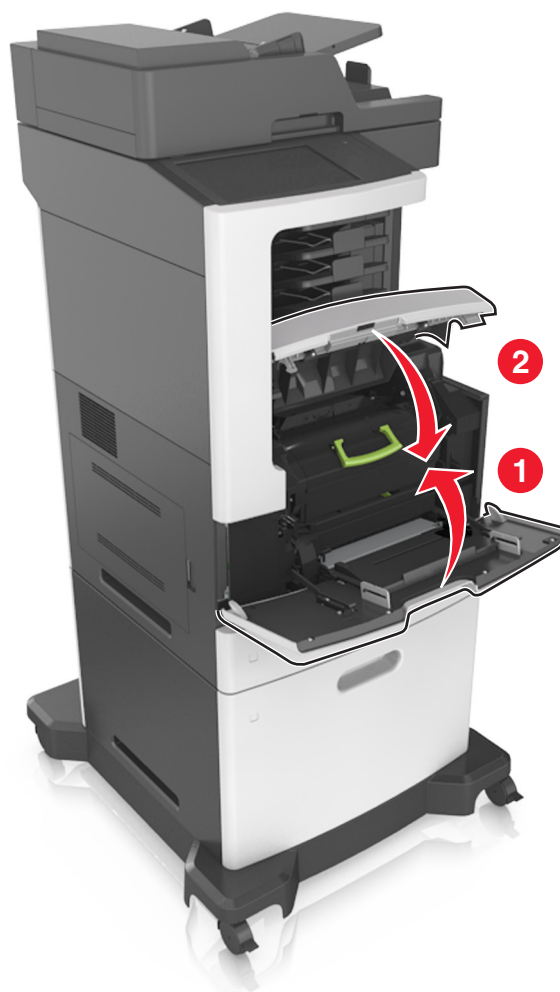
- 6 イメージングユニットの側面のレールの矢印をプリンタ内部の側面のレールにある矢印に合わせ、イメージングユニットをプリンタに挿入します。



- 7 カートリッジの側面のレールをプリンタ内部の側面のレールにある矢印に合わせ、トナーカートリッジをプリンタに挿入します。

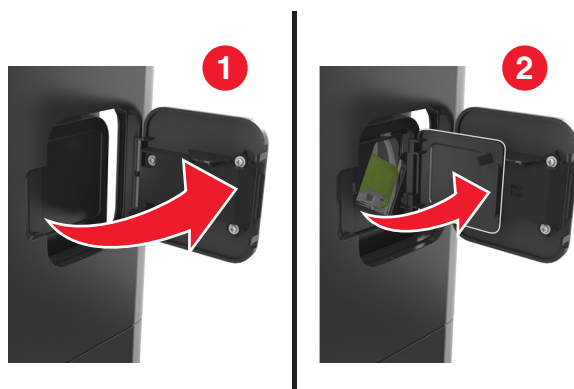


- 8 多目的フィーダードアと正面カバーを閉じます。



ステープルカートリッジを交換する

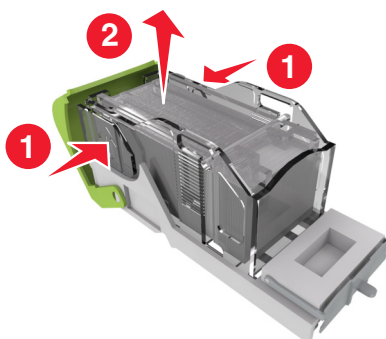
1 ステープルドアを開きます。



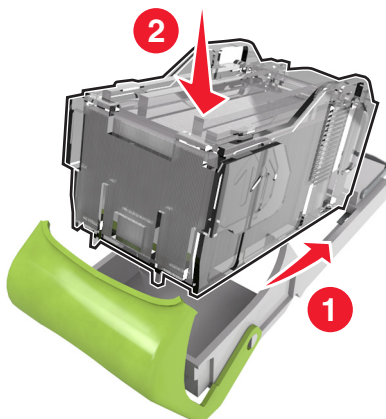
2 ステープルカートリッジホルダーのラッチを下に引き、ホルダーをフィニッシャーから引き出します。



3 指で空のステープルケースの側面をつまみ、カートリッジからステープルケースを取り出します。



4 新しいステープルケースの正面をステープルカートリッジに挿入し、カートリッジの背面に押し込みます。



5 ステープルカートリッジが所定の位置でカチッと音がるまで、フィニッシャーに押し込みます。

6 ステープルドアを閉じます。

プリンタを移動する

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

プリンタを移動する前に

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- 電源スイッチでプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- プリンタを移動する前に、プリンタからコードやケーブル類をすべて外してください。

- オプションのトレイが取り付けられている場合、プリンタからトレイを取り外します。オプションのトレイを取り外すには、トレイの右側面のラッチをトレイの正面に向けてカチッと音がするまでスライドさせます。



- 持ち上げるには、プリンタの両側面にある持ち手を使用します。
- また、プリンタを下ろすときは指がプリンタの下に挟まれないように注意してください。
- プリンタをセットアップする前に、プリンタの周囲に隙間が十分あることを確認します。

本製品に付属する、または製造元が代替品として認可した電源ケーブルのみを使用してください。

警告—破損の恐れあり: 不適切な移動によるプリンタへの損傷は保証の対象外です。

プリンタを別の場所に移動する

プリンタやハードウェアオプションを別の場所に安全に移動するため、次の点に注意してください。

- プリンタの移動には、プリンタの底がはみ出さない大きさの台車を使用してください。
- ハードウェアオプションの移動に台車を使用する場合は、ハードウェアオプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。

プリンタの輸送

プリンタを輸送する場合は、元の梱包材を使用するか、販売店に連絡して移動用キットをお求めください。

プリンタを管理する

ネットワーク構築および管理に関する詳細情報の入手

この章では、内蔵 Web サーバーを使用した基本的な管理サポートタスクについて説明します。より詳細なシステムサポートタスクについては、ソフトウェア CD に収録されている『ネットワークガイド』または <http://support.lexmark.com> に掲載されている『[内蔵 Web サーバー管理者ガイド](#)』を参照してください。//support.lexmark.com。

仮想ディスプレイを確認する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 画面の左上隅に表示される仮想ディスプレイを確認します。

仮想ディスプレイは、プリンタのコントロールパネルで動作する実際のディスプレイと同様に動作し、プリンタのメッセージを表示します。

E メールアラートをセットアップする

消耗品が低下したとき、用紙を交換または追加する必要があるとき、または紙詰まりが発生したときに、E メールアラートを送信するように、プリンタを設定します。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定]をクリックします。

- 3 [その他の設定]メニューから、[E メールアラートセットアップ]をクリックします。

- 4 通知をオンにする項目を選択し、E メールアドレスを入力します。

- 5 [送信]をクリックします。

メモ: E メールサーバーの設定については、システムサポート担当者に問い合わせてください。

レポートを表示する

内蔵 Web サーバーから一部のレポートを表示できます。これらのレポートは、プリンタ、ネットワーク、および消耗品の状態を評価する際に便利です。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [レポート]をクリックしてから、表示するレポートのタイプをクリックします。

内蔵 Web サーバーから消耗品の通知を設定する

選択可能アラートを設定することで、消耗品がほぼ残り僅か、残り僅か、ほぼ寿命切れ、寿命切れになったときに、通知する方法を指定できます。

メモ:

- 選択可能アラートは、トナーカートリッジ、イメージングユニット、および保守キットについて設定できます。
- すべての選択可能アラートは、ほぼ残り僅か、残り僅か、ほぼ寿命切れ状態に対して設定できます。消耗品の寿命切れ状態については、設定できないアラームがあります。E メール選択可能アラームは、すべての消耗品の状態で使用できます。
- アラートを表示する消耗品残り推定量の割合は、一部の消耗品の状態に対して設定できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [印刷設定] > [消耗品通知]をクリックします。

3 各消耗品のドロップダウンメニューから、次の通知オプションのいずれかを選択します。

通知	説明
オフ	すべての消耗品で通常のプリンタ動作が発生します。
E メール	消耗品の状態に達すると、E メールが送信されます。消耗品の状態は、メニューページと状況ページに表示されます。
警告	警告メッセージが表示され、消耗品の状態に関する E メールが送信されます。消耗品の状態に達しても、プリンタは停止しません。
継続可能な停止 ¹	消耗品の状態に達すると、ジョブの処理が停止します。印刷を続行するには、ユーザーがボタンを押す必要があります。
継続不能な停止 ^{1,2}	消耗品の状態に達すると、プリンタはジョブの処理を停止します。印刷を続行するには、消耗品を交換する必要があります。
¹ 消耗品通知が有効な場合、消耗品の状態に関する E メールが送信されます。	
² 一部の消耗品が空になると、損傷を防止するために、プリンタが停止します。	

4 [送信]をクリックします。

初期状態のデフォルト設定を復元する

参照のために現在のメニュー設定の一覧を保持する場合は、出荷時標準設定を復元する前にメニュー設定ページを印刷します。詳細については、[「メニュー設定ページを印刷する」、55 ページ](#) を参照してください。

プリンタの出荷時のデフォルト設定を復元するためのより包括的な方法が必要な場合は、[すべての設定を消去]オプションを実行します。詳細については、[「不揮発性メモリを消去する」、238 ページ](#) を参照してください。

警告—破損の恐れあり: 出荷時標準設定を復元すると、ほとんどのプリンタ設定が元の出荷時の標準設定に戻ります。例外は、表示言語、カスタムサイズ、メッセージおよびネットワーク/ポート設定です。RAM に保存されているダウンロード物はすべて削除されます。フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているダウンロード物には影響しません。

ホーム画面から、次のメニューを選択します。



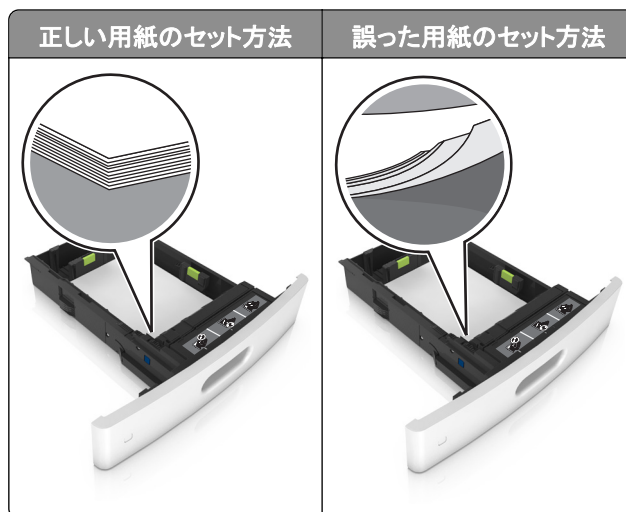
> [設定] > [一般設定] > [出荷時標準設定] > [復元] > [送信]

紙詰まりを取り除く

紙づまりを防止する

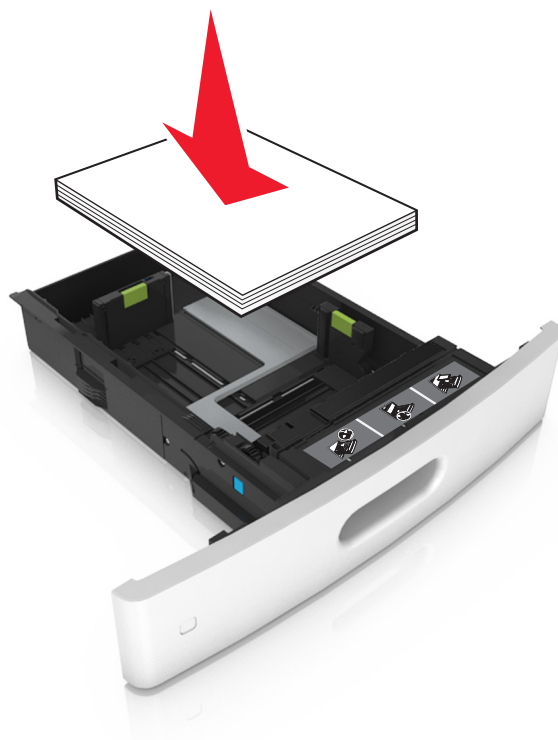
用紙を正しくセットする

- 用紙がトレイに平らにセットされていることを確認する



- 印刷中はトレイを取り外さない。
- 印刷中はトレイに用紙をセットしない。用紙のセットは印刷前に行うか、用紙のセットを促すプロンプトが表示されるまで待つ。
- 過度に多い量の用紙をセットしない。重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにする。

- 用紙をトレイにスライドしない。図のように用紙をセットする。



- トレイまたは多目的フィーダのガイドが正しい位置にあり、用紙や封筒をきつく挟みすぎていることを確認する。
- 用紙をセットしたらトレイをしっかりと押し込む。
- ステープルフィニッシャーとともに使用するための穴あき用紙をセットしている場合は、用紙の長辺の穴がトレイの右側にあることを確認する。詳細については、『ユーザーガイド』の「用紙と特殊用紙をセットする」セクションを参照してください。

用紙がオプションメールボックスの排紙トレイに正しく入るようにする

- 用紙サイズインジケータが使用する用紙のサイズと一致するように、排紙トレイの拡張ガイドを確実に調整する。



メモ:

- 排紙トレイの拡張ガイドが印刷する用紙のサイズよりも短い場合は、メールボックスの排紙トレイで紙詰まりが発生します。例えば、リーガルサイズ用の紙に印刷し、排紙トレイの拡張ガイドがレターサイズに設定されている場合、紙詰まりが発生します。
- 排紙トレイの拡張ガイドが印刷する用紙のサイズよりも長い場合は、両辺が不均一になり、用紙が正しく積み上げられません。例えば、レターサイズの用紙に印刷し、排紙トレイの拡張ガイドがリーガルサイズに設定されている場合、用紙が正しく積み上げられません。

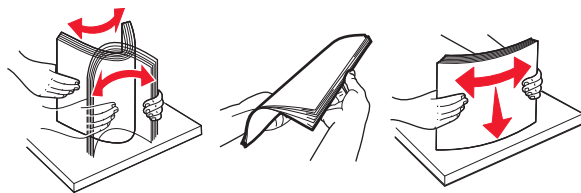
- 用紙をメールボックスの排紙トレイに戻す必要がある場合は、排紙トレイのアームの下に用紙を挿入してから、用紙を奥まで押し込みます。



メモ: 用紙が排紙トレイのアームの下にない場合、排紙トレイが満杯になり、紙詰まりが発生します。

推奨用紙を使用する

- 推奨用紙または特殊用紙のみを使用する
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙、丸まっている用紙をセットしない。
- 用紙または特殊用紙をほぐしてさばき、そろえてからセットする。

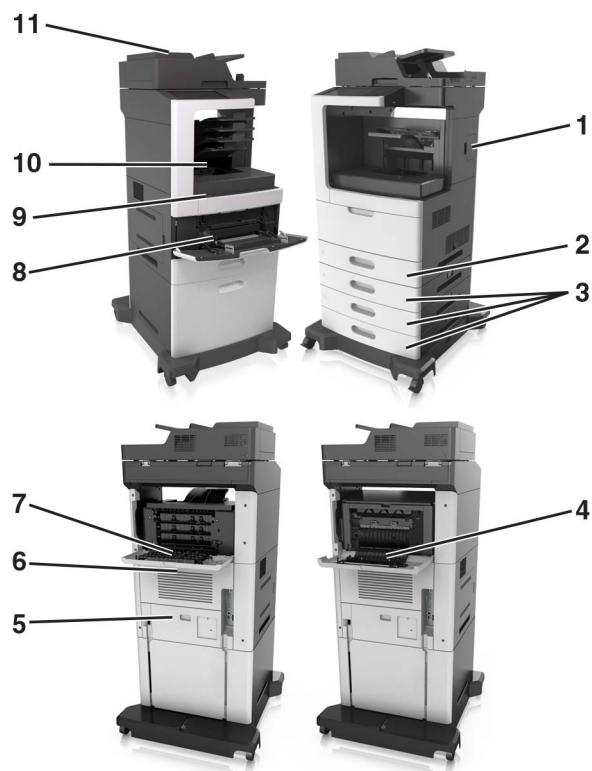


- 手で切った、またはちぎった用紙は使用しない。
- 用紙のサイズ、重さ、タイプが異なる用紙を混在させてセットしない。
- コンピュータまたはプリンタコントロールパネルで、用紙のサイズおよびタイプが適切に設定されていることを確認する。
- 用紙はメーカーの推奨事項に従い保管する。

紙詰まりの場所を確認する

メモ:

- 紙詰まりアシスト機能がオンに設定されている場合、紙詰まりを起こしたページが取り除かれた後、プリンタは空白ページまたは一部印刷されたページを排出します。空白ページがあるかどうか、印刷済み出力用紙を確認します。
- [紙づまり回復]が[オン]または[自動]に設定されている場合、プリンタは紙づまりが発生したページを再印刷します。

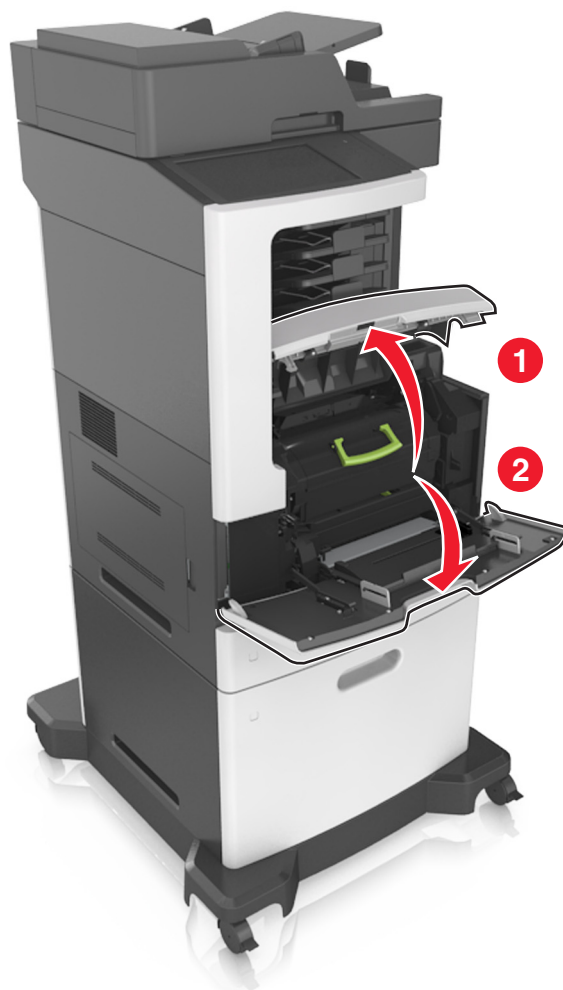


	エリア名
1	ステープルアクセスドア
2	両面印刷ユニット
3	トレイ
4	ステープルフィニッシャーの背面ドア
5	下部背面ドア
6	上部背面ドア
7	メールボックス
8	多目的フィーダー
9	前面カバー
10	標準排紙トレイ
11	自動原稿フィーダー(ADF)

前面カバーの紙詰まり

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

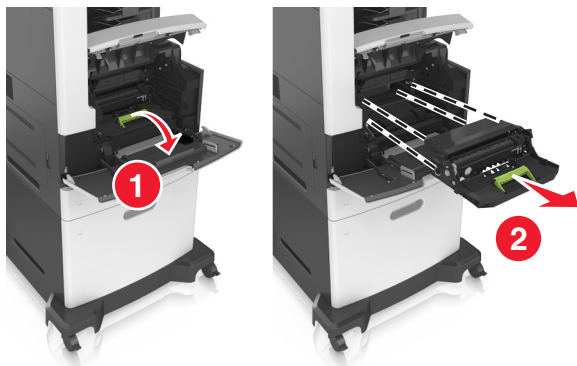
- 1 前面カバーおよび多目的フィーダーを開きます。



2 トナーカートリッジを取り外します。



3 イメージングユニットを取り外します。



警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

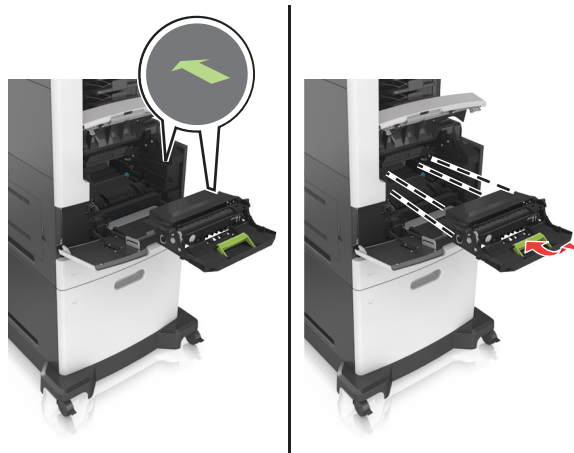
4 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



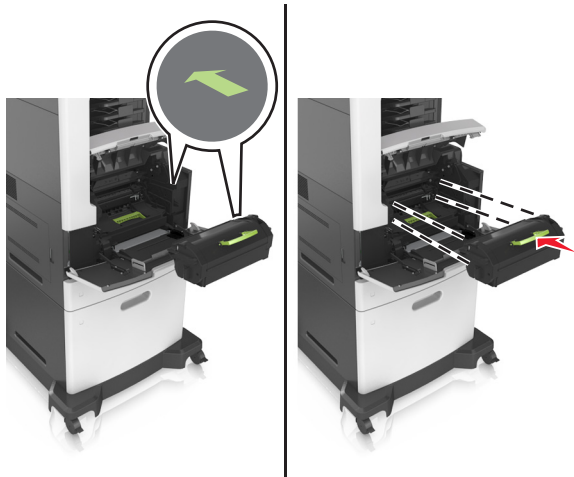
5 イメージングユニットを挿入します。

メモ: プリンタの脇に示されている矢印をガイドとして使用します。

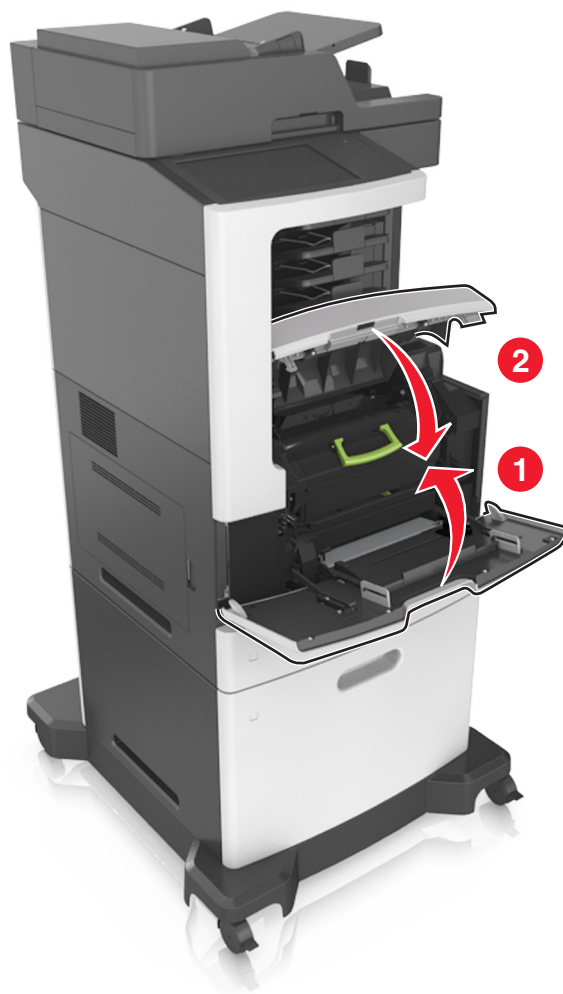


6 トナーカートリッジを挿入します。

メモ: プリンタの脇に示されている矢印をガイドとして使用します。



7 多目的フィーダードアと正面カバーを閉じます。



背面ドアの紙詰まり

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

- 1 背面ドアを開きます。



- 2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 背面ドアを閉じます。

4 標準トレイの背面を押します。



5 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



6 標準トレイをセットします。

標準排紙トレイの紙詰まり

詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



両面印刷ユニット内の紙づまり

1 トレイを取り外します。



2 つまっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 トレイを挿入します。

トレイの紙詰まり

1 トレイを引き出します。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 トレイを挿入します。

多目的フィーダーの紙詰まり

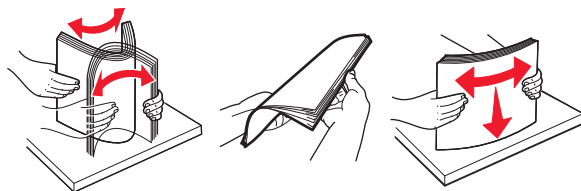
1 多目的フィーダーから用紙を取り除きます。

2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。



4 再度用紙をセットしてから、用紙ガイドを調節します。



メールボックス内の紙詰まり

1 メールボックスの背面ドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



2 ドアを閉じます。

3 メールボックスの排紙トレイで紙詰まりが発生した場合は、詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり

- 1 ADFトレイからすべての原稿を取り除いてください。
- 2 ADF カバーを開きます。



- 3 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

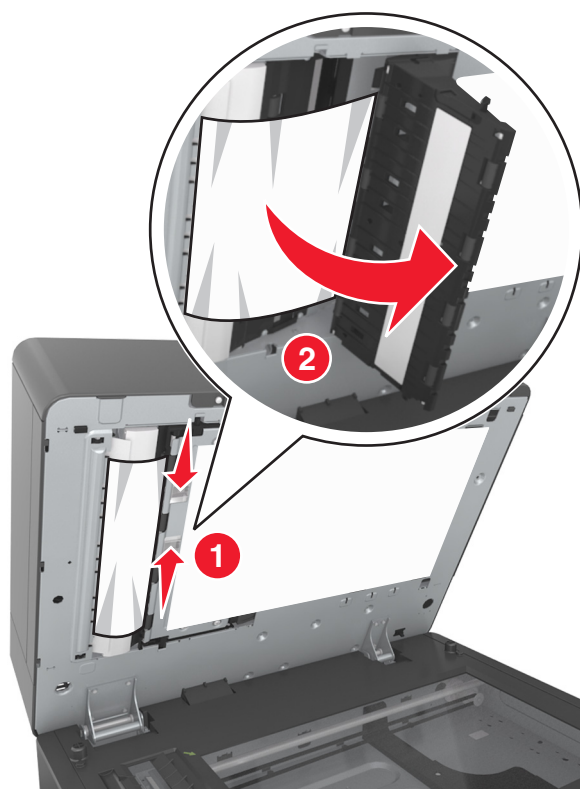
4 ADF カバーを閉じます。

5 スキャナカバーを開きます。



6 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

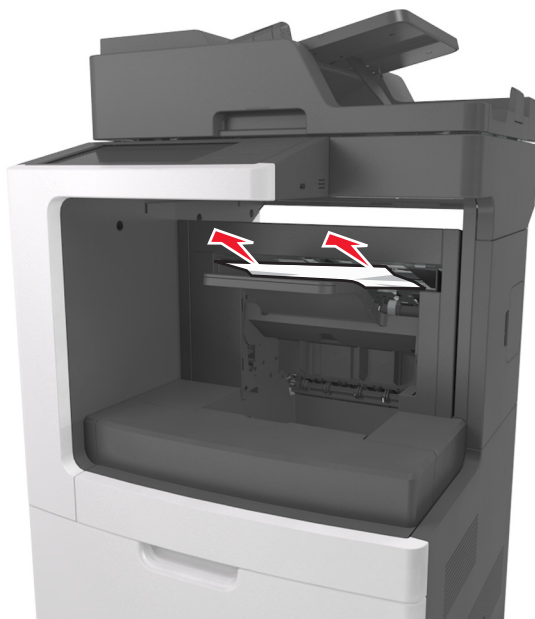


7 スキャナカバーを閉じます。

ステープルフィニッシャーの紙詰まり

1 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



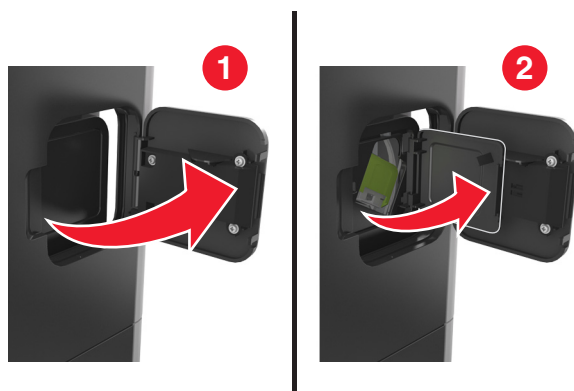
2 ステープルフィニッシャの背面ドアを開き、詰まっている用紙を取り除きます。



3 ドアを閉じます。

フィニッシャー内のホチキス詰まり

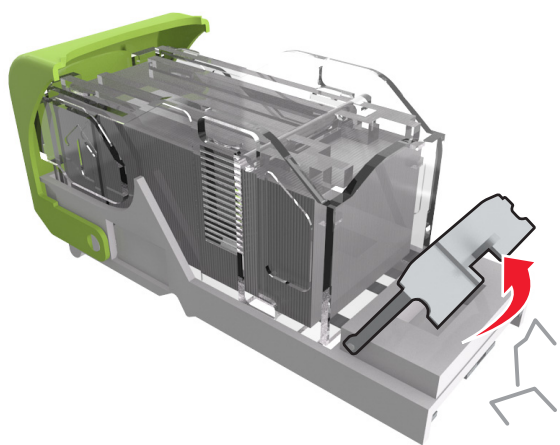
1 ステープルアクセスドアを開きます。



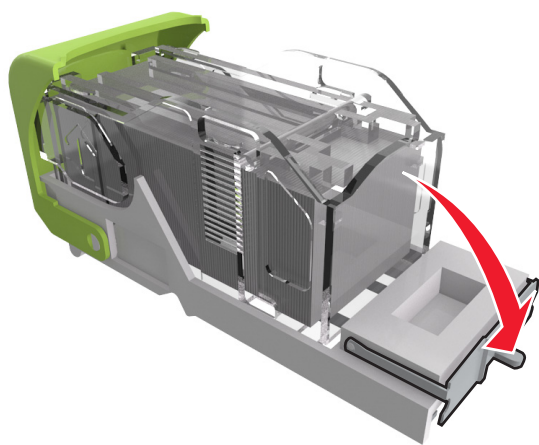
2 ステープルカートリッジホルダーを取り外します。



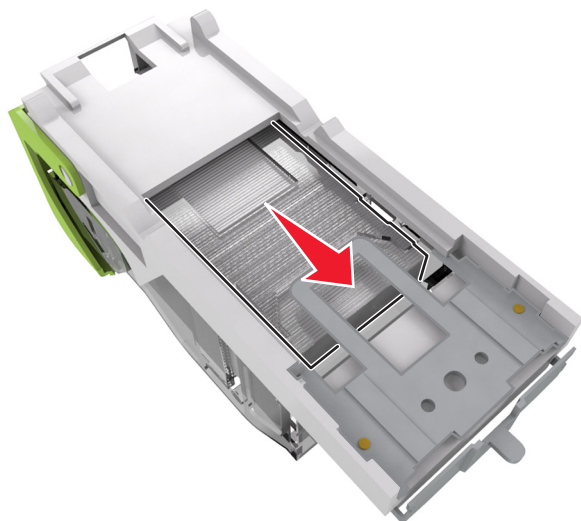
3 ステープルガードを開き、外れたホチキスを取り除きます。



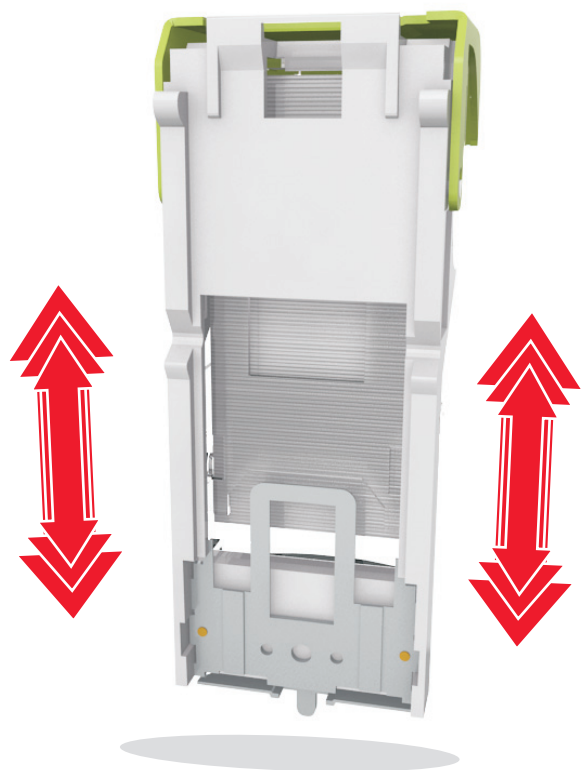
4 ステープルガードを閉じます。



5 ホチキスを金属のブラケットにはめ込みます。



メモ: ホチキスがカートリッジの背面にある場合は、カートリッジを下方方向に揺すって、ホチキスを金属のブラケットの側に寄せます。



6 ステープルカートリッジホルダーを挿入します。

7 ステープルアクセスドアを閉じます。

問題に対処する

プリンタメッセージを理解する

カートリッジ残り僅か [88.xx]

交換用のトナーカートリッジを注文する必要があります。必要に応じて、プリンタの操作パネルで[続行]を押し、メッセージを消去して印刷を続けます。

カートリッジ、イメージングユニット不一致 [41.xy]

サポートされているトナーカートリッジとイメージングユニットのみを使用してください。

メモ: サポートされている消耗品のリストについては、www.lexmark.com にアクセスしてください。

カートリッジほぼ残り僅か [88.xy]

必要に応じて、プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、メッセージを消去して印刷を続けます。

カートリッジがほとんどありません[x]概算残りページ [88.xy]

次のような場合は、該当するトナーカートリッジをただちに交換する必要があります。詳細については、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」を参照してください。

必要に応じて、プリンタの操作パネルで[続行]を押し、メッセージを消去して印刷を続けます。

[給紙源]を[カスタム文字列]に変更[用紙の向き]にセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- トレイに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、該当するサイズとタイプを操作パネルの[用紙メニュー]で指定し、[用紙が変更されました]に触れます。
- [現在の[給紙源]を使用]にタッチし、トレイで使用可能な用紙のサイズとタイプを使用します。
- [有効トレイをリセット]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源]を[カスタム紙種名]に変更[用紙の向き]にセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- トレイに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、該当するサイズとタイプを操作パネルの[用紙]メニューで指定し、[用紙が変更されました]に触れます。
- [現在の[給紙源]を使用]にタッチし、現在のトレイまたはフィーダーで使用可能な用紙のサイズとタイプを使用します。
- 次に、[アクティブな排紙トレイをリセット]をタッチし、リンクされた排紙トレイのアクティブな排紙トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源]を[用紙サイズ]に変更[用紙の向き]にセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- トレイに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、該当するサイズとタイプを操作パネルの[用紙]メニューで指定し、[用紙が変更されました]に触れます。
- [現在の[給紙源]を使用]にタッチし、現在のトレイまたはフィーダーで使用可能な用紙のサイズとタイプを使用します。
- [有効トレイをリセット]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源]を[用紙の種類][用紙サイズ]に変更[用紙の向き]にセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- トレイまたはフィーダーに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、該当するサイズとタイプをプリンタの操作パネルの[用紙]メニューで指定し、[用紙が変更されました]に触れます。
- [現在の[給紙源]を使用]にタッチし、トレイで使用可能な用紙のサイズとタイプを使用します。
- [有効トレイをリセット]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

トレイ [x]の接続を確認します

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの電源を切ってから、再度入れます。
エラーが 2 回発生した場合は、以下の手順に従います。
 - 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 指示されたトレイを取り外します。
 - 4 トレイを再度取り付けます。
 - 5 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
 - 6 プリンタの電源を入れます。

エラーが再び発生した場合は、以下の手順に従います。

- 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 トレイを取り外します。
 - 4 カスタマサポートに連絡します。
- メッセージを無視してジョブを再開するには、プリンタの操作パネルで[継続]を押します。

ドアを閉じるかカートリッジを挿入してください

トナーカートリッジがないか、または正しく取り付けられていません。カートリッジを挿入してから、すべてのドアとカバーを閉じます。

フィニッシャーの背面ドアを閉じてください

フィニッシャーの背面ドアを閉じます。

ジョブを再開する場合は原稿台のカバーを閉じ、原稿をセットしてください[2yy.xx]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- [ADF からスキャン]をタッチし、最後に正常にスキャンされたページの直後に、ADF からすぐにスキャンを続行します。
- [原稿台からスキャン]をタッチし、最後に正常にスキャンされたページの直後に、原稿台からすぐにスキャンを続行します。
- [ジョブを仕上げる]をタッチし、最後に正常終了したスキャンジョブを終了します。

メモ: スキャンジョブはキャンセルされます。成功したスキャンページが、コピー、FAX、E メール用に処理されます。

- [キャンセル]をタッチして、メッセージを消し、スキャンジョブをキャンセルします。

背面ドアを閉じてください

プリンタの背面ドアを閉じます。

上部アクセスカバーを閉じてください。

プリンタの上部アクセスカバーを閉じて、メッセージを消去します。

複雑なページ、一部のデータが印刷されていない可能性があります [39]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、メッセージを無視して印刷を続けます。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。
- プリンタメモリを増設します。

構成設定変更。保持されたジョブがいくつか復元されませんでした[57]

以下のいずれかが変更された可能性があるため、保持されたジョブは無効になっています。

- プリンタファームウェアがアップデートされた。
- 印刷ジョブのトレイが取り外されている。
- USB ポートに接続されていないフラッシュドライブから印刷ジョブが送信された。
- プリンタのハードディスクが別のプリンタ機種に取り付けられているときに保存された印刷ジョブが、プリンタのハードディスクに残っている。

プリンタの操作パネルで[続行]をタッチしてメッセージを消去します。

フラッシュメモリ不良 [51]

以下の方法をいくつか試してください。

- 不良のフラッシュメモリカードを交換します。
- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、メッセージを無視して印刷を続けます。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

ディスク満杯[62]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、メッセージを無視して処理を続けます。
- プリンタのハードディスクに保存されているフォントやマクロなどのデータを削除します。
- もっと容量が大きいプリンタハードディスクを取り付けます。

ディスクが満杯です。スキャンジョブがキャンセルされました

次の手順を 1 つ以上実行します。

- [継続] にタッチしてメッセージを消し、スキャンを続けてください。
- フォント、マクロ、およびプリンタハードディスクに保存されているその他のデータを削除します。
- 容量の大きいハードディスクを取り付けます。

このデバイスで使用するには、ディスクをフォーマットする必要があります。

プリンタの操作パネルで[ディスクを初期化]をタッチし、プリンタのハードディスクをフォーマットしてメッセージを消去します。

メモ: プリンタのハードディスクに保存されているファイルは、フォーマットによりすべて削除されます。

ディスクの空きがほとんどありません。安全にディスク領域をあけてください。

以下の方法をいくつか試してください。

- [続行]をタッチし、メッセージを消去して印刷を続行します。
- プリンタハードディスクに保存されているフォントやマクロなどのデータを削除します。
- もっと容量が大きいハードディスクを取り付けます。

ホールパンチボックスを空にしてください

以下の方法をいくつか試してください。

- ホールパンチボックスを空にします。
- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

USB ドライブ読取りエラーです。USB を取り外してください。

サポートされていない USB デバイスに取り付けられています。USB デバイスを取り外し、サポートされているデバイスを取り付けてください。

USB ハブの読み取りエラーが発生しました。ハブを取り外します。

サポートされていない USB ハブに取り付けられています。USB ハブを取り外し、サポートされているハブを取り付けてください。

FAX メモリフル

- 1 操作パネルで[続行]をタッチしてメッセージを消し、FAX ジョブをキャンセルします。
- 2 以下の操作を実行します。
 - FAX の解像度を低く設定します。
 - ページ数を減らします。
- 3 次のように FAX ジョブを送信します。

FAX パーティションが動作しません。システム管理者に連絡してください。

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから[継続]をタッチし、メッセージを消去します。
- プリンタの電源を切り、再度電源を入れます。メッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

FAX サーバーの[送信先形式]が設定されていません。システム管理者に連絡してください。

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから[継続]をタッチし、メッセージを消去します。
- FAX サーバー設定を完了します。メッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

FAX ステーション名が設定されていません。システム管理者に連絡してください。

次のいずれかを実行します。

- プリンタコントロールパネルから[継続]をタッチし、メッセージを消去します。
- アナログ FAX 設定を完了します。セットアップ完了後にメッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

FAX ステーション番号が設定されていません。システム管理者に連絡してください。

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから[**継続**]をタッチし、メッセージを消去します。
- アナログ FAX 設定を完了します。セットアップ完了後にメッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

イメージユニット残り僅か [84.xy]

交換用のイメージユニットを注文する必要があります。必要に応じて、プリンタの操作パネルの[**続行**]を選択し、メッセージを消去して印刷を続行します。

イメージユニット残りほぼ僅か [84.xy]

必要に応じて、プリンタの操作パネルで[**続行**]をタッチし、メッセージを消去して印刷を続けます。

イメージユニットがほとんどありません[x]概算残りページ [84.xy]

次のような場合は、イメージユニットをただちに交換する必要があります。詳細については、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」を参照してください。

必要に応じて、プリンタの操作パネルで[**続行**]を押し、メッセージを消去して印刷を続けます。

排紙トレイ [x]に互換性なし [59]

以下の方法をいくつか試してください。

- 指定された排紙トレイを取り外します。
- プリンタ操作パネルで[**続行**]にタッチしてメッセージを消去し、指定された排紙トレイを使用せずに印刷を続けます。

トレイ [x]に互換性なし [59]

以下の方法をいくつか試してください。

- 指示されたトレイを取り外します。
- メッセージを消去して、指定されたトレイを使用せずに印刷するには、プリンタの操作パネルで[**続行**]に触れます。

誤った用紙サイズです。[給紙源]を開いてください [34]

以下の方法をいくつか試してください。

- トレイに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、該当するサイズとタイプをプリンタの操作パネルの[用紙]メニューで指定します。
- [印刷プロパティ]または[印刷]ダイアログボックスの設定で適切なサイズとタイプの用紙が指定されていることを確認します。
- 用紙のサイズが正しく設定されていることを確認します。たとえば、[多目的フィーダサイズ]が[ユニバーサル]に設定されている場合は、印刷するデータに対して用紙のサイズが十分であることを確認してください。
- 長さガイドおよび幅ガイドを確認して、用紙がトレイに正しくセットされていることを確認します。

- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチしてメッセージを消去し、別のトレイを使用して印刷します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

ホールパンチボックスを挿入

ホールパンチボックスをフィニッシャにセットして[続行]をタッチし、メッセージを消去します。

ステープルカートリッジをセットしてください

以下の方法をいくつか試してください。

- ステープルカートリッジをセットします。
- [続行]をタッチし、メッセージを消去してステープルフィニッシャを使わずに印刷します。

トレイ [x] をセットしてください

指定されたトレイをプリンタに挿入します。

排紙トレイ[x]の取付け

以下の方法をいくつか試してください。

- 指定された排紙トレイを取り付けます。
 - 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 指定された排紙トレイを取り付けます。
 - 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
 - 5 プリンタの電源を入れます。
- 印刷ジョブをキャンセルします。
- 有効排紙トレイをリセット

トレイ[x]を取付け

以下の方法をいくつか試してください。

- 指定されたトレイを取り付けます。
 - 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 指定されたトレイを取り付けます。
 - 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
 - 5 プリンタの電源を入れます。
- 印刷ジョブをキャンセルします。
- 有効な排紙トレイをリセットします。

部単位印刷にはメモリ不足です [37]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、保存済みのジョブの一部を印刷してから、残りの印刷ジョブの部単位を開始します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

リソース保存機能を使うにはメモリ不足です [35]

プリンタメモリを増設するか、[続行]をタッチしてリソース保存機能を無効にし、メッセージを消去して印刷を続行します。

メモリ不足、保留中のジョブは幾つか削除されました [37]

プリンタの操作パネルで[続行]をタッチしてメッセージを消去します。

メモリ不足。保持されたジョブが幾つか復元されません [37]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、メッセージを消去します。
- その他の保持ジョブを削除して、プリンタメモリの空き容量を増やします。

[給紙源] に [カスタム文字列] [用紙の向き] をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 適切なサイズとタイプ用の紙をトレイまたはフィーダーにセットするには、操作パネルで[用紙のセットが完了しました]に触れます。
- [有効トレイをリセット]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 現在のジョブをキャンセルします。

[給紙源] に [カスタムタイプ名] [用紙の向き] をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 適切なサイズとタイプ用の紙をトレイまたはフィーダーにセットするには、操作パネルで[用紙のセットが完了しました]に触れます。
- [有効トレイをリセット]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源] に [用紙サイズ] [用紙の向き] をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 適切なサイズの紙をトレイまたはフィーダーにセットするには、操作パネルで[用紙のセットが完了しました]に触れます。
- [有効トレイをリセット]をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 現在のジョブをキャンセルします。

〔給紙源〕に〔用紙のタイプ〕〔用紙サイズ〕〔用紙の向き〕をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 指定トレイまたはフィーダーに適切なサイズとタイプの用紙をセットし、操作パネルで〔用紙のセットが完了しました〕に触れます。
- 〔有効トレイをリセット〕をタッチし、リンクされたトレイの有効トレイをリセットします。
- 現在のジョブをキャンセルします。

多目的フィーダに〔ユーザー定義文字列〕〔用紙の向き〕をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- フィーダーに、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- プリンタの操作パネルで〔各ページ、用紙のセットを要請〕または〔用紙のセットを要請しない〕をタッチして、メッセージを消去し、印刷を続行します。
- トレイにセットした用紙を使用するには、操作パネルで〔自動で用紙を選択する〕をタッチします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

多目的フィーダに〔ユーザー定義タイプ名〕〔用紙の向き〕をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- フィーダーに、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- 操作パネルで〔各ページ、用紙のセット要求〕または〔用紙のセットを要求しない〕をタッチして、メッセージを消去し、印刷を続行します。
- トレイにセットした用紙を使用するには、操作パネルで〔自動で用紙を選択する〕をタッチします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

多目的フィーダに〔用紙サイズ〕〔用紙の向き〕をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- フィーダーに適切なサイズの用紙をセットします。
- 操作パネルで〔各ページ、用紙のセット要求〕または〔用紙のセットを要求しない〕をタッチして、メッセージを消去し、印刷を続行します。
- トレイにセットした用紙を使用するには、操作パネルで〔自動で用紙を選択する〕をタッチします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

多目的フィーダに〔用紙のタイプ〕〔用紙サイズ〕〔用紙の向き〕をセット

次の手順を 1 つ以上実行します。

- フィーダーに、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- 操作パネルで〔各ページ、用紙のセット要求〕または〔用紙のセットを要求しない〕をタッチして、メッセージを消去し、印刷を続行します。
- トレイにセットした用紙を使用するには、操作パネルで〔自動で用紙を選択する〕をタッチします。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

ホチキスの針をセット

以下の方法をいくつか試してください。

- フィニッシャで、ホチキスカートリッジを交換またはセットします。
ホチキスカートリッジをフィニッシャでセットまたは交換する手順については、プリンタの操作パネルで[詳細情報]にタッチします。
- メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの[続行]にタッチします。
- 印刷ジョブをキャンセルするには、プリンタの操作パネルの[ジョブをキャンセル]にタッチします。

保守キットが残り僅かです [80.xy]

保守キットを注文しなければならない場合があります。詳細については、Lexmark サポート Web サイト (<http://support.lexmark.com>) にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。その際、メッセージを報告してください。

必要に応じて、[続行]にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

保守キットがほぼ残り僅かです [80.xy]

詳細については、Lexmark サポート Web サイト (<http://support.lexmark.com>) にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。その際、メッセージを報告してください。

必要に応じて、[続行]にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

保守キットがほぼ寿命切れです、推定残りページ [x] [80.xy]

保守キットを速やかに交換しなければならない可能性があります。詳細については、Lexmark サポート Web サイト (<http://support.lexmark.com>) にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。その際、メッセージを報告してください。

必要に応じて、[継続]にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

メモリ満杯 [38]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[ジョブをキャンセル]をタッチし、メッセージを消去します。
- プリンタメモリを増設します。

メモリフル、FAX を印刷できません

操作パネルで、以下のいずれかを実行します。

- [印刷せずに FAX 保持を続行]をタッチしてメッセージを消去します。
- [印刷試行]をタッチしてプリンタを再起動し、印刷を続行します。

給紙ミス解消済み、排紙トレイに新しい用紙を送信 [24y.xx]

プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。

メモ: 給紙ミスを低減するには、用紙がパラパラとめくれて、正しくセットされていることを確認します。

アナログ電話回線がモデムに接続されていません。Fax が無効です。

プリンタをアナログ電話回線に接続します。

ネットワーク [x] ソフトウェアエラー [54]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから、[**継続**]をクリックし、印刷を続行します。
- プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。
- プリンタまたはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。詳細については、Lexmark のサポート Web サイト (<http://support.lexmark.com>) をご覧ください。

Lexmark の [消耗品タイプ] ではありません、『ユーザーガイド』を参照してください [33.xy]

メモ: 消耗品タイプは、トナーカートリッジまたはイメージングユニットなどです。

プリンタに他社製の消耗品または部品が取り付けられています。

お使いの Lexmark プリンタは、Lexmark の純正の消耗品および部品を使用して最適に動作するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。詳細については、[「Lexmark の純正部品と消耗品を使用する」、246 ページ](#) を参照してください。

すべての寿命インジケータは、純正の消耗品および部品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れあり: サードパーティ製の消耗品や部品の使用は、保証の対象に影響します。サードパーティ製の消耗品や部品の使用による損傷は、保証の対象外となる可能性があります。

これらのリスクをすべて許容し、純正でない消耗品や部品の使用を続行するには、プリンタの操作パネルの  と # ボタンを同時に 15 秒間押し続けます。

これらのリスクを許容しない場合は、サードパーティ製の消耗品や部品をプリンタから取り外し、Lexmark の純正の消耗品や部品を取り付けます。

メモ: サポートされている消耗品の一覧については、「消耗品の注文」セクションを参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

リソースのためのフラッシュメモリの空き領域が不足 [52]

以下の方法をいくつか試してください。

- メッセージを消去して印刷を続行するには、プリンタの操作パネルの [**続行**] に触れます。
- フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- さらに容量が大きいフラッシュメモ리카ードを取り付けます。

メモ: フラッシュメモリに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。

用紙変更が必要です

以下の方法をいくつか試してください。

- [現在の消耗品を使用]をタッチし、メッセージを消去して印刷を続行します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

パラレルポート [x]が無効です [56]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、メッセージを消去します。
- パラレルポートを有効にします。プリンタの操作パネルで、次の順序で選択します。
[ネットワーク/ポート] > [パラレル [x]] > [パラレルバッファ] > [自動]

メモ: プリンタがパラレルポートから受信したデータは破棄されます。

プリンタを再起動する必要があります。最後のジョブが完了していない可能性があります。

プリンタコントロールパネルから、[続行]にタッチしてメッセージを消し、印刷を続けてください。

詳細については、<http://support.lexmark.com> を参照していただくか、カスタマサポートにお問い合わせください。

トレイ [x]を再度取付ける

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの電源を切ってから、再度入れます。
- 指定された排紙トレイを再度取り付けます。
 - 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 指定された排紙トレイを取り外します。
 - 4 排紙トレイを再度取り付けます。
 - 5 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
 - 6 プリンタの電源を入れます。
- 指定された排紙トレイを取り外します。
 - 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 指定された排紙トレイを取り外します。
 - 4 カスタマサポート(<http://support.lexmark.com>)、またはサービス担当者にお問い合わせください。
- メッセージを消去し、指定された排紙トレイを使用せずに印刷を続けるには、プリンタ操作パネルの[続行]を押します。

排紙トレイ [x] ~ [y]を再度取り付けてください

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの電源を切ってから、再度入れます。
 - 指定された排紙トレイを再度取り付けます。
 - 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 指定された排紙トレイを取り外します。
 - 4 排紙トレイを再度取り付けます。
 - 5 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
 - 6 プリンタの電源を入れます。
 - 指定された排紙トレイを取り外します。
 - 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 指定された排紙トレイを取り外します。
 - 4 カスタマサポート(<http://support.lexmark.com>)、またはサービス担当者にお問い合わせください。
- プリンタ操作パネルで[続行]に押してメッセージを消去し、指定された排紙トレイを使用せずに印刷を継続します。

見つからないか応答しないカートリッジを取り付け直してください[31.xy]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- トナーカートリッジがなくなっていないかを確認します。なくなっている場合は、トナーカートリッジを取り付けます。
- トナーカートリッジが取り付けられている場合は、応答しないトナーカートリッジを取り外して取り付け直します。

メモ: カートリッジの再取り付け後にメッセージが表示された場合は、トナーカートリッジを交換します。そのカートリッジは不良であるか、Lexmark の純正以外の消耗品である可能性があります。詳細については、[「Lexmark の純正部品と消耗品を使用する」、246 ページ](#) を参照してください。

故障したハードディスクを取外してください[61]

故障したプリンタハードディスクを取り外して交換します。

[場所の名前]の梱包材を取り除いてください

指定された場所に残っている梱包材をすべて取り除きます。

全ての排紙トレイから印刷結果を取除いてください

全ての排紙トレイから用紙を取り除きます。プリンタは、用紙が取り除かれたことを自動的に検出し、印刷を再開します。

用紙を取り除いてもメッセージが消去されない場合は、[継続]に触れます。

排紙トレイ[x]から用紙を取り除いてください

指定された排紙トレイから用紙を取り除きます。プリンタは用紙が取り除かれたことを自動的に検出して印刷を再開します。

用紙を取り除いてもメッセージが消えない場合は、[続行]タッチします。

[リンクされたトレイ名]から用紙を取り除いてください

指定された排紙トレイから用紙を取り除きます。プリンタは用紙が取り除かれたことを自動的に検出して印刷を再開します。

用紙を取り除いてもメッセージが消えない場合は、[続行]タッチします。

標準排紙トレイから用紙を取り除いてください。

標準排紙トレイにたまった用紙を取り除きます。

ジョブを再開する場合は、すべての原稿をセットし直してください。

次の手順を 1 つ以上実行します。

- [ジョブをキャンセル]をタッチして、メッセージを消し、スキャンジョブをキャンセルします。
- [ADF からスキャン]をタッチし、最後に正常にスキャンされたページの直後に、ADF からすぐにスキャンを続行します。
- [原稿台からスキャン]をタッチし、最後に正常にスキャンされたページの直後に、原稿台からすぐにスキャンを続行します。
- [ジョブを仕上げる]をタッチし、最後に正常終了したスキャンジョブを終了します。
- [ジョブの再開]をタッチし、前のスキャンジョブと同じ設定で、スキャンジョブを再開します。

カートリッジを交換、推定残りページ 0 [88.xy]

メッセージを消去して印刷を続行するには、トナーカートリッジを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書、もしくは、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」を参照してください。

メモ: 交換用のカートリッジがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」を参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

カートリッジを交換、プリンタのリージョンの不一致 [42.xy]

プリンタのリージョン番号に一致するトナーカートリッジを取り付けます。「x」はプリンタのリージョン番号です。「y」はカートリッジのリージョン番号です。「x」と「y」の取り得る値は以下のとおりです。

プリンタおよびトナーカートリッジのリージョン

リージョン番号	リージョン
0	グローバル
1	米国、カナダ
2	欧州経済領域 (EEA)、スイス

リージョン番号	リージョン
3	アジア太平洋、オーストラリア、ニュージーランド
4	中南米
5	アフリカ、中東、その他の欧州諸国
9	使用できません

メモ:

- x および y の値は、プリンタ操作パネルに表示されるコードの **.xy** を表します。
- 印刷を続行するには、x および y の値が同じでなければなりません。

不良イメージングユニットをセットし直してください [31.xy]

メッセージを消去するには、不良イメージングユニットを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。

メモ: 交換用のイメージングユニットがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」セクションを参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

イメージユニットを交換、推定残りページ 0 [84.xy]

メッセージを消去して印刷を続行するには、イメージングユニットを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書、もしくは、『ユーザーズガイド』の「消耗品を交換する」を参照してください。

メモ: 交換用のイメージングユニットがない場合は、『ユーザーズガイド』の「消耗品を注文する」を参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

ジョブを再開する場合は、詰まっている原稿をセットし直してください。

次の手順を 1 つ以上実行します。

- **[ジョブをキャンセル]** をタッチして、メッセージを消し、スキャンジョブをキャンセルします。
- **[ADF からスキャン]** をタッチし、最後に正常にスキャンされたページの直後に、ADF からすぐにスキャンを続行します。
- **[原稿台からスキャン]** をタッチし、最後に正常にスキャンされたページの直後に、原稿台からすぐにスキャンを続行します。
- **[ジョブを仕上げる]** をタッチし、最後に正常終了したスキャンジョブを終了します。
- **[ジョブの再開]** をタッチし、前のスキャンジョブと同じ設定で、スキャンジョブを再開します。

ジョブを再開する場合は、最後にスキャンされたページと紙詰まりの原稿をセットし直してください。

次の手順を 1 つ以上実行します。

- **[ジョブをキャンセル]** をタッチして、メッセージを消し、スキャンジョブをキャンセルします。
- **[ADF からスキャン]** をタッチし、最後に正常にスキャンされたページの直後に、ADF からすぐにスキャンを続行します。

- [原稿台からスキャン]をタッチし、最後に正常にスキャンされたページの直後に、原稿台からすぐにスキャンを続行します。
- [ジョブを仕上げる]をタッチし、最後に正常終了したスキャンジョブを終了します。
- [ジョブの再開]をタッチし、前のスキャンジョブと同じ設定で、スキャンジョブを再開します。

メンテナンスキットを交換、標準寿命の超過 [80.xy]

プリンタはメンテナンスの予定があります。詳細については、<http://support.lexmark.com> を参照するか、サービス担当者にお問い合わせください。

メンテナンスキットを交換して印刷を再開してください [80.xy]

プリンタはメンテナンスの予定があります。詳細については、<http://support.lexmark.com> を参照するか、サービス担当者にお問い合わせください。

切れたカートリッジを交換する [31.xy]

新しいカートリッジを取り付け、メッセージを消去します。詳細については、「[トナーカートリッジの交換](#)」、249 ページを参照してください。

見つからないフューザを交換してください [80.xx]

- 1 不足しているフューザを取り付けます。詳細については、交換部品に付属の説明書を参照してください。
- 2 操作パネルで[消耗品交換]をタッチし、メッセージを消去します。

なくなっているイメージユニットを交換 < 31.xy >

なくなっているイメージユニットを取り付け直します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。

ローラーキットを交換してください [81.xx]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- ローラーキットを交換します。詳細については、パーツと同梱されている手順シートを参照してください。
- プリンタコントロールパネルから、[継続] を選択してメッセージを消し、印刷を続けてください。

セパレータパッドを交換

以下の方法をいくつか試してください。

- セパレータパッドを交換します。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。
- プリンタの操作パネルで[無視]をタッチし、メッセージを消去します。

サポートされていないカートリッジを交換してください[32.xy]

メッセージを消去して印刷を続行するには、トナーカートリッジを取り外してから、サポートされているトナーカートリッジを取り付けます。詳細については、同梱されている手順シートを参照してください。

このエラーは、大容量カートリッジなどの本機の使用対象ではない Lexmark 純正カートリッジを取り付けた場合にも、表示される場合があります。

以下のエラーコードは、Lexmark の純正以外のトナーカートリッジが取り付けられていることを示しています。

32.13
32.16
32.19
32.22
32.25
32.28
32.31
32.34
32.37

詳細については、[「Lexmark の純正部品と消耗品を使用する」、246 ページ](#) を参照してください。

メモ: 交換用のカートリッジがない場合は、「消耗品を注文する」セクションを参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

Replace unsupported imaging unit [32.xy] (サポートされていないイメージングユニットを交換してください[32.xy])

メッセージを消去して印刷を続行するには、イメージングユニットを取り外してから、サポートされているイメージングユニットを取り付けます。詳細については、消耗品に付属の説明書類を参照してください。

このエラーは、MICR ユニットなどの本機の使用対象ではない Lexmark 純正イメージングユニットを取り付けた場合にも、表示される場合があります。

以下のエラーコードは、Lexmark の純正以外のイメージングユニットが取り付けられていることを示しています。

32.14
32.17
32.20
32.23
32.26
32.29
32.32
32.35
32.38

詳細については、[「Lexmark の純正部品と消耗品を使用する」、246 ページ](#) を参照してください。

メモ: 交換用のイメージングユニットがない場合は、「消耗品を注文する」セクションを参照するか、www.lexmark.com にアクセスしてください。

ワイパの交換

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタのフューザワイパを交換します。
- メッセージを消去して印刷を続行するには、[続行]を押します。

保持されたジョブを復元

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[復元]をタッチし、プリンタのハードディスクに保持されているジョブをすべて復元します。
- 印刷ジョブをまったく復元しない場合は、プリンタの操作パネルで[復元しない]をタッチします。

文書のスキャンが長すぎます

スキャンジョブがページ最大数を超えています。[ジョブをキャンセル]をタッチして、メッセージを消し、スキャンジョブをキャンセルします。

スキャナの ADF のカバーが開いています

ADF カバーを閉じます。

管理者によってスキャナが無効にされています [840.01]

スキャナを使用せずに印刷するか、システムサポート担当者までお問い合わせください。

スキャナが無効です問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。 [840.02]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- [スキャナを無効にして継続]をタッチし、ホーム画面に戻り、システムサポート担当者に連絡します。
- [スキャナを再起動して自動的に有効化]をタッチし、ジョブをキャンセルします。

メモ: これにより、スキャナが有効になります。

スキャナの紙詰まり - アクセスカバーが開いています

プリンタの下部 ADF アクセスカバーを閉じて、メッセージを消去します。

スキャナが紙詰まりです。自動フィーダのトップカバーを開いて閉じてください [2yy.xx]

詰まっている用紙を ADF カバーから取り除きます。

スキャナ紙詰まり、原稿をすべてスキャナから取り除いてください [2yy.xx]

スキャナから詰まっている用紙を取り除きます。

スキャナ紙詰まり、原稿をスキャナから取り除いてください [2yy.xx]

スキャナから詰まっている用紙を取り除きます。

まもなくスキャナのメンテナンスが必要、ADF キットを使用 [80]

カスタマサポートに問い合わせ、メッセージを報告してください。プリンタの定期保守の時期です。

シリアルポート [x]が無効です [56]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、メッセージを消去します。
指定したシリアルポートからプリンタが受信したデータは破棄されます。
- [シリアルバッファ]が[無効]に設定されていないことを確認します。
- プリンタの操作パネルの[シリアル [x]]メニューで、[シリアルバッファ]を[自動]に設定します。

SMTP サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。

プリンタコントロールパネルから[継続]をタッチし、メッセージを消去します。

メモ: メッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

保持されたジョブが幾つか復元されません

プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、表示されたジョブを削除します。

メモ: 復元されなかった保持されたジョブはプリンタのハードディスクに残りますが、アクセスできなくなります。

標準ネットワークソフトウェアエラー [54]

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタコントロールパネルから、[継続]をクリックし、印刷を続行します。
- プリンタの電源を切り、再度電源を入れます。
- プリンタまたはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。詳細については、Lexmark サポート Web サイト(<http://support.lexmark.com>)にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。その際、メッセージを報告してください。

標準 USB ポートが無効です [56]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、メッセージを消去します。
- USB ポートを有効にします。プリンタの操作パネルで、次の順序で選択します。
[ネットワーク/ポート] > [USB バッファ] > [自動]

メモ: プリンタが USB ポートから受信したデータは破棄されます。

ジョブを完了するには消耗品が必要です

以下のいずれかを実行します。

- 不足している消耗品を取り付けてジョブを完了します。
- 現在のジョブをキャンセルします。

デバイスは現在セーフモードで動作しています。一部の印刷オプションは無効となっているか予期せぬ結果になる場合があります。

[続行]をタッチして、メッセージを消去します。

取付けられた排紙トレイが多過ぎます [58]

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 余分な排紙トレイを取り外します。
- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

取付けられたディスクが多過ぎます [58]

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 プリンタの余分なハードディスクを取り外します。
- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

取付けられたフラッシュオプションが多過ぎます [58]

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 不要なフラッシュメモリを取り外します。
- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

取付けられたトレイが多過ぎます [58]

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 不要なトレイを取り外します。

- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

トレイ[x]の用紙のサイズはサポートされていません

サポートされている用紙サイズに交換してください。

フラッシュメモリが初期化されていません [53]

以下の方法をいくつか試してください。

- プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、デフラグを停止して印刷を続けます。
- フラッシュメモリをフォーマットします。

メモ: エラーメッセージがまだ表示される場合は、フラッシュメモリが不良の可能性があるので交換する必要があります。

サポートされていないディスク

サポートされていないプリンタハードディスクを取り外し、サポートされているプリンタハードディスクを挿入します。

スロット[x] に非サポートのオプション [55]

- 1 プリンタの電源をオフにします。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 プリンタのコントローラボードから、サポートされていないオプションのカードを取り外し、サポートされているカードと交換します。
- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 もう一度プリンタの電源を入れます。

USB ポート [x]が無効です [56]

プリンタの操作パネルで[続行]をタッチし、メッセージを消去します。

メモ:

- プリンタが USB ポートから受信したデータは破棄されます。
- [USB バッファ]メニュー項目が[無効]に設定されていないことを確認します。

Weblink サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。

プリンタコントロールパネルから[続行]をタッチし、メッセージを消去します。

メモ: メッセージが再度表示される場合は、システムサポート担当者に連絡してください。

プリンタの問題を解決する

- 「基本的なプリンタの問題」、307 ページ
- 「ハードウェアと内部オプションの問題」、309 ページ
- 「給紙の問題」、312 ページ

基本的なプリンタの問題

プリンタが応答していない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源が入っていることを確認します。 プリンタの電源は入っていますか？	手順 2 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 2 プリンタがスリープモードまたはハイバネートモードになっていないか確認します。 プリンタがスリープモードまたはハイバネートモードになっていませんか？	スリープボタンを押して、プリンタをスリープモードまたはハイバネートモードから復帰します。	手順 3 に進みます。
手順 3 電源コードの一方がプリンタに接続されており、もう一方が正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続されていることを確認します。 電源コードはプリンタおよび正しくアースしたコンセントに接続されていますか？	手順 4 に進みます。	電源コードの一方をプリンタに、もう一方を正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続します。
手順 4 コンセントに接続されている他の電気製品を確認します。 他の電気製品は動作していますか？	他の電気製品をコンセントから抜き、プリンタの電源をオンにします。プリンタが動作しない場合は、他の電気製品をコンセントに接続しなおします。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタとコンピュータをつないでいるケーブルが正しいポートに接続されていることを確認します。 ケーブルは正しいポートに差し込まれていますか？	手順 6 に進みます。	以下が一致するようにしてください。 • ケーブルの USB マークとプリンタの USB マーク • Ethernet ポートとそれに対応するイーサネットケーブル
手順 6 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていませんか？	スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。	手順 7 に進みます。

対処方法	はい	いいえ
手順 7 プリンタがサージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていないかどうか確認します。 プリンタがサージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていませんか？	プリンタの電源コードを正しく接地されたコンセントに直接接続します。	手順 8 に進みます。
手順 8 プリンタケーブルの一方がプリンタのポートに、もう一方がコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスに接続されていることを確認します。 プリンタケーブルはプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていますか？	手順 9 に進みます。	プリンタケーブルをプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続します。
手順 9 すべてのハードウェアオプションが正しくインストールされ、梱包材がすべて取り除かれていることを確認してください。 すべてのハードウェアオプションが正しくインストールされ、梱包材がすべて取り除かれていますか？	手順 10 に進みます。	プリンタの電源をオフにし、すべての梱包材を取り除いてハードウェアオプションを再度インストールしてから、プリンタの電源を入れます。
手順 10 プリンタドライバで正しいポート設定が選択されていることを確認します。 ポート設定は間違っていないですか？	手順 11 に進みます。	正しいプリンタドライバ設定を使用します。
手順 11 インストールされているプリンタドライバを確認します。 正しいプリンタドライバがインストールされていますか？	手順 12 に進みます。	正しいプリンタドライバをインストールします。
手順 12 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタは動作していますか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

プリンタディスプレイに何も表示されない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタ操作パネルの[スリープ]ボタンを押します。 プリンタディスプレイに[準備完了]と表示されていますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタディスプレイに[お待ちください]と[準備完了]が表示されていますか？	問題は解決しました。	プリンタの電源を切り、以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

ハードウェアと内部オプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 内蔵オプションがコントローラボードに正しく取り付けられていることを確認します。 a 電源スイッチでプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。 b 内蔵オプションがコントローラボードの適切なコネクタに取り付けられていることを確認します。 c 電源コードをプリンタに接続し、正しくアースしたコンセントに接続してから、プリンタの電源をオンにします。 内蔵オプションはコントローラボードに正しく取り付けられていますか？	手順 3 に進みます。	内蔵オプションをコントローラボードに取り付けます。
手順 3 メニュー設定ページを印刷して、内蔵オプションが機能一覧に含まれているか確認します。 内蔵オプションはメニュー設定ページに記載されていますか？	手順 4 に進みます。	内蔵オプションを取り付けなおします。
手順 4 a 内蔵オプションが選択されているかどうかチェックします。 印刷ジョブを有効にするために、プリンタドライバで内蔵オプションを手動で追加することが必要になる場合があります。(⇒「 プリントドライバの使用可能なオプションを追加する 」、50 ページ) b 印刷ジョブを再送信します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

内蔵プリント サーバーが正しく動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 内蔵プリント サーバーを再インストールします。 a 内蔵プリント サーバーを削除してから、インストールします。詳細については、「 内蔵ソリューションポートを取り付ける 」、33 ページを参照してください。 b メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに内蔵プリント サーバーがあるかどうかを確認します。 [インストール済みの機能]リストに内蔵プリント サーバーが表示されますか。	手順 2 に進みます。	内蔵プリントサーバーがプリンタでサポートされているかどうかを確認します。 メモ: 別のプリンタの内蔵プリント サーバーはこのプリンタで動作しない可能性があります。

対応	はい	いいえ
手順 2 ケーブルと内蔵プリント サーバーの接続を確認します。 正しいケーブルを使用し、内蔵プリント サーバーにしっかりと接続しているかどうかを確認します。 内蔵プリント サーバーは正しく動作しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

内部ソリューションポートが正しく動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 内部ソリューションポート (ISP) が取り付けられていることを確認します。 a ISP を取り付けます。詳細については、 「内蔵ソリューションポートを取り付ける」 、33 ページ を参照してください。 b メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能] リストに ISP があるかどうかを確認します。 [インストール済みの機能] リストに ISP が表示されますか。	手順 2 に進みます。	ISP がサポートされているかどうかを確認します。 メモ: 別のプリンタの ISP はこのプリンタで動作しない可能性があります。
手順 2 ケーブルと ISP の接続を確認します。 a 正しいケーブルを使用し、ISP にしっかりと接続していることを確認します。 b ISP ソリューションインターフェイスケーブルが、コントローラボードのレセプタクルにしっかりと接続しているかどうかを確認します。 メモ: ISP ソリューションインターフェイスケーブルとコントローラボードのレセプタクルは色分け表示されています。 内部ソリューションポートは正しく動作しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

トレイの問題

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを引き出し、次の 1 つ以上の手順を実行します。 - 紙詰まりまたは給紙エラーを確認する。 - 用紙ガイドの用紙サイズインジケータが、トレイの用紙サイズインジケータと合っているかどうかを確認します。 - カスタムサイズ of 用紙に印刷する場合は、用紙ガイドが用紙の端に触れていることを確認する。 - 用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにする。 - 用紙がトレイに平らにセットされていることを確認する b トレイが正しく閉じているかどうか確認する。 トレイは動作していますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 b 印刷ジョブを再送信します。 トレイは動作していますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 トレイが取り付けられ、プリンタによって認識されているかどうかを確認します。 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストにトレイがあるかどうかを確認する。 トレイはメニュー設定ページに表示されますか。	手順 4 に進みます。	トレイを再取り付けします。詳細については、同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。
手順 4 プリントドライバでトレイが使用可能かどうかを確認します。 メモ: 必要に応じて、プリントドライバでトレイを手動で追加し、印刷ジョブでできるようにします。詳細については、「 プリントドライバの使用可能なオプションを追加する 」、50 ページ を参照してください。 プリントドライバでトレイが使用可能ですか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

USB/パラレルインターフェイスカードが正しく動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 USB またはパラレルインターフェイスカードが取り付けられていることを確認します。 a USB またはパラレルインターフェイスカードを取り付けます。詳細については、「 内蔵ソリューションポートを取り付ける 」、33 ページ を参照してください。 b メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに USB またはパラレルインターフェイスカードがあるかどうかを確認します。 USB またはパラレルインターフェイスカードは[インストール済みの機能]リストに表示されますか。	手順 2 に進みます。	USB またはパラレルインターフェイスカードがサポートされているかどうかを確認します。 メモ: 別のプリンタの USB またはパラレルインターフェイスカードはこのプリンタで動作しない可能性があります。
手順 2 ケーブルと USB またはパラレルインターフェイスカードの接続を確認します。 正しいケーブルを使用し、USB またはパラレルインターフェイスカードにしっかりと接続していることを確認します。 USB またはパラレルインターフェイスカードは正しく動作しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

給紙の問題

紙詰まりが発生したページが再印刷されない

対応	はい	いいえ
[紙詰まり回復]をオンにします。 a ホーム画面から、次のメニューを選択します。  > [設定] >> [一般設定] > [印刷回復] b [紙詰まり回復]メニューから、矢印をタッチし、[オン]または[自動]にスクロールします。 c [送信]をタッチします。 紙詰まり後にページが再印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

紙づまりが頻繁に発生する

対処方法	はい	いいえ
手順 1 a トレイを引き出し、以下のうち 1 つ以上を実行します。 - 用紙はトレイに平らに置きます。 - 用紙ガイドの用紙サイズインジケータとトレイの用紙サイズインジケータの位置が合っているかどうか確認します。 - 用紙ガイドが用紙の両端に揃っているかどうかを確認します。 - 用紙が給紙上限マークを超えないようにします。 - 推奨の用紙サイズと種類に印刷しているかどうかを確認します。 b トレイを適切にセットします。 紙づまりリカバリが有効な場合、印刷ジョブは自動的に再印刷されます。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a 紙づまりを防止するヒントを参照します。(⇒ 「紙づまりを防止する」、262 ページ) b 推奨事項を試してから、印刷ジョブを再送信します。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

紙詰まりを取り除いても紙詰まりのメッセージが消えない

対応	はい	いいえ
詰まった用紙の用紙経路全体を確認します。 a 詰まっている用紙を取り除きます。 b プリンタコントロールパネルから[続行]をタッチし、メッセージを消去します。 紙詰まりメッセージが消えましたか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

プリンタの問題を解決する

印刷の問題

コンフィデンシャル原稿およびその他の保持された原稿が印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 操作パネルから、保留中のジョブのリストに原稿が表示されるかを確認します。 メモ: 原稿が一覧表示されない場合、[印刷して保持]オプションを使用して原稿を印刷します。 b 原稿を印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 印刷ジョブに、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている可能性があります。 - 印刷ジョブを削除し、もう一度送信します。 - PDF ファイルの場合、新しいファイルを生成してから、原稿を印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 インターネットから印刷する場合、プリンタは重複している複数のジョブタイトルを読み取る可能性があります。 Windows の場合 a [印刷設定]ダイアログを開きます。 b [印刷と保持]セクションで、[重複ドキュメントを維持]を選択します。 c PIN を入力します。 d 印刷ジョブを再送信します。 Macintosh の場合 a ジョブは保存され、ジョブごとに違う名前が付けられます。 b ジョブを個別に送信します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a 一部の保持ジョブを削除して、プリンタメモリの空き容量を増やします。 b 印刷ジョブを再送信します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 a プリンタメモリを増設します。 b 印刷ジョブを再送信します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	テクニカルサポートに カスタマサポート など、プリンタの状況を示します。

印刷時に封筒の封が閉じられる

対応	はい	いいえ
a 乾燥した場所で保管されている封筒を使用します。 メモ: 含水率の高い封筒に印刷すると、封の部分が閉じられる可能性があります。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷時に封筒の封が閉じられますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

フラッシュドライブの読み取りエラーが表示される

対応	はい	いいえ
手順 1 フラッシュドライブが正面の USB ポートに挿入されているかどうかを確認します。 メモ: 背面の USB ポートに挿入されている場合、フラッシュドライブは動作しません。 フラッシュドライブが正面の USB ポートに挿入されていますか。	手順 2 に進みます。	フラッシュドライブを正面の USB ポートに挿入します。
手順 2 プリンタコントロールパネルのインジケータランプが緑色で点滅しているかどうかを確認します。 メモ: 緑色の点滅はプリンタがビジー状態であることを示します。 インジケータランプが緑色で点滅していますか。	プリンタがレディになるまで待機してから、保留ジョブリストを表示し、文書を印刷します。	手順 3 に進みます。
手順 3 a ディスプレイにエラーメッセージが表示されているかどうかを確認します。 b メッセージを消してください。 エラーメッセージはまだ表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 フラッシュドライブがサポートされているかどうかを確認します。 テストおよび承認済み USB フラッシュドライブの詳細については、「サポートされているフラッシュドライブとファイルタイプ」、95 ページを参照してください。 エラーメッセージはまだ表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 システムサポート担当者が USB ポートを無効にしているかどうかを確認します。 エラーメッセージはまだ表示されますか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

不適切な文字が印刷される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタが[16 進数トレース(HEX trace)]モードでないことを確認します。 メモ: プリンタディスプレイに[HEX trace 準備完了]と表示されている場合、プリンタの電源を切ってから再び入れて、16 進数トレースモードを無効にします。 プリンタが 16 進数トレースモードになっていますか？	16 進数トレースモードを無効にします。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの操作パネルで、[標準ネットワーク]または[ネットワーク [x]]を選択し、[SmartSwitch]をオンにします。 b 印刷ジョブを再送信します。 不適切な文字が印刷されますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

違うトレイからまたは違う用紙に印刷される

対処方法	はい	いいえ
手順 1 a トレイでサポートされている用紙に印刷していることを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙のサイズと種類を設定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログを開き、用紙の種類を指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a トレイがリンクされていないことを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが正しいトレイまたは正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

大きなジョブで部単位印刷(丁合)ができない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 a プリンタ操作パネルの[仕上げ]メニューで、[丁合印刷]を「(1,2,3) (1,2,3)」に設定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 正しい部単位で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタソフトウェアで、[丁合印刷]を「(1,2,3) (1,2,3)」に設定します。 メモ: ソフトウェアで[丁合印刷]を「(1,1,1) (2,2,2)」に設定すると、[仕上げ]メニューの設定が変更されます。 b 印刷ジョブを再送信します。 正しい部単位で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 フォントの数とサイズ、イメージの数と複雑性、ジョブのページ数を減らして、印刷ジョブを簡素化します。 正しい部単位で印刷されましたか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

多言語 PDF ファイルが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a PDF 出力の印刷オプションがすべてのフォントを組み込むように設定されているかどうかを確認します。 詳細については、Adobe Acrobat に同梱されているマニュアルを参照してください。 b 新しい PDF ファイルを作成してから、印刷ジョブを再送信します。 ファイルは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a Adobe Acrobat で印刷する文書を開きます。 b [ファイル] > [印刷] > [詳細設定] > [イメージとして印刷] > [OK] > [OK]をクリックします。 ファイルは印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート までお問い合わせください。

印刷速度が低下する

メモ:

- 狭い用紙を使用して印刷すると、フューザーの損傷を防止するために、低速で印刷します。
- 長時間印刷したり、高温で印刷したりすると、印刷速度が低下する場合があります。

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイに設定された用紙のサイズがフューザータイプと一致することを確認します。 メモ: レターサイズ of 用紙では 110 ポルトフューザー、A4 サイズ of 用紙では 220 ポルトフューザーを使用します。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷速度は上がりましたか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a フューザーを交換します。フューザーの取り付けの詳細については、パーツと同梱されている手順シートを参照してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷速度は上がりましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

印刷ジョブが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 印刷しようとするドキュメントから、[印刷]ダイアログを開き、正しいプリンタを選択しているかどうかを確認します。 メモ: プリンタがデフォルトプリンタではない場合、印刷するドキュメントごとにプリンタを選択する必要があります。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタが接続され、電源が入っているかどうか、 準備完了 がプリンタディスプレイに表示されているかどうかを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 エラーメッセージがプリンタディスプレイに表示される場合は、メッセージを消去します。 メモ: メッセージの消去後、プリンタは印刷を続行します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 4 a ポート(USB、シリアル、イーサネット)が動作しているかどうか、ケーブルがしっかりとコンピュータとプリンタに接続しているかどうかを確認します。 メモ: 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 a プリンタソフトウェアを削除して、再インストールします。詳細については、「 プリンタソフトウェアをインストールする 」、50 ページ を参照してください。 メモ: プリンタソフトウェアは、 http://support.lexmark.com からダウンロードできます。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート までお問い合わせください。

想定しているよりも印刷ジョブに時間がかかる

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの環境設定を変更します。 a プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [一般設定] b [エコモード]または[静音モード]を選択し、[オフ]を選択します。 メモ: エコモードまたは静音モードを無効にすると、電力または消耗品、あるいはその両方の消費が多くなる場合があります。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 ジョブ中のフォントの数とサイズ、イメージの数と複雑さ、およびページ数を減らし、印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 a プリンタメモリに保存された保留ジョブを削除します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a [ページ保護]機能を無効にします。 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [一般設定] > [印刷回復] > [ページ保護] > [オフ] b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 a プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認します。詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 追加のプリンタメモリを取り付け、印刷ジョブを再送信します。 ジョブは印刷されましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

トレイのリンクが動作しない

メモ:

- トレイは用紙の長さを検出できます。
- 多目的フィーダーは用紙サイズを自動的に検出しません。[用紙サイズ/タイプ]メニューから、サイズを設定する必要があります。

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを開いてから、同じサイズとタイプの用紙がセットされているかどうかを確認します。 • 各トレイにセットされた用紙のサイズに合った正しい位置に用紙ガイドがあるかどうかを確認します。 • 用紙ガイドの用紙サイズインジケータが、トレイの用紙サイズインジケータと合っているかどうかを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

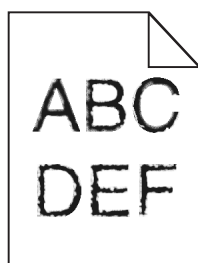
対応	はい	いいえ
手順 2 a プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙サイズとタイプを設定し、リンクするトレイにセットされた用紙に一致させます。 メモ: 用紙サイズとタイプは、リンクされるトレイと一致していなければなりません。 b 印刷ジョブを再送信します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

予期しない改ページが発生する

対応	はい	いいえ
[印刷タイムアウト]の値を大きくする a ホーム画面から、次のメニューを選択します。  > [設定] > [一般設定] > [時間切れ] b [印刷タイムアウト]設定を大きくし、[送信]をタッチします。 c 印刷ジョブを再送信します。 ファイルは正しく印刷されますか。	問題は解決しました。	原稿ファイルの手動改ページを確認します。

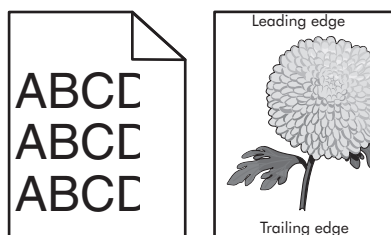
印刷品質の問題

文字がぎざぎざになっている、または縁が不ぞろいである



対応	はい	いいえ
手順 1 a フォントサンプルリストを印刷し、使用しているフォントがプリンタでサポートされているかどうかを確認します。 1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。  > [レポート] > [フォント一覧を印刷] 2 [PCL フォント]または[PostScript フォント]をタッチします。 b プリンタでサポートされているフォントを使用するか、使用するフォントをインストールします。詳細については、システムサポート担当者にお問い合わせください。 c 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷文字のがざざざになっているか、縁が不ぞろいですか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタでサポートされているフォントを使用するか、使用するフォントをコンピュータにインストールします。詳細については、システムサポート担当者にお問い合わせください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷文字のがざざざになっているか、縁が不ぞろいですか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

ページまたはイメージがクリッピングされる



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a セットした用紙に合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページまたはイメージがクリッピングされますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 2 プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙のサイズと種類を設定します。 用紙のサイズと種類がトレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 3 に進みます。	以下の方法をいくつか実行してください。 • トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙サイズを指定します。 • トレイの設定で指定した用紙サイズと一致するように、トレイにセットされている用紙を変更します。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙のサイズを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページまたはイメージがクリッピングされますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a イメージングユニットを再び取り付けます。 1 トナーカートリッジを取り外します。 2 イメージングユニットを交換します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 3 イメージングユニットを取り付けてから、カートリッジを取り付けます。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページまたはイメージがクリッピングされますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

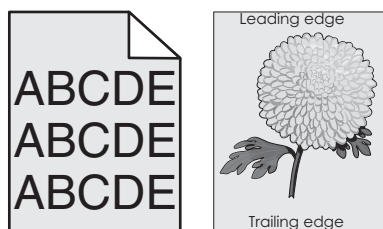
印刷に圧縮された画像が表示される

メモ: 220 ボルトフューザーを使用してレターサイズの手紙を印刷すると、画像が圧縮されます。

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイに設定された用紙のサイズがフューザータイプと一致することを確認します。 メモ: レターサイズの手紙では 110 ボルトフューザー、A4 サイズの手紙では 220 ボルトフューザーを使用します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ画像が圧縮されますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

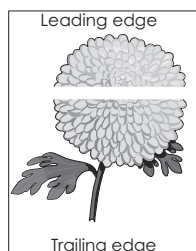
対応	はい	いいえ
手順 2 a フューザーを交換します。フューザーの取り付けの詳細については、パーツと同梱されている手順シートを参照してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ画像が圧縮されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

ページの背景が薄いグレーになる



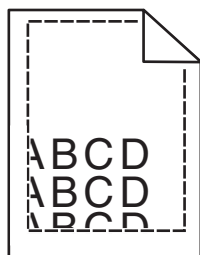
対処方法	はい	いいえ
手順 1 a プリンタ操作パネルの[印刷品質メニュー]で、トナーの濃度を下げます。 メモ: 出荷時標準設定は[8]です。 b 印刷ジョブを再送信します。 グレーの背景が印刷されなくなりましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 イメージングユニットを再度取り付けてから、トナーカートリッジを取り付けます。 a トナーカートリッジを取り外します。 b イメージングユニットを交換します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 c イメージングユニットを取り付けてから、カートリッジを取り付けます。 d 印刷ジョブを再送信します。 グレーの背景が印刷されなくなりましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 グレーの背景が印刷されなくなりましたか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

印刷に横方向の空白が現れる



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a お使いのソフトウェアが正しい塗りのパターンを使用していることを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷に横方向の空白が現れますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 指定したトレイまたはフィーダーに、推奨される種類の用紙をセットします。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷に横方向の空白が現れますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。 1 トナーカートリッジユニットを取り外してから、イメージングユニットを取り外します。 2 イメージングユニットをしっかりと振ります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 3 イメージングユニットを再度取り付けてから、カートリッジを取り付けます。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷に横方向の空白が現れますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷に横方向の空白が現れますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .	問題は解決しました。

印刷の余白が正しくない



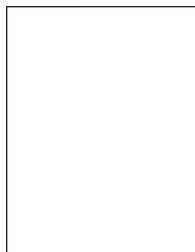
対処方法	はい	いいえ
手順 1 a セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 b 印刷ジョブを再送信します。 余白は正常ですか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙サイズを設定します。 用紙のサイズはトレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 3 に進みます。	以下の方法をいくつか実行してください。 • トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙サイズを指定します。 • トレイの設定で指定した用紙サイズと一致するように、トレイにセットされている用紙を変更します。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙のサイズを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 余白は正常ですか？	問題は解決しました。	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。

用紙が丸くなる

対処方法	はい	いいえ
手順 1 セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 幅ガイドと長さガイドは正しい位置にありますか？	手順 2 に進みます。	幅ガイドと長さガイドを調節します。
手順 2 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類と重さを設定します。 用紙の種類と重さがトレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 3 に進みます。	トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙の種類と重さを指定します。

対処方法	はい	いいえ
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙の種類と重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a トレイから用紙を取り除き、裏返します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

何も印刷されない



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a イメージングユニットに梱包材が残っていないことを確認します。 1 トナーカートリッジユニットを取り外してから、イメージングユニットを取り外します。 2 イメージングユニットから梱包材が適切に取り外されたことを確認します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 3 イメージングユニットを再度取り付けてから、カートリッジを取り付けます。 b 印刷ジョブを再送信します。 何も印刷されないままですか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

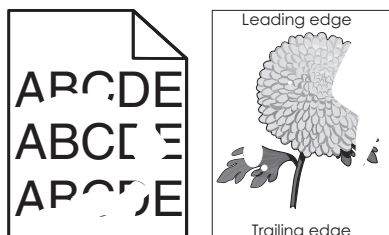
対処方法	はい	いいえ
手順 2 a イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。 1 トナーカートリッジユニットを取り外してから、イメージングユニットを取り外します。 2 イメージングユニットをしっかりと振ります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 3 イメージングユニットを再度取り付けてから、カートリッジを取り付けます。 b 印刷ジョブを再送信します。 何も印刷されないままですか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 何も印刷されないままですか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .	問題は解決しました。

ページが黒く印刷される



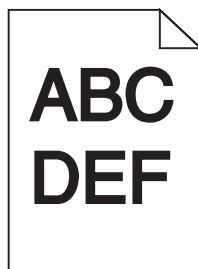
対処方法	はい	いいえ
手順 1 a イメージユニットを再び取り付けます。 1 トナーカートリッジユニットを取り外してから、イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 2 イメージングユニットを取り付けてから、カートリッジを取り付けます。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページが黒く印刷されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 ページが黒く印刷されますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .	問題は解決しました。

印刷の抜け



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a トレイにセットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷の抜けが発生しますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙のサイズと種類を設定します。 プリンタの設定は、トレイにセットされている用紙のサイズと種類に一致していますか？	手順 3 に進みます。	トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙のサイズと種類を指定します。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙の種類と重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷の抜けが発生しますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 トレイにセットした用紙の表面に粗さがあるかどうかを確認します。 表面に粗さがある用紙に印刷していますか？	プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙表面粗さを設定します。	手順 5 に進みます。
手順 5 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷の抜けが発生しますか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷の抜けが発生しますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート http://support.lexmark.com またはサービス担当者	問題は解決しました。

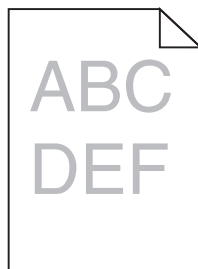
印刷が濃すぎる



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a プリンタ操作パネルの[印刷品質メニュー]で、トナーの濃度を下げます。 メモ: 出荷時標準設定は[8]です。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃すぎますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類、粗さ、重さを設定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 セットされている用紙の種類、粗さ、重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 に進みます。	以下の方法をいくつか実行してください。 • トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙の種類、粗さ、重さを指定します。 • トレイの設定で指定した用紙の種類、粗さ、重さに一致するように、トレイにセットされている用紙を変更します。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙の種類、粗さ、重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃すぎますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 トレイにセットした用紙の表面に粗さがあるかどうかを確認します。 表面に粗さがある用紙に印刷していますか？	プリンタ操作パネルの[用紙表面粗さ]メニューで、印刷する用紙と一致するように粗さの設定を変更します。	手順 5 に進みます。
手順 5 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃すぎますか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 6 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃すぎますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .	問題は解決しました。

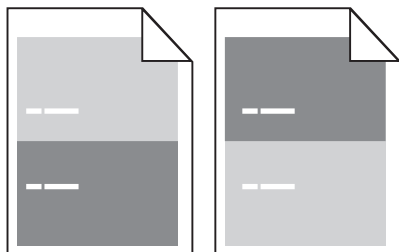
印刷が薄すぎる



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a プリンタ操作パネルの[印刷品質メニュー]で、トナーの濃度を上げます。 メモ: 出荷時標準設定は[8]です。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄すぎますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類、粗さ、重さを設定します。 セットされている用紙の種類、粗さ、重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 に進みます。	トレイにセットされている用紙と一致するように、用紙の種類、粗さ、重さを変更します。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙の種類、粗さ、重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄すぎますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 表面に粗さがある用紙を使用していないことを確認します。 表面に粗さがある用紙に印刷していますか？	プリンタ操作パネルの[用紙表面粗さ]メニューで、印刷する用紙と一致するように粗さの設定を変更します。	手順 5 に進みます。
手順 5 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄すぎますか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。

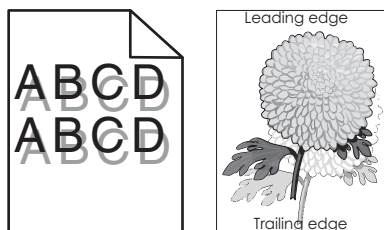
対処方法	はい	いいえ
手順 6 a イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。 1 トナーカートリッジユニットを取り外してから、イメージングユニットを取り外します。 2 イメージングユニットをしっかりと振ります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 3 イメージングユニットを取り付けてから、カートリッジを取り付けます。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄すぎますか？	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄すぎますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

ページで異常を繰り返す



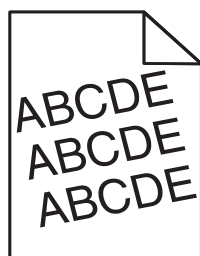
対応	はい	いいえ
手順 1 a 異常の間隔が次の値のいずれかと等しい場合は、イメージングユニットを交換します。 • 47.8 mm (1.88 インチ) • 96.8 mm (3.81 インチ) • 28.5 mm (1.12 インチ) b 印刷ジョブを再送信します。 異常の繰り返しはまだ印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 異常の間隔が次の値のいずれかと等しい場合は、フューザーを交換します。 • 94.25 mm (3.71 インチ) • 95.2 mm (3.75 インチ) b 印刷ジョブを再送信します。 異常の繰り返しはまだ印刷に表示されますか。	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

ページに影が現れる



対処方法	はい	いいえ
手順 1 正しい種類と重さの用紙をトレイにセットします。 正しい種類と重さの用紙がトレイにセットされていますか？	手順 2 に進みます。	正しい種類と重さの用紙をトレイにセットします。
手順 2 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類と重さを設定します。 セットされている用紙の種類と重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 に進みます。	トレイの設定で指定した用紙の種類と重さに一致するように、トレイにセットされている用紙を変更します。
手順 3 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙の種類と重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだページに影が現れますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだページに影が現れますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

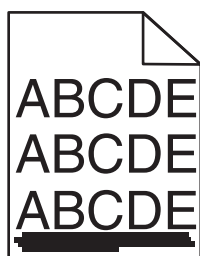
印刷が傾く



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、トレイの幅ガイドと長さガイドを移動します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が傾いていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 2 a トレイでサポートされている用紙に印刷していることを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が傾いていますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .	問題は解決しました。

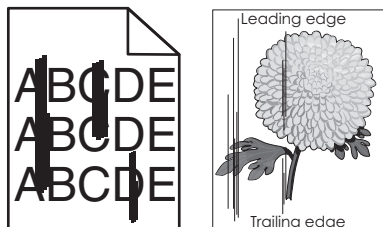
ページに横線が現れる



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログでトレイまたはフィーダーを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページに横線が現れますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類と重さを設定します。 用紙の種類と重さがトレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 3 に進みます。	トレイにセットされている用紙と一致するように、用紙の種類と重さを変更します。
手順 3 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページに横線が現れますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a イメージングユニットを再び取り付けます。 1 トナーカートリッジユニットを取り外してから、イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 2 イメージングユニットを取り付けてから、カートリッジを取り付けます。 b 印刷ジョブを再送信します。 ページに横線が現れますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。

対処方法	はい	いいえ
手順 5 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 ページに横線が現れますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート .	問題は解決しました。

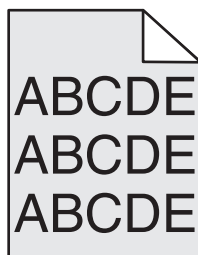
ページに縦線が現れる



対処方法	はい	いいえ
手順 1 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙の種類、粗さ、重さを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷に縦線が現れますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 プリンタの操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の表面粗さ、種類、重さを設定します。 用紙の表面粗さ、種類、重さはトレイにセットされている用紙と一致していますか？	手順 3 に進みます。	以下の方法をいくつか実行してください。 • トレイにセットされている用紙と一致するように、トレイの設定で用紙の表面粗さ、種類、重さを指定します。 • トレイの設定で指定した用紙の表面粗さ、種類、重さに一致するように、トレイにセットされている用紙を変更します。
手順 3 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷に縦線が現れますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

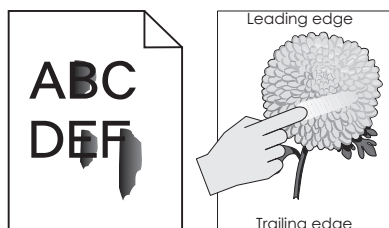
対処方法	はい	いいえ
手順 4 a イメージングユニットを再び取り付けます。 1 トナーカートリッジユニットを取り外してから、イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 2 イメージングユニットを取り付けてから、カートリッジを取り付けます。 b 印刷ジョブを再送信します。 印刷に縦線が現れますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷に縦線が現れますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート (http://support.lexmark.com) またはサービス担当者	問題は解決しました。

トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示される



対応	はい	いいえ
手順 1 a イメージングユニットを取り付け直します。 1 トナーカートリッジ、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 2 イメージングユニット、トナーカートリッジの順に再取り付けします。 b 印刷ジョブを再送信します。 トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示されなくなりましたか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示されなくなりましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

トナーが摩擦ではがれ落ちる



対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタコントロールパネルの[用紙]メニューから、用紙タイプ、粗さ、および重量を確認します。 用紙タイプ、粗さ、および重量がトレイにセットされた用紙と一致していますか。	手順 2 に進みます。	トレイ設定の用紙タイプ、粗さ、および重量がトレイにセットされた用紙と一致するように指定します。
手順 2 印刷ジョブを再送信します。 トナーはまだ摩擦ではがれ落ちますか。	カスタマサポートまで お問い合わせください 。	問題は解決しました。

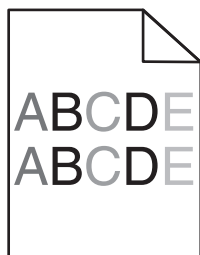
印刷にトナーのしみが現れる

対処方法	はい	いいえ
イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷にトナーのしみが現れますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

OHP 用紙への印刷品質が悪い

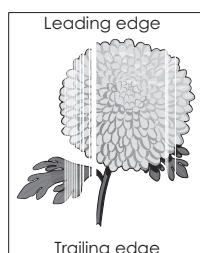
対処方法	はい	いいえ
手順 1 プリンタ操作パネルの[用紙メニュー]で、トレイにセットした用紙に応じた用紙の種類を設定します。 トレイの用紙の種類が[OHP 用紙]に設定されていますか？	手順 2 に進みます。	用紙の種類を[OHP 用紙]に設定します。
手順 2 a 推奨される種類の OHP 用紙を使用しているかどうかを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷品質に問題がありますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

印刷濃度が一定でない



対処方法	はい	いいえ
イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷濃度が一定ではありませんか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート。	問題は解決しました。

縦の線が印刷に表示される



対応	はい	いいえ
手順 1 a プログラムが正しいファイルパターンを使用していることを確認します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタコントロールパネルから、[用紙メニュー]で用紙タイプと重さを設定し、トレイにセットされた用紙に一致させます。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 推奨された用紙を使用しているかどうかを確認します。 a 指定したトレイまたはフィーダーに推奨された用紙をセットします。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 4 a イメージングユニットのトナーを振ります。 1 トナーカートリッジ、イメージングユニットの順に取り外します。 2 イメージングユニットをしっかりと振ります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 3 イメージングユニット、トナーカートリッジの順に再設置します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ縦の線が印刷に表示されますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

コピーの問題を解決する

- 「コピー機が反応しない」、339 ページ
- 「文書または写真の一部しかコピーされない」、340 ページ
- 「コピー品質が悪い」、340 ページ
- 「スキャナユニットが閉じない」、342 ページ

コピー機が反応しない

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイにエラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されていないかチェックします。 エラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されますか。	エラーメッセージまたはステータスメッセージをクリアします。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されているかを確認します。 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されていますか。	手順 3 に進みます。	プリンタを適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続します。
手順 3 プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 [Performing Self Test (自己テストを実行しています)] および [レディ] が表示されましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

文書または写真の一部しかコピーされない

対応	はい	いいえ
手順 1 文書または写真の位置を確認します。 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 文書または写真が正しくセットされていますか。	手順 2 に進みます。	コピーする面を下にして文書または写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。
手順 2 用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙のサイズと合っているかどうかを確認します。 プリンタコントロールパネルの[用紙メニュー]から、[用紙サイズ]設定を確認します。 用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙のサイズと合っていますか。	手順 3 に進みます。	用紙サイズ設定を変更し、トレイにセットされた用紙と合わせるか、用紙サイズ設定と合った用紙をトレイにセットします。
手順 3 a 用紙サイズを設定します。オペレーティングシステムによって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙のサイズを指定します。 b 印刷ジョブを再送信します。 コピーは正しく印刷されますか。	問題は解決しました。	カスタムサポート に問い合わせてください。

コピー品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイにエラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されていないかチェックします。 エラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されますか。	エラーメッセージまたはステータスメッセージをクリアします。	手順 2 に進みます。
手順 2 原稿の質をチェックしてください。 原稿の質は良好ですか。	手順 3 に進みます。	出力品質を上げるには、スキャン解像度設定を高くします。
手順 3 暗いマークが印刷に表示される場合、糸くずの出ないきれいな布を水で湿らせて、スキャナ原稿台ガラスと ADF 原稿台ガラスを清掃してください。 スキャナ原稿台ガラスはきれいですか。	手順 4 に進みます。	「原稿台ガラスを清掃する」, 242 ページ を参照してください。

対応	はい	いいえ
手順 4 印刷ジョブを送信し、印刷品質の問題を確認します。 a [一般設定]メニューで、[エコモード]設定を調整します。 b [コピー]メニューで[濃さ]を調整してください。 c 印刷がかすれたままである場合は、トナーカートリッジを交換してください。 印刷品質は良好ですか。	手順 5 に進みます。	「印刷品質の問題」、321 ページ を参照してください。
手順 5 文書または写真の位置を確認します。 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 文書または写真が正しくセットされていますか。	手順 6 に進みます。	コピーする面を下にして文書または写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。
手順 6 コピーの設定を確認します。 [コピー]画面で、[内容の種類]および[内容のソース]の設定がスキャンされている文書に適しているか確認してください。 [内容の種類]および[内容のソース]の設定がスキャンされている文書に適していますか。	手順 7 に進みます。	[内容の種類]および[内容のソース]の設定を変更し、スキャンされている文書に合わせます。
手順 7 印刷のパターンを確認します。 a [コピー]画面から以下の順に進んでください。 [詳細オプション] > [イメージ詳細設定] > [シャープネス] > さらに小さい設定を選択します。 メモ: 拡大縮小が選択されていないことを確認します。 b コピージョブを再送信します。 まだパターンが印刷に表示されますか。	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。
手順 8 印刷で見つからない文字やかすれた文字があるかどうかを確認します。 a [コピー]画面から以下の順に進んでください。 [詳細オプション] > [イメージ詳細設定] b 設定を調整します。 • [シャープネス]—現在の設定を大きくします。 • [コントラスト]—現在の設定を大きくします。 c コピージョブを再送信します。 印刷に見つからない文字やかすれた文字がありますか。	手順 9 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 9 色が薄い出力や露出しすぎた出力があるかどうかを確認します。 a [コピー]画面から以下の順に進んでください。 [詳細オプション] > [イメージ詳細設定] b 次の設定を調整します。 • [背景削除]—現在の設定を小さくします。 • [シャドウ描写]—現在の設定を小さくします。 c コピージョブを再送信します。 ページには薄い色や露出しすぎた色が印刷されていますか。	カスタマサポートに問い合わせてください。	問題は解決しました。

スキャナユニットが閉じない

対応	はい	いいえ
スキャナユニットとプリンタとの間に障害物がないか確認します。 a スキャナユニットを持ち上げます。 b スキャナユニットが開く原因となる障害物を取り除きます。 c スキャナユニットを下げます。 スキャナユニットが正しく閉じましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

Fax の問題を解決する

- 「発信者 ID が表示されない」、343 ページ
- 「FAX を送受信できない」、343 ページ
- 「FAX を受信できるが送信できない」、345 ページ
- 「FAX を送信できるが受信できない」、346 ページ
- 「FAX および E メール機能がセットアップされていない」、347 ページ
- 「受信した FAX の印刷品質が悪い」、347 ページ

発信者 ID が表示されない

対応	はい	いいえ
カスタマの電話会社に連絡し、ご使用の電話回線が発信者 ID サービスに加入しているか確認してください。 メモ: - お住まいの地域が複数の発信者 ID パターンに対応している場合は、標準設定を変更する必要がある場合があります。FSK(パターン 1)および DTMF(パターン 2)の 2 種類を設定できます。 - FAX メニューでこれらの設定を利用できるかどうかは、お住まいの国または地域が複数の発信者 ID パターンに対応しているかどうかにより異なります。 - カスタマの電話会社に連絡し、どちらのパターンまたは切り替え設定を使用するか決定してください。 発信者 ID が表示されますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイにエラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されていないかチェックします。 ディスプレイにエラーメッセージまたはステータスメッセージが表示されていますか。	エラーメッセージまたはステータスメッセージをクリアします。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されているかを確認します。 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されていますか。	手順 3 に進みます。	プリンタを適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続します。
手順 3 電源をチェックします。 プリンタが接続され、電源が入っているかどうか、準備完了がディスプレイに表示されているかどうかを確認します。 プリンタの電源が入っていて、準備完了がディスプレイに表示されていますか。	手順 4 に進みます。	プリンタの電源を入れてから、 準備完了 が表示されるまで待機します。
手順 4 プリンタ接続をチェックします。 以下の機器にケーブルが確実に接続されているか確認してください(該当する場合)。 - 電話 - ハンドセット - 留守番電話 ケーブルが確実に接続されていますか。	手順 5 に進みます。	ケーブルを確実に接続します。

対応	はい	いいえ
手順 5 a 電話の差し込み口をチェックします。 1 電話線を差し込み口に差し込んでください。 2 発信音を聞いてください。 3 発信音が聞こえない場合は、別の電話線を差し込み口に差し込んでください。 4 やはり発信音が聞こえない場合は、電話線を別の差し込み口に差し込んでください。 5 発信音が聞こえたら、その差し込み口にプリンタを接続してください。 b FAX を送受信してみます。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。
手順 6 プリンタがアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続されているかどうかを確認します。 FAX のモデムはアナログ装置です。一部の装置はプリンタに接続することができ、デジタル電話サービスを使用できます。 • ISDN 電話サービスをご使用の場合は、プリンタを ISDN ターミナルアダプタのアナログ電話ポート(R インターフェイスポート)に接続してください。詳細について、また R インターフェイスポートの依頼については、ISDN プロバイダにお問い合わせください。 • DSL をご使用の場合は、DSL フィルタまたはアナログ対応のルーターに接続してください。詳細については、DSL プロバイダにお問い合わせください。 • PBX 電話サービスをご使用の場合は、PBX のアナログ接続部に接続しているか確認してください。アナログ接続部がない場合は、FAX 機用アナログ電話回線の設置をご検討ください。 プリンタがアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続されていますか。	手順 7 に進みます。	プリンタをアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続します。
手順 7 発信音をチェックします。 発信音が聞こえましたか。	手順 8 に進みます。	• Fax 番号に発信し、正しく動作していることを確認します。 • 別の装置が電話回線を使用している場合は、使用が終わるのを待ってから FAX を送信してください。 • オンフックダイヤル機能をご使用の場合は、ボリュームを上げて発信音が聞こえるかどうかを確認してください。

対応	はい	いいえ
手順 8 プリンタと電話回線間で、他の装置（留守番電話、モデム付きコンピュータ、または電話回線スプリッターなど）を一時的に切断し、Fax の送受信を試行します。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	手順 9 に進みます。
手順 9 a 一時的に割込通話をオフにする電話会社に、割込通話を一時的にオフにするキーパッドシーケンスをお問い合わせください。 b FAX を送受信してみます。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	手順 10 に進みます。
手順 10 a 一時的にボイスメールサービスを無効にします。詳細については、電話会社にお問い合わせください。 メモ: ボイスメールとプリンタの両方を使用する場合は、プリンタ用にもう 1 本電話回線を追加するとよいでしょう。 b FAX を送受信してみます。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	手順 11 に進みます。
手順 11 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。 a FAX 番号にダイヤルしてください。 b 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。 FAX を送受信できますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

FAX を受信できるが送信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタが FAX モードであるかどうかを確認します。 ホーム画面で[FAX]にタッチし、プリンタを FAX モードにしてから、FAX を送信します。 メモ: マルチ送信アプリケーションは XPS 出力タイプに対応していません。XPS を使用するには、通常の FAX 方法を使用してください。 FAX を送信できますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 原稿を正しくセットします。 原稿を、表を上にして短辺から先に ADF トレイにセットしてください。 もしくは原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットしてください。 メモ: はがき、写真、小さいもの、OHP フィルム、感光紙、薄い用紙(雑誌の切り抜きなど)は ADF トレイにセットしないでください。このような用紙は原稿台ガラスにセットしてください。 FAX を送信できますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 ショートカット番号を正しく設定します。 - ショートカット番号がダイヤルしたい電話番号に設定されているかどうかを確認してください。 - 電話番号に手でダイヤルします。 FAX を送信できますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

FAX を送信できるが受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 トレイまたはフィーダーを確認します。 空の場合、トレイまたはフィーダーに用紙をセットしてください。 Fax を受信できますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 着信音待機回数の設定をチェックします。 a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。 メモ: - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。 b [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定]の順にクリックします。 c [呼び出し回数]欄にプリンタが応答するまでの呼び出し音の回数を入力してください。 d [送信]をクリックします。 Fax を受信できますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 トナーカートリッジを交換してください。詳細については、同梱されている手順シートを参照してください。 Fax を受信できますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

FAX および E メール機能がセットアップされていない

メモ:

- 問題に対処する前に、Fax ケーブルが接続されているかどうかを確認してください。
- FAX および E メールを設定するまで赤のインジケータライトが点滅します。

対応	はい	いいえ
a ホーム画面から、次のメニューを選択します。  > [設定] > [一般設定] > [初期設定を実行] > [はい] > [送信] b プリンタの電源を切り、再度電源を入れます。 プリンタディスプレイに[言語の選択]画面が表示されます。 c 言語を選択し、 を押します。 d お住まいの国または地域を選択し、次に[次へ]にタッチします。 e 時間帯を選択し、次に[次へ]にタッチします。 f [FAX]および[E メール]を選択し、次に[次へ]にタッチします。 FAX および E メール機能がセットアップされていますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

受信した FAX の印刷品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 FAX を送信してきた人に以下をご依頼ください。 a 原稿の質に問題がないかどうかをチェックします。 b 可能であれば、FAX のスキャン解像度を高くすること。 c FAX の再送信。 Fax 印刷品質は良好ですか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 FAX の受信速度を下げてください。 a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。 メモ: • プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 • プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。 • ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP] セクションで IP アドレスを確認します。 b [設定] > [FAX 設定] > [アナログ FAX 設定]の順にクリックします。 c [速度優先]メニューで、以下のいずれかをクリックしてください。 • 2400 • 4800 • 9600 • 14400 • 33600 d [送信]をクリックして、Fax を再送信します。 Fax 印刷品質は良好ですか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 トナーカートリッジを交換してください。 [カートリッジ残り僅か [88.xy]]が表示された場合、カートリッジを交換し、Fax を再送信してください。 Fax 印刷品質は良好ですか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

スキャナの問題を解決する

- 「コンピュータからスキャンできない」、349 ページ
- 「文書または写真の一部しかスキャンされない」、349 ページ
- 「スキャンされたイメージの質が悪い」、349 ページ
- 「スキャンジョブが失敗しました」、350 ページ
- 「スキャナユニットが閉じない」、351 ページ
- 「スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする」、351 ページ
- 「スキャナが応答しない」、351 ページ

コンピュータからスキャンできない

対応	はい	いいえ
手順 1 ジョブをスキャンする前に、プリンタの電源が入り、プリンタディスプレイに【準備完了】が表示されていることを確認します。 ジョブをスキャンする前に、【準備完了】が表示されますか。	手順 3 に進みます。	手順 2 に進みます。
手順 2 プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 プリンタディスプレイにエラーメッセージが表示されますか。	エラーメッセージを消してください。	手順 3 に進みます。
手順 3 プリンタとプリントサーバー間のケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認してください。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 プリンタとプリントサーバー間はケーブルで確実に接続されていますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	ケーブルを確実に接続します。

文書または写真の一部しかスキャンされない

対応	はい	いいえ
文書または写真の位置を確認します。 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 文書または写真が正しくセットされていますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	コピーする面を下にして文書または写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。

スキャンされたイメージの質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイにエラーメッセージが表示されているかを確認します。 プリンタディスプレイにエラーメッセージが表示されますか。	エラーメッセージを消してください。	手順 2 に進みます。
手順 2 原稿の質をチェックしてください。 原稿の質は良好ですか。	手順 3 に進みます。	出力品質を上げるには、スキャン解像度設定を高くします。
手順 3 糸くずの出ないきれいな布を水で湿らせて、スキャナ原稿台ガラスと ADF 原稿台ガラスを清掃してください。 スキャナ原稿台ガラスはきれいですか。	手順 4 に進みます。	「原稿台ガラスを清掃する」 、 242 ページ を参照してください。

対応	はい	いいえ
手順 4 文書または写真の位置を確認します。 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 文書または写真が正しくセットされていますか。	手順 5 に進みます。	コピーする面を下にして文書または写真を原稿台ガラスの左上端にセットします。
手順 5 印刷ジョブを送信し、印刷品質の問題を確認します。 ・ [一般設定]メニューで、[エコモード]設定を調整します。 ・ [コピー]メニューで[濃さ]を調整してください。 ・ 印刷がかすれたままである場合は、トナーカートリッジを交換してください。 印刷品質は良好ですか。	手順 6 に進みます。	「印刷品質の問題」、321 ページ を参照してください。
手順 6 スキャンの設定を確認します。 [スキャン]画面で、[内容タイプ]および[内容のソース]の設定がスキャンされている文書に適しているか確認してください。 [内容タイプ]および[内容のソース]の設定がスキャンされている文書に適していますか。	手順 7 に進みます。	[内容タイプ]および[内容のソース]の設定を変更し、スキャンされている文書に合わせます。
手順 7 出力品質を上げるには、スキャン解像度設定を高くします。 解像度を上げることで、出力品質が上がりましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

スキャンジョブが失敗しました

対応	はい	いいえ
手順 1 ケーブル接続をチェックします。 イーサネットまたは USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタにしっかりと接続されているか確認してください。 ケーブルはしっかりと接続されていますか。	手順 2 に進みます。	ケーブルを正しく接続します。
手順 2 ファイル名が既に使用中かどうかを確認します。 ファイル名が既に使用中ですか。	ファイル名を変更します。	手順 3 に進みます。
手順 3 スキャンする文書または写真が別のアプリケーションで開いていたり、別のユーザーが使用しているかどうかを確認します。 スキャンしたいファイルを別のアプリケーションまたはユーザーが開いていますか。	スキャンするファイルを閉じます。	手順 4 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 4 送信先構成で[タイムスタンプを追加]または[既存のファイルを上書き]が選択されているかどうかを確認してください。 送信先構成で[タイムスタンプを追加]または[既存のファイルを上書き]が選択されていますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	送信先構成で[タイムスタンプを追加]または[既存のファイルを上書き]を選択します。

スキャナユニットが閉じない

対応	はい	いいえ
スキャナユニットに障害物があるかどうかを確認します。 a スキャナユニットを持ち上げます。 b スキャナユニットが開く原因となる障害物を取り除きます。 c スキャナユニットを下げます。 スキャナユニットが正しく閉じましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする

対応	はい	いいえ
手順 1 他のアプリケーションがスキャンに干渉しているかどうかを確認します。 使用していないアプリケーションをすべて終了させてください。 まだスキャンに時間がかかり過ぎるか、コンピュータがフリーズしますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 スキャンの解像度を下げてください。 まだスキャンに時間がかかり過ぎるか、コンピュータがフリーズしますか。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

スキャナが応答しない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源が入っていますか。	手順 2 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 2 プリンタのケーブルがしっかりプリンタとコンピュータ、プリントサーバー、オプション、その他のネットワーク機器に取り付けられているかどうかを確認します。 プリンタのケーブルがしっかりプリンタとコンピュータ、プリントサーバー、オプション、その他のネットワーク機器に取り付けられていますか。	手順 3 に進みます。	プリンタのケーブルをしっかりプリンタとコンピュータ、プリントサーバー、オプション、その他のネットワーク機器に取り付けます。

対応	はい	いいえ
手順 3 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されているかを確認します。 プリンタが適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続されていますか。	手順 4 に進みます。	プリンタを適切に接地された電気コンセントに電源コードで接続します。
手順 4 電気コンセントがスイッチやブレーカーで遮断されているかどうかを確認します。 電気コンセントがスイッチやブレーカーで遮断されていますか。	スイッチを入れるかブレーカーをリセットします。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタがサージ保護装置、無停電電源装置、または延長コードに接続されているかどうかを確認します。 プリンタがサージ保護装置、無停電電源装置、または延長コードに接続されていますか。	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。	手順 6 に進みます。
手順 6 コンセントに接続した他の電気機器を確認します。 他の電源機器は動作していますか。	他の電源機器をコンセントから取り外し、プリンタの電源を入れます。プリンタが動作しない場合、他の電源機器を再度接続し、手順 6 に進みます。	手順 7 に進みます。
手順 7 プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 プリンタとスキャナは動作していますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに問い合わせてください。

ホーム画面のアプリケーションの問題を解決する

アプリケーションエラーが発生した場合

対応	はい	いいえ
手順 1 システムログの関連する詳細情報をチェックします。 a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。 プリンタの IP アドレスまたはホスト名が分からない場合： - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。 - ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、[TCP/IP] セクションで IP アドレスを確認します。 メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 b [設定] > [アプリ] > [アプリ管理] > [システム] タブ > [ログ] の順にクリックします。 c [フィルタ] メニューでアプリケーションの状態を選択します。 d [アプリケーション] メニューでアプリケーションを選択し、[送信] をクリックします。 エラーメッセージがログに表示されますか。	手順 2 に進みます。	カスタマサポート までお問い合わせください。
手順 2 エラーを解決します。 アプリケーションは動作しますか。	問題は解決しました。	カスタマサポート までお問い合わせください。

EWS(内蔵 Web サーバー) が開かない

対処方法	はい	いいえ
手順 1 a プリンタの電源を入れます。 b Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。 c Enter キーを押します。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対処方法	はい	いいえ
手順 2 プリンタの IP アドレスが正しいことを確認します。 a プリンタの IP アドレスを入力します。 • [ネットワーク/ポート]メニューの[TCP/IP]セクションから。 • ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷するか、[TCP/IP]セクションを確認する。 メモ: IP アドレスは、123.123.123.123 のようなピリオドで区切られた 123.123.123.123 つの数字の並びで表されます。 b Web ブラウザを開き、IP アドレスを入力します。 メモ: EWS(内蔵 Web サーバー) にアクセスするには、ネットワーク設定に応じて、プリンタ IP アドレスの前に http:// ではなく https:// と入力する必要があります。 c Enter キーを押します。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 ネットワークが動作していることを確認します。 a ネットワーク設定ページを印刷します。 b ネットワーク設定ページの最初のセクションで、プリンタの状態が[接続中]になっていることを確認します。 メモ: 状態が[未接続]の場合は、接続が一時的に切断されているか、ネットワークケーブルに問題がある可能性があります。解決方法をシステムサポート担当者に問い合わせしてから、別のネットワーク設定ページを印刷します。 c Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。 d Enter キーを押します。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 ケーブルがプリンタとプリントサーバーにしっかりと接続されていることを確認します。 a ケーブルを正しく接続します。詳細については、プリンタに同梱のセットアップ説明書類を参照してください。 b Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。 c Enter キーを押します。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 一時的に Web プロキシサーバーを無効にします。 プロキシサーバーによって、EWS(内蔵 Web サーバー) を含む特定の Web サイトへのアクセスがブロックされたり制限される場合があります。 EWS(内蔵 Web サーバー) が開きますか？	問題は解決しました。	システムサポート担当者にお問い合わせください。

カスタマサポートに問い合わせる

カスタマサポートに連絡する前に、次の情報を確認してください。

- プリンタの問題
- エラーメッセージ
- プリンタ機種とシリアル番号

Go to <http://support.lexmark.com> メールまたはチャットによるサポートを受けるか、マニュアル、サポートドキュメント、ドライバ、およびその他のダウンロードのライブラリを参照するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

電話によるテクニカルサポートもご利用いただけます。米国またはカナダの場合、1-800-539-6275 までお電話ください。その他の国または地域については、<http://support.lexmark.com> で入手できます。

通知

製品情報

製品名:

Lexmark XM7155、XM7163、XM7263、XM7170、および XM7270

機種番号:

7463

機種:

496、696、896

版通知

2016 年 8 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があります、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

消耗品とダウンロードについては、<http://www.lexmark.com> を参照してください。

© 2016 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark、Lexmark ロゴ、MarkNet、および MarkVision は、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

Google クラウド プリントは Google Inc. の商標です。

Mac および Mac ロゴは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft および Windows は、米国およびその他の国々での Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Mopria®, Mopria® ロゴ、および Mopria® Alliance ロゴは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc. の登録商標またはサービスマークです。無断使用は固く禁じられています。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれるプリンタコマンド(言語)および機能のセットの表示です。このプリンタは PCL 言語に対応します。このことは、プリンタがさまざまなアプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタがコマンドに対応する機能をエミュレートすることを意味します。

PostScript は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

次の用語は、各企業の商標または登録商標です。

Albertus	The Monotype Corporation plc
Antique Olive	Monsieur Marcel OLIVE
Apple-Chancery	Apple Computer, Inc.
Arial	The Monotype Corporation plc
CG Times	The Monotype Corporation plc のライセンスによる Times New Roman に基づき、Agfa Corporation の製品です。
Chicago	Apple Computer, Inc.
Clarendon	Linotype-Hell AG およびその子会社
Eurostile	Nebiolo
Geneva	Apple Computer, Inc.
GillSans	The Monotype Corporation plc
Helvetica	Linotype-Hell AG およびその子会社
Hoefler	Jonathan Hoefler Type Foundry
ITC Avant Garde Gothic	International Typeface Corporation
ITC Bookman	International Typeface Corporation
ITC Mona Lisa	International Typeface Corporation
ITC Zapf Chancery	International Typeface Corporation
Joanna	The Monotype Corporation plc
Marigold	Arthur Baker
Monaco	Apple Computer, Inc.
New York	Apple Computer, Inc.
Oxford	Arthur Baker
Palatino	Linotype-Hell AG およびその子会社
Stempel Garamond	Linotype-Hell AG およびその子会社
Taffy	Agfa Corporation
Times New Roman	The Monotype Corporation plc
Univers	Linotype-Hell AG およびその子会社

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

AirPrint および AirPrint のロゴは Apple, Inc. の商標です。

騒音レベル

次の計測は ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠した手順で報告されました。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

1 メートルの平均音圧 (dBA)	
印刷中	55 (XM7155、XM7163、XM7263)、56 (XM7170、XM7270)
スキャン中	57
コピー中	55 (XM7155)、56 (XM7163、XM7263、XM7170、XM7270)
レディ状態	30 (XM7155、XM7170、XM7270)、31 (XM7163、XM7263)

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

温度に関する情報

動作環境温度	15.6 ~ 32.2°C (60 ~ 90°F)
輸送時の温度	-40 ~ 43.3°C (-40 ~ 110°F)
保管時の温度と相対湿度	1 ~ 35°C (34 ~ 95°F) 8 ~ 80% RH

廃電気電子機器 (WEEE) 指令



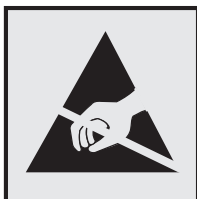
WEEE のロゴは、ヨーロッパ連合諸国内での電気製品に関する特定のリサイクルプログラムおよび手順を示します。弊社は、製品のリサイクルを奨励しています。

リサイクルに関するお問い合わせの場合は、www.lexmark.co.jp から Lexmark ホームページにアクセスし、お近くの販売店の連絡先をお調べください。

製品の廃棄

プリンタまたは消耗品は、一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。廃棄とリサイクルの方法については、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

静電気の発生について



このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、プリンタの金属フレームに触れてください。

Energy Star(国際エネルギースター)プログラム

起動画面に「ENERGY STAR」マークが表示される Lexmark 製品は、出荷時に EPA(Environmental Protection Agency)ENERGY STAR 要件に準拠するよう構成されていることが、Lexmark によって認定されています。



レーザーについて

本機は、米国においてクラス I(1)レーザー製品に対する DHHS 21 CFR Chapter I、Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では IEC 60825-1: 2014 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。2014.

クラス I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。本機には、クラス IIIb(3b)レーザーが内蔵されています。これは、787 ~ 800 ナノメートルの波長で動作する定格 15 ミリワットのガリウムヒ素レーザーです。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対にさらされないように設計されています。

レーザー注意ラベル

本機には、図のようなレーザーに関する注意ラベルが貼られていることがあります。

DANGER - Invisible laser radiation when cartridges are removed and interlock defeated. Avoid exposure to laser beam.

PERIGO - Radiação a laser invisível será liberada se os cartuchos forem removidos e o lacre rompido. Evite a exposição aos feixes de laser.

Opasnost - Nevidljivo lasersko zračenje kada su kasete uklonjene i poništena sigurnosna veza. Izbjegavati izlaganje zracima.

NEBEZPEČÍ - Když jsou vyjmuty kazety a je odblokována pojistka, ze zařízení je vysíláno neviditelné laserové záření. Nevystavujte se působení laserového paprsku.

FARE - Usynlig laserstråling når patroner fjernes, og spærreanordningen er slået fra. Undgå at blive udsat for laserstrålen.

GEVAAR - Onzichtbare laserstraling wanneer cartridges worden verwijderd en een vergrendeling wordt genegeerd. Voorkom blootstelling aan de laser.

DANGER - Rayonnements laser invisibles lors du retrait des cartouches et du déverrouillage des loquets. Eviter toute exposition au rayon laser.

VAARA - Näkymättömät lasersäteilyä on varottava, kun värikasetit on poistettu ja lukitus on auki. Vältä lasersäteelle altistumista.

GEFAHR - Unsichtbare Laserstrahlung beim Herausnehmen von Druckkassetten und offener Sicherheitssperre. Laserstrahl meiden.

ΚΙΝΔΥΝΟΣ - Έκλυση αόρατης ακτινοβολίας laser κατά την αφαίρεση των κασετών και την απασφάλιση της μανδάλωσης. Αποφεύγετε την έκθεση στην ακτινοβολία laser.

VESZÉLY - Nem látható lézersugárzás fordulhat elő a patronok eltávolításakor és a zárószervezet felbontásakor. Kerülje a lézersugárnak való kitettséget.

PERICOLO - Emissione di radiazioni laser invisibili durante la rimozione delle cartucce e del blocco. Evitare l'esposizione al raggio laser.

FARE - Usynlig laserstråling når kassetene tas ut og sperren er satt ut av spill. Unngå eksponering for laserstrålen.

NIEBEZPIECZENSTWO - niewidzialne promieniowanie laserowe podczas usuwania kaset i blokady. Należy unikać naswietlenia promieniem lasera.

ОПАСНО! Невидимое лазерное излучение при извлеченных картриджах и снятии блокировки. Избегайте воздействия лазерных лучей.

Pozor - Nebezpečnost neviditeľného laserového žiarenia pri odobratých kazetách a odblokovanej poistke. Nevystavujte sa lúčom.

PELIGRO: Se producen radiaciones láser invisibles al extraer los cartuchos con el interbloqueo desactivado. Evite la exposición al haz de láser.

FARA - Osynlig laserstrålning när patroner tas ur och spärrmekanismen är upphävd. Undvik exponering för laserstrålen.

危険 - 当移除碳粉盒及互锁失效时会产生看不见的激光辐射, 请避免暴露在激光光束下。

危険 - 移除碳粉匣與安全連續開關失效時會產生看不見的雷射輻射。請避免暴露在雷射光束下。

危険 - カートリッジが取り外され、内部ロックが無効になると、見えないレーザー光が放射されます。このレーザー光に当たらないようにしてください。

電力消費量

製品の消費電力

次の表は、本製品の消費電力を記したものです。

メモ：一部のモードが本製品に適用されない場合があります。

モード	説明	消費電力 (W)
印刷	製品が電子入力からハードコピーの出力を生成している状態	760(XM7155)、860(XM7163、XM7263)、960(XM7170、XM7270)
コピー	製品がハードコピーの原稿からハードコピーの出力を生成している状態	820(XM7155)、920(XM7163、XM7263)、1020(XM7170、XM7270)
スキャン	製品がハードコピーの文書をスキャンしている状態	140
準備完了	製品が印刷ジョブを待機している状態	120(準備完了 1)、70(準備完了 2)
スリープ モード	製品が高レベルの省エネモードにある状態	16
ハイバネート	製品が低レベルの省エネモードにある状態	0.7
オフ時	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチがオフになっている状態	0

上記の消費電力は、時間平均で測定したものです。瞬間的な消費電力は、時間平均の値を大幅に上回る場合があります。

これらの数値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com を参照してください。

スリープモード

この製品には、スリープモードと呼ばれる省電力モードがあります。スリープモードでは、長時間アイドル状態になった場合、電力消費量を下げることによって電力を節約します。[スリープモードタイムアウト]という一定期間の間に本機が使用されない場合、自動的にスリープモードになります。

本機の工場出荷時のデフォルト[スリープモードタイムアウト](分):	20
-----------------------------------	----

設定メニューを使用し、[スリープモードタイムアウト]を 1 ～ 120 分の間に変更できます。[スリープモードタイムアウト]を低い値に設定すると電力消費量を下げることができますが、本機の応答時間が長くなる場合があります。[スリープモードタイムアウト]を高い値に設定すると、応答が速くなりますが、電力消費量が多くなります。

ハイバネートモード

この製品には、ハイバネートモードと呼ばれる超低電力動作モードがあります。ハイバネートモード。ハイバネートモードで動作中は、他のシステムやデバイスの電源を安全に切れる上体です。

次のすべての方法で、ハイバネートモードに入ることができます。

- ハイバネートタイムアウトを使用する。
- 電力モードの定期実行を使用する
- スリープ/ハイバネートボタンを使用する

すべての国または地域における本機の工場出荷時のデフォルト ハイバネート タイムアウト	3 日
--	-----

ジョブが印刷された後、ハイバネートモードに入る前にプリンタが待機する時間は、1 時間から 1 ヶ月の範囲で変更できます。

オフモード

オフモードでも、わずかながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

合計の消費電力量

合計の消費電力量を計算することも、役に立つ場合があります。消費電力の単位はワットで表されているため、実際の消費電力量を計算するには、それぞれの運転モードにおける動作時間をかける必要があります。合計の消費電力量は、それぞれの運転モードにおける消費電力量を合計したものとなります。

日本の VCCI 規定

製品にこのラベルが表示されている場合、
次の要件を満たしています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な
対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

通信端末機器の規制に関する通知

このセクションでは、ファクシミリなどの通信端末機器を含む製品の規制に関する情報を提供しています。

日本における通信に関する通知

内蔵のオプションモデムは日本の電気通信法に準拠し、証明書番号 A11-0160001 によって電気通信端末機器審査協会による認証を受けています。

	Lexmark International, Inc.
	LEX-M03-002
	A11-0160001JP

モジュールコンポーネントに関する通知事項

ワイヤレス機能を搭載しているモデルには、次のモジュールコンポーネントが搭載されています。

Lexmark 規制タイプ/モデル LEX-M01-005、FCC ID: IYLLEXM01005、カナダ産業省 (IC) 規則: 2376A-M01005

特許の承認

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ (TLS) 用の楕円曲線暗号 (ECC) スイートに関する IETF (インターネット・エンジニアリング・タスク・フォース) による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている SHA-256/382 および AES ガロア・カウンタ・モード (GCM) による TLS 用の楕円曲線暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ (TLS) 用のスイート B プロファイルに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているトランスポート・レイヤー・セキュリティ (TLS) 用のカメラ暗号スイートの追加に関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスにおける一定の特許の使用には、製品またはサービスに実装されている TLS 用の AES-CCM ECC 暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている楕円曲線デジタル署名アルゴリズム (ECDSA) を使用した IKE および IKEv2 認証に関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されている IPSec 用のスイート B 暗号スイートに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

この製品またはサービスの使用には、製品またはサービスに実装されているインターネットキー交換バージョン 1 (IKEv1) 用のアルゴリズムに関する IETF による Certicom Corp. の知的財産権 (IPR) の開示における合理的かつ非差別的な条件が適用されます。

索引

数字

- 1 枚の用紙に複数ページをコピーする 106
- 2100 枚トレイ
 - 用紙をセット 66
- 550 枚トレイ
 - 設置 45

アルファベット

ADF

- 使用してコピー 99
- ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり 280

AirPrint

- 使用 93

AppleTalk メニュー 168

DSL フィルタ 125

EXT ポート 48

E メール

- キャンセル 116

E メールアラート

- 紙詰まり 259
- 消耗品低下レベル 259
- セットアップ 259

- E メールアラートをセットアップする 259

E メールオプション

- 解像度 116
- 原稿サイズ 116
- 件名 116
- 濃さ 117
- 受信者 116
- 詳細オプション 118
- ショートカットとして保存 117
- 送信形式 117
- ページ設定 118
- メッセージ 116

E メール画面

- オプション 116, 118

E メール機能

- セットアップ 112

E メールショートカット、作成

- 内蔵 Web サーバーを使用する 113

E メール設定メニュー 204

E メール設定を構成する 112

E メール、送信

- アドレス帳を使用する 115

ショートカット番号を使用 114

E メールで送信する

- E メール機能をセットアップする 112
- E メール設定を構成する 112
- E メール本文を追加 115
- アドレス帳を使用する 115
- 件名を追加 115
- ショートカット番号を使用 114
- 内蔵 Web サーバーを使用してショートカットを作成 113
- プリンタコントロールパネルを使用してショートカットを作成する 113
- プリンタコントロールパネルを使用する 114

E メールをキャンセルする 116

Fax

- 送信 135
- 予定時刻に送信する 135
- Fax 宛先ショートカットを作成
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 136

FAX オプション

- 解像度 139
- 濃さ 140
- 詳細オプション 141
- スキャンプレビュー 140
- 遅延送信 140
- ページ設定 140
- 内容のソース 140
- 内容の種類 140

FAX および E メール機能

- セットアップ 347

FAX および E メール機能がセットアップされていない 347

FAX および E メール機能のセットアップ 347

FAX サーバーの[送信先形式]が設定されていません。システム管理者に連絡してください。 290

FAX ステーション番号が設定されていません。システム管理者に連絡してください。 291

FAX ステーション名が設定されていません。システム管理者に連絡してください。 290

Fax で送信する

- FAX ジョブをキャンセルする 138
- FAX の濃さ調整 137
- FAX の初期設定 119
- FAX の転送 139
- FAX の保留 138
- FAX 番号の設定 132
- FAX ログの閲覧 137
- Fax を予定時刻に送信する 135
- 解像度を変更する 136
- 送信 FAX 名の設定 132
- 着信識別サービス 132
- 内蔵 Web サーバーを使用してショートカットを作成 136
- 夏時間を使用するようにプリンタを設定する 133
- 日付および時刻の設定 133
- プリンタコントロールパネルを使用してショートカットを作成する 136
- プリンタコントロールパネルを使用して送信する 133
- 迷惑 FAX のブロック 137
- FAX の初期設定 119
- DSL 接続 125
- VoIP 126
- 国または地域固有 129
- デジタル電話サービス 127
- 内蔵 Web サーバーを使用する 119
- 標準電話回線接続 120
- Fax の設定
 - DSL 接続 125
 - VoIP 接続 126
 - 国または地域固有 129
 - デジタル電話サービス 127
 - 標準電話回線接続 120
- FAX の転送 139
- FAX の保留 138
- FAX の問題に対処する
 - FAX を受信できるが送信できない 345
 - FAX を送受信できない 343
 - FAX を送信できるが受信できない 346
 - 受信した FAX の印刷品質が悪い 347

発信者 ID が表示されない 343
FAX パーティションが動作し
ません。システム管理者に連絡
してください。290
FAX 番号、設定 132
FAX 番号の設定 132
FAX ポート 48
FAX 名、設定 132
FAX メモリフル 290
FAX モード(FAX サーバー設定)
メニュー 203
FAX モード(アナログ FAX 設
定)メニュー 194
FAX ログ
表示 137
FAX ログの閲覧 137
Fax を送信
アドレス帳を使用する 135
ショートカットを使用 134
Fax を予定時刻に送信する 135
FTP
FTP オプション 146
FTP アドレス
プリンタコントロールパネル
を使用してショートカットを
作成する 143
FTP アドレス、スキャン
ショートカット番号を使用 144
プリンタコントロールパネル
を使用する 143
FTP アドレスにスキャンする
アドレス帳を使用する 144
コンピュータを使用してショ
ートカットの作成 142
ショートカット番号を使用 144
プリンタコントロールパネル
を使用する 143
FTP オプション
FTP 146
詳細オプション 148
FTP ショートカットを作成す
る 内蔵 Web サーバーを使
用する 142
FTP 設定メニュー 210
Google クラウド プリント
使用 93
HTML メニュー 230
IPv6 メニュー 167
IP アドレス、プリンタ
確認 19
Lexmark 印刷
使用 93

Lexmark の [消耗品タイプ] で
はありません、『ユーザーガ
イド』を参照してください
[33.xy] 296
LINE ポート 48
Mopria Print Service
使用 93
MP メニューを構成する 150
NIC メニューを有効にする 164
OCR 設定メニュー 219
OHP フィルム
コピー 100
ヒント 83
用紙をセット 73
OHP フィルムにコピーする 100
PCL メニュー 227
PDF メニュー 226
PostScript メニュー 227
Reattach bins [x] - [y] (排
紙トレイ [x] - [y] を再度取
り付けてください) 298
Reattach bin [x] (排紙トレ
イ [x] を再度取り付けてくだ
さい) 297
RJ11 アダプタ 129
SMTP サーバーが設定されて
いません。システム管理者に
連絡してください。304
SMTP セットアップメニュー 175
TCP/IP メニュー 166
USB ドライブ読み取りエラー
USB を取り外してください 290
USB ハブ読み取りエラーハ
ブを取り外してください 290
USB ポート 48
USB ポート[x]が無効です
[56] 306
USB またはパラレルインター
フェイスカード
問題に対処する 311
VoIP アダプタ 126
Weblink サーバーが設定され
ていません。システム管理者
に連絡してください。306
XPS メニュー 226

あ行

アダプタプラグ 129
厚紙
ヒント 82
用紙をセット 73
アドレス帳を使用して Fax
を送信する 135

アドレス帳を使用する 115
Fax を送信 135
穴パンチボックス
空にする 244
穴パンチボックスを挿入する 292
穴パンチボックスを空にす
る 289, 244
アナログ電話回線がモデム
に接続されていません。Fax
が無効です。296
アプリケーション
ホーム画面 21
理解 20
安全情報 7, 8
イーサネットネットワーク
イーサネット印刷の設定を
準備する 51
イーサネットネットワーク
設定準備 51
イーサネットネットワーク
でプリンタを設定する準備
をする 51
イーサネットポート 48
一時データファイルを消去
メニュー 179
一般設定メニュー 183
イメージングユニット
注文 247
イメージングユニットが低
下しています [84.xy] 291
イメージングユニットが非
常に低下しています、推定
残りページ [x] [84.xy] 291
イメージングユニットがほ
ぼ低下しています [84.xy]
291
イメージングユニットを交
換してください、推定残り
ページ 0 [84.xy] 300
印刷
コンピュータから 92
ディレクトリリスト 98
ネットワーク設定ページ 56
フォントサンプルリスト 97
フラッシュドライブから 94
プリンタコントロールパネ
ルから印刷ジョブをキャン
セルする 98
メニュー設定ページ 55
モバイルデバイスから 93
用紙 92
印刷が均一でない 329
印刷ジョブ
コンピュータからキャン
セルする 98

印刷ジョブの保存 96
印刷ジョブを確認 96
 Macintosh コンピュータから印刷 97
 Windows から印刷 97
印刷ジョブをキャンセルする
 コンピュータから 98
 プリンタコントロールパネルから 98
印刷ジョブを繰り返す 96
 Macintosh コンピュータから印刷 97
 Windows から印刷 97
印刷ジョブを戻す 96
 Macintosh コンピュータから印刷 97
 Windows から印刷 97
印刷速度が低下する 317
印刷に圧縮された画像が表示される 323
印刷の濃さが均一ではない 338
印刷の問題に対処する
 印刷時に封筒の封が閉じられる 314
 印刷の余白が正しくない 326
 大きなジョブが丁合印刷されない 317
 紙詰まりが発生したページが再印刷されない 312
 コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保持されたドキュメントが印刷されない 313
 ジョブが印刷されない 318
 ジョブが正しくないトレイから印刷される 316
 ジョブが正しくない用紙で印刷される 316
 想定しているよりも印刷ジョブに時間がかかる 319
 多言語 PDF ファイルが印刷されない 317
 正しくない文字が印刷される 316
 トレイのリンクが動作しない 320
 頻繁な紙詰まり 312
 フラッシュドライブ読み取りエラー 315
 用紙が巻いてしまう 326
 予期しない改ページが発生する 321
印刷品質
 原稿台ガラスを清掃する 242

印刷品質の問題に対処する
 OHP フィルムの印刷品質が悪い 337
 印刷が明るすぎる 331
 印刷が均一でない 329
 印刷が暗すぎる 330
 印刷後の背景がグレーになる 324
 印刷に圧縮された画像が表示される 323
 印刷に影の画像が表示される 333
 印刷にトナーのしみが表示される 337
 印刷の濃さが均一ではない 338
 切り取られたページと画像 322
 空白ページ 327
 白の線 338
 水平の線が印刷に表示される 325
 縦の線 335
 トナーが摩擦ではがれ落ちる 337
 トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示される 336
 プリンタが真っ黒のページを印刷する 328
 ページで異常を繰り返す 332
 横の線が印刷に表示される 334
 歪んだ印刷 333
 文字の端が角になっている 321
印刷品質メニュー 223
印刷面(両面印刷)
 コピーオプション 109
エコモード設定 233
遠隔操作パネル
 セットアップ 24
応答しないプリンタを確認する 307
オプション
 550 枚トレイ、取り付け 45
 内蔵ソリューションポート、取り付け 33
 ファームウェアカード 26
 プリンタハードディスク、設置 38
 プリンタハードディスク、取り外し 42
 メモリカード 26, 30
オプション 550 枚トレイ
 用紙をセット 57
オプションカード
 設置 31

オプションカードを取り付ける 31
オプション、コピー画面
 拡大縮小 109
 コピー元 109
オプション、タッチスクリーン
 E メール 116, 118
 コピー 109

か行

解像度
 E メールオプション 116
 FAX オプション 139
 スキャンオプション 147
解像度、FAX
 変更 136
カスタマサポート
 問い合わせ 355
カスタマサポートに問い合わせる 355
カスタム紙種[x]
 名前を変更する 80
カスタム紙種メニュー 158
カスタムスキャンサイズメニュー 160
カスタム排紙トレイ名メニュー 160
カスタム名メニュー 159
カスタム用紙タイプ
 割り当て 81
カスタム用紙タイプ名
 作成 80
仮想ディスプレイ
 確認、内蔵 Web サーバーを使用する 259
仮想ディスプレイを確認する
 内蔵 Web サーバーを使用する 259
画像メニュー 231
カードコピー
 セットアップ 22
カートリッジ、イメージングユニット
 不一致 [41.xy] 286
カートリッジが非常に低下しています、推定残りページ [x]
 [88.xy] 286
カートリッジ残り僅か [88.xy] 286
カートリッジほぼ残り僅か
 [88.xy] 286
カートリッジを交換してください、推定残りページ 0 [88.xy] 299
カートリッジを交換してください、プリンタリジョンが一致しません
 [42.xy] 299

- 紙詰まり
 - 場所 266
 - 防止 262
 - 紙詰まり、取り除く
 - ADF(自動原稿フィーダー)
 - 内 280
 - ステーブルアクセスドア 283
 - ステーブルフィニッシャー 282
 - 前面カバー 267
 - 多目的フィーダー 277
 - トレイ内 276
 - 背面ドア 270
 - 標準排紙トレイ内 274
 - メールボックス 278
 - 両面印刷ユニット内 275
 - 紙詰まりの場所を確認する 266
 - 紙詰まりを防止する 87, 262
 - 環境設定
 - エコモード 233
 - 消耗品を節約する 232
 - スリープモード 234
 - 静音モード 233
 - ハイバネートモード 234
 - プリンタディスプレイの明るさ、調整 234
 - 管理者設定
 - 内蔵 Web サーバー 259
 - 管理者によってスキナが無効にされています[840.01] 303
 - 揮発性
 - 記述 237
 - 揮発性に関する記述 237
 - 揮発性メモリ 237
 - 消去 237
 - 揮発性メモリを消去する 237
 - 給紙の問題に対処
 - 紙詰まりを取り除いてもメッセージが消えない 313
 - 給紙ミス解消済み、排紙トレイに新しい用紙を送信 [24y.xx] 295
 - [給紙源]を[カスタム紙種名]に変更[用紙の向き]にセット 286
 - [給紙源]を[カスタム紙種名][用紙の向き]にセット 293
 - [給紙源]を[カスタム文字列]に変更[用紙の向き]にセット 286
 - [給紙源]を[カスタム文字列][用紙の向き]にセット 293
 - [給紙源]を[用紙サイズ]に変更[用紙の向き]にセット 287
 - [給紙源]を[用紙サイズ][用紙の向き]にセット 293
- [給紙源]を[用紙タイプ][用紙サイズ]に変更[用紙の向き]にセット 287
 - [給紙源]を[用紙タイプ][用紙サイズ][用紙の向き]にセット 294
- グリーン設定
 - エコモード 233
 - 静音モード 233
 - ハイバネートモード 234
- ケーブル
 - USB 48
 - イーサネット 48
- ケーブルの整理 48
- ケーブルを接続する 48
- 原稿サイズ
 - E メールオプション 116
 - スキャンオプション 147
- 原稿台ガラス
 - 使用してコピー 100
 - 清掃 242
- 件名と本文情報
 - E メールへ追加 115
- 構成
 - 消耗品通知、イメージングユニット 260
 - 消耗品通知、トナーカートリッジ 260
 - 消耗品通知、メンテナンスキット 260
- 構成情報
 - ワイヤレスネットワーク 51
- 構成変更、一部の保持されたジョブが復元されませんでした[57] 288
- 構成をインポートする
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 25
- 構成をエクスポートする
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 25
- 互換性のないトレイ [x] [59] 291
- 互換性のない排紙トレイ [x] [59] 291
- 濃さ
 - E メールオプション 117
 - FAX オプション 140
 - コピーオプション 109
 - スキャンオプション 147
- 故障したハードディスクを取り外してください [61] 298
- 個人 ID 番号方式
 - 使用 53
- 個人ショートカット
 - 概要 22
- このデバイスで使用するにはディスクをフォーマットする必要があります 289
- コピー
 - 1 枚の用紙に複数ページをコピーする 106
 - ADF を使用 99
 - OHP フィルム 100
 - オーバーレイメッセージを追加 108
 - 拡大 104
 - カスタムジョブ 107
 - クイックコピー 99
 - 原稿台ガラスを使用 100
 - 異なるサイズ 102
 - コピージョブをキャンセルする 108
 - コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する 106
 - サイズの異なる用紙 103
 - 写真 100
 - 縮小 104
 - 丁合印刷する 105
 - トレイを選択する 102
 - 品質の調整 104
 - プリンタコントロールパネルを使用してショートカットを作成する 101
 - ヘッダーまたはフッターを挿入する 107
 - 用紙の両面(両面) 103
 - レターヘッド紙 101
- コピーオプション
 - 印刷面(両面印刷) 109
 - 濃さ 109
 - 詳細オプション 110
 - ショートカットとして保存 110
 - 丁合印刷 109
 - 部数 110
- コピー画面
 - オプション 109
 - 内容の種類 110
 - 内容のソース 110
- コピージョブ、キャンセル
 - ADF を使用 108
 - 原稿台ガラスを使用 108
- コピー設定メニュー 191
- コピーの拡大 104
- コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する 106

コピーの縮小 104
コピーの問題に対処する
 コピー機が応答しない 339
 コピー品質が悪い 340
 スキャナユニットが閉じない 342, 351
 スキャンされたイメージの質が悪い 349
 文書または写真の一部しかコピーされない 340
コピー品質
 調整 104
コピー品質の調整 104
個別の設定情報
 消去 238
コントローラボード
 アクセス 26
コントロールパネル、プリンタ 15
 インジケータランプ 15
 スリープボタンランプ 15
コンピュータの IP アドレス
 確認 19
コンピュータへのスキャン 146
 セットアップ 146
 内蔵 Web サーバーを使用する 145
コンピュータを使用して FAX を送信する 134
コンフィデンシャル印刷ジョブ 96
コンフィデンシャル印刷メニュー 178
コンフィデンシャルジョブ
 印刷設定を修正する 97
コンフィデンシャルデータ
 セキュリティ情報 240
梱包材を取り除いてください、[エリア名] 298

さ行

サイズの異なる用紙、コピー 103
サイズの異なる用紙をコピーする 103
再生紙
 使用 85, 232
再生紙を使用する 232
サポートされていない USB ハブ、
 取り外してください 290
サポートされていないイメージング
 ユニットを交換してください
 [32.xy] 302
サポートされていないカートリッジを
 交換してください [32.xy] 302

サポートされていないトレイ [58] の
 用紙サイズ 306
サポートされているフラッシュドライ
 ブ 95
サポートされている用紙サイ
 ズ 87, 89
サポートされている用紙タイプ 88
サポートされている用紙タイプと重
 量 89
サポートされている用紙の重さ 88
仕上げ
 サポートされている用紙サイ
 ズ 89
 サポートされている用紙タイプと
 重量 89
仕上げメニュー 221
写真
 コピー 100
受信者
 E メールオプション 116
出荷時標準設定
 復元 261
出力ファイルタイプ
 スキャン画像 147
 変更 115
出力ファイルタイプ変更
 E メールで送信する 115
使用可能な内蔵オプション 26
詳細オプション
 E メールオプション 118
 FAX オプション 141
 FTP オプション 148
 コピーオプション 110
上部アクセスカバーを閉じてくださ
 い 288
消耗品
 確認、内蔵 Web サーバーを使用
 する 245
 確認、プリンタコントロールパネル
 から 245
 再生紙を使用する 232
 純正 Lexmark を使用する 246
 状況を確認する 245
 節約 232
 保存 248
消耗品、注文
 イメージングユニット 247
 ステープルカートリッジ 248
 トナーカートリッジ 246
 メンテナンスキット 246
消耗品通知
 設定 260

消耗品通知を設定する 260
消耗品の状況
 確認 245
消耗品を交換する
 ステープルカートリッジ 256
消耗品を節約する 232
消耗品を注文する
 トナーカートリッジ 246
初期状態のデフォルトを復元す
 る 261
ショートカット、作成
 E メール 113
 Fax 宛先 136
 FTP 宛先 142
 FTP アドレス 143
 コピー画面 101
ショートカットとして保存
 E メールオプション 117
 コピーオプション 110
 スキャンオプション 147
ショートカット番号を使用
 FTP アドレスにスキャンする 144
ショートカットを使用
 Fax を送信 134
ジョブアカウントメニュー 224
ジョブを完了するには消耗品が必
 要です 305
ジョブを再開する場合は原稿台の
 カバーを閉じ、原稿をセットしてく
 ださい[2yy.xx] 288
ジョブを再開する場合は、最後にス
 キャンされたページと紙詰まりの原
 稿を交換してください。300
ジョブを再開する場合は、すべての
 原稿を交換してください。299
ジョブを再開する場合は、詰まって
 いる原稿を交換してください。300
シリアル [x] メニュー 172
シリアル印刷
 セットアップ 55
シリアル印刷を設定する 55
シリアルポート[x]が無効です
 [56] 304
隙間が表示される 338
スキャナ
 機能 13
 原稿台ガラス 14
 自動原稿フィーダー(ADF) 14
スキャナが応答しない 351
スキャナが紙詰まりです。自動フィ
 ーダのトップカバーを開いて閉じて
 ください [2yy.xx] 303

スキャナ紙詰まり、原稿をスキャナから取り除いてください
[2yy.xx] 304
スキャナ紙詰まり、原稿をすべてスキャナから取り除いてください
[2yy.xx] 303
スキャナが無効です問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。[840.02] 303
スキャナ自動フィーダーのカバーが開いています 303
スキャナの紙づまり - アクセスカバーが開いています 303
スキャン
FTP アドレス 143, 144
クイックコピー 99
内蔵 Web サーバーを使用してコンピュータに 145
フラッシュドライブから 146
スキャンオプション
解像度 147
原稿サイズ 147
濃さ 147
ショートカットとして保存 147
スキャンプレビュー 148
送信形式 147
ファイル名 146
ページ設定 148
スキャン画像
出力ファイルタイプ 147
スキャン画面
内容の種類 147
内容のソース 147
スキャンの問題に対処する
コンピュータからスキャンできない 349
スキャナユニットが閉じない 342, 351
スキャンジョブが失敗しました 350
スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする 351
文書または写真の一部しかスキャンされない 349
スキャンプレビュー
FAX オプション 140
スキャンオプション 148
ステープルカートリッジ
交換 256
注文 248
ステープルカートリッジを交換 256

ステープルカートリッジを挿入する 292
ステープルフィニッシャーの紙詰まり 282
すべての排紙トレイから用紙を取り除いてください 298
スリープモード
調整 234
スリープモードを調整する 234
スロット [x] のサポートされていないオプション [55] 306
静音モード 233
清掃
原稿台ガラス 242
プリンタの外観 241
セキュリティ
コンフィデンシャル印刷設定を修正する 97
セキュリティ Web ページ
入手先 240
セキュリティ監査ログメニュー 179
セキュリティ設定情報
消去 238
セキュリティ設定の編集メニュー 176
設定
TCP/IP アドレス 166
用紙サイズ 57
用紙タイプ 57
設定メニュー 220
節約設定
明るさ、調整 234
エコモード 233
消耗品を節約する 232
スリープモード 234
静音モード 233
ハイバネートモード 234
セパレータパッドを交換してください 301
線が表示される 338
選択したトレイの用紙でコピーする 102
前面カバーの紙詰まり 267
騒音レベル 358
騒音を低減する 233
送信 FAX 名の設定 132
送信形式
E メールオプション 117
スキャンオプション 147
挿入されているトレイが多すぎます [58] 305

挿入されている排紙トレイが多すぎます [58] 305
その他のセキュリティ設定メニュー 177

た行

対処、印刷品質
OHP フィルムの印刷品質が悪い 337
印刷が明るすぎる 331
印刷が均一でない 329
印刷が暗すぎる 330
印刷後の背景がグレーになる 324
印刷に圧縮された画像が表示される 323
印刷に影の画像が表示される 333
印刷にトナーのしみが表示される 337
印刷の濃さが均一ではない 338
切り取られたページと画像 322
空白ページ 327
水平の線が印刷に表示される 325
縦の線 335
トナーが摩擦ではがれ落ちる 337
トナーフォグまたは背景の網掛けが印刷に表示される 336
プリンタが真っ黒のページを印刷する 328
ページで異常を繰り返す 332
ページの白い線 338
文字の端が角になっている 321
歪んだ印刷 333
横の線が印刷に表示される 334
対処、給紙
紙詰まりを取り除いてもメッセージが消えない 313
代替サイズメニュー 154
正しくない用紙サイズ、[給紙源]を開いてください [34] 291
タッチスクリーン
ボタン 18
タッチスクリーンのボタンを使用する 18
縦の隙間が表示される 338
縦の線が印刷に表示される 335
多目的フィーダー
用紙をセット 73

多目的フィーダーに[ユーザー定義
タイプ名][用紙の向き]をセッ
ト 294
多目的フィーダーに[ユーザー定義
文字列][用紙の向き]をセッ
ト 294
多目的フィーダーに[用紙サイズ]
[用紙の向き]をセット 294
多目的フィーダーに[用紙のタイプ]
[用紙サイズ][用紙の向き]をセッ
ト 294
多目的フィーダーの紙詰まり 277
遅延送信
FAX オプション 140
着信識別サービス、FAX
接続 132
着信識別サービスへの接続 132
注文
イメージングユニット 247
ステープルカートリッジ 248
メンテナンスキット 246
丁合印刷
コピーオプション 109
丁合印刷する 105
通信に関する通知 362
ディスクが満杯です 62 289
ディスクが満杯です。スキャンジ
ョブがキャンセルされました 289
ディスクのワイプ 238
ディレクトリリスト
印刷 98
ディレクトリリストを印刷する 98
デジタル加入者回線(DSL)
FAX の初期設定 125
デジタル電話サービス
FAX の初期設定 127
デバイスおよびネットワーク設定情
報
消去 238
デバイスは現在セーフモードで動
作しています。一部の印刷オプシ
ョンは無効となっているか予期せぬ
結果になる場合があります。 305
電源コードソケット 48
電話スプリッター 126
ドアを閉じるか、カートリッジを挿入
してください 287
ドキュメント、印刷
コンピュータから 92
トナーカートリッジ
交換 249, 252
注文 246

リサイクル 235
トナーカートリッジの交
換 249, 252
トナーの濃さ
調整 92
トナーの濃さを調整する 92
取付けられたディスクが多過ぎま
す [58] 305
取り付けられているフラッシュオプ
ションが多すぎます [58] 305
トレイ
リンク 79, 81
リンク解除 79, 81
トレイ[x]の接続を確認してくださ
い 287
トレイ[x]を挿入 292
トレイのリンク 79, 81
トレイのリンク解除 79, 81

な行

内蔵 Web サーバー
E メールアラートをセットアップす
る 259
E メールショートカットを作成す
る 113
Fax 宛先ショートカットを作
成 136
FAX の初期設定 119
FTP ショートカットを作成す
る 142
明るさの調整 234
アクセス 19
アクセスの問題 353
管理者設定 259
コンピュータにスキャン 145
コンフィデンシャル印刷設定を修
正する 97
消耗品の状況を確認する 245
ネットワーク設定 259
部品の状況を確認する 245
内蔵 Web サーバー — セキュリテ
ィ:管理者ガイド
入手先 240
内蔵 Web サーバー管理者ガイド
入手先 259
内蔵 Web サーバーにアクセスす
る 19
内蔵 Web サーバーを開けな
い 353
内蔵オプション 26
内蔵オプション、追加
プリントドライバ 50
内蔵オプションを追加する
プリントドライバ 50
内蔵ソリューション情報
消去 238
内蔵ソリューションポート
設置 33
問題に対処する 310
内蔵ソリューションポートを取り付
ける 33
内蔵プリントサーバー
問題に対処する 309
内部オプションを取り付ける
取り付け順序 45
内容
E メール設定 116
内容の種類
E メール設定 116
FAX オプション 140
内容のソース
E メール設定 116
FAX オプション 140
なくなっているイメージユニットを交
換[31.xy] 301
夏時間、設定 133
何も印刷されないページがあ
る 327
二酸化炭素排出量に関する通
知 358, 362
日時、FAX
設定 133
ネットワーク[x] ソフトウェアエラー
[54] 296
ネットワーク[x] メニュー 164
ネットワークガイド
入手先 259
ネットワークカードメニュー 165
ネットワーク上の保存場所にスキャ
ンする 142
ネットワーク設定
内蔵 Web サーバー 259
ネットワーク設定ページ
印刷 56
ネットワーク設定ページを印刷す
る 56
ネットワークへのスキャン
使用 142
セットアップ 24
ネットワークレポートメニュー 165
残りページ数
推定 246

は行

排紙オプション

サポートされている用紙サイズ 89

サポートされている用紙タイプと重量 89

排紙トレイ[x]から用紙を取り除いてください 299

排紙トレイ [x] を挿入 292

排紙トレイ設定メニュー 161

ハイバネートモード

使用 234

ハイバネートモードを使用する 234

背面ドアの紙詰まり 270

背面ドアを閉じてください 288

ハードウェアオプション、追加
プリントドライバ 50

ハードウェアオプションを追加する
プリントドライバ 50

ハードディスクメモリを消去する 238

パラレル [x] メニュー 170

パラレルポート[x]が無効です
[56] 297

日付と時間を設定メニュー 181
表示

レポート 259

表示、プリンタコントロールパネル 15

明るさの調整 234

標準 550 枚トレイ

用紙をセット 57

標準 USB ポートが無効です
[56] 304

標準 USB メニュー 169

標準設定給紙源メニュー 150

標準トレイ

用紙をセット 57

標準ネットワークソフトウェアエラー
[54] 304

標準ネットワークメニュー 164

標準排紙トレイから用紙を取り除いてください 299

ヒント

OHP フィルム 83

厚紙 82

封筒を使用する 82

ラベル、用紙 83

レターヘッド紙で使用する 83

ファイル名

スキャンオプション 146

ファームウェアカード 26

フィニッシャー内のホチキス詰まり 283

フィニッシャーの背面ドアを閉じてください 288

封筒

使用する際のヒント 82

用紙をセット 73

封筒を使用する場合のヒント 82

フォントサンプルリスト

印刷 97

フォントサンプルリストを印刷する 97

不揮発性メモリ 237

消去 238

不揮発性メモリを消去する 238

複雑なページ、一部のデータが印刷されていない可能性があります
[39] 288

部数

コピーオプション 110

プッシュボタン設定方式

使用 53

部品

確認、内蔵 Web サーバーを使用する 245

確認、プリンタコントロールパネルから 245

純正 Lexmark を使用する 246

状況を確認する 245

部品と消耗品の状況を確認する 245

部品の状況

確認 245

フラッシュドライブ

印刷 94

サポートされているファイルタイプ 95

フラッシュドライブメニュー 214

フラッシュドライブから印刷する 94

フラッシュドライブにスキャンする 146

不良イメージングユニットを交換してください [31.xy] 300

不良フラッシュが検出されました
[51] 289

プリンタ

移動 10, 257, 258

完全に設定 12

基本モデル 12

最小スペース 10

設置場所を選択する 10

搬送 258

プリンタオプションの問題に対処する

USB またはパラレルインターフェイスカード 311

トレイの問題 310

内蔵ソリューションポート 310

内蔵プリントサーバー 309

内部オプションが検出されません 309

プリンタ構成 12

プリンタコントロールパネル 15

明るさの調整 234

インジケータランプ 15

初期状態のデフォルト、復元 261

スリープボタンランプ 15

プリンタコントロールパネルを使用して E メールを送信する 114

プリンタコントロールパネルを使用して Fax を送信する 133

プリンタ情報

入手先 9

プリンタセキュリティ

情報 240

プリンタディスプレイの明るさの調整 234

プリンタに関する詳細情報を見つける 9

プリンタの IP アドレス

確認 19

プリンタの IP アドレスを確認する 19

プリンタのインストール 50

プリンタの外観

清掃 241

プリンタの清掃 241

プリンタの設置場所を選択する 10

プリンタの部品

コントローラボード 26

プリンタの問題、基本的な解決 307

プリンタハードディスク

暗号化 239

設置 38

取り外し 42

廃棄 237

ワイプ 238

プリンタハードディスクの暗号化 239

- プリンタハードディスクの暗号化を設定する 239
プリンタハードディスクの廃棄 237
プリンタハードディスクのワイプ 238
プリンタハードディスクメモリ消去 238
プリンタハードディスクを取り付ける 38
プリンタハードディスクを取り外す 42
プリンタメッセージ
FAX サーバーの[送信先形式]が設定されていません。システム管理者に連絡してください。 290
FAX ステーション番号が設定されていません。システム管理者に連絡してください。 291
FAX ステーション名が設定されていません。システム管理者に連絡してください。 290
FAX パーティションが動作しません。システム管理者に連絡してください。 290
FAX メモリフル 290
Lexmark の [消耗品タイプ] ではありません、『ユーザーガイド』を参照してください [33.xy] 296
Reattach bins [x] - [y] (排紙トレイ [x] - [y] を再度取り付けてください) 298
Reattach bin [x] (排紙トレイ [x] を再度取り付けてください) 297
SMTP サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。 304
USB ドライブ読み取りエラー
USB を取り外してください 290
USB ハブ読み取りエラーハブを取り外してください 290
USB ポート[x]が無効です [56] 306
Weblink サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。 306
穴パンチボックスを挿入する 292
穴パンチボックスを空にする 289
アナログ電話回線がモデムに接続されていません。Fax が無効です。 296
イメージングユニットが低下しています [84.xy] 291
イメージングユニットが非常に低下しています、推定残りページ [x] [84.xy] 291
イメージングユニットがほぼ低下しています [84.xy] 291
イメージングユニットを交換してください、推定残りページ 0 [84.xy] 300
カートリッジ、イメージングユニット不一致 [41.xy] 286
カートリッジが非常に低下しています、推定残りページ [x] [88.xy] 286
カートリッジ残り僅か [88.xy] 286
カートリッジほぼ残り僅か [88.xy] 286
カートリッジを交換してください、推定残りページ 0 [88.xy] 299
カートリッジを交換してください、プリンタリージョンが一致しません [42.xy] 299
管理者によってスキナが無効にされています[840.01] 303
給紙ミス解消済み、排紙トレイに新しい用紙を送信 [24y.xx] 295
[給紙源] を [カスタム紙種名] に変更 [用紙の向き] にセット 286
[給紙源] を [カスタム紙種名] [用紙の向き] にセット 293
[給紙源] を [カスタム文字列] に変更 [用紙の向き] にセット 286
[給紙源] を [カスタム文字列] [用紙の向き] にセット 293
[給紙源] を [用紙サイズ] に変更 [用紙の向き] にセット 287
[給紙源] を [用紙サイズ] [用紙の向き] にセット 293
[給紙源] を [用紙タイプ] [用紙サイズ] に変更 [用紙の向き] にセット 287
[給紙源] を [用紙タイプ] [用紙サイズ] [用紙の向き] にセット 294
構成変更、一部の保持されたジョブが復元されませんでした [57] 288
互換性のないトレイ [x] [59] 291
互換性のない排紙トレイ [x] [59] 291
故障したハードディスクを取り外してください [61] 298
このデバイスで使用するにはディスクをフォーマットする必要があります 289
梱包材を取り除いてください、[エリア名] 298
サポートされていない USB ハブ、取り外してください 290
サポートされていないイメージングユニットを交換してください [32.xy] 302
サポートされていないカートリッジを交換してください [32.xy] 302
サポートされていないディスク 306
サポートされていないトレイ [58] の用紙サイズ 306
上部アクセスカバーを閉じてください 288
ジョブを完了するには消耗品が必要です 305
ジョブを再開する場合は原稿台のカバーを閉じ、原稿をセットしてください[2yy.xx] 288
ジョブを再開する場合は、最後にスキャンされたページと紙詰まりの原稿を交換してください。 300
ジョブを再開する場合は、すべての原稿を交換してください。 299
ジョブを再開する場合は、詰まっている原稿を交換してください。 300
シリアルポート[x]が無効です [56] 304
スキナが紙詰まりです。自動フィーダのトップカバーを開いて閉じてください [2yy.xx] 303
スキナ紙詰まり、原稿をスキナから取り除いてください [2yy.xx] 304
スキナ紙詰まり、原稿をすべてスキナから取り除いてください [2yy.xx] 303
スキナが無効です問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。 [840.02] 303
スキナ自動フィーダーのカバーが開いています 303

- スキヤナの紙づまり - アクセスカバーが開いています 303
ステープルカートリッジを挿入する 292
すべての排紙トレイから用紙を取り除いてください 298
スロット [x] のサポートされていないオプション [55] 306
セパレータパッドを交換してください 301
挿入されているトレイが多すぎます [58] 305
挿入されている排紙トレイが多すぎます [58] 305
正しくない用紙サイズ、[給紙源]を開いてください [34] 291
多目的フィーダーに[ユーザー定義タイプ名][用紙の向き]をセット 294
多目的フィーダーに[ユーザー定義文字列][用紙の向き]をセット 294
多目的フィーダーに[用紙サイズ][用紙の向き]をセット 294
多目的フィーダーに[用紙のタイプ][用紙サイズ][用紙の向き]をセット 294
ディスクが満杯です 62 289
ディスクが満杯です。スキャンジョブがキャンセルされました 289
ディスク殆ど満杯レベル。ディスク領域を安全に消去してください。 289
デバイスは現在セーフモードで動作しています。一部の印刷オプションは無効となっているか予期せぬ結果になる場合があります。 305
ドアを閉じるか、カートリッジを挿入してください 287
取付けられたディスクが多過ぎます [58] 305
取付けられているフラッシュオプションが多すぎます [58] 305
トレイ [x] の接続を確認してください 287
トレイ [x] を挿入 292
トレイ [x] を取り付ける 292
なくなっているイメージユニットを交換 [31.xy] 301
ネットワーク [x] ソフトウェアエラー [54] 296
排紙トレイ [x] から用紙を取り除いてください 299
排紙トレイ [x] を挿入 292
背面ドアを閉じてください 288
パラレルポート [x] が無効です [56] 297
標準 USB ポートが無効です [56] 304
標準ネットワークソフトウェアエラー [54] 304
標準排紙トレイから用紙を取り除いてください 299
フィニッシャーの背面ドアを閉じてください 288
複雑なページ、一部のデータが印刷されていない可能性があります [39] 288
不良イメージングユニットを交換してください [31.xy] 300
不良フラッシュが検出されました [51] 289
プリンタを再起動する必要があります。最後のジョブが完了していない可能性があります。 297
文書のスキャンが長すぎます 303
保持されたジョブが復元されませんでした 304
保持されたジョブを復元しますか? 303
ホチキスをセット 295
まもなくスキヤナメンテナンスが必要です。ADF キットを使用してください [80] 304
見つからないか応答しないカートリッジを取り付け直してください [31.xy] 298
見つからないカートリッジを交換してください [31.xy] 301
見つからないフューザを交換してください [80.xx] 301
未フォーマットのフラッシュが検出されました [53] 306
メモリが満杯です [38] 295
メモリ不足、一部の保持されたジョブが削除されました [37] 293
メモリ不足、一部の保持されたジョブが復元されません [37] 293
メモリ不足のためジョブを照合できません [37] 293
メモリ不足のためリソース保存機能をサポートできません [35] 293
メモリアル、FAX を印刷できません 295
メンテナンスキットが低下しています [80.xy] 295
メンテナンスキットが非常に低下しています、推定残りページ [x] [80.xy] 295
メンテナンスキットがほぼ低下しています [80.xy] 295
メンテナンスキットを交換して印刷を再開してください [80.xy] 301
メンテナンスキットを交換、標準寿命の超過 [80.xy] 301
用紙の交換が必要 297
リソースのためにフラッシュメモリに十分な領域がありません [52] 296
[リンクされた排紙トレイ名] から用紙を取り除いてください 299
ローラーキット交換してください [81.xx] 301
ワイパーを交換してください 303
プリンタを移動する 10, 257, 258
プリンタを再起動する必要があります。最後のジョブが完了していない可能性があります。 297
プリンタを取り付ける 50
プリンタを搬送する 258
プリントドライバ
ハードウェアオプション、追加 50
文書のスキャンが長すぎます 303
ページ設定
E メールオプション 118
FAX オプション 140
スキャンオプション 148
ページで異常を繰り返す 332
ヘッダーまたはフッターを挿入する 107
ヘルプメニュー 231
ボイスオーバーインターネットプロトコル (VoIP)
FAX の初期設定 126
ボイスメール
セットアップ 120
保持された印刷ジョブ
Macintosh コンピュータから印刷 97
Windows から印刷 97

- 保持されたジョブ 96
 - Macintosh コンピュータから印刷 97
 - Windows から印刷 97
- 保持されたジョブが復元されませんでした 304
- 保持されたジョブを復元しますか? 303
- 保持ジョブを印刷する
 - Macintosh コンピュータから印刷 97
 - Windows から 97
- 保存
 - 消耗品 248
 - 用紙 87
- ボタン、タッチスクリーン
 - 使用 18
- ボタン、プリンタコントロールパネル 15
- ホチキスをセット 295
- ポート設定
 - 設定 54
- ポート設定を構成する 54
- ポート設定を変更する
 - 内蔵ソリューションポート 54
- ホーム画面
 - アイコンの非表示 20
 - アイコンの表示 20
 - カスタマイズ 20
- ホーム画面のアイコン
 - 非表示 20
 - 表示 20
- ホーム画面のアイコンの非表示 20
- ホーム画面のアイコンの表示 20
- ホーム画面のアプリケーション
 - 情報を見つける 21
 - 設定 21
- ホーム画面のボタンおよびアイコン
 - 説明 16
- ホーム画面のボタンおよびアイコンを理解する 16
- ま行**
- マニュアル
 - 入手先 9
- まもなくスキヤナメンテナンスが必要です。ADF キットを使用してください [80] 304
- マルチ転送
 - セットアップ 23
- プロフィールを追加する 23
- 見つからないか応答しないカートリッジを取り付け直してください [31.xy] 298
- 見つからないカートリッジを交換してください [31.xy] 301
- 見つからないフューザを交換してください [80.xx] 301
- 未フォーマットのフラッシュが検出されました [53] 306
- 迷惑 FAX のブロック 137
- メッセージ
 - E メールオプション 116
- メニュー
 - AppleTalk 168
 - E メール設定 204
 - FAX モード (FAX サーバー設定) 203
 - FAX モード (アナログ FAX 設定) 194
 - FTP 設定 210
 - HTML 230
 - IPv6 167
 - MP を構成する 150
 - OCR 設定 219
 - PCL Emul 227
 - PDF 226
 - PostScript 227
 - SMTP セットアップ 175
 - TCP/IP 166
 - XPS 226
 - アクティブ NIC 164
 - 一時データファイルの消去 179
 - 一般設定 183
 - 印刷品質 223
 - カスタム紙種 158
 - カスタムスキャンサイズ 160
 - カスタム排紙トレイ名 160
 - カスタム名 159
 - 画像 231
 - コピー設定 191
 - コンフィデンシャル印刷 178
 - 仕上げ 221
 - ジョブアカウンント 224
 - シリアル[x] 172
 - 図 149
 - セキュリティ監査ログ 179
 - セキュリティ設定の編集 176
 - 設定 220
 - その他のセキュリティ設定 177
 - 代替サイズ 154
 - ネットワーク[x] 164
- ネットワークカード 165
- ネットワークレポート 165
- 排紙トレイ設定 161
- パラレル[x] 170
- 日付と時間を設定 181
- 標準 USB 169
- 標準設定給紙源 150
- 標準ネットワーク 164
- フラッシュドライブ 214
- ヘルプ 231
- ユーティリティ 225
- ユニバーサル設定 161
- 用紙サイズ/タイプ 151
- 用紙セット方法 157
- 用紙の粗さ 154
- 用紙の重量 156
- レポート 162
- ワイヤレス 168
- メニュー図 149
- メニュー設定ページ
 - 印刷 55
- メニュー設定ページを印刷する 55
- メモリ
 - プリンタに取り付けられたタイプ 237
- メモリカード 26
- 設置 30
- メモリが満杯です [38] 295
- メモリ不足、一部の保持されたジョブが削除されました [37] 293
- メモリ不足、一部の保持されたジョブが復元されません [37] 293
- メモリ不足のためジョブを照合できません [37] 293
- メモリ不足のためリソース保存機能をサポートできません [35] 293
- メモリフル、FAX を印刷できません 295
- メールボックス内の紙詰まり 278
- メンテナンスキット
 - 注文 246
- メンテナンスキットが低下しています [80.xy] 295
- メンテナンスキットが非常に低下しています、推定残りページ [x] [80.xy] 295
- メンテナンスキットがほぼ低下しています [80.xy] 295
- メンテナンスキットを交換して印刷を再開してください [80.xy] 301
- メンテナンスキットを交換、標準寿命の超過 [80.xy] 301

モバイルデバイス

印刷 93

問題解決策の表示

プリンタディスプレイがブランク 308

問題に対処する

FAX および E メール機能がセットアップされていない 347

アプリケーションエラーが発生した場合 353

応答しないプリンタを確認する 307

基本的なプリンタの問題を解決する 307

スキャナが応答しない 351
内蔵 Web サーバーを開けない 353

問題に対処する、FAX

FAX を受信できるが送信できない 345

FAX を送受信できない 343

FAX を送信できるが受信できない 346

受信した FAX の印刷品質が悪い 347

発信者 ID が表示されない 343

問題に対処する、印刷

印刷時に封筒の封が閉じられる 314

印刷の余白が正しくない 326

大きなジョブが丁合印刷されない 317

紙詰まりが発生したページが再印刷されない 312

コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保持されたドキュメントが印刷されない 313

ジョブが印刷されない 318

ジョブが正しくないトレイから印刷される 316

ジョブが正しくない用紙で印刷される 316

想定しているよりも印刷ジョブに時間がかかる 319

多言語 PDF ファイルが印刷されない 317

正しくない文字が印刷される 316

トレイのリンクが動作しない 320

頻繁な紙詰まり 312

フラッシュドライブ読み取りエラー 315

用紙が巻いてしまう 326

予期しない改ページが発生する 321

問題に対処する、コピー

コピー機が応答しない 339

コピー品質が悪い 340

スキャナユニットが閉じない 342, 351

スキャンされたイメージの質が悪い 349

文書または写真の一部しかコピーされない 340

問題に対処する、スキャン

コンピュータからスキャンできない 349

スキャナユニットが閉じない 342, 351

スキャンジョブが失敗しました 350

スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする 351

文書または写真の一部しかスキャンされない 349

問題に対処する、表示

プリンタディスプレイがブランク 308

問題に対処する、プリンタオプション

USB またはパラレルインターフェイスカード 311

印刷速度が低下する 317

トレイの問題 310

内蔵ソリューションポート 310

内蔵プリントサーバー 309

内部オプションが検出されません 309

や行

ユーティリティメニュー 225

ユニバーサル設定メニュー 161

ユニバーサル用紙サイズ

設定 57

ユニバーサル用紙サイズを設定する 57

用紙

サイズの異なる、コピー 103

再生紙を使用する 232

使用できない 85

選択 85

特性 84

プレプリント用紙 85

保存 106, 84, 87

ユニバーサルサイズ設定 57

リサイクル 85

レターヘッド 85

用紙サイズ

設定 57

プリンタでサポート 87

用紙サイズ/タイプ 151

用紙セット方法メニュー 157

用紙節約 106

用紙タイプ

設定 57

プリンタでサポート 88

用紙とお気に入り

セットアップ 21

用紙とお気に入りを使用する 92

用紙特性 84

用紙の粗さメニュー 154

用紙の重さメニュー 156

用紙の交換が必要 297

用紙の重量

プリンタでサポート 88

用紙の両面にコピーする(両面コピー) 103

用紙を印刷する 92

用紙をセット

2100 枚トレイ 66

2100 枚トレイのレターヘッド紙 66

OHP フィルム 73

厚紙 73

オプション 550 枚トレイ 57

多目的フィーダー 73

多目的フィーダーのレターヘッド紙 73

トレイのレターヘッド紙 57

標準 550 枚トレイ 57

封筒 73

用紙を選択する 85

横の線が印刷に表示される 334

ら行

ラインフィルタ 125

ラベル、用紙

ヒント 83

ランプ、インジケータ 15

リサイクル

Lexmark 梱包 235

Lexmark 製品 235

トナーカートリッジ 235

リソースのためにフラッシュメモリに十分な領域がありません [52] 296

- 両面印刷ユニット内の紙詰まり 275
- 両面コピー 103
- [リンクされた排紙トレイ名]から用紙を取り除いてください 299
- 留守番電話
 - セットアップ 120
- レターヘッド
 - コピー 101
 - 用紙をセット、2100 枚トレイ 66
 - 用紙をセットする、トレイ 57, 83
 - 用紙をセット、多目的フィーダー 73, 83
- レターヘッド紙を使用する場合のヒント 83
- レターヘッド紙をセットする
 - 用紙の向き 83
- レポート
 - 表示 259
- レポートメニュー 162
- ローラーキット交換してください [81.xx] 301

わ行

- ワイパーを交換してください 303
- ワイヤレスセットアップウィザード
 - 使用 52
- ワイヤレスネットワーク
 - 構成情報 51
- ワイヤレスネットワーク設定
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 54
- ワイヤレスネットワークに接続する
 - 暗証番号方式を使用する 53
 - 内蔵 Web サーバーを使用する 54
 - プッシュボタン設定方式を使用する 53
- ワイヤレスセットアップウィザードを使用する 52
- ワイヤレスメニュー 168